（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

令和7年9月

一級建築士事務所
KATO
ARCHITECTS&SYSTEMS

株式会社 カトウ建築事務所

図面リスト

意匠

図面番号	図面名称	縮尺 [A1]	図面番号	図面名称	縮尺 [A1]
A-００１	図面リスト	-	A-０５１	部分詳細図（2）	図示
A-００２	特記仕様書（1）	-	A-０５２	部分詳細図（3）	図示
A-００３	特記仕様書（2）	-	A-０５３	部分詳細図（4）	図示
A-００４	特記仕様書（3）	-	A-０５４	可動ステージ詳細図	図示
A-００５	特記仕様書（4）	-	A-０５５	ルーバー詳細図	図示
A-００６	特記仕様書（5）	-	A-０５６	アルミカーテンウォール詳細図	図示
A-００７	特記仕様書（6）	-	A-０５７	アルミ建具詳細図（1）	図示
A-００８	案内図・配置図	1/200, 10000	A-０５８	アルミ建具詳細図（2）	図示
A-００９	敷地求積図	1/100	A-０５９	アルミ建具詳細図（3）	図示
A-０１０	建物・床面積求積図	1/100	A-０６０	自動ドア詳細図（1）	図示
A-０１１	仕上表（1）	-	A-０６１	自動ドア詳細図（2）	図示
A-０１２	仕上表（2）	-	A-０６２	移動間仕切詳細図	図示
A-０１３	基礎伏図	1/100	A-０６３	スチールパーテーション・トイレブース詳細図	1/5
A-０１４	１階平面図	1/100	A-０６４	家具キープラン	1/100
A-０１５	２階平面図	1/100	A-０６５	家具詳細図（1）	1/20
A-０１６	３階平面図	1/100	A-０６６	家具詳細図（2）	1/20
A-０１７	屋階平面図	1/100	A-０６７	家具詳細図（3）	1/20
A-０１８	立面図	1/100	A-０６８	家具詳細図（4）	1/20
A-０１９	断面図	1/100	A-０６９	家具詳細図（5）	1/20
A-０２０	矩計図（1）	1/50	A-０７０	サインキープラン	1/100
A-０２１	矩計図（2）	1/50	A-０７１	サイン詳細図（1）	図示
A-０２２	矩計図（3）	1/50	A-０７２	サイン詳細図（2）	図示
A-０２３	階段詳細図	図示	A-０７３	外構図	1/100
A-０２４	屋外階段詳細図	図示	A-０７４	外構詳細図（1）	図示
A-０２５	1階平面詳細図	1/50	A-０７５	外構詳細図（2）	図示
A-０２６	1階展開図（1）	1/50	A-０７６	外構詳細図（3）	図示
A-０２７	1階展開図（2）	1/50	A-０７７	緑化計画図	図示
A-０２８	1階展開図（3）	1/50	A-０７８	外構図（駐車場）	図示
A-０２９	1階展開図（4）	1/50	A-０７９	昇降機詳細図1（参考図）	-
A-０３０	1階展開図（5）	1/50	A-０８０	昇降機詳細図2（参考図）	1/30
A-０３１	1階展開図（6）	1/50	A-０８１	昇降機詳細図3（参考図）	1/30
A-０３２	2階平面詳細図	1/50	A-０８２	１階法規チェック図	1/100
A-０３３	2階展開図（1）	1/50	A-０８３	２階法規チェック図	1/100
A-０３４	2階展開図（2）	1/50	A-０８４	３階法規チェック図	1/100
A-０３５	2階展開図（3）	1/50	A-０８５	各部屋別面積	1/100
A-０３６	2階展開図（4）	1/50	A-０８６	単体規定チェック図	-
A-０３７	2階展開図（5）	1/50	A-０８７	各時間日影図	1/100
A-０３８	2階展開図（6）	1/50	A-０８８	等時間日影図	1/100
A-０３９	3階平面詳細図	1/50	A-０８９	仮設計画図	1/100
A-０４０	3階展開図（1）	1/50	A-０９０	家屋調査図	1/500
A-０４１	3階展開図（2）	1/50	A-０９１		
A-０４２	3階展開図（3）	1/50	A-０９２		
A-０４３	3階展開図（4）	1/50	A-０９３		
A-０４４	天井伏図	1/100	A-０９４		
A-０４５	建具キープラン	1/100	A-０９５		
A-０４６	建具表1(AW)	1/50	A-０９６		
A-０４７	建具表2(AW,AD,ACW,AG,SD,SSD,SUSD)	1/50	A-０９７		
A-０４８	建具表3(SD,FSD,StW,SW,LSD)	1/50	A-０９８		
A-０４９	建具表4(LSD,SLW,SP,GLW,TB,WD,F,S)	1/50	A-０９９		
A-０５０	部分詳細図（1）	図示	A-１００		

構造

図面番号	図面名称	縮尺 [A1]
S-００１	特記仕様書（1）	-
S-００２	特記仕様書（2）	-
S-００３	構造関係共通図（配筋標準図1）	-
S-００４	構造関係共通図（配筋標準図2）	-
S-００５	構造関係共通図（配筋標準図3）	-
S-００６	構造関係共通図（配筋標準図4）	-
S-００７	構造関係共通図（鉄骨標準図1）	-
S-００８	構造関係共通図（鉄骨標準図2）	-
S-００９	ボーリング柱状図	-
S-０１０	杭伏図・基礎伏図	1/100
S-０１１	1階伏図・2階伏図	1/100
S-０１２	3階伏図・R階伏図	1/100
S-０１３	軸組図（1）	1/100
S-０１４	軸組図（2）	1/100
S-０１５	軸組図（3）	1/100
S-０１６	基礎・基礎梁リスト	1/50
S-０１７	基礎小梁・基礎片持梁・柱リスト	1/50
S-０１８	大梁リスト（1）	1/50
S-０１９	大梁リスト（2）	1/50
S-０２０	片持梁・小梁・壁・スラブ　鉄骨部材リスト	1/50
S-０２１	PC工事特記仕様書	-
S-０２２	PRC大梁関連図	1/50
S-０２３	雑詳細図	1/50
S-０２４	架構詳細図	1/40
S-０２５		
S-０２６		
S-０２７		
S-０２８		
S-０２９		
S-０３０		
S-０３１		
S-０３２		
S-０３３		
S-０３４		
S-０３５		
S-０３６		
S-０３７		
S-０３８		
S-０３９		
S-０４０		
S-０４１		
S-０４２		
S-０４３		
S-０４４		
S-０４５		
S-０４６		
S-０４７		
S-０４８		
S-０４９		
S-０５０		

電気設備

図面番号	図面名称	縮尺 [A1]
E-００１	電気設備　特記仕様書（1）	-
E-００２	電気設備　特記仕様書（2）	-
E-００３	屋外キュービクル結線図	-
E-００４	動力制御盤図	-
E-００５	電灯分電盤図	-
E-００６	雷保護設備　ＳＰＤ仕様書	-
E-００７	幹線・動力設備　１階平面図	1/100
E-００８	幹線・動力設備　２階平面図	1/100
E-００９	幹線・動力設備　３階平面図	1/100
E-０１０	幹線・動力設備　屋階平面図	1/100
E-０１１	照明器具姿図（1）	-
E-０１２	照明器具姿図（2）	-
E-０１３	電灯設備　１階平面図	1/100
E-０１４	電灯設備　２階平面図	1/100
E-０１５	電灯設備　３階平面図	1/100
E-０１６	非常照明・誘導標識設備　１階平面図	1/100
E-０１７	非常照明・誘導標識設備　２階平面図	1/100
E-０１８	非常照明・誘導標識設備　３階平面図	1/100
E-０１９	コンセント設備　１階平面図	1/100
E-０２０	コンセント設備　２階平面図	1/100
E-０２１	コンセント設備　３階平面図	1/100
E-０２２	コンセント設備　屋階平面図	1/100
E-０２３	情報通信網・構内交換・テレビ共同受信設備　系統図	-
E-０２４	情報通信網・構内交換・インターホン ・テレビ共同受信設備　１階平面図	1/100
E-０２５	情報通信網・構内交換・インターホン ・テレビ共同受信設備　２階平面図	1/100
E-０２６	情報通信網・構内交換・インターホン ・テレビ共同受信設備　３階平面図	1/100
E-０２７	放送設備姿図	-
E-０２８	防犯カメラ設備　姿図	-
E-０２９	放送・防犯カメラ設備　１階平面図	1/100
E-０３０	放送・防犯カメラ設備　２階平面図	1/100
E-０３１	放送・防犯カメラ設備　３階平面図	1/100
E-０３２	自動火災報知設備　系統図	-
E-０３３	自動火災報知設備　１階平面図	1/100
E-０３４	自動火災報知設備　２階平面図	1/100
E-０３５	自動火災報知設備　３階平面図	1/100
E-０３６	自動火災報知設備　屋階平面図	1/100
E-０３７	集会室音響設備　姿図	-
E-０３８	集会室音響設備　姿図	-
E-０３９	太陽光パネル　参考図	-
E-０４０	太陽光発電設備　機器姿図	-
E-０４１	太陽光発電設備　単線結線図	-
E-０４２	太陽光発電設備　１階平面図	1/100
E-０４３	太陽光発電設備　屋階平面図	1/100
E-０４４	機械警備配管設備　１階平面図	1/100
E-０４５	機械警備配管設備　２階平面図	1/100
E-０４６	機械警備配管設備　３階平面図	1/100
E-０４７		
E-０４８		
E-０４９		
E-０５０		

機械設備

図面番号	図面名称	縮尺 [A1]
M-００１	機械設備　特記仕様書（1）	-
M-００２	機械設備　特記仕様書（1）	-
M-００３	衛生設備　機器表・機械表・桝表	-
M-００４	衛生設備　１階平面図	1/100
M-００５	衛生設備　２階平面図	1/100
M-００６	衛生設備　３階平面図	1/100
M-００７	衛生設備　屋階平面図	1/100
M-００８	衛生設備　１階・２階平面詳細図	1/50
M-００９	衛生設備　３階平面詳細図	1/50
M-０１０	換気設備　機器表	-
M-０１１	換気設備　１階平面図	1/100
M-０１２	換気設備　２階平面図	1/100
M-０１３	換気設備　３階平面図	1/100
M-０１４	換気設備　屋階平面図	1/100
M-０１５	空調設備　機器表	-
M-０１６	空調設備　１階平面図	1/100
M-０１７	空調設備　２階平面図	1/100
M-０１８	空調設備　３階平面図	1/100
M-０１９	空調設備　屋階平面図	1/100
M-０２０	リモコン配線　１階平面図	1/100
M-０２１	リモコン配線　２階平面図	1/100
M-０２２	リモコン配線　３階平面図	1/100
M-０２３	リモコン配線　屋階平面図	1/100
M-０２４		
M-０２５		
M-０２６		
M-０２７		
M-０２８		
M-０２９		
M-０３０		
M-０３１		
M-０３２		
M-０３３		
M-０３４		
M-０３５		
M-０３６		
M-０３７		
M-０３８		
M-０３９		
M-０４０		
M-０４１		
M-０４２		
M-０４３		
M-０４４		
M-０４５		
M-０４６		
M-０４７		
M-０４８		
M-０４９		
M-０５０		

一級建築士事務所
KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

APPR	CHKD	DRAWN

工事名　（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図　名　図面リスト

S=　No Scale
DATE　2025.9
No.　A-001

工事名	（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　蕨市錦町五丁目2027-55、2078-1、錦町六丁目2238-11
用途地域　県道79号線より25m以内：第一種住居地域、以遠：第一種中高層住居専用地域

2．敷地面積　1,007.46 ㎡

3．工事種目（建物概要）

複合施設棟：鉄筋コンクリート造、地上3階建て		新築１棟
駐輪場棟　：アルミ製（既製品）、平屋建て		新築１棟
別敷地駐車場整備工事：	２０５㎡　舗装、白線引、囲障	新設１式

建築面積	６０５．９９　㎡
延べ面積	１，５５３．７３　㎡
床面積	
①複合施設棟	
３　階	４７５．８３　㎡
２　階	４８０．２４　㎡
１　階	４８６．１３　㎡
小　計	１，４４２．２０
②駐輪場棟	
１　階	１１１．５３　㎡
合　計	１，５５３．３７　㎡

4．工　　期

契約工期	契　約	日から令和９年３月１２日まで
主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	現場施工に着手するまで	
現場代理人の現場への常駐を要しない期間	現場施工に着手するまで	
現場施工期間	契　約	日から令和９年３月１２日まで
	ただし、仮設工事等は施設との協議による	

5．工事範囲

※「３．工事種目」全てを工事範囲とする。
・「３．工事種目」のうち……の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

２　仮設工事	※工事範囲全て
３　土工事	※工事範囲全て
４　地業工事	※工事範囲全て
５　鉄筋工事	※工事範囲全て
６　コンクリート工事	※工事範囲全て
７　鉄骨工事	※工事範囲全て
８　ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ＡＬＣﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	※工事範囲全て
９　防水工事	※工事範囲全て
１０　石工事	※工事範囲全て
１１　タイル工事	※工事範囲全て
１２　木工事	※工事範囲全て
１３　屋根及びとい工事	※工事範囲全て
１４　金属工事	※工事範囲全て
１５　左官工事	※工事範囲全て
１６　建具工事	※工事範囲全て
１７　カーテンウォール工事	※工事範囲全て
１８　塗装工事	※工事範囲全て
１９　内装工事	※工事範囲全て
２０　ユニット及びその他の工事	※工事範囲全て
２１　昇降機工事	※工事範囲全て
２２　外構工事	※工事範囲全て
２３　電気設備工事	※工事範囲全て
２４　機械設備工事	※工事範囲全て

Ⅱ　建築工事仕様

（１）質問回答書、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「埼玉県建築工事特別共通仕様書」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下、「標準仕様書」という。）による。
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。
（２）標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等（条例を含む）と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。
（３）特記仕様書の表記
１）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
２）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。⊙ 印と ※の場合は、⊙のみを適用する。
３）特記事項に記載の（　．　．）内の表示番号は、「埼玉県建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。
４）特記事項に記載の（　．　．）内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。
５）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
６）本工事において、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（最新版）」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針（最新版）」による特定調達品目のうち、「判断の基準」を満たす環境物品等（以下「特定調達物品等」という）を選択するよう努めるものとする。
なお、G 印は設計図書で定めのある品目を示す。
７）注は標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

① 適用基準等

※埼玉県建築工事実務要覧に記載の要領等
※建築工事監理指針（国土交通省監修）（参考図書）
※建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修　令和４年版）
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。

② 条件明示事項　(1.1.3)

保険の種類
※法定外の労災保険（工事に従事する者(全ての下請負人を含む)の業務上の負傷等を対象とするもの）
※建設工事保険等（工事目的物及び工事材料等を対象とするもの）
※請負業者賠償責任保険等　・
保険の期間　※工事完成期日後１４日を含む期間　・

③ 工事実績情報ｼｽﾃﾑ コリンズへの登録

※行う（請負代金額500万円以上，10日以内に登録）　・行わない　(1.1.4)(1.1.8)

④ 適用区分

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
⊙風圧力　風速（Vo=34 m/s）　地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ）
⊙積雪荷重　H12.5.31告示第1455号における区域　別表（ 24 ）

5 別契約の関連工事

※監督員指定の別契約工事を今回工事全体としてとらえ、主導的に調整する。(1.1.7)
・監督員指定の別契約工事が行う全体調整に全面的に協力する。

6 施工に注意を要する区域等　(1.1.12、13)

本工事場所は以下の区域等に指定等されているため、施工計画の作成及び施工に当たっては関係法令等の遵守に十分注意する。
・周知の埋蔵文化財包蔵地　・史跡名勝天然記念物
・　・

⑦ 工事の記録

埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成し、監督員に提出する。　(1.2.4)(1.6.5)
埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ　※適用する(CD-R又はDVD-Rで１部提出)　・適用しない

⑧ 電気保安技術者

適用する　(1.3.3)(1.3.1)

⑨ 施工条件

施工時間　(1.3.5)
⊙行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外とする。
ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。
※公告に別に添付する＜埼玉県営繕工事における「週休２日制モデル工事」特記仕様書＞を参照のこと
施工時間以外の施工条件
⊙図示による　・

⑩ 施工中の安全確保

本工事の受注者を、作業が同一の場所において行われることによって生じる労働災害を防止するために必要な措置を講ずべき者（統括安全衛生管理義務者）とする。(1.3.7)

⑪ 施工中の環境保全等

建設機械は、原則として排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用する。　(1.3.10)

⑫ 発生材の処理等

引渡しを要するもの　(1.3.11)(1.1.13)
※無し（全て構外搬出適正処理）　・有り（※図示　・　）
注 a）発生材のうち特記により、引き渡しを要するものは、指示された場所に整理のうえ調書を添えて監督員に報告する。
b）産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。
c）引き渡しを要しないものは、すべて構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等により適切に処理し監督員に報告する。

⑬ 県産品の使用

受注者は、工事材料に係る納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は埼玉県内に本店を有する者の中から選定するように努めるとともに、調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努める。　(1.4.2)

⑭ 環境への配慮

建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。　(1.4.1)(1.4.3)
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⑮ 材料の品質等　(1.4.2)

※本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし製造業者等が指定されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける。
※材料・機材等の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。
① 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
② 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
③ 安定的な供給が可能であること
④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
⑥ 販売、保守等の営業体制が整えられていること
※製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」（林野庁 H18.2.15）に準拠した証明書を監督員に提出する。

⑯ 技能士　(1.5.2)(1.3.3)

適用工事種別	技能検定作業
仮設工事	⊙とび作業
鉄筋工事	⊙鉄筋組立て作業
コンクリート工事	・型枠工事作業　⊙ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送工事作業
鉄骨工事	・構造物鉄工作業　・とび作業
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ 押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業 ・ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ工事作業
防水工事	⊙ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・塩化ﾋﾞﾆﾙ系ｼｰﾄ防水工事作業　・ﾓﾙﾀﾙ系防水工事作業 ⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業
石工事	・石張り作業
タイル工事	・タイル張り作業
木工事	・大工工事作業
屋根及びとい工事	・内外装板金作業
金属工事	・鋼製下地工事作業　・内外装板金作業
左官工事	・左官作業
建具工事	⊙ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業 ⊙ガラス工事作業　・自動ドア施工作業
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・金属製カーテンウォール工事作業　⊙ﾋﾞﾙ用ｻｯｼ施工作業 ⊙ガラス工事作業
塗装工事	・建築塗装作業　・木工塗装作業
内装工事	・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上げ工事作業　・壁装作業　・保温保冷工事作業
排水工事	・建築配管作業
舗装工事	・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業　・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ工事作業
植栽工事	・造園工事作業
その他	・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ工事作業

⑰ 化学物質の濃度測定　(1.5.9)

対象化学物質	判定基準	備考
ホルムアルデヒト	100μg／m³（0.08ppm）以下	※厚生労働省が定める指針値，量単位の換算は２５℃
トルエン	260μg／m³（0.07ppm）以下	
キシレン	200μg／m³（0.05ppm）以下	
エチルベンゼン	3,800μg／m³（0.88ppm）以下	
スチレン	220μg／m³（0.05ppm）以下	
パラジクロロベンゼン	240μg／m³（0.04ppm）以下	

測定方法
採取及び分析は、法令に基づき空気中の物質の濃度に係る証明を行う者が行う。
①検体の採取方法　・吸引方式(アクティブ法)又は拡散方式(パッシブ法)
・吸引方式(アクティブ法)　・拡散方式(パッシブ法)
②アクティブ法
ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法（以下ＨＰＬＣ）により行う。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフ／質量分析法（以下ＧＣ／ＭＳ）により行う。
③パッシブ法
ホルムアルデヒドは、パッシブ採取機器により採取し、ＨＰＬＣ又はガスクロマトグラフ法（以下ＧＣ）あるいはＡＨＭＴ－吸光光度法のうち採取機器に適応した分析法による。
トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン及びパラジクロロベンゼンは、パッシブ採取機器により採取しＧＣまたはＧＣ／ＭＳのうち採取機器に適応した分析法による。
測定対象室　※監督員の指示する室　・図示
測定箇所数　※（ 16 ）箇所　・図示
測定時期　※工事完了後
報告書　※２部　・

⑱ 中間検査

中間検査　※行う（埼玉県建設工事検査要綱第５条）　・行わない　(1.6.2)(1.5.1)
中間検査実施回数（ 4 ）　実施段階（　　）⊙監督員の指示による
中間検査成績評定　※対象外　・対象（埼玉県建築工事成績評定要領第２）

⑲ 完成図等　(1.7.1～3)(1.6.1～3)

監督員の指示により埼玉県建築工事監督要綱別表第１に示す書類を原則電子データで提出する

完成図等の種類及び記入内容
完成(竣工)図（※監督員が指定した設計図面に完成時の状態を表現したもの）
図面情報電子化媒体　※CD-RXはDVD-R，１部
CADデータの形式　⊙SXF(sfc)　・DXF　⊙JWW
（埼玉県建築工事図面情報電子化媒体作成要領による。CADﾃﾞｰﾀのﾊﾞｰｼﾞｮﾝは監督員と協議する。）
保全に関する資料（通常取扱いに注意を要するものの使用方法を解説する）
完成写真（埼玉県建築工事写真作成要領に基づき作成する）
埼玉県電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ　※適用する(CD-RXはDVD-Rで提出)　・適用しない
撮影者　※監督員の承諾する撮影者
※撮影は建築写真の実績のある専門家とし、位置等は監督員の指示による。
撮影箇所　※外部（ 10 ）　内3箇所は電柱等を画像編集にて削除する。
※内部（ 33 ）
着工時と完成時の状況を比較できるように撮影する
・埼玉県建築工事写真作成要領別表５
原本及びアルバムを各1部提出
原本(電子媒体：撮影時のJPEG)及びアルバム(紙媒体又は電子媒体)を各1部提出
パネル入り（外部全景）完成写真　・要　⊙不要
施設CADデータ　・更新して提出　・更新しない

⑳ 保証書　(1.6.4)

防水工事　※屋上防水　・外壁防水　・金属屋根　・
建物引渡し日から10年間、受注者、施工者、材料ﾒｰｶｰの3者連名とし2部提出する。
上記以外　⊙１部提出

㉑ その他

・予備材料　※監督員の指示による　・
・下請契約　※全体及び県内に分け、契約数及び契約金額の総計を提出する。

2 仮設工事

① 足場その他　(2.2.4)

「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。

墜落制止用器具の使用は、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」(厚生労働省 H30.6.22)による。
⊙フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。

幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する（労働安全衛生規則第561条の2）

② 監督員事務所　(2.3.1)

規模　・既存建物内の一部を使用
・構内に新設　㎡
⊙設置しない（下記備品のみ用意する）請負業者事務所の一角に会議ｽﾍﾟｽ設置
備品（　　名分相当）
・机　・椅子　⊙書棚　・黒板　・掛時計　・寒暖計　⊙長靴　⊙雨合羽
⊙保護帽　⊙懐中電灯　⊙墜落制止用器具　⊙軍手　⊙衣類ロッカー
・冷暖房機器　・消火器　・湯沸器　・茶器　・掃除用具　・電話機
・ＦＡＸ　・電子メール通信機器　・スキャナー　・プリンター

③ 現場表示板　(2.3.1)(1.1.12)

※設置する（(1.1.12)による表示　※要　・不要）　・設置しない

④ 工事用水

構内既存の施設　※利用できない　⊙利用できる（※有償　・無償）

⑤ 工事用電力

構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（別途施設調整を行うこと）

⑥ 工事用搬入路

※図示　・

⑦ 仮囲い

※設置位置等は監督員の指示による　⊙図示

⑧ 交通誘導員

必要に応じ搬入路付近に交通誘導員を配置する。
配置箇所　※監督員の指示による　⊙図示

⑨ 快適トイレ

仕様　※図示　・

⑩ 家屋調査

仕様　※図示（家屋調査図）　・

3 土工事

① 埋戻し及び盛土　(3.2.3)

材料及び工法　※標準仕様書表3.2.1による
種別
・Ａ種　適用場所（　　）
⊙Ｂ種　適用場所（ 埋戻し土 ）
・Ｃ種　適用場所（　　）土質（　　）受渡場所（　　）
・Ｄ種　適用場所（　　）
（品質　細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。）
・材料（　　）　・工法（　　）

⊙六価クロム溶出試験　⊙行う　・行わない　(3.2.5)

② 建設発生土の処理　(3.3.3)

⊙場外搬出適切処理（搬出場所：高坂ヤード　東松山市高坂地先）
・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し
⊙UCRの受け入れに必要な土質調査を実施する。また、この調査による資料は他工区の工事へも利用する。

③ 山留めの撤去

鋼矢板等の抜き跡　※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる

4 地業工事　5 鉄筋工事　6 コンクリート工事　7 鉄骨工事

特記仕様書（構造関係）による

8 コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造　(8.2.2、3、5、7、8)

ブロックの種類

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・				・無　・有		

モルタルの調合(容積比)※標準仕様書表8.2.1による　・セメント(　　)：砂(　　)
各部の配筋　※図示　・
目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ
まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲
※図示による

2 コンクリートブロック帳壁及び塀　(8.3.2～7)

ブロックの種類

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・型枠状ブロック 20				・無　・有		

モルタルの調合(容積比)※標準仕様書表8.2.1による　・セメント(　　)：砂(　　)
塀に用いるブロックの正味厚さ　・
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状　※図示　・
各部の配筋　※図示　・
充填するブロックの範囲　・図示　・

3 ＡＬＣパネル　(8.4.2～5)

ＡＬＣパネルの区分等

区分		単位荷重(N/m²) 正荷重	負荷重	厚さ(mm)	幅及び長さ	耐火性能(時間)	構法の種別
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	・	・	・	図示による	・なし ・1	・Ａ種・Ｂ種
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	－	－	・	図示による	・なし ・1	・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種
・屋根用	－	－	・	・	・	図示による	・0.5	※Ｆ種
・床用	－	－	・	－	・	図示による	・1 ・2	

パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材　・
外壁・屋根パネルの構法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の耐風圧性能
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　・
目地幅
パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅パネル接合部、パネルと他部材との取合い部の目地幅（ mm）　※10～20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない

④ 押出成形セメント板（ＥＣＰ）　(8.5.2～5)

ECPの種類等

パネルの種類	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考
⊙外壁パネル	⊙Ｆ（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ）	⊙50・60・	600	・Ａ種 ⊙Ｂ種	
	・Ｄ（ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ）	・50・60	600		
	・Ｔ（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ）	60			
・間仕切壁パネル	・Ｆ（ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ）	・50・60・		・Ｂ種 ・Ｃ種	
	・Ｄ（ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ）	・50・60	600		
	・Ｔ（ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ）	60			

外壁パネルの工法における耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力の(⊙1・1.15・1.3)倍の耐風圧性能
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　・図示
パネル相互の目地幅（mm）　⊙長辺（ 10 ）　⊙短辺（ 15 ）
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅（mm）　※15程度　・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※パネルの製造所の仕様

やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認の上、施工計画書を提出する。

		孔あけ及び欠き込みの大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅
ﾊﾟﾈﾙに孔あけを設ける場合	短辺	ﾊﾟﾈﾙ幅の1/2以下、かつ、300mm以下		150mm以下
	長辺	500mm以下		300mm以下
ﾊﾟﾈﾙに欠き込みを設ける場合	短辺	ﾊﾟﾈﾙ幅の1/2以下、かつ、300mm以下		300mm以下
	長辺	500mm以下		300mm以下

9 防水工事

① アスファルト防水　(9.2.2～5)（表9.2.3～9）

屋根保護防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・Ａ－１			※ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｪﾙﾄ厚さ0.15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/m²程度 ※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/m²程度	⊙乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え ・れんが押え（※JIS R 1250） ・ﾓﾙﾀﾙ押え(屋内)
・Ａ－２				
・Ａ－３				
・Ｂ－１				
・Ｂ－２				
・Ａ Ｉ－１		（材質）※JIS A 9521による押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA(ｽｷﾝ層付き) (厚さ)⊙ 50mm　・		
⊙Ａ Ｉ－２				
・Ａ Ｉ－３				
・Ｂ Ｉ－１				
・Ｂ Ｉ－２				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・
立上り部への断熱材及び絶縁シート　※設置しない　・設置する
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・

⊙乾式保護材
窯業系パネルＩ類　厚さ（ 15 ）mm　幅（ 300 ）mm

屋根露出防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料
・Ｄ－１			種類 ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・ 使用量 ※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・
・Ｄ－２			
・Ｄ Ｉ－１		※標準仕様書9.2.2(9)(種類) (厚さ)(mm)	
・Ｄ Ｉ－２			

高日射反射率防水の適用G　※適用する　・適用しない
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書 表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名	S=
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	No Scale
	DATE 2025.09
図名　特記仕様書1	No. A-002

絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・種類（　　）　設置数量（　　）
屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・Ｅ－１		・Ｅ－２	

保護層　・設ける（※図示　・　）　・設けない
E-1の工程3を行う部位　※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げの種別]のＢ種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度　・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示　・　）　・適用しない
屋上排水溝　※図示　・

2 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水　(9.3.2、3)(表9.3.1～3)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	防湿用シート	仕上塗料
・ＡＳ－Ｔ１				種類 ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・ＡＳ－Ｔ２				
・ＡＳ－Ｔ３				
・ＡＳ－Ｔ４				
・ＡＳ－Ｊ１				
・ＡＳＩ－Ｔ１		（材質） ※標準仕様書9.3.2(3)(ｳ)による	・設ける（改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様による）	使用量 ※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・ＡＳＩ－Ｊ１		（厚さ） ・25mm　・50mm　・	・設けない	

高日射反射率防水の適用G　・適用する　・適用しない
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による　・
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※Ｒ種
厚さ　※（　　）mm以上　・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L—30×15×2.0(mm)程度　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
※改質アスファルト製造所の仕様による　・
・種類（　　）　設置数量（　　個）

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別　(9.4.2～4)(表9.4.1～3)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止用ｼｰﾄの材質	仕上塗料
・Ｓ－Ｆ１	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	※発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	種類・使用量 ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・Ｓ－Ｆ２			
・Ｓ－Ｍ１			種類・使用量 ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・Ｓ－Ｍ２			
・ＳＩ－Ｆ１	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	※発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	種類・使用量 ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・ＳＩ－Ｆ２			
・ＳＩ－Ｍ１			種類・使用量 ※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様 ・
・ＳＩ－Ｍ２		※発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	

合成高分子系ルーフィングシート防水工法（断熱工法）における断熱材G
SI-F1、SI-F2の場合　※標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(b)による　・
SI-M1、SI-M2の場合　※標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(a)による　・
(種類)　(厚さ)・25mm　・50mm　・
高日射反射率防水の適用G　・適用する　・適用しない
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様　※非歩行仕様　・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルムの設置
・設ける　・設けない
S-M2またはSI-M2の場合立上り部の工法
・接着工法
・機械的固定方法

屋内防水
防水層の種類

種別	施工箇所	保護層		
		平場の保護モルタル塗り		立上り部の保護ﾓﾙﾀﾙ塗り厚さ
		塗り厚さ	工法	
・S-C1		・　mm	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り ・	※７mm以下 ・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の割及び種類
目地割　※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
目地の種類　※押し目地
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書　表9.4.1から表9.4.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・
固定金具の材質、寸法、形状
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・種類（　　）　設置数量（　　個）
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示　・　）　・行わない
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別　S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示　・　）　・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力（・1　・　・　）倍の風圧力に対応した工法

④ 塗膜防水

※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする　(9.5.3)(表9.5.1～2)
防水層の種別

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層
・Ｘ－１		種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様 ・	
⊙Ｘ－２	庇、笠木天端 屋上基礎天端	種類・使用量 ※主材料の製造所の仕様 ・	
・Ｙ－１	※地下外壁防水 ・		
・Ｙ－２	※屋内防水 ・		・適用する ・適用しない

（Ｘ－１、Ｘ－２）高日射反射率防水の適用G　・適用する　⊙適用しない

ウレタンゴム系塗膜防水Ｘ－１の脱気装置の種類及び設置数量
※主材料の製造所の仕様
・種類（　　）　設置数量（　　個）

⑤ ケイ酸質系塗布防水

防水層の下地　(9.6.4)(表9.6.1)
壁　⊙コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　A種）
天井部　⊙コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　A種）
下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
※打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗いし清掃し、ｹｲ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙを充填
・図示　・
型枠締付け材にコーンが使用されている部位及びｹｲ酸質系塗布防水材の塗布面以外の下地処理
・図示　⊙　ポリマーセメントモルタル充填
（参考メーカー：日本バンデックス㈱）

⑥ シーリング

下表以外は、標準仕様書表9.7.1による　(9.7.2～5)(表9.7.1)
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
打継部、伸縮目地（砂壁状意匠塗材）	PS-2
打継部、伸縮目地（打放し部））	PU-2

仕上を行わない施工箇所（・図示による　・　）
シーリング材の目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
・図示　・
外部に面するシーリング材の接着性試験
※簡易接着性試験　・引張接着性試験

注　練り混ぜた２成分形シーリング材は、１組の作業班が１日に行った施工箇所を１ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。

⑦ 防水工事施工票

※設置する（　ヶ所）　(2.1.2)
（施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入）

10 石工事

1 施工

石材の割け寸　・図示　・　(10.1.3)

2 石材等

天然石　(10.2.1、3)(表10.2.1、2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・床石		・図示による			

ジェットバーナー仕上げの場合のバフ仕上げの有無
・あり　・なし

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・３００型 ・４００型		
	※大理石 ・花こう岩	※1.5～12 ・	・３００型 ・４００型		

その他の材料
取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、浸透性吸水防水材、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料
※専門工事業者の指定する製品　・
ドレンパイプの材質
・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き25～35φ

3 外壁湿式工法

受金物　(10.2.2、3)(10.3.2、3)
材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　L=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工　L=150mm
・
アンカーの材質及び寸法
※SS400　・
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類・　材質・　寸法・
ドレンパイプ　・設ける（設置位置：図示による）　・設けない
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法
・あと施工アンカー工法
・流し筋工法
目地
一般目地　・目地モルタル　（目地幅　・　）
・既調合の目地モルタル（目地幅　・　）
※シーリング材（種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　）
（目地幅及び深さ　・　）
伸縮調整目地
位置　・図示による
シーリング材の種類　※標準仕様書　表9.7.1による
目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示による

4 内壁空積工法

受金物　(10.2.2、3)(10.4.2、3)
材質　※SUS304　・
形状及び寸法　・L-75×75×6(mm)の加工　L=100mm又は150mm　・
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類・　材質・　寸法・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー・横筋流し工法
・あと施工アンカー工法

一般目地　・目地モルタル　（目地幅　・　）
・既調合の目地モルタル（目地幅　・　）
・シーリング材（種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　）
（目地幅及び深さ　・　）
伸縮調整目地
位置　・6mm程度
シーリング材の種類　※標準仕様書　表9.7.1による
目 地 寸 法

5 外壁乾式工法

金物の種類、形状、寸法等　(10.2.2、3)(10.5.2、3)(表10.2.4)
※標準仕様書表10.2.4による　・
取付け方式
・スライド方式　・ロッキング方式
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類・　材質・　寸法・
だぼ用の穴の位置　※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による　・図示
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
建築基準法に基づく風圧力の（・1、・1.15、・1.3）倍の風圧力に対応した工法
シーリング材　種類　※標準仕様書　表9.7.1による
目地幅及び深さ

6 床及び階段の石張り

透水性吸収防水剤　(10.6.2、3)
（床石張り）　・適用する　・適用しない
石裏面処理
（床石張り）　・適用する　・適用しない
（階段張り）　・適用する　・適用しない
裏打ち処理
（床石張り）　・適用する　・適用しない
一般目地　・目地モルタル　（目地幅　・　）
・既調合の目地モルタル（目地幅　・　）
・シーリング材（種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　）
（目地幅及び深さ　・　）
伸縮調整目地
位置　※標準仕様書　10.6.2(5)(ｲ)(a)による　・図示による
シーリング材の種類　※標準仕様書　表9.7.1による
目地寸法　※幅・深さとも10mm以上　・図示による

7 笠木、甲板等の石張り

取付け工法　・湿式工法　・乾式工法　(10.2.2)(10.7.2)
特殊部位用金物　標準仕様書10.2.2(3)参照
材質　※ステンレス（SUS304）　・
寸法　引金物　・
だぼ　・
かすがい　・
受金物　・
ファスナーの形状　・スライド式　・ロッキング方式
あと施工アンカーの材質及び寸法等　種類・　材質・　寸法・
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※70mm程度　・
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない
一般目地　・目地モルタル　（目地幅　・　）
・既調合の目地モルタル（目地幅　・　）
・シーリング材（種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　）
（目地幅及び深さ　・　）

11 タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　※標準仕様書 表11.1.1による　・図示　(11.1.3)(表11.1.1)
目地寸法　・図示

② 見本焼 試験施工

見本焼　・行う（施工箇所：　）　⊙行わない　(11.1.4)
試験張り　・行う（範囲、仕様等は図示による）　⊙行わない

③ セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状・寸法等　(11.2.2、3、6)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	うわぐすり 無ゆう	施ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用 G	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）　・MCR工法　・
壁タイル張りの工法
内外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

・既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

④ 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状・寸法等　(11.3.2～5)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ種	Ⅱ種	Ⅲ種	うわぐすり 無ゆう	施ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用 G	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
ﾎｰﾙ床	ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ	600角	・	・	・	・	・	・	⊙	⊙	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
※目荒し工法(高圧水洗処理)・MCR工法　・
目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系シーリング材　・
伸縮調整目地及びその他の目地　※変成シリコーン系シーリング材　・
外装タイルの目地詰め
・行う　・行わない
目地の色合い目地幅は監理者の承認を受ける。※参考メーカー　平田タイル ベレン

12 木工事

① 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量　(12.2.1)
※F☆☆☆☆ 又は 標準仕様書 12.2.1(1)(ｳ)(b)による

② 製材 G

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく　(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
下地用製材　(表12.2.2)

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※2級 ・	※A種　・B種		・
		※2級 ・	※A種　・B種		・

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種　・B種		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種　・B種		・
			※A種　・B種		・

③ 造作用集成材 G

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種・B種・		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		（　　） 造作材の場合（※A種・B種）	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	・
		（　　） 造作材の場合（※A種・B種）	※A種 ・B種	・適用する ・適用しない	・

(12.2.1)

⊙「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
敷居			桧	100×50	※１等　・２等	・
枠、鴨居			桧	100×40	※１等　・２等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板：芯材：				※１等・２等	・
		化粧薄板：芯材：				※１等・２等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下　・	・
				※15%以下　・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・	・
	化粧薄板：芯材：				※15%以下 ・	・

4 造作用単板積層材G

(12.2.1)

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質（化粧加工の有無）	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・有り(加工　・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級　・１等　・２等　・３等)	・する ・しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質（化粧加工の有無）	含水率	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・有り(加工　・天然木加工・塗装加工) ・無し(　　)	※14%以下 ・	・する ・しない	・
		・有り(加工　・天然木加工・塗装加工) ・無し(　　)	※14%以下 ・	・する ・しない	・

・JAS 3079に基づくＣＬＴ（直交集成板）G

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能（使用環境）	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・

5 合板等

(12.2.1)

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	※5.5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※２等以上　・１等 針葉樹 ※C-D以上　・		・する ・しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	板面の品質	単板の樹種名	強度等級	防虫処理の適用	間伐材等の適用
	※12 ・	※1類 ・特類	※2級以上 ・1級	※C-D以上 ・		・適用する（　） ・適用しない	・する ・しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理の適用	間伐材等の適用
			・1類　・特類	・する ・しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理の適用
		・1類　・2類		・する ・しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理の適用
		・1類　・2類			・する ・しない

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名　（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図名　特記仕様書2
S=　No Scale
DATE　2025.09
No.　A-003

・パーティクルボード Ⓖ

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法(mm)

・ＭＤＦ Ⓖ

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)

6 接合具等　造作材の化粧面の釘打ち　(12.2.2)
※隠し釘打ち　・釘頭埋め木　・つぶし頭釘打ち　・釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質
※かすがい、座金、箱金物及び短冊金物
（標準仕様書 表12.2.3～5に示す程度の市販品　表14.2.2のF種程度）
・　（形状：　寸法：　材質：　）

⑦ 接着剤　接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆　(12.2.2、3)

8 防腐・防蟻・防虫処理
・薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理　(12.3.1、2)

適用部材	保存処理性能区分
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
	・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（　）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（　）

⑨ 内部間仕切軸組及び床組み　間仕切軸組　※杉又は松　・　(12.4.1)
床組　※杉又は松　・

⑩ 窓、出入口その他　窓、出入口その他　吊元枠、水掛かりの下枠及び敷居　※ひのき　・　(12.5.1)
その他　※松又は杉　・

⑪ 床板張り　縁甲板及び上がりがまち　※ひのき　・　(12.6.1)

12 壁及び天井下地　壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木　※杉又は松　・　(12.7.1)

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺　(13.2.1～3)(表13.2.1)

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322の屋根用 着色　・有 ・	・５類（AZ150）	・0.4 ・0.5 ・	・心木なし瓦棒葺 ・立て平葺・縞掛葺 ・横葺　・	

下葺材料　・アスファルトルーフィング　940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ）
横葺きの場合のけらば納め
・つかみ込み納め　・けらば包み納め
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
雪止め　・設置する（施工箇所　※図示　・　）　・設置しない

2 折板葺　(13.2.2)(13.3.2、3)(材料：表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	防火性能
		山高	山ピッチ					
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形			（　）種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し

材料
鋼板の種類（※JIS G 3322の屋根用（着色　・有　・　））
塗膜の耐久性の種類、めっき付着量（・5種(AZ150)　・　）
断熱材　・有り（種別：　厚さ(mm)：　防火性能：　時間）
・無し
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用　・適用する　・適用しない
折板のけらば納め　※けらば包みによる方法　・
雪止め　・設置する（施工箇所　※図示　・　）　・設置しない

3 粘土瓦葺　(13.4.2、3)

施工箇所	種類			大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦の使用
	製法による区分	形状による区分	寸法による区分				
							・する ・しない
							・する ・しない

桟瓦の防災瓦の使用　・適用する　・適用しない
JIS A 5208 に基づく凍害試験等　※行わない　・行う（　）
瓦桟木　材質　※杉　・ひのき　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)以上　・
棟補強用心材　材質　※杉　・ひのき　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)以上　・
瓦緊結用釘又はねじ
種類（　）　径（　）　長さ（　）
棟補強等に使用する金物等
材質　・ステンレス製　・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法及び留付け方法　・図示　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等　※図示による
瓦桟木の留付け工法　※図示　・
棟の工法　・７寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル　・瓦葺き用しっくい

④ とい
といその他の材種　(13.5.2、3)(表13.5.1、2、4)
・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　⊙ルーフドレン
⊙表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類）：ガルバリウム鋼板　(89φ)
（※タニタ 大型丸たてとい89φ同等品）
といの受け金物
材種　※標準仕様書表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）　・
形状　※市販品（とい径100以下）　・25×4.5(mm)以上（とい径100超）
取付け間隔　※標準仕様書表13.5.2による　・
足金物
材種　※標準仕様書表13.5.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）⊙ ﾒｰｶｰ標準品
形状　※市販品　⊙ ﾒｰｶｰ標準品
取付け間隔　※標準仕様書表13.5.2による　・
多雪地域の場合の軒どいの取付間隔　※0.5m以下　・
防露材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
鋼管製といの防露巻き
※標準仕様書表13.5.4による　・
ルーフドレンの種類及び呼び

種　別		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100 ・125　・150	
⊙ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　⊙100 ・125　・150	
・バルコニー中継用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・バルコニー用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

⊙　養生管：アルミ製 89φ　ガルバリウム竪樋同色塗装（※タニタ 養生たてとい同等品）

14 金属工事

① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
※表面処理は標準仕様書表14.2.1による　(14.2.1)(表14.2.1)

種　別	施工箇所（成形版、笠木、建具以外）
・AB－1種	
・AB－2種	
・AC－1種	
・AC－2種	
・BA－1種	
・BA－2種	
・BB－1種	
・BB－2種	
・BC－1種	
・BC－2種	
⊙C 種	目隠しルーバー（ABC商会ﾘｹﾞﾅﾑ同等品）、水切り

陽極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色
色合等　・シルバー
・アンバー　・ブロンズ
・ブラック系　・ステンカラー　・
・特注色（　）

② 鉄鋼の亜鉛めっき　(14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	⊙Ａ種	図示
	・Ｂ種	
	・Ｃ種	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

③ 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類　(14.4.2～4)(表14.4.1)
屋外（※25形　・19形）　屋内（※19形　・25形）
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔　・図示　・
周辺部の端からの間隔　・図示　・
野縁の間隔　・図示　・
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法　※図示　・
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法　※図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所　※図示　・
補強方法　※図示　・
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

④ 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーの種類　(14.5.3、4)(表14.5.1)
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合　※図示　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※標準仕様書14.5.4(5)による　・

5 金属成形板張り　(14.6.2、3)(表14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理	
					種別	色合い等
・アルミニウム	・押出し ・ロール	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形				
	・プレス ・	パネル形				

取付け用下地　※標準仕様書14.4による　・図示　・
伸縮調整継手　・設ける（施工箇所　・図示　・　）　・設けない
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

6 アルミニウム製笠木
種類　・250形　・300形　・350形　(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)
表面処理　種別　（　）種
色合等　・標準色（　）
・特注色（　）
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

15 左官工事

① モルタル塗り
モルタル　⊙現場調合材料　・既調合材料　(15.3.2、5)
既製目地材　・設ける　施工箇所（　）　形状（※図示　・　）
⊙設けない
床の目地　・設ける（目地割り　※2㎡程度(最大目地間隔3m程度)　・　）
（種類　※押し目地　・　）
・設けない
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹付部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する　・適用しない

2 せっこうボード
その他のボード下地
せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ　(15.2.5)
種類（・GB-R　GB-L　・　）　厚さ（　mm）
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類（・　）　厚さ（　mm）

③ 仕上塗材仕上げ　内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量　(15.6.2)
※F☆☆☆☆　・

仕上塗材の種類
薄付け仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	
・外装薄塗材 Si	・	⊙砂壁状	
・可とう形外装薄塗材 Si	・	・ゆず肌状	
⊙外装薄塗材 E	⊙	（・吹付け・ローラー塗り）	ジョリパット JO-620同等品
・可とう形外装薄塗材 E	・	・さざ波状	
・防水形外装薄塗材 E	・	・平たん状	
・外装薄塗材 S	・	・凹凸状	
・内装薄塗材 C	・	（・吹付け　・こて塗り）	
・内装薄塗材 L	・	・着色骨材砂壁状	
・内装薄塗材 Si	・	（・吹付け　・こて塗り）	
⊙内装薄塗材 E	⊙	・砂壁状じゅらく	ジョリパット JO-200同等品
・内装薄塗材 W	・	吸放湿性・適用する・適用しない	

※外装薄塗材E（砂壁状意匠性塗材）は高耐候可とう性とする。
※砂壁状意匠性塗材の塗付パターンはアイカ工業 エンシェントブリック同等程度とする。

厚付け仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・外装厚塗材 C	・	・吹放し　・凸部処理　・平たん状
・外装厚塗材 Si	・	・凹凸状　・ひき起こし　・かき落とし
・外装厚塗材 E	・	
・内装厚塗材 C	・	吸放湿性　・適用する　・適用しない
・内装厚塗材 L	・	上塗材　・適用する　・適用しない
・内装厚塗材 G	・	外装厚塗材 C の上塗材 ・ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ　・
・内装厚塗材 Si	・	
・内装厚塗材 E	・	

複層仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・複層塗材 CE	・	・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状
・可とう形複層塗材 CE	・	
・複層塗材 Si	・	耐候性　※耐候形３種　・
・複層塗材 E	・	上塗材
・複層塗材 RE	・	溶　媒　※水系　・溶剤系　・弱溶剤系
・防水形複層塗材 CE	・	樹　脂　※アクリル系　・
・防水形複層塗材 E	・	外　観　※つやあり　・つやなし
・防水形複層塗材 RE	・	・メタリック

軽量骨材仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・吹付用軽量塗材	・	
・こて塗用軽量塗材	・	

4 マスチック塗材塗り　種別　・Ａ種　・Ｂ種　(15.7.2)

5 ロックウール吹付け
ロックウールのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・　(15.12.2、3)
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
吹付け厚さ(mm)　・図示　・25　・

6 しっくい塗り　しっくい　(15.10.2～4)
・既調合材料
色しっくい　・適用する　・適用しない
下地
・せっこうボード　・せっこうラスボード　・モルタル塗り　・木ずり
・こまい　・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合
既調合しっくいの調合
・せっこうボード下地　※標準仕様書表15.10.1
・モルタル塗り下地　※標準仕様書表15.10.2
・せっこうラスボード下地　※製造所の仕様による
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地　※標準仕様書表15.10.3
・せっこうプラスター下地、こまい下地　※標準仕様書表15.10.4
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・なで切り仕上げ　・パターン仕上げ

16 建具工事

① 防火戸　※建具表による　・　(16.1.3)

② 見本の製作等
建具見本の製作　・行う（建具符号：　）　⊙行わない　(16.1.4)
建具見本製作の目的等
特殊な建具の仮組　⊙行う（建具符号：ACW-1）　・行わない

③ 防犯建物部品　・適用する（※建具表による　・　）　⊙適用しない　(16.1.6)

④ アルミニウム製建具
性能値等（建具符号、枠の見込み寸法：建具表による）　(16.2.2～5)(表16.2.1、2)
耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級　※建具表による　・図示
外部に面する建具の種別

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・Ａ種	S-4	A-3	W-4	※図示による
⊙Ｂ種	S-5			※図示による ⊙ AW一般
・Ｃ種	S-6	A-4	W-5	※図示による
・Ｄ種	S-2	A-3	W-3	※図示による
・Ｅ種	S-3			※図示による

⊙防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　T-2　）
・断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ とする場合　断熱性の等級（　）
⊙防水ガラリ　⊙ 横型　⊙ 防水性能（　50%　）
枠の見込み寸法　※建具表による
材料　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具　種別　・BB-1種　⊙BB-2種　（標準仕様書表14.2.1）
着色　⊙標準色（黒）　・特注色
屋内の建具　種別　・BC-1種　・BC-2種　（標準仕様書表14.2.1）
着色　・標準色　・特注色
結露水の処理方法　・水貯め式　⊙排水式
工法　水切り板、ぜん板　※図示　・
木下地の場合の内付け建具　⊙適用しない・適用する

⑤ 網戸等　(16.2.3)

種類	材種	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製(黒) ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6 樹脂製建具　(16.2.5)(16.3.2～5)(表16.3.1～3)
性能値等（建具符号、枠の見込み寸法：建具表による）
耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級　※建具表による　・図示
外部に面する建具の種別

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	施工箇所
・Ａ種	S-4	A-4	W-4	※図示による
・Ｂ種	S-5		W-5	※図示による
・Ｃ種	S-6			※図示による
・Ｄ種	S-2		W-3	※図示による
・Ｅ種	S-3			※図示による

・防音ドア、防音サッシとする場合
遮音性の等級　・Ｔ－１種　・Ｔ－２種
・断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ とする場合
断熱性の等級　・H-4種　・H-5種　・H-6種　・H-7種　・H-8種
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
枠の見込み寸法　※建具表による
ガラス　※複層ガラス（組合せは建具表による）　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ
表面色　・標準色　・特注色
工法　水切り板、ぜん板　※図示　・
木下地の場合の内付け建具　・適用しない　・適用する

⑦ 鋼製建具
性能値等（建具符号：建具表による）　(16.2.2)(16.4.2～4)(表16.4.2)
⊙簡易気密型ドアセット　⊙適用する　・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
・耐風圧性の等級（・　）
・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　T-2　）
・断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ とする場合　断熱性の等級（　）
材料　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ　※標準仕様書　表16.4.2による　・　使用箇所（　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・

⑧ 鋼製軽量建具
性能値等（建具符号：建具表による）　(16.2.2)(16.5.2～4、6)
⊙簡易気密型ドアセット　・適用する　⊙適用しない
⊙防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　T-4　）
・断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ とする場合　断熱性の等級（　）
材料
鋼板　・亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　⊙カラー鋼板　・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ　※標準仕様書　表16.4.2による　・　使用箇所（　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法　※建具表による　・

⑨ ステンレス製建具
性能値等（建具符号：建具表による）　(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
・簡易気密型ドアセット（建具符号：・建具表による　・　）
外部に面する建具の耐風圧性
・耐風圧性の等級（・　）
・防音ドア、防音サッシとする場合　遮音性の等級（　）
・断熱ドア、断熱サッシ Ⓖ とする場合　断熱性の等級（　）
材料　ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ　※HL
形状及び仕上げ　表面仕上げ　※ＨＬ　・鏡面仕上げ　⊙　焼付塗装
工法　ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　⊙角出し曲げ

⑩ 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率　※Ａ種　・　(16.7.2～4)
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書16.7.2(2)(イ)(a)による
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 Ⓖ	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹１号　・　） 接着の程度（・１類　・２類）	
・天然木化粧合板 Ⓖ	樹種名（　） 接着の程度（・１類　・２類）	
・特殊加工化粧合板 Ⓖ	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度（・１類　・２類）	
・ＭＤＦ Ⓖ		

表面板の厚さ　※表16.7.6による　・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用　・適用しない　・適用する
・かまち戸
かまち樹種（　）　鏡板樹種（　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
⊙格子戸
かまち樹種（スプルス）両面格子樹種（スプルス）鏡板樹種（アクリル樹脂）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
⊙ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　⊙Ⅱ型）
上張り(押入等の裏側以外)　・鳥の子　⊙新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ　・塗り縁　⊙生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリア）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
表面板の仕上　・建具表による ⊙ 無地
・戸ふすま
表面板の仕上　・建具表による
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
⊙紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
枠及びくつずりの材料　・建具表による　・
金物の種類及び見え掛り部の材質等　(16.8.2、3)(表16.8.1)
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による　・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による　・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による　・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による　・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による　・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置
⊙建具表による　・

⑪ 建具用金物

⑫ 鍵　マスターキー　⊙製作する（　）　(16.8.4)
・製作しない
鍵の製作本数　※各室３本１組（室名札付き）
鍵箱　※有り　・無し

⑬ 自動ドア開閉装置
戸の開閉方式　(16.9.2)
⊙建具表による
引き戸用駆動装置
※標準仕様書　表16.9.1による（防鏡　⊙適用する　・適用しない）
⊙種類・開閉方式（引き分け）　⊙耐電圧（JIS A 4722の5.2.1）
⊙温度上昇（JIS A 4722）　⊙耐久性(サイクル)（50万以上）
⊙防鏡（JIS C 60068-2-52）　⊙電源（AC100V）
車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置（表16.9.2）
※標準仕様書　表16.9.2による（防鏡　・適用する　・適用しない）
・耐電圧（　）　・温度上昇（　）
・耐久性(サイクル)（　）　・防鏡（　）
・電源（　）
引き戸用検出装置（表16.9.3）
※標準仕様書 表16.9.3による（防鏡　⊙適用する　・適用しない）
・放射無線周波数電磁界耐性（　）　・耐電圧（　）
・防鏡（　）　・防滴（　）　・電源（　）
引き戸用検出装置の種類（表16.9.4）　⊙建具表による
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
凍結防止措置　・行う　⊙行わない

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南木町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名　（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図名　特記仕様書3
S=　No Scale
DATE　2025.09
No.　A-004

⑭自閉式上吊り引戸装置

性能　※標準仕様書表16.10.1による　・　(16.10.3)(表16.10.1)
・手動開き力（　　　）　・手動閉じ力（　　　）
・閉じ速度の調整（　　　）　・制動区間（　　　）
・開閉繰返し（　　　）　・耐衝撃性（　　　）

15　重量シャッター

シャッターの種類　(16.11.2、3)
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（　　　）pa
開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
急降下制御装置、急降下停止装置、障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　　）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
（設置箇所　・建具表による　・　　　）
管理用シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いる
スイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板　※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

16 軽量シャッター

開閉形式の種類　※手動式　・電動式（手動併用）　(16.12.2～4)
耐風圧強度　（　　）pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　　）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　（※Z06又はF06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量　（※AZ90　・　　）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125(1250Pa) ・100(1000Pa) ・75（750Pa) ・50（500Pa)	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置（設置箇所　・建具表による　・　　　）

⑱ガラス

(16.14.2～4)(図16.14.1)
適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さの組み合わせは建具表及び図面による。
フロート板ガラスの品種、厚さの呼びによる種類　※建具表による　⊙図示
型板ガラスの厚さによる種類　※建具表による　⊙図示
網入り板ガラス、線入り板ガラスの網、線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類　※建具表による　⊙図示

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに合わせガラスの合計厚さ、特性による種類　※建具表による　・図示
形状　・平面合わせガラス　・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性
・Ⅰ類　・Ⅱ－１類　・Ⅱ－２類　・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称、特性による種類
※建具表による　・図示
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類　・Ⅰ類　・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類
※建具表による　・図示
性能　・１種　・２種

⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による　⊙図示
断熱性による区分　・Ｔ１　・Ｔ２　・Ｔ３　・Ｔ４　・Ｔ５　・Ｔ６
日射取得性及び日射遮蔽性による区分　⊙Ｇ　・Ｓ
乾燥気体の種類　⊙空気　・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類　※建具表による　・図示
日射熱遮へい性による区分　・１種　・２種　・３種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が２種の場合）　・Ａ類　・Ｂ類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類　※建具表による　・図示

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	・図示による ※建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	・図示による ※建具の製造所の仕様による
ステンレス製	⊙シーリング材 ・	・図示による ※建具の製造所の仕様による
樹脂製	・グレイジングチャンネル ・	・図示による ※建具の製造所の仕様による

19 ガラスブロック積み

(16.14.5)

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材　・図示による
力骨　材質　※ステンレス鋼（SUS304）　・
寸法　※径5.5mm　・
形状　※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（・白　・グレー）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　※図示　・
形状　※図示　・
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔　・図示による
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による　・図示　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

17 カーテンウォール工事

①取付方法、性能等

取付け形態による分類　(17.1.3)
・層間方式　・柱・梁方式　・方立方式　・スパンドレル方式　⊙ セミユニット

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性（℃）
W-5	A-4			・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

耐風圧性
建築基準法に基づき定まる風圧力の（⊙1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	⊙たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること ・
4mを超える	・

性能の確認方法及び判定方法
※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

②メタルカーテンウォール

金属系材料の種類　(17.2.2、3、5、6)
⊙アルミニウム材　・鋼材　・ステンレス鋼材
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等　※図示による
ガラスの取付け材料
⊙シーリング　種類（・SR-2　⊙SR-1）
・構造ガスケット　形状、寸法等　・図示　・
断熱材 Ⓖ
種類及び範囲　※図示による
形状及び仕上げ
製品の寸法許容差　※標準仕様書表17.2.1による　・
見え掛り部の仕上げ　・
（アルミニウム材の場合）
規格等　※標準仕様書16.2.3による
種別　⊙ BB-2　（標準仕様書表14.2.1）
着色　⊙標準色　・特注色
（鋼材及びステンレス鋼材の場合）
ガラス溝の寸法、形状　※カーテンウォールの製造所の仕様　・
取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向　※±10mm　・
水平方向　※±25mm　・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅　※±3mm　・
目地の心の通り　※0～2mm　・
目地両側の段差　※0～2mm　・
各階の基準墨から各部材までの距離　※±3mm　・
耐火処理　適用部位、材料等　※図示による
ガラスの取付け材料
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法　※4辺支持　・
※　参考メーカー：YKKAP SYSTEMA9201c同等品

3 PCカーテンウォール

(17.3.2～6)(表17.3.1、2)
材料
コンクリート　種類　（・普通コンクリート　・軽量コンクリート1種　・　　）
品質　設計基準強度(Fc)　※30N/mm²　・
スランプ　※12cm　・
気乾単位容積質量
・普通コンクリートの場合　2.1t/m³を超え2.5t/m³以下
・軽量コンクリートの場合　1.8t/m³ ～ 2.1t/m³
・
単位水量の最大値　※185kg/m³　・
鉄筋　種類記号　※SD295
補強鉄線の径(mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
網目寸法　・
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等　※図示による
ガラスの取付け材料
・構造ガスケット　形状、寸法等　・図示　・
耐火処理
適用部位、材料等　※図示による
断熱材 Ⓖ　種類（　　　）
種類及び範囲　※図示による
先付けの材料
・表面仕上げ材　・セラミックタイル
・石材（・花こう岩　・大理石　・　　）
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール
・図示による
形状及び仕上げ
製品に見え掛り部の寸法許容差
辺長　※±3mm　・　ねじれ、そり　※0～5mm　・
対角線長の差　※0～5mm　・　曲がり　※0～3mm　・
版厚　※±2mm　・　面の凹凸　※0～3mm　・
開口部内法寸法　※±2mm　・　先付け金物の位置　※0～5mm　・
PCカーテンウォールの仕上げ　・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差
※図示による
製作
PC版の配筋　※図示による
取付け
躯体付け金物の取付位置の寸法許容差
鉛直方向　※±10mm
水平方向　※±25mm
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅　※±5mm　・
目地の心の通り　※0～3mm　・
目地両側の段差　※0～4mm　・
各階の基準墨から各部材までの距離　※±5mm　・
ガラスの取付け方法
・ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18 塗装工事

①材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(18.1.3)
※F☆☆☆☆

・防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする
・仕上表による

②素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗りの場合	・A種　※B種
鉄鋼面（DP以外）		・A種　・B種　※C種
鉄鋼面（DPのみ）		・A種　※B種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　⊙B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・A種　※B種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		・A種　※B種
押出成形セメント板面		・A種　※B種
コンクリート面（DPのみ）		※A種　・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種　・B種
	目地：継目処理工法以外	・A種　※B種

③錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	・A種　※B種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種　・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種

④塗装

(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	—
	木部屋内	・A種　※B種	
	鉄鋼面	・A種　※B種	
	亜鉛めっき鋼面	—	
・クリヤラッカー塗り（CL）		・A種　※B種	—
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		・A種　※B種	—
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級(2)級
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り塗料の等級(2)級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	**・A種 ⊙B種　・C種**	—
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	・A種　※B種	—
	屋内の木部、鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	・A種　※B種	—
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		・A種　※B種	—
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		・A種　※B種	—
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	—
・木材保護塗料塗り(WP)		・A種　※B種	—

⊙コンクリート保護材　高耐侯性低汚染性フッ素樹脂クリア（濡れ色防止、艶消し）
⊙ フッ素樹脂クリア　下地色合わせ左官補修
㈱セントラルコンクリート　ポルトガードAFエイジング同等品
⊙ フッ素樹脂カラークリア　下塗り：エポキシカチオン系シーラー
㈱セントラルコンクリート　ポルトガードAFエイジングプラス同等品
屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 Ⓖ とする。
クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
・適用しない　・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤)
・適用する　・適用しない
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
オイルステン塗りの工程等 ※製造所の仕様による

19 内装工事

①接着剤

(19.2.2)
ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示　⊙1階床及び調理実習室

②下地の工法

標準仕様書19.2.3(1)～(3)以外の下地の工法　・図示　・

③ビニル床シートⒼ

(19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ビニル床シート) ・ ・	・無地 ・マーブル柄 ⊙柄物	※2.0 ・	**一般：東リマチュアNW同等品 トイレ：東リNSトワル同等品 調理室： 東リNSアクアトレッド同等品**

接合部の処理　※熱溶接工法　・

4 ビニル床タイル Ⓖ

(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考
※KT(コンポジションビニル床タイル) ・TT(単層ビニル床タイル) ・FT(複層ビニル床タイル) ・FOA(畳敷きビニル床タイル) ・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	

⑤特殊機能床材

(19.2.2)

シート種別	厚さ、寸法、形状	性能	種類
・帯電防止床シート	(mm)		
⊙帯電防止床タイル	500×500×5.0 (mm)		
・視覚障害者用床タイル	(mm)	視覚障害者誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による	
・耐動荷重性床シート	(mm)		
・防滑性床シート	(mm)		
・防滑性床タイル	× (mm)		

⑥ビニル幅木

材質　⊙軟質　・硬質　・床シート巻上げ（端部の処理は図示）　(19.2.2)
高さ(mm)　※60　・75　・100
厚さ(mm)　※1.5以上　・

7 ゴム床タイル

(19.2.2)
色柄　（　　　）
厚さ(mm)　（　　　）
寸法(mm)　（　　　）

8 カーペット敷き Ⓖ

・織じゅうたん　(19.3.2、3)(表19.3.1)

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル

色柄、※模様のない無地
パイル糸の種類等　※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
帯電性　・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法　・つづり縫い
下敷き材　※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・

・タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する（　　） ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号　呼び厚さ8mm　・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆

⊙タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500× 500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方　平場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物　・材質、種類、形状等　※図示　・

⑨合成樹脂塗床

塗床材のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・　(19.4.2、3)(表19.4.4～8)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床			※平滑仕上げ
⊙アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970) （防塵塗料塗り）	**倉庫**	※製造所の指定による	工程 塗布量（kg/㎡） ※0.25kg/㎡以上 表面仕上げ ※平滑　・防滑 溶剤 ※水性　・溶剤系　・無溶剤系 仕上げ色 ※標準色　・

⑩フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量等　(19.5.2～5)(表19.5.1～6)
※標準仕様書19.5.2(2)による
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※F☆☆☆☆

単層フローリング
⊙フローリングボード１等
工法　⊙釘止め工法（⊙根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　※なら　・　カバ
仕上塗装　・塗装品　⊙無塗装品
間伐材等の適用　・する　⊙しない
・フローリングブロック１等
工法　※接着工法　・
樹種　※ なら　・
厚さ（mm）　・
大きさ　・
仕上塗装　・塗装品　・無塗装品
間伐材等の適用　・する　・しない
複合フローリング
⊙天然木化粧複合フローリング
工法　・釘止め工法（・根太張り　・直張り）　⊙接着工法
樹種　※なら　・
種別　⊙Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
仕上塗装　⊙塗装品　・無塗装品
間伐材等の適用　⊙する　・しない
接着工法の場合の不陸緩和材　※合成樹脂発泡シート　・
・現場塗装仕上げ　※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

⑪畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)
種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン Ⓖ ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳 （畳表：・C1　・C2）
⊙合成畳　大きさ：870×870～1850　厚さ：15　アドバン　ボロン畳同等品

⑫せっこうボード、その他のボード及び合板張り

ＭＤＦ、パーティクルボード及び接着剤の　(19.7.2、3)(表19.7.1)
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量　※標準仕様書 19.7.2(2)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか

木毛セメント板

種　類	厚さ（mm）、規格等
⊙硬質木毛セメント板 Ⓖ	・15　⊙20　・25　**⊙不燃材**
・中質木毛セメント板 Ⓖ	・15　・20　・25　・
・普通木毛セメント板 Ⓖ	・15　・20　・25　・

木片セメント板

種　類	厚さ（mm）、規格等
・硬質木片セメント板 Ⓖ	・12　・15　・18　・21　・
・普通木片セメント板 Ⓖ	・30　・

繊維強化セメント板

・けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ2(無石綿)　・6　・8
⊙化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ2(無石綿)　⊙6　・8 表面への化粧張り等の加工　⊙アクリル樹脂系焼付

火山性ガラス質複層板

・火山性ガラス質複層板	・図示による

繊維板

ハードボード スタンダードボード（無処理）	・素地ハードボード(・未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・内装用化粧ハードボード(DE) 厚さ　・2.5　・3.5　・5　・7
ハードボード テンパードボード（処理）	・素地ハードボード(・未研磨板(RN)・研磨板(RS)) ・外装用化粧ハードボード(DE) 厚さ　・2.5　・3.5　・5　・7
・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）Ⓖ	・3　・7　・9　・12　・
・インシュレーションボード Ⓖ	Ａ級（・天井仕上　・内装仕上　・　　） ・9　・12　・15　・18

パーティクルボード

・単板張りパーティクルボード Ⓖ	・無研磨板 VN　・研磨板 VS ・10　・12　・15　・18　・
・化粧パーティクルボード Ⓖ	・単板オーバーレイ DV　・プラスチックオーバーレイ DO ・塗装 DC ・10（難燃）　・12（難燃）　・

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成
埼玉事務所　さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル　TEL 048-762-9767　FAX 048-762-9787
東京事務所　東京都中央区湊二丁目2番5号　TEL 03-6262-8278　FAX 03-3206-0288

APPR	CHKD	DRAWN

工事名　（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
S=　No Scale
DATE　2025.09
図名　特記仕様書4
No.　A-005

吸音材料

⊙ロックウール化粧吸音板(DR)	⊙フラットタイプ (・9(不燃)　⊙12(不燃)　・　)
・ロックウール吸音ボード1号	・25　・
・グラスウール吸音ボード32K	・25(ガラスクロス包)　・
⊙グラスウール吸音ボード96K	⊙25(ガラスクロス包)　⊙30(塩ビシート張)

※GW吸音ボード96k t=30は㈱セラーズ ピンホールパネル同等品とする。

・せっこうボード製品

⊙せっこうボード(GB-R)	⊙9.5(準不燃,不燃)⊙12.5(不燃)・15(不燃)
⊙不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5(準不燃)・化粧無(下地張り用) ⊙化粧有(クロス柄)
⊙シージングせっこうボード(GB-S)	12.5(※不燃　・準不燃)
⊙強化せっこうボード(GB-F)	⊙12.5(不燃)　・15(不燃)
⊙普通硬質せっこうボード(GB-H)	⊙9.5(不燃)
・せっこうラスボード(GB-L)	9.5
・化粧せっこうボード(GB-D)(木目)	12.5(不燃)　幅440mm程度 模様(・柾目　・板目)専用下地材有り
⊙化粧せっこうボード(GB-D) (トラバーチン模様)	9.5(準不燃)
⊙磁性せっこうボード	⊙12.5(不燃)　(掲示用)

合板

・普通合板 G	表板の材種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度　・　) 不透明塗料塗り (※しな合板程度　・　) 板面の品質(　) 厚さ(mm)　※図示による　・ 防虫処理　・行う　・行わない
・天然木化粧合板 G	化粧板の樹種名(　) 厚さ(mm)　※図示による　・ 防虫処理　・行う　・行わない
・特殊加工化粧合板 G	化粧加工の方法(・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装) 表面性能(　)タイプ 厚さ(mm)　※図示による　・ 防虫処理　・行う　・行わない

化粧板

⊙メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による厚さ(※1.2　・　)
・ポリエステル樹脂化粧板	

※　参考メーカー　アイカ工業　セラール同等品

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合　※図示　・
合板類の張付け　・A種　・B種
せっこうボードの目地工法等　目地工法の種類　※仕上表による　・

突付け工法のエッジの種類	・ベベルエッジ	・スクェアエッジ
目透かし工法のエッジの種類	・ベベルエッジ	・スクェアエッジ

13 壁紙張り

壁紙のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・　(19.8.2、3)

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考
	紙	織物	塩化ﾋﾞﾆﾙﾌﾟﾗｽﾁｯｸ		無機質	その他		
	・	・	・	・	・	・	⊙不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別　・A種　※B種
コンクリート面の素地ごしらえの種別　・A種　※B種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別　・A種　※B種

⑭断熱材 G　(19.9.2～4)

ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ断熱材、保温剤又は接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆　・

※断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
⊙押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし) (・2種bA　⊙3種bA　・3種bC　・3種bD)	⊙ 30	⊙ 1,屋階ｽﾗﾌﾞ下
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
・フェノールフォーム断熱材	・	・

⊙断熱材現場発泡工法
断熱材の種類　・A種1　⊙A種1H
吹付け厚さ(mm)
施工箇所　・図示　⊙ 25

20 ユニット及びその他工事

① フリーアクセスフロア　(20.2.2)

施工箇所	構　法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備　考
事務室 印刷室	・置敷式 ⊙支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	⊙3,000 ⊙5,000	⊙帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000 ・5,000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

※参考メーカー　フクビ　同等品

フリーアクセスフロアスフロアの試験方法
※標準仕様書20.2.2(2)(ｲ)(a)～(d)による　・
寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による　・
・以下による
パネルの長さの寸法精度(　)
パネルの平面形状(角度)の寸法精度(　)
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度(　)
帯電防止性能
・評価値(U)≧0.6以上
・評価値(U)≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗(R)≧$1\times10^6\Omega$

② 可動間仕切　(20.2.3)

パネル材料のホルムアルデヒド放出量　※F☆☆☆☆　・

構造形式	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性(db/500HZ)	防火性能
	ｽﾀｯﾄﾞ	パネル			
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ⊙スタッドパネル式	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	⊙メラミン樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ⊙ガラス製	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	⊙不燃

パネル内に取付ける建具　⊙あり(※図示　・　)　・なし
パネル内に取付ける建具のドアクローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書 16章 8節 の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

③ 移動間仕切　(20.2.4)

パネル材料のホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・

構造形式	操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性(dB/500Hz)
				材質	仕上げ	
⊙平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ⊙ハンドル式 ・		⊙鋼板 ・	⊙焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ⊙36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hz帯についての透過損失とする。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

④ トイレブース　パネル材料のホルムアルデヒド放射量　※F☆☆☆☆　・　(20.2.5)

表面材の種類	脚部種類	ドアエッジの材質	ドアエッジの形状
・メラミン樹脂系化粧板 ⊙ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※製造所の標準仕様 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	・標準 ⊙Rタイプ

⑤ 手すり　(20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・SUS304　表面処理　※HL程度　・
⊙鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき(※標準仕様書 表14.2.2による種別(A 種))
・アルミニウム　表面処理(※標準仕様書 表14.2.1による種別(　種))
色合等　・標準色(　)　・特注色(　)
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
⊙集成材(材種：ﾅﾗ)	・ｸﾘｱﾗｯｶｰ ⊙ UC	・30程度⊙35程度　・45程度	階段室	
・ﾋﾞﾆﾙ製ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ	・	・30程度・35程度　・45程度		
・樹脂被膜ﾀｲﾌﾟ	・	・34φ		

⑥ 階段滑り止め　(20.2.7)

材種　⊙ステンレス製　・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材　・
形状　※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等)　・タイヤレス製
端部の形状　フラットエンド　・あり　⊙なし
寸法(幅)　⊙35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法　※接着工法　・埋め込み工法　・

⑦ 黒板及び ホワイトボード G　(20.2.9)

・黒板　区分　※焼き付け　・
種類　・ほうろう　・鋼製　・
色　※緑　・
⊙ホワイトボード(　)

⑧ 鏡　(20.2.10)

取付箇所(　図示　)
寸法(mm)　⊙図示　・
厚さ(mm)　※ 5　・

⑨ 表示　(20.2.11)

衝突防止表示
⊙設置場所　※図示による
形状・寸法(・30φ　⊙図示　)
材質　(・ステンレス製　⊙塩ビシート　)
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示　※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による　(参考メーカー：アプトサイン)

⑩ タラップ　(20.2.12)

材質及び仕上げ
⊙SUS304(スリップ止め加工　※あり　⊙なし　)
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
(※標準仕様書表 14.2.2による種別(※C種　・　種))

11 煙突ライニング　適用安全使用温度　・　(20.2.13)

工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)

⑫ ブラインド　(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの材種	ｽﾗｯﾄ幅(mm)	ｶﾞｲﾄﾞｳｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
⊙横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・	⊙図示 ・
	・電動	―				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	―				

縦型ブラインドのスラットの材質
アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 G とする

13 ロールスクリーン　(20.2.15)

操作方法　・スプリング式　・コード式　・電動式
幅、高さ、取付箇所　・図示　・
材種　・ガラス繊維製　・合成・天然繊維製
品質等　・
その他の材料　※ロールスクリーンの製造所の仕様による　・
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

⑭ カーテン　(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
⊙シングル ・ダブル	⊙片引き ⊙引分け	⊙手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ⊙ﾌﾟﾚｰﾂひだ		⊙図示 ・	
					(暗幕)

※集会室舞台用カーテン　エコブラッシュ(参考メーカー：東リ)
生地の仕様　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

⑮ カーテンレール　材料による区分　※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材　(20.2.16)
・ステンレス製
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　⊙白色焼き付け塗装(既製品)　※アルマイト
形状　※角形　・

⑯ ブラインドボックス及びカーテンボックス
溝幅×深さ(mm)　・90×150　・120×80　・120×150　・150×80　⊙図示
材種　・集成材(仕上げ：　)
・アルミニウム製　押出し型材(市販品)
種別(標準仕様書表14.2.1)　・BC-1種　・BC-2種
色合い　・標準色(　)　・特注色(　)
⊙鋼製(仕上げ：SOP)

⑰ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形 ・気密形	・屋内外用 ⊙屋内用	・額縁タイプ ⊙目地タイプ	・額縁タイプ ⊙目地タイプ

⑱ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・600φ	⊙一般形 ・密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙鍵付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

⑲ 耐震スリット

方向	幅(mm)	タ　イ　プ	耐火性能	防水性能	備考
⊙垂直 ⊙水平	⊙25 ・	※完全(全貫通型) ・	⊙耐火型 ・非耐火型	⊙有り ・無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材(見え掛かり部のみ) ・	・ｼｰﾘﾝｸﾞ材(見え掛かり部のみ) ⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ材(内外とも)
目地寸法(幅mm×深さmm)	・スリット幅×深さ10 ・	⊙スリット幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による。

⑳ 止水版
形式　・差込式　⊙据置式　・壁張り式
施工箇所　・図示　⊙ピット内

21 エキスパンション・ジョイント金物

材質	階区分	建築物間のｸﾘｱﾗﾝｽ(mm)	変位追従性(mm)	耐火性能	断熱性能	備考
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製	(　)階～(　)階 (　)階～(　)階	・50 ・100 ・150 ・	(避難経路の床等) ・　以上 (その他) ・　以上	・有り(　) ・無し	・有り(　) ・無し	

外部は防水型とする。
エキスパンションジョイントカバーには、脱落防止措置を講ずる。

22 くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製 ・	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉓ 流し台ユニット

材種	寸法(mm)			備考
	W	D	H	
⊙流し台	⊙1200 ・1500 ・1800	・550 ⊙600 ・650	⊙800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能　外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状　※図示　・　※給湯室キッチン ミラタップ　ブレーンKプティ同等品

㉔ 旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
⊙アルミニウム合金製 ・	⊙テーパー式 ・同一断面式	4.000	⊙ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ⊙ベース式 ・バンド式	⊙焼付塗装

㈱サンポール　FP-4BS同等品)

25 旗竿受金物　材種　・ステンレス製(SUS304)　・

㉖ 車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
⊙上下式鎖内蔵式	⊙標準品 ・スプリング式	⊙ステンレス製 ・	⊙図示	⊙図示
・				

㉗ フェンス
フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス　・アルミフェンス
高さ　⊙図示　・

28 プレキャストコンクリート　(20.3.2～4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m³ を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督員に提出する。　・図示
取付け方法
※図示　・

29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み　(20.4.2、3)

	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	―	―	
・コンクリート間知ブロック	―		・A　・B	

積み方　※谷積み　・布積み
目塗り　・図示　・
伸縮調整目地　材種　・図示　・
厚さ　・図示　・

㉚ 鋼製書架及び物品棚

種　類	規　格　等	JIS による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種　・
⊙図書室書架	⊙ 図示	

31 屋内掲示板
枠の材質　※アルミニウム製　・
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

32 洗面カウンター
材種　・メラミン樹脂化粧板張り(芯材：集成材)　・人工大理石
奥行き(mm)　・約450　・約600　形状・ 図示

33 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備　考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ(mm)	備　考
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)

34 屋外掲示板
照明器具　※有り　・無し
施錠　※有り　・無し
製造所　(　)

㉟ 収納家具　材質、形状、寸法　※図示(参考メーカー：帝国機材㈱)　・
材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

㊱ 防音工事　材質、形状、寸法　※図示
材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

㊲ 集会室鋼製床組　材質、形状、寸法　※図示　(㈱染野製作所 900-L形同等品)　・

㊳ ユニットフロア　乾式二重床　H=100　パーティクルボード厚20mm 捨張合板厚15mm

㊴ 音響調整パネル　ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ複合浮床防振材(日本ゲッツナー㈱シロマーブロック厚25同等品)

㊵ ガラス手摺　強化ガラス自立手摺　強化ガラスt=8+10合わせガラス
はかま　St-190×9.0加工SOP　笠木　St-25×30×1.2 SOP
(日本板硝子　タフライトフェンスニューFF工法　同等品)

㊶ ルーバー　アルミ型材 仕上げ　150×50　150×30
(㈱ABC商会 リグナム同等品)
支持材　溶融亜鉛メッキB種　リン酸処理

㊷ のれん　蕨双子織　1800W×2800H(蕨市商工会議所指定品)

㊸ 可動ステージ　電動式壁面収納折畳みｽﾃｰｼﾞ　7000H×4000D×400H(参考メーカー：ニチブ)

㊹ 駐輪場　アルミ合金製　28054W×1937D×1900H 告示第410号認定品
(LIXIL SCミニ同等品)

㊹ 点字鋲　ステンレス製　セラミック溶射塗装
(UNION UY500、UY502同等品)

㊺ 消火器置場　スチール製　248W×248D×H600(消火器は備品)
(UNION UFB-3F-2800同等品)

㊻ AEDケース　スチール製　壁掛型　350W×175D×H370(AEDは備品)
(UNION UAB-401同等品)

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録(5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南木町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名　(仮称)蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図名　特記仕様書5
S=　No Scale
DATE　2025.09
No.　A-006

21 排水工事

① 屋外雨水排水

材料 (21.2.1、2)(表21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（1種）	・B形管 ・	※図示　・	
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	⊙VP		※図示　・	
	・VU		※図示　・	
	・RF-VP Ⓖ		※図示　・	
	・RS-VU Ⓖ		※図示　・	

基床の厚さ及び種類　・図示　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　※接着剤　・ゴム輪
側塊の形状及び寸法　・図示　・
排水桝、ふたの種類　・図示　・
砂地業に用いる材料(標準仕様書4.6.2(2))
　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料(標準仕様書4.6.2(1))
　・再生クラッシャラン Ⓖ　・切込砂利　・切込砕石
現場打ちの場合のコンクリート材料
　種類　※普通コンクリート
　設計基準強度　※18N/mm²　・
　スランプ(cm)　※15又は18
現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295　・
排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物
　※標準仕様書21.2.2(6)(ｵ)
　・ステンレス製　・鋼製　・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層の厚さ　・図示　・
凍上抑制層に用いる材料　・
（砂を用いる場合の粒度試験）・行う　・行わない

2 鋳鉄製ふた

鋳鉄製マンホールふた (21.2.1)

種類	適用荷重	鍵	備考
・水封形 ・簡易密閉形(パッキン式) ・密閉形(テーパ・パッキン式) ・中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式) ・	・T－2用 ・T－6用 ・T－20用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は、(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。

③ グレーチング

・鋼製 (21.2.1)

形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
⊙受枠付き、ボルト固定 ・	⊙溝ふた(横断用) ⊙溝ふた(側溝用) ⊙桝ふた ・U字溝用	⊙歩行用	⊙細目 ・	・(　　) ・	・凹凸形 ・
		・T-2用 ⊙T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ・	・普通目 ⊙細目	・(　　) ・	・平形 ・

・ステンレス製

形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・桝ふた ・U字溝用	・歩行用	・	―	・凹凸形 ・
		・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 ・	・	―	・平形 ・

④ 街きょ、縁石、側溝

(21.3.1、2)(表21.3.1)

種類	形状、寸法
⊙縁石	・図示　・
・L形側溝	・図示　・
⊙U形側溝	・図示　・
・U形側溝ふた	・図示　・
・	・図示　・

砂地業に用いる材料
　・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
　・再生クラッシャラン Ⓖ ・切込砂利　・切込砕石
砂利地業の厚さ　※100(mm)　・図示
現場打ちの場合のコンクリート材料
　種類　※普通コンクリート
　設計基準強度　※18N/mm²　・
　スランプ(cm)　※15又は18
現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　※SD295　・
凍上抑制層に用いる材料　・
（砂を用いる場合の粒度試験）・行う　・行わない

⑤ 埋戻し

・B種 (21.2.1)

22 舗装工事

① 路床

路床の材料 (22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 Ⓖ	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン Ⓖ　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（標準仕様書21.2.2による） ・	・図示 ・
・フィルター層	・標準仕様書22.2.3(3)による ・	・図示 ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ）・行う　・行わない

・路床安定処理
　安定処理の方法　・安定処理工法　・置き換え工法
　　添加材料による安定処理
　　種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種 Ⓖ
　　・フライアッシュセメントB種
　　・生石灰（・特号　・1号）　・消石灰（・特号　・1号）
　　添加量　・　kg/m³（CBR　・3以上　・　）

・不織布（ジオテキスタイル）
　単位面積質量　・60g/m²以上　・
　厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
　引張強さ　・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
　透水係数　・1.5×10⁻¹cm/sec以上　・

試験
　路床土の支持力比（CBR）試験　・行う（　箇所）　・行わない
　現場CBR試験　・行う（　箇所）　・行わない
　安定処理土のCBR試験　・行う　・行わない
　路床締固め度の試験　・行う（　箇所）　・行わない
　六価クロム溶出試験　・行う　・行わない

② 路盤

路盤及び厚さ　・図示　・ (22.3.2、3)(表22.3.1)
路盤材料（標準仕様書 表22.3.1による種別）

種別	
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	・再生クラッシャラン Ⓖ
	・再生粒度調整砕石 Ⓖ
鉄鋼スラグ	・クラッシャラン鉄鋼スラグ Ⓖ
	・粒度調整鉄鋼スラグ Ⓖ
	・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ Ⓖ

③ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・ (22.4.2～4、6)(表22.4.1、4)
材料及び種類
　アスファルト　・再生アスファルト Ⓖ
　　（標準仕様書 表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
　　・ストレートアスファルト
　骨材　・道路用砕石
　　・アスファルトコンクリート再生骨材 Ⓖ
加熱アスファルト混合物等の種類
　・密粒度アスファルト混合物（13）
　・細粒度アスファルト混合物（13）
　・密粒度アスファルト混合物（13F）
試験
　アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性
　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

④ コンクリート舗装

構成及び厚さ (22.5.2～4)(表22.5.1～3)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	・車路、駐車場	※図示	・図示
	・歩行者用通路	※図示	※70　・

材料
　コンクリート
　　※普通コンクリート　標準仕様書表22.5.1による　・
　　・以下による
　　コンクリートの種類　・
　　設計基準強度(N/mm²)　・
　　所定のスランプ(cm)　※8　・
　　粗骨材の最大寸法(mm)　・
　早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
　注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地
　種類　※標準仕様書表22.5.3による　・
　間隔　※標準仕様書表22.5.3による　・　m程度ごと
　構造　※標準仕様書図22.5.1による　・図示
舗装の平たん性
　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

5 カラー舗装

・加熱系カラー舗装 (22.6.2～4)
　構成及び厚さ　※図示　・
　加熱系混合物の結合材
　　・アスファルト混合物
　　・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　　%）
　添加材
　　着色骨材　（　　）
　　自然石　（　　）
・常温系カラー舗装
　工法　・ニート工法（配合その他：　　）
　　・塗布工法　（配合その他：　　）
　着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装
　舗装の平たん性
　　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・

⑥ 透水性舗装

・透水性アスファルト舗装 (22.7.2、3、6)
　舗装の構成及び厚さ　※図示　・
　材料
　　骨材　・道路用砕石
　　・アスファルトコンクリート再生骨材 Ⓖ
　　（標準仕様書 表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
　舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの　・
　試験
　　開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
・透水性コンクリート舗装 (22.5.2～4、6)
　コンクリート舗装に対する基準値

項目	基準値
最大粒径　(mm)	13
空隙率　(%)	20以上
透水係数　(cm/s)	1×10^{-2}以上
目地の間隔	版厚の20倍程度

出典：構内舗装・排水設計基準の資料（H27）、舗装施工便覧（H18）

　構成、厚さはコンクリート舗装による

・不織布（ジオテキスタイル）
　敷設位置　※フィルター層と路床の間の敷設　・図示
　単位面積質量　・60g/m²以上　・
　厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
　引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
　透水係数　・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

・透水性コンクリート平板舗装 (22.8.2、3)
　透水性コンクリート平板舗装は、ブロック系舗装による

・透水性インターロッキングブロック舗装 (22.8.2、3)
　透水性インターロッキングブロック舗装は、ブロック系舗装による

⊙透水性高炉スラグ舗装
（三和グランド(株)　カラーサンド同等品）

7 半たわみ性舗装

区分	種類	厚さ(mm)
表層	半たわみ性舗装用アスファルト混合物Ⅰ型(13)	40
基層	再生粗粒度アスファルト混合物(20)	40

試験
　半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

材料
　浸透用セメントミルクの標準的な性状

項目	性状	試験方法
フロー値(Pロート)砂	10～14	舗装調査・試験法便覧（C041）
圧縮強度（7日養生）MPa	9.8～29.4	JIS R 5201
曲げ強度（7日養生）MPa	2.0以上	舗装調査・試験法便覧（C042）

配合
　半たわみ性舗装用アスファルト混合物の標準配合

ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率（%）
19.0　mm	100
13.2　mm	95～100
4.75　mm	10～ 35
2.36　mm	5～ 22
600　μm	4～ 15
300　μm	3～ 12
75　μm	1～ 6
アスファルト量（%）	3～ 4.5

半たわみ性舗装用アスファルト混合物のマーシャル安定度試験に対する基準値

項目	基準値
密度　(g/cm³)	1.9以上
安定度　(kN)	2.94以上
フロー値　(1/100cm)	20～40
空隙率　(%)	20～28
突固め回数（回）	50

施工
　半たわみ性舗装用アスファルト混合物等の施工は、標準仕様書22.4.5による。
　浸透用セメントミルクの施工は、(1)から(5)による。
　(1) 浸透用セメントミルクの製造は、一般に移動式ミキサによって行うが、工事規模が大きい場合には専用の移動式や固定式の混合プラントを用いることもある。
　(2) 浸透用セメントミルクの施工は、一般に舗装体表面の温度が50℃程度以下になってから行う。その場合、舗装体にごみ、泥、水などが残っていないことを確認する。浸透作業は、一般に振動ローラ等により行う。
　(3) セメントミルクが舗装表面に残っていると、路面のすべり抵抗値を低下させることがあるので、舗装表面の骨材の凹凸が現れる程度にセメントミルクをゴムレーキ等で除去する。特にすべり止め対策を必要とするところは、硅砂の使用及び余剰セメントミルクのよりいっそうの除去等、材料や施工法等で対処するか、場合によっては施工後ショットブラスト等で表面を粗くすることが必要である。
　(4) 交通開放までの一般的な養生期間は、下表に示すとおりである。

セメントミルクの種類	養生期間
普通タイプ	約 3 日
早強タイプ	約 1 日
超速硬タイプ	約 3 時間

　(5) 浸透用セメントミルクを注入する前に交通開放すると、骨材の剥奪や飛散、またはごみ、泥等による汚れが生じることがあるので、基本的には注入前に交通開放を行わないようにする。

締固め度　標準仕様書22.4.2(2)による
舗装厚さの許容差　※標準仕様書 22.4.2(3) による
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

8 弾性舗装

弾性舗装（歩行者用通路）の構成及び厚さ　※図示　・

区分	種類	厚さ(mm)
表層	弾性舗装材	15～20
基層	再生密粒度アスファルト混合物（13）	30

加熱アスファルト混合物は、アスファルト舗装による

9 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 Ⓖ (22.8.2、3)
　※図示　・

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60 ・	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し
敷砂層	・砂 ・空練りﾓﾙﾀﾙ			

　クッション材　※砂　・空練りモルタル

　普通平板はⒼ（再生材料を用いた舗装用ブロック）、
　透水平板はⒼ（透水性コンクリート）とする。

　仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
　・

・インターロッキングブロック舗装 Ⓖ

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	横断面勾配	目地材	備考
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	車路、駐車場	・図示 ・	80	※5.0	2%	砂	色彩、表面加工 ・標準品 ・
※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	歩行者用通路	・図示 ・	60	※3.0	1.5～2%		

　クッション材　※砂　・空練りモルタル
　歩行者用通路に使用する普通ブロックは Ⓖ（再生材料を用いた舗装用ブロック）、
　透水性ブロックは Ⓖ（透水性コンクリート）とする。

　仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm以内とする。
　・

区分	部位	厚さ(mm)	種類
敷砂層	・車路、駐車場	20	砂
	・歩行者用通路	30	
フィルター層		100	川砂、海砂又は良質な山砂 （75μmふるい通過量6%以下）

・不織布（ジオテキスタイル）
　敷設位置　※図示
　　・敷砂層と路盤の間に敷設　・フィルター層と路床の間に敷設
　単位面積質量　・60g/m²以上　・
　厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
　引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
　透水係数　・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・
　舗装の割付（車路、駐車場）
　　・ヘリンボンボンド(45°)　・ヘリンボンボンド(90°)
　仕上り面の平たん性　※走行、歩行に支障となる段差がないものとし、ブロック間の段差は3mm 以内とする。

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
・花こう岩 ・	・割石・図示 ・	・	・うろこ張り ・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ版 ・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	※70　・ ※70　・

　クッション材　※砂　・空練りモルタル
　仕上り面の平たん性　※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm 以内とする。
　・

⑩ 砂利敷き

種別 (22.9.2)(表22.9.1)
　・A種（施工範囲：・図示　・通路　・　）
　・B種（施工範囲：・図示　・建物周囲他　・　）

⑪ 路面標示用塗料

路面標示用塗料は JIS K 5665 による。

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・1種 Ⓖ	常温	液状	・白 ・	・150 ・100	・1.0 ・
・2種 Ⓖ	加熱				
※3種1号	溶融	粉体状			

Ⓖ 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

① 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度（pH）試験　・行う　・行わない (23.1.3)
電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない

② 植栽基盤の整備

(23.2.2)

植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・薬張り部分 ・植栽帯部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　）　・設けない

③ 植込み用土

・現場発生土の良質土　・客土　・ (23.2.3)

4 土壌改良材

種類及び指定量等 (23.2.3)
・バーク堆肥 Ⓖ
　施工箇所　※植栽範囲　・図示
　使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・50L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）Ⓖ
　施工箇所　※植栽範囲　・図示
　使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・10L　・　）
　材料
　　「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。

⑤ 樹木

樹種、寸法、株立数等　※図示　・ (23.3.2)

⑥ 支柱

支柱材　※丸太（間伐材）Ⓖ　⊙真竹　・ (23.3.2、3)
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　・図示　・

⑦ 幹巻き用材料

材料　※幹巻き用テープ　・わら及びこも　・ (23.3.2)

8 芝

種類　※コウライシバ　・ノシバ　・ (23.4.2、3)
芝張りの工法
　平地　※目地張り　・べた張り
　法面　・目地張り　※べた張り法面

9 吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
・	・		

⑩ 地被類

(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
⊙フィリヤブラン	⊙105	⊙　図示	⊙3
⊙コグマザサ	⊙105	⊙　図示	⊙3

⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯補償

(23.3.4、6)(23.4.7)(23.5.5)
新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
　※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
　※引渡しの日から1年　・無し　・

12 屋上緑化 Ⓖ

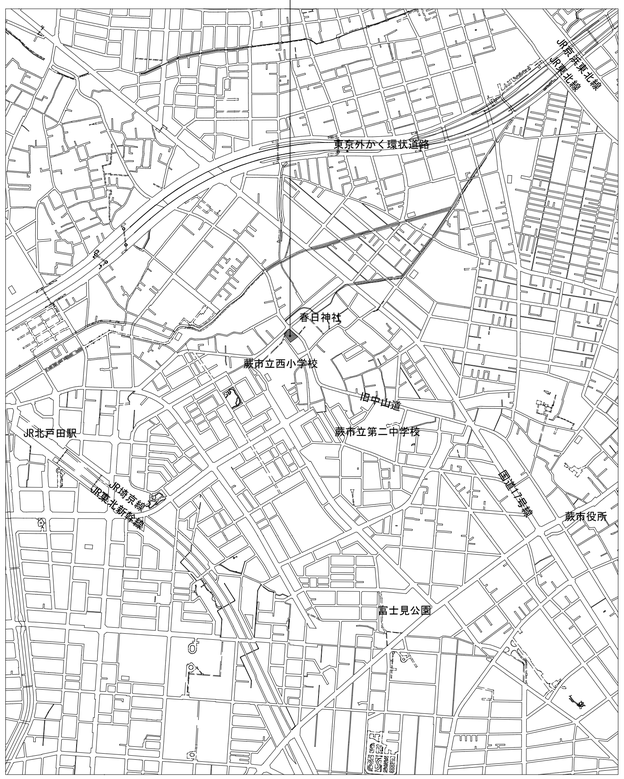
植栽基盤及び材料 (23.5.2～4)
・屋上緑化システム
　土壌層の厚さ　・図示　・
　排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）　・板状成型品
　植込み用土　※改良土　・人工軽量土
　樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等　※図示　・
　見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・
　支柱　・設置する（形式　・図示　・　）
　かん水装置　・設置する（種類　・　）
工法
　「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日　建設省告示第1458号）に基づく風圧力に対応した工法
　・図示による

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

APPR	CHKD	DRAWN

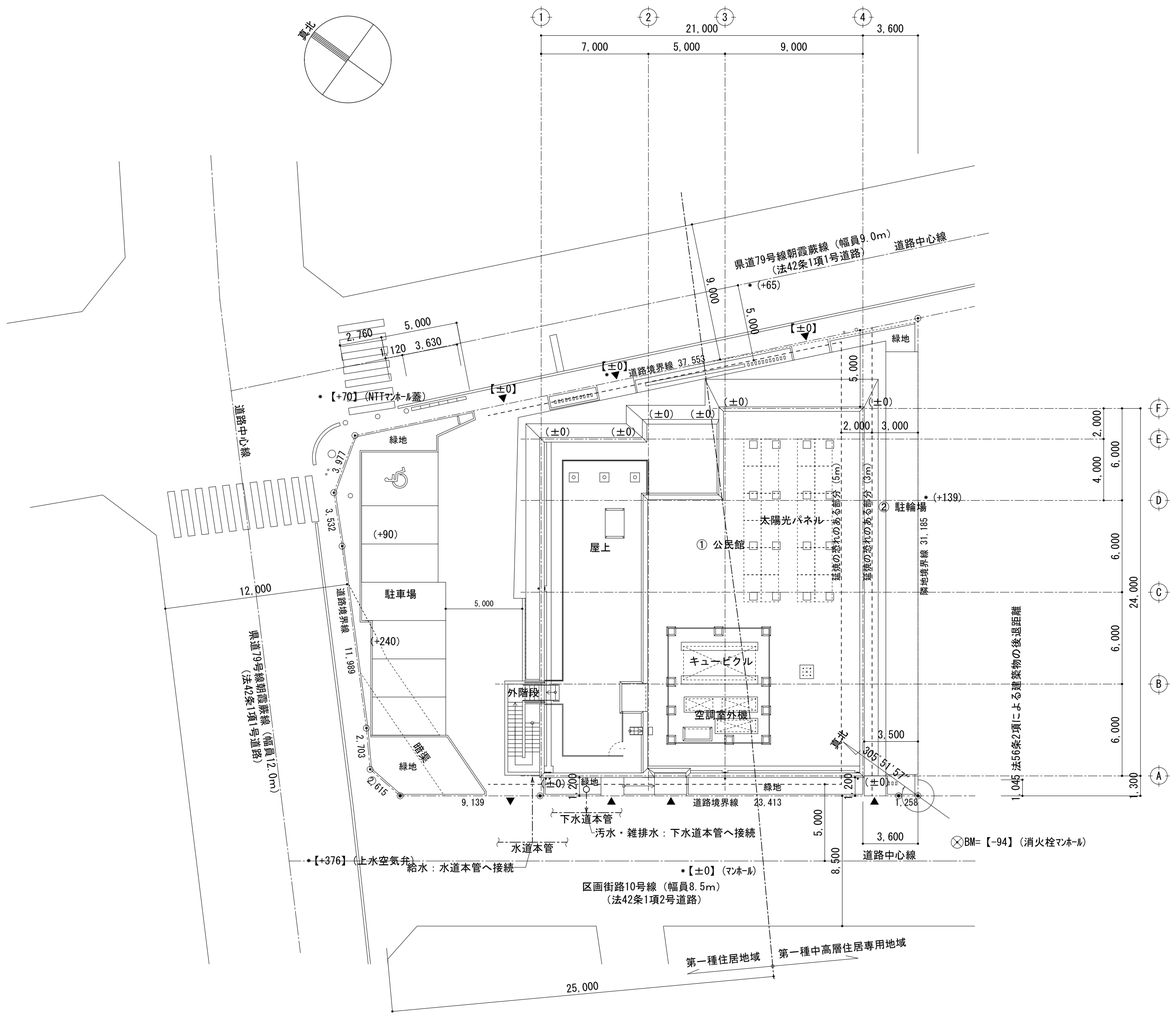
工事名　（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図名　特記仕様書6
S=　No Scale
DATE　2025.09
No.　A-007

計画地
現地名地番：蕨市錦町五丁目2027-55（1画地）、2078-1（2画地）、錦町六丁目2238-11（9画地）
現住居表示：蕨市錦町五丁目12-14他
錦町土地区画整理事業：仮換地180-1街区1画地、2画地、9画地



N

案内図　1/10000



配置図　1/200

建物の接地レベルはすべて±0とする
したがって設計GL＝±0＝平均GL＝BM+94＝平均地盤面とする
※駐輪場は法2条第6号ただし書きにより延焼線は発生しない

凡例
⊗　：ベンチマーク
【＊＊＊】：現況レベルを示す
（＊＊＊）：設計GLからの計画レベルを示す

計画概要	
計画地	現地名地番：蕨市錦町五丁目2027-55（1画地）、2078-1（2画地）、錦町六丁目2238-11（9画地）
	現住居表示：蕨市錦町五丁目12-14他
	錦町土地区画整理事業：仮換地180-1街区1画地、2画地、9画地
敷地面積	1,007.46m²
前面道路	北東側：県道79号線朝霞蕨線 幅員9.0m（法42条1項1号）
	北西側：県道79号線朝霞蕨線 幅員12.0m（法42条1項1号）
	南西側：区画街路10号線 幅員8.5m（法42条1項2号）
用途地域	北西側（路線25m内）：第一種住居地域　容積率：200%　建ぺい率：80←60%（準防火地域内の準耐火建築物、街区の角にある敷地）
	南東側（路線25m外）：第一種中高層住居専用地域　容積率：200%　建ぺい率：80←60%（準防火地域内の準耐火建築物、街区の角にある敷地）
日影規制	4時間-2.5時間　測定面 4m
防火地域	準防火地域
錦町地区地区計画	建築物の高さの最高限度：13.569m（建築面積の加重平均　A地区：12m　B地区：15m）
	壁面位置の制限：道路境界線より0.5m
建築概要	
建物用途	公民館（図書館その他これに類するもの）
構造	鉄筋コンクリート造　地上3階
最高高さ	13.50m　（建築物の高さの最高限度：13.569m）
延床面積	1,553.73㎡　（①公民館 1495.75㎡　②駐輪場 57.98㎡）
容積対象面積	1,427.35㎡
建築面積	605.99㎡

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

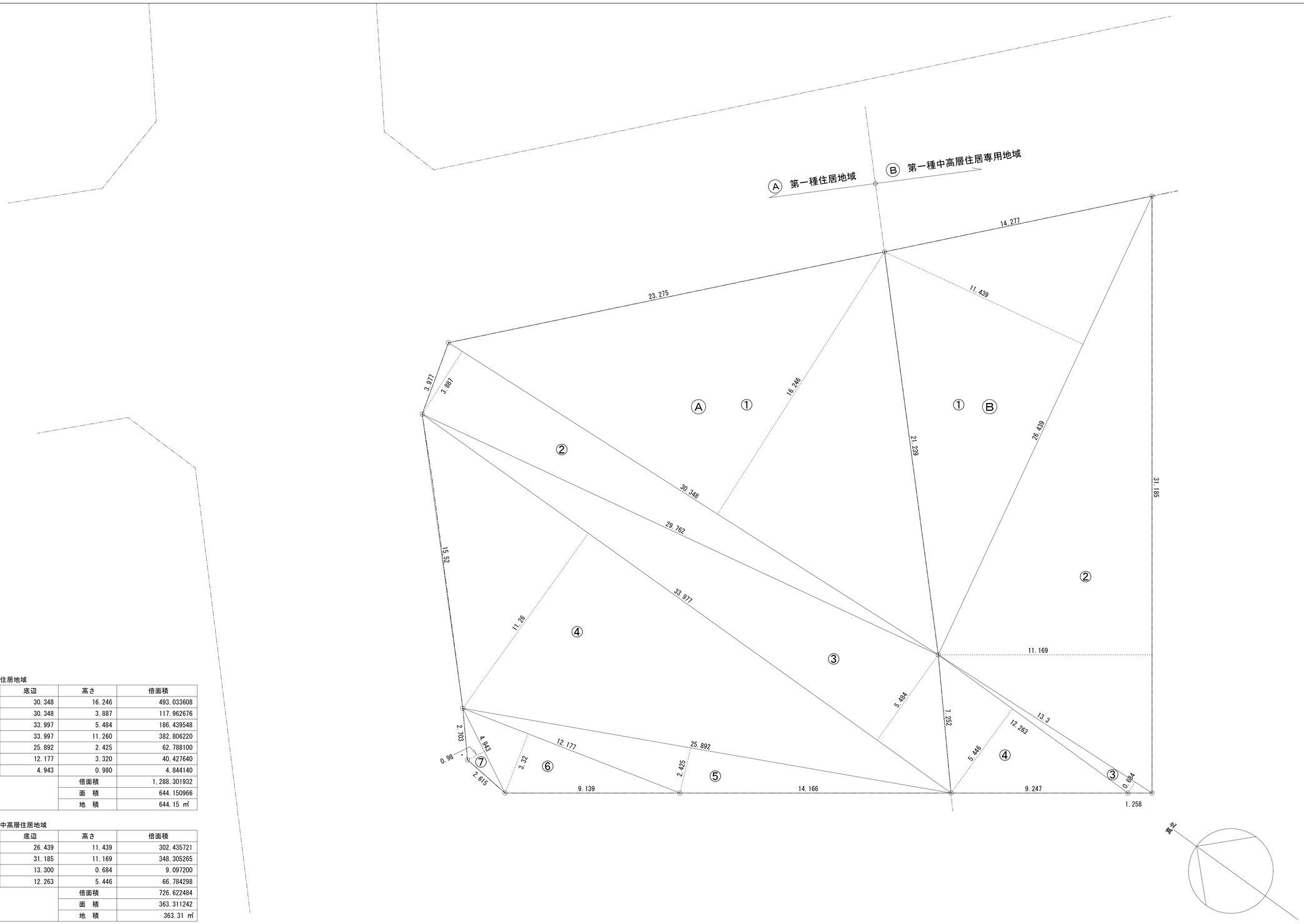
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名
案内図・配置図

S=1/10000, 1/200(A1)
1/20000, 1/400(A3)
DATE 2025.9
No. A-008



Ⓐ 第一種住居地域

No.	底辺	高さ	倍面積
①	30.348	16.246	493.033608
②	30.348	3.887	117.962676
③	33.997	5.484	186.439548
④	33.997	11.260	382.806220
⑤	25.892	2.425	62.788100
⑥	12.177	3.320	40.427640
⑦	4.943	0.980	4.844140
		倍面積	1,288.301932
		面　積	644.150966
		地　積	644.15 ㎡

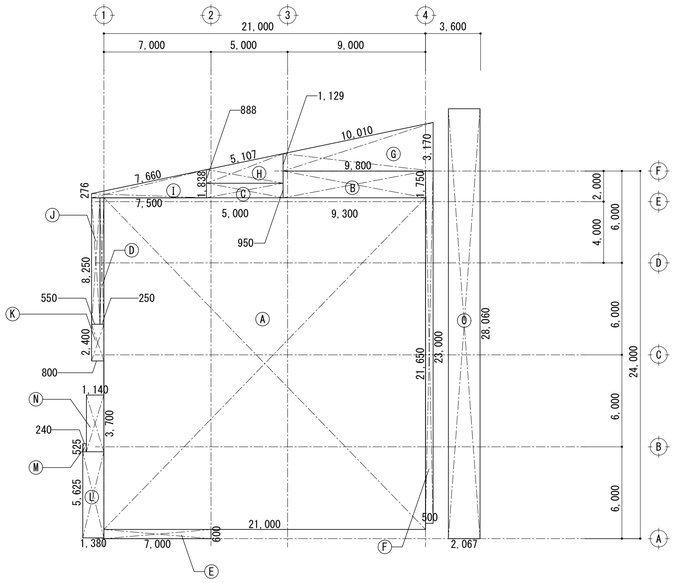
Ⓑ 第一種中高層住居地域

No.	底辺	高さ	倍面積
①	26.439	11.439	302.435721
②	31.185	11.169	348.305265
③	13.300	0.684	9.097200
④	12.263	5.446	66.784298
		倍面積	726.622484
		面　積	363.311242
		地　積	363.31 ㎡

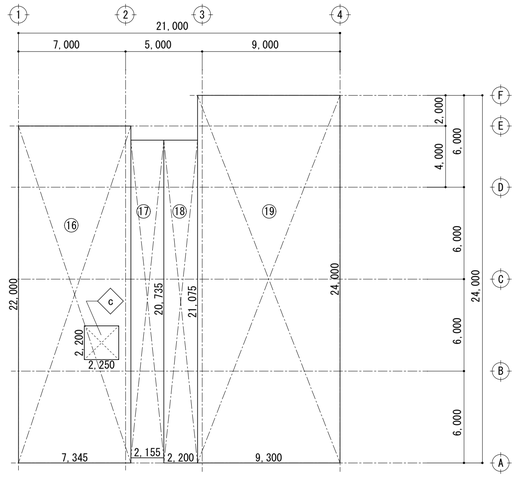
敷地面積　Ⓐ ＋ Ⓑ	1,007.46 ㎡

敷地求積図　S=1/100

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS 埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南木町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/100(A1) 1/200(A3) DATE 2025.09
					図 名 敷地求積表	No. A-009

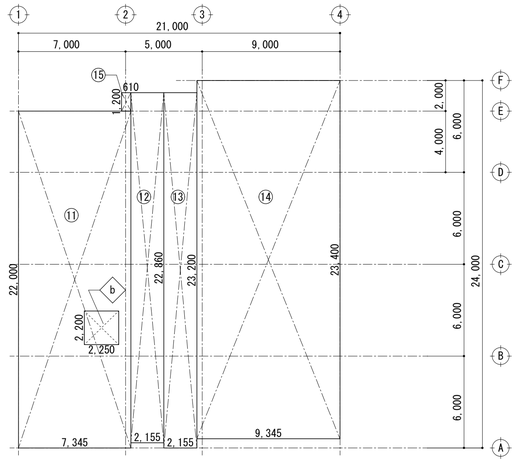


建築面積求積図　S=1/200



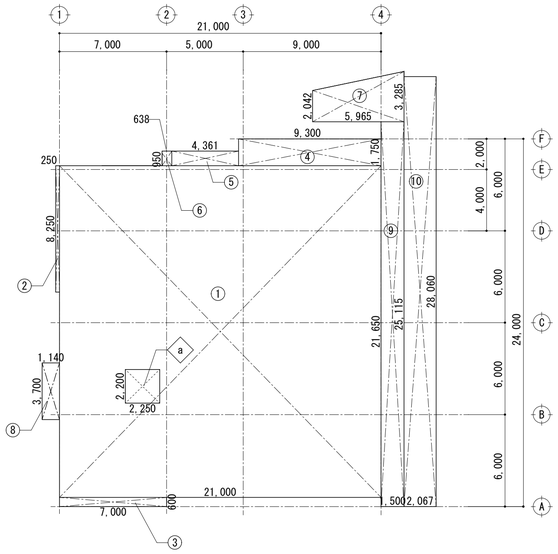
3階床面積求積図　S=1/200

3階床面積			
符号	計算式		計
⑯	7.345 × 22.000		161.59
⑰	2.155 × 20.735		44.68
⑱	2.200 × 21.075		46.36
⑲	9.300 × 24.000		223.20
3階床面積			475.83㎡
◇c	2.250 × 2.200		4.95



2階床面積求積図　S=1/200

2階床面積			
符号	計算式		計
⑪	7.345 × 22.000		161.59
⑫	2.155 × 22.860		49.26
⑬	2.155 × 23.200		49.99
⑭	9.345 × 23.400		218.67
⑮	0.610 × 1.200		0.732
2階床面積			480.24㎡
◇b	2.250 × 2.200		4.95



1階床面積求積図　S=1/200

建築面積			
符号	計算式		計
Ⓐ	21.000 × 21.650		454.6500
Ⓑ	9.300 × 1.750		16.2750
Ⓒ	5.000 × 0.950		4.7500
Ⓓ	0.250 × 8.250		2.0625
Ⓔ	7.000 × 0.600		4.2000
Ⓕ	0.500 × 23.000		11.5000
Ⓖ	(1.129 + 3.170) × 9.800 / 2		21.0651
Ⓗ	(0.888 + 1.919) × 5.000 / 2		7.0175
Ⓘ	(0.276 + 1.838) × 7.500 / 2		7.9275
Ⓙ	0.550 × 8.250		4.5375
Ⓚ	0.800 × 2.400		1.9200
Ⓛ	1.380 × 5.625		7.7625
Ⓜ	0.240 × 0.525		0.1260
Ⓝ	1.140 × 3.700		4.2180
Ⓞ	2.067 × 28.054		57.9876
計			605.9992
建築面積			605.99㎡
建ぺい率 = 建築面積/敷地面積 = 605.99/1,007.46 =			60.15%

◇a・・・昇降機昇降路

1階床面積			
	計算式		計
①	21.000 × 21.650		454.65
②	0.250 × 8.250		2.06
③	7.000 × 0.600		4.20
④	9.300 × 1.750		16.27
⑤	4.361 × 0.950		4.14
⑥	0.638 × 0.950		0.60
⑦	2.042 + 3.285 × 5.965 / 2		15.88
⑧	1.140 × 3.700		4.21
⑨	1.500 × 25.115		37.67
⑩	2.101 × 28.060		57.98
1階床面積			597.66㎡
◇a	2.250 × 2.200		4.95

延べ床面積	
3階床面積	475.83
2階床面積	480.24
1階床面積	597.66
延べ床面積	1,553.73㎡

容積対象延べ床面積	
容積対象延べ床面積＝延べ床面積-昇降機昇降路-駐輪場	
＝1,553.73-(◇a+◇b+◇c+⑦+⑨+⑩)	
＝1,553.73-(4.95+4.95+4.95+15.88+37.67+57.98)＝	
容積対象延べ床面積	1,427.35㎡
容積率＝容積対象延べ床面積 / 敷地面積	
＝1,427.35 / 1,007.46 ＝	141.68
容積率	141.68%

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成
埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787
東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

APPR	CHKD	DRAWN

工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名 建物・床面積求積図

S= 1/200(A1) 1/400(A3)

DATE 2025.09

No. A-010

外部仕上表

屋上	コンクリート直均しの上アスファルト防水AI-2(押出法ポリスチレンフォーム断熱材 t=50＋ ポリエチレンフィルム＋押えコンクリートt=80(溶接金網φ6 150×150)、設備基礎) 排水溝：防水モルタル金ごて（溶接金網 φ6 150×150） ドレイン廻り：防水モルタル金ごて（メタルラス下張り）500×500 防水立上り：アルミ製（既製品）金物押え＋押出成形セメント板t=15 伸縮目地：成型伸縮目地 W=25 @3,000（タテ・ヨコ） 防水立上り取合:成形緩衝材 鋼製手摺 H=1,200 溶融亜鉛めっき 旗ポール H=4.0m 焼付塗装仕上 オーバーフロー管 SUS角パイプ □45 L=250	目隠しルーバー	アルミ製 フッ素樹脂焼付塗装 50×150 @150,210交互、30×150 @100
		ルーフドレイン	鋳鉄製打込型 横型 φ100
		竪樋	塗装ガルバリウム鋼板製竪樋 89φ グレー 取付金物竪樋同色着色 地上部竪樋：同色塗装アルミニウム製竪樋 L=2000
		外部階段	踏面・蹴上・踊場床・排水溝：ウレタン系塗膜防水(X-2)、段鼻ノンスリップタイル 手摺壁：コンクリート打放しの上、フッ素樹脂クリア 階段手摺：アルミ製既製品、鋼製手摺：溶融亜鉛めっき+DP、アルミ製門扉
屋上設備ｽﾍﾟｰｽ目隠し	押出成形セメント板 t=50の上、DP塗装 下地鉄骨：柱・梁 溶融亜鉛めっき	開口部	アルミカーテンウォール、アルミサッシ、アルミガラリ、アルミ自動ドア、 ステンレス自動ドア、スチールドア、スチールガラリ
エントランス庇	庇天端：コンクリート直均し ウレタン系塗膜防水(X-2) 鼻隠し・軒裏：コンクリート打放しの上、フッ素樹脂クリア 水切：アルミ フッ素樹脂焼付塗装 目隠しルーバー：アルミ製 アクリル焼付塗装 暖簾：厳双子織暖簾	舗装	車道：アスファルト舗装 暗渠部 コンクリートスラブ t=180下地 歩道・駐輪場：透水性高炉スラグ舗装 歩行用
最上階庇	庇天端：コンクリート直均し ウレタン系塗膜防水(X-2) 鼻隠し・軒裏：コンクリート打放し フッ素樹脂クリア 水切：アルミ フッ素樹脂焼付塗装	囲障	コンクリート塀1：コンクリート打放しの上、砂壁状意匠性塗材、笠木瓦、館名サイン、自然石柱 コンクリート塀2：コンクリート打放しの上、フッ素樹脂クリア
笠木天端	ウレタン系塗膜防水(X-2) 水切：アルミ フッ素樹脂焼付塗装	駐輪場・駐車場	アルミ製既製品 駐車場白線引き
外壁	コンクリート打放しの上、砂壁状意匠性塗材 コンクリート打放しの上、フッ素樹脂クリア、フッ素樹脂カラークリア 一部杉板型枠コンクリート打放しの上、フッ素樹脂クリア 外巾木：コンクリート打放しの上、砂壁状意匠性塗材、フッ素樹脂クリア、フッ素樹脂カラークリア		

共通事項

・居室（ｶﾞﾗﾘ等で換気経路で居室とつながる室を含む）仕上及び下地材に使用する建築材料は全てﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散量がＦ☆☆☆☆の規格に適合するもの、及び国土交通省告示によりﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ発散建築材料に定められていないものを使用して製作されたものを使用する。
・床下、天井裏、壁内に使用する建築材料は全て、ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量がＦ☆☆☆以上の規格に適合するものを使用する。(材料の製作、施工に使用する接着剤類、塗装類及び、家具等を含む)
・E）は電気設備、M）は機械設備、B）は備品工事を示す。

断熱材
屋根外断熱：押出法ポリスチレンフォーム断熱材 t=50(熱伝導率0.028以下)（3種b）
最上階・最下階スラブ:押出法ポリスチレンフォーム断熱材打込み t=30(熱伝導率0.028以下)（3種b）
外壁面：吹付硬質ウレタンフォーム t=25(熱伝導率0.026以下)（A種1H）
外壁面の吹付硬質ウレタンフォームは吹返し450とする。

コンクリート工事
・床仕上げ下地は特記なき限りコンクリート直均しとし、躯体天端より仕上材下端までは増打ちとする。
・地下ピット内側部分の基礎、地中梁型枠はせき板A種を使用する。
・防水立上り部のコンクリートはスラブ打設と一体施工とする。

防水工事
・ＥＬＶピットは、ケイ酸質系塗布防水を施す。
・便所、湯沸室等、水を使用する場所で床を貫通する配管、機器廻りはシールを施す。

内装工事
・壁せっこうボードは、継ぎ目処理とする。
・壁せっこうボードは、コンクリート下地の場合はＧＬ工法とする。
・壁・天井のビニルクロス貼はすべて不燃仕様とする。
・乾式間仕切りでグラスウール施工箇所は防音の為壁張りボードを含め、スラブ下端、又は梁下端まで立上げる。
・床仕上が変わる場合はSUS目地棒厚さ5mmを設ける。
・天井と壁の入隅見切りは塩ビ目地付見切（見付4mmタイプ）とする。
・特記なき折上天井の出隅は仕上同材の場合は見切り無し、異材種の場合は塩ビ見切とする。
・特記なき巾木の色は壁面同系色とする。
・ロックウール化粧吸音板はスターダスト柄とする。
・室間の壁、方立部取合い金物はロックウールを充填する。

内部仕上表

階	室名	下地	床	巾木	下地	壁	下地	天井	天井高	廻縁 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	廻縁 BOX	備考
1階	風除室1	RC	600角セラミックタイル t=9.0 一部砕石敷	—	RC	杉板型枠コンクリート＋打放し保護塗装	LGS	GB-R t=9.5＋吸音パネル(木目調) t=30	2700	—	— —	自動ドア防護柵
	エントランスホール コミュニティラウンジ2	RC	600角セラミックタイル t=9.0	ｱﾙﾐ入巾木	RC GL1 LGS1、4	コンクリート＋打放し保護塗装 EP 砂壁状意匠性塗材（不燃）	LGS	GB-R t=9.5＋吸音パネル(木目調) t=30	2700	—	— —	
	コミュニティラウンジ1	RC	600角セラミックタイル t=9.0	ｱﾙﾐ入巾木	RC GL1	コンクリート＋打放し保護塗装 EP	LGS	GB-R t=9.5＋吸音パネル(木目調) t=30	2700	—	— St SOP	小上がり H=200 ガラスパーテーション、木製本棚、木製長机
	読書・自習スペース	RC	600角セラミックタイル t=9.0	ｱﾙﾐ入巾木	RC GL1	コンクリート＋打放し保護塗装 EP	LGS	GB-R t=9.5＋吸音パネル(木目調) t=30	2700	—	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ St SOP	ガラスパーテーション、木製カウンター
	図書コーナー	RC	600角セラミックタイル t=9.0	ｱﾙﾐ入巾木	GL1 LGS1	EP 砂壁状意匠性塗材（不燃）	LGS	GB-R t=9.5＋吸音パネル(木目調) t=30	2700	—	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ St SOP	木製本棚、展示コーナー
	事務室	鋼製OAフロア H=100	置敷ビニル床タイル t=5.0（帯電防止）	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 GW+LGS1	EP	LGS	GB-R t=9.5＋DR t=12	2700	塩ﾋﾞ製 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP	ブックポスト、AEDボックス、行事用ホワイトボード
	倉庫1	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 LGS1	EP	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2700 2000	塩ﾋﾞ製 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP	
	印刷コーナー	鋼製OAフロア H=100	置敷ビニル床タイル t=5.0（帯電防止）	ｱﾙﾐ入巾木	LGS1	EP	LGS	GB-R t=9.5＋吸音パネル(木目調) t=30	2700	—	— —	カウンター
	授乳室	RC	600角セラミックタイル t=9.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 GW+LGS1	EP	LGS	GB-R t=9.5＋DR t=12	2550	塩ﾋﾞ製	— —	天井付カーテンレール（カーテン共）L=1,000
	多目的室	RC	複合フローリング t=15 UVセラミック塗装	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 GW+LGS1、4	EP	LGS	GB-R t=9.5＋DR t=12 一部 GB-R t=9.5＋EP	2700	塩ﾋﾞ製 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP	壁面鏡
	風除室2	RC	600角磁器質タイル t=9.0	—	LGS1	砂壁状意匠性塗材（不燃）	LGS	GB-R t=9.5＋吸音パネル(木目調) t=30	2700	—	— —	自動ドア防護柵
	MWC	RC	トイレ用ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ巻上 H=60	GL3 GW+LGS3	メラミン化粧板 t=3.0（目透かし張）	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2500	塩ﾋﾞ製	St SOP	トイレブース、化粧鏡、ライニング甲板 メラミンポストフォーム、 ベビーシート、ベビーチェア、手摺
	WWC	RC	トイレ用ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ巻上 H=60	GL3 GW+LGS3	メラミン化粧板 t=3.0（目透かし張）	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2500	塩ﾋﾞ製	— —	トイレブース、化粧鏡、ライニング甲板 メラミンポストフォーム、 ベビーシート、ベビーチェア、手摺、化粧カウンター
	HWC	RC	トイレ用ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ巻上 H=60	GL3 GW+LGS3	メラミン化粧板 t=3.0（目透かし張）	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2550	塩ﾋﾞ製	— —	可動手摺、L型手摺、ベビーチェア、化粧鏡、ライニング甲板 メラミンポストフォーム、 床下点検口
	階段下倉庫	RC	ビニル床シート t=2.0	—	RC	コンクリート打放補修	——	コンクリート打放し補修	直天井	—	— —	設備基礎、床下点検口
	外部倉庫	RC	コンクリート金ごて+防塵塗料塗	—	RC	コンクリート打放補修	——	コンクリート打放し	直天井	—	— —	

・耐火リスト

壁	外壁(耐力壁)	延焼の恐れあり	耐火1時間	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 t=150(告示1399号 第一 二号イ)
		延焼の恐れなし	耐火30分	
	間仕切壁(耐力壁)	耐火1時間		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 t=150(告示1399号 第三号)
柱		耐火1時間		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造(告示1399号 第二 三号ロ(1))
床				鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 t=150（告示1399号 第三 一号イ）
はり				鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（告示1399号 第四 三号ロ）
屋根		耐火30分		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（告示1399号 第五 一号）
階段				鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（告示1399号 第六 一号）

・壁下地 仕様

名称	防火区画	使用部位	仕様〔耐火構造認定番号〕
GL1	——	図示	GL工法 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 + 普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5
GL2	——		GL下地 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5
GL3	——		GL下地 ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5（不燃）
LGS1	——		LGS下地 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 + 普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5
LGS2	——		LGS下地 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5
LGS3	——		LGS下地 ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5（不燃）
LGS4	——		LGS下地 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 + 磁性体付せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5
GW	——		ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=50（24kg/m3）充填
	——		
防火区画1	耐火1時間壁	竪穴区画部	LGS下地 強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=21.0 片面2枚張り〔FP060NP-0233〕
防火区画2	耐火1時間壁	竪穴区画部	LGS下地 強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5＋硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5 両面張り〔FP060NP-0448(1)〕

不燃,準不燃認定番号

せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5(準不燃QM-9828 不燃NM-2049) t=12.5(不燃NM-8619)
ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5(不燃NM-9639)
強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5、15、21(不燃NM-8615)
普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5（不燃NM-9645）
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ)t=9.5(準不燃QM-0524 不燃NM-1864)
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(和室用)t=9.5(不燃NM-0127)
ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6(不燃NM-1217)
化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6(不燃NM-4227)
ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3（不燃NM-2183）
ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=9（不燃NM-8599）
ﾋﾞﾆﾙ壁紙：防火種別1-1 1-4～1-6（不燃下地→不燃）
吸音ﾊﾟﾈﾙ(木目調)t=30（不燃NM-4037-1）
EP（不燃NM-8585）
ｸﾞﾗｽｳｰﾙ（不燃NM-8605）
ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ96kg/m3 t=25 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ額縁張（不燃NM-8610）
不燃木毛ｾﾒﾝﾄ板（不燃NM-0236）

防火（水平）区画

PS・EPS・ハト小屋：ｽﾗﾌﾞはｺﾝｸﾘｰﾄ打設とし配管の区画貫通部は、ﾓﾙﾀﾙ充填若しくは認定区画工法とする

凡例

CL	ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り
EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
GB-R	せっこうﾎﾞｰﾄﾞ
GB-H	普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞ
DR	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板

防火設備

種別	仕様	例示仕様または、認定番号
ｱﾙﾐｻｯｼ（外部）	FIX たてすべり出し窓 すべり出し窓 かまちドア FIX+たてすべり出し窓	
鋼製ドア（内部）	常閉・随閉 （遮煙性能あり）	令112条14項二号 告示2563号 告示2564号

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (4)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名 仕上表1

S= No Scale
DATE 2025.9
No. A-011

内 部 仕 上 表

階	室 名	下 地	床	巾 木	下 地	壁	下 地	天 井	天井高	廻縁 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ＢＯＸ	備 考
2階	防音室	RC	音響調整パネル t=25の上浮き床コンクリート t=160 フローリング t=15	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	部分詳細図 による	グラスウールボード96kg/m3 t=25 ガラスクロス額縁張	LGS	硬質木毛セメント板 t=20（不燃）＋EP	2600	塩ﾋﾞ製 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ： St SOP	
	美術室	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	RC GL1 GW+LGS1	EP コンクリート＋打放し保護塗装	LGS	GB-R t=9.5＋DR t=12	2700	塩ﾋﾞ製 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ： St SOP	流し台、収納棚
	団体連絡室	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 GW+LGS1	EP	LGS	GB-R t=9.5＋DR t=12 一部 GB-R t=9.5＋EP	2700	塩ﾋﾞ製 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ： St SOP	
	会議室1・2	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 GW+LGS1	EP	LGS	GB-R t=9.5＋DR t=12 一部 GB-R t=9.5＋EP	2700	塩ﾋﾞ製 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ： St SOP	移動間仕切 壁面鏡（会議室１）
	和室	鋼製束 H=100	鋼製下地組＋下地合板 t=12＋ ビニル織物床タイル t=15 一部桧縁甲板 t=12	たたみ寄せ	GL1 GW+LGS1	和紙調クロス（不燃）	——	GB-R t=9.5＋和紙調クロス（不燃）	2600	塩ﾋﾞ製 —— ： St SOP	押入、床の間
	押入	鋼製束 H=100	下地合板 t=12	—	右記	GL+不燃積層せっこうボード t=9.5 LGS+不燃積層せっこうボード t=9.5	LGS	不燃積層せっこうボード t=9.5	2600	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	
	倉庫1・2	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	LGS2	けい酸カルシウム板 t=6.0+EP	LGS	GB-D t=9.5	2700	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	
	踏込	RC	ビニル床シート t=2.0 一部桧縁甲板 t=12	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 LGS1	木製ルーバー（不燃） EP	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2700	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	下足入
	陶芸窯置場	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 LGS1	EP	LGS	GB-D t=9.5	2550	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	
	防災備蓄庫	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 LGS1	EP	LGS	GB-D t=9.5	2700	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	
	MWC	RC	トイレ用ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ巻上 H=60	GL3 GW+LGS3	メラミン化粧板 t=3.0（目透かし張）	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2500	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	トイレブース、化粧鏡、ライニング甲板 メラミンポストフォーム、 ベビーシート、ベビーチェア、手摺
	WWC	RC	トイレ用ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ巻上 H=60	GL3 GW+LGS3	メラミン化粧板 t=3.0（目透かし張）	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2500	塩ﾋﾞ製 —— ： St SOP	トイレブース、化粧鏡、ライニング甲板 メラミンポストフォーム、 ベビーシート、ベビーチェア、手摺
	ラウンジ	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 防火区画1	EP	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2700 吹抜け	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	
3階	調理実習室	RC	調理室用ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 GW+LGS1	EP	LGS	GB-R t=9.5＋DR t=12	2700	塩ﾋﾞ製 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ： St SOP	調理台、収納棚
	集会室	鋼製束 H=250	複合フローリング t=15 UVセラミック塗装	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 GW+LGS1	EP	—	GB-R t=9.5＋DR t=12 折上天井幕板部 GB-R t=9.5＋EP 一部 梁型コンクリート＋打放し保護塗装	3500 2700	塩ﾋﾞ製 遮光ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ： St SOP	可動ステージ、壁面鏡、電動スクリーン、カーテンボックス、舞台用カーテン
	集会室倉庫	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 LGS1	EP	LGS	GB-D t=9.5	2700	塩ﾋﾞ製 ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ： St SOP	
	更衣室1・2	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 LGS1	EP	LGS	GB-D t=9.5	2550	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	天井付カーテンレール L=1,600（カーテン共）
	MWC	RC	トイレ用ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ巻上 H=60	GL3 GW+LGS3	メラミン化粧板 t=3.0（目透かし張）	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2500	塩ﾋﾞ製 —— ： St SOP	トイレブース、化粧鏡、ライニング甲板 メラミンポストフォーム、 ベビーシート、ベビーチェア、手摺
	WWC	RC	トイレ用ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ巻上 H=60	GL3 GW+LGS3	メラミン化粧板 t=3.0（目透かし張）	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2500	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	トイレブース、化粧鏡、ライニング甲板 メラミンポストフォーム、 ベビーシート、ベビーチェア、手摺
共通	廊下	RC	ビニル床シート t=2.0	1階 ｱﾙﾐ入巾木 2,3階 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL1 LGS1、4	EP 砂壁状意匠性塗材（不燃）	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2700	塩ﾋﾞ製 —— ： St SOP	
	階段室	RC	ビニル床シート t=2.0 1階一部 600角セラミックタイル t=9.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60 ササラ用	RC GL1	EP	LGS	コンクリート打放し＋EP GB-R t=9.5＋EP（最上階）	——	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	
	吹抜	RC	—	—	GL1 防火区画1	EP	LGS	GB-R t=9.5＋EP	——	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	
	給湯室	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=60	GL3 LGS1、3	メラミン化粧板 t=3.0（目透かし張） EP	LGS	GB-R t=9.5＋EP	2700	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	ミニキッチン W=1200
	SK	RC	ビニル床シート t=2.0	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ巻上 H=60	GL3 LGS3	化粧けい酸カルシウム板 t=6.0	LGS	GB-D t=9.5	2550	塩ﾋﾞ製 —— ： ——	掃除用具掛け
	PS・EPS	RC	コンクリート金ごて	—	RC	コンクリート打放し 吹付硬質ウレタンフォーム t=25（外壁面） LGS素地	—	コンクリート打放し	直天井	——	

・耐火リスト

		延焼の恐れあり	耐火1時間	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 t=150(告示1399号 第一 二号イ)
壁	外壁(耐力壁)	延焼の恐れなし	耐火30分	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 t=150(告示1399号 第三号)
壁	間仕切壁(耐力壁)	耐火1時間		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造(告示1399号 第二 三号ロ(1))
柱		耐火1時間		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 t=150（告示1399号 第三 一号イ）
床		耐火1時間		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（告示1399号 第四 三号ロ）
はり		耐火1時間		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（告示1399号 第五 一号）
屋根		耐火30分		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造（告示1399号 第六 一号）
階段		耐火30分		

・壁下地 仕様

名 称	防火区画	使用部位	仕様〔耐火構造認定番号〕
GL1	——	図示	GL工法 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 + 普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5
GL2	——		GL下地 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5
GL3	——		GL下地 ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5（不燃）
LGS1	——		LGS下地 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 + 普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5
LGS2	——		LGS下地 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5
LGS3	——		LGS下地 ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5（不燃）
LGS4	——		LGS下地 せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 + 磁性体付せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5
GW	——		ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=50（24kg/m3）充填
	——		
防火区画1	耐火1時間壁	竪穴区画部	LGS下地 強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=21.0 片面2枚張り〔FP060NP-0233〕
防火区画2	耐火1時間壁	竪穴区画部	LGS下地 強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5＋硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5 両面張り〔FP060NP-0448(1)〕

不燃,準不燃認定番号

せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5(準不燃QM-9828 不燃NM-2049) t=12.5(不燃NM-8619)
ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5(不燃NM-9639)
強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=12.5、15、21(不燃NM-8615)
普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞt=9.5（不燃NM-9645）
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ)t=9.5(準不燃QM-0524 不燃NM-1864)
化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（和室用）t=9.5(不燃NM-0127)
ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6(不燃NM-1217)
化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6(不燃NM-4227)
ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3（不燃NM-2183）
ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板t=9（不燃NM-8599）
ﾋﾞﾆﾙ壁紙：防火種別1-1 1-4～1-6（不燃下地→不燃）
吸音ﾊﾟﾈﾙ(木目調)t=30（不燃NM-4037-1）
EP（不燃NM-8585）
ｸﾞﾗｽｳｰﾙ（不燃NM-8605）
ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ96kg/m3 t=25 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ額縁張（不燃NM-8610）
不燃木毛ｾﾒﾝﾄ板（不燃NM-0236）

防火（水平）区画

PS・EPS・ハト小屋：ｽﾗﾌﾞはｺﾝｸﾘｰﾄ打設とし配管の区画貫通部は、ﾓﾙﾀﾙ充填若しくは認定区画工法とする

凡例

CL	ｸﾘｱｳﾚｯｶｰ塗り
EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
GB-R	せっこうﾎﾞｰﾄﾞ
GB-H	普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞ
DR	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板

防火設備

種別	仕様	例示仕様または、認定番号
ｱﾙﾐｻｯｼ（外部）	FIX たてすべり出し窓 すべり出し窓 かまちドア FIX+たてすべり出し窓	
鋼製ドア（内部）	常 閉 ・ 随 閉 （遮煙性能あり）	令112条14項二号 告示2563号 告示2564号

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (3)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名	（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図 名	仕上表2
S=	No Scale
DATE	2025.09
No.	A-012

凡　例

※ピットFL＝±0＝1FL-1850
※特記なき限り、1階スラブ下ポリスチレンフォーム t=30打込み
※ピット外周部は浸透系塗布防水を行う

ピット（耐圧版 t=250）
床・壁：コンクリート打放の上浸透系塗布防水

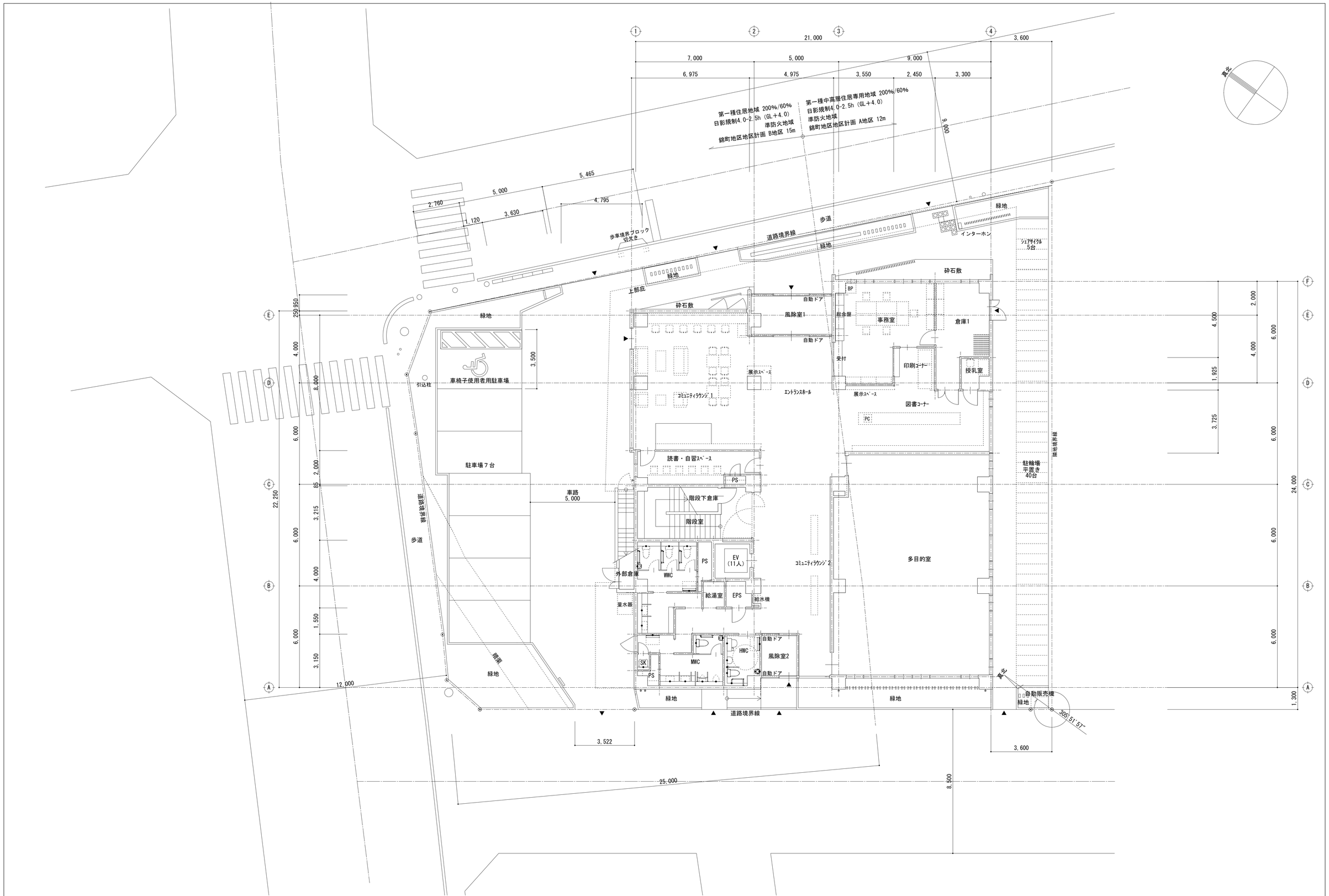
上部600角化粧蓋、下部SUSタラップ 22φ×400@300

人通口 600φ（SUS製手掛けタラップ22φ共）

水膨張止水板（据置型）

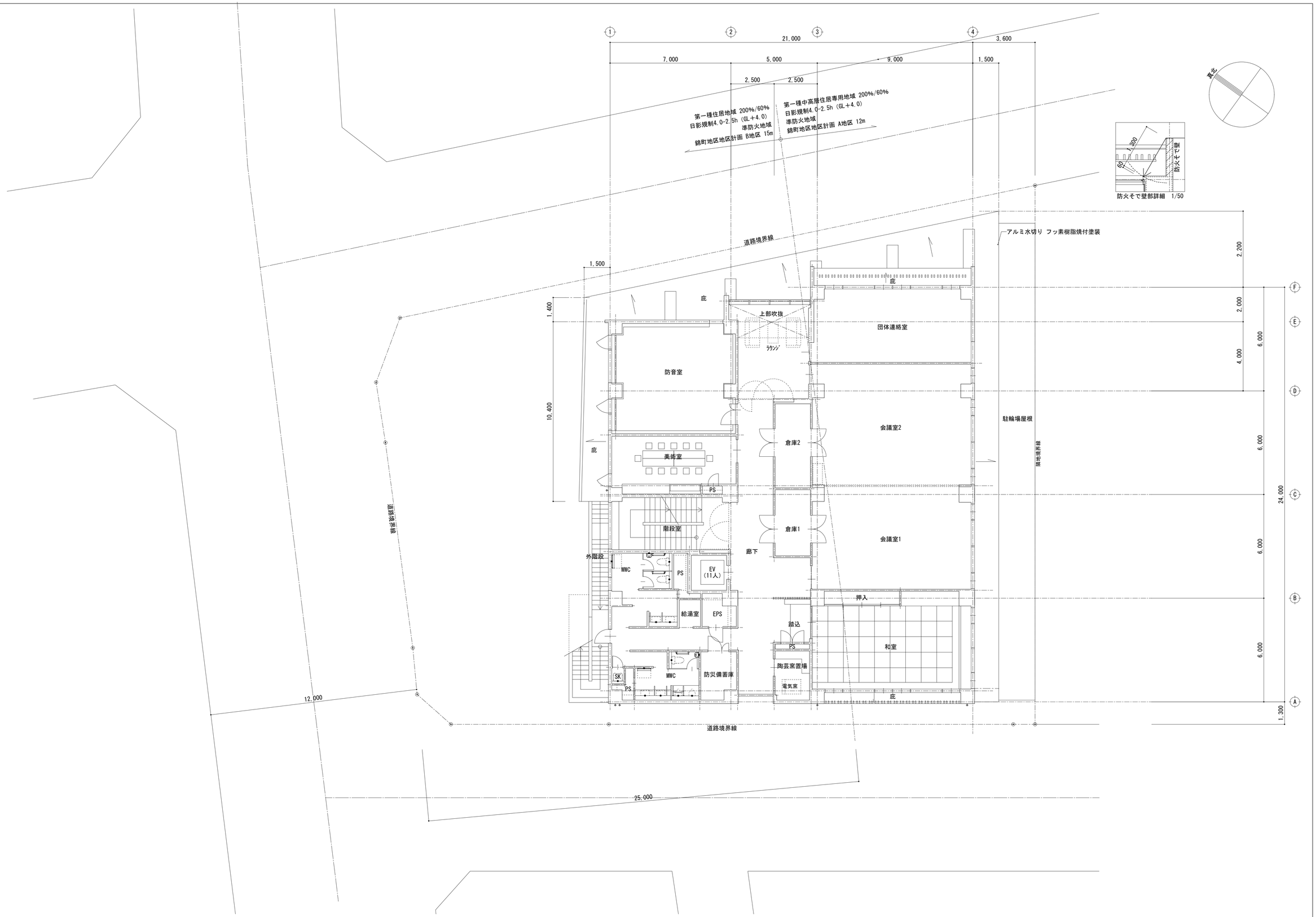
下部通水口 VU-150φ/2、上部通気口 VU-100φ

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&DESIGN 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9787 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/100(A1) 1/200(A3)
							DATE 2025.09
						図 名 基礎伏図	No. A-013



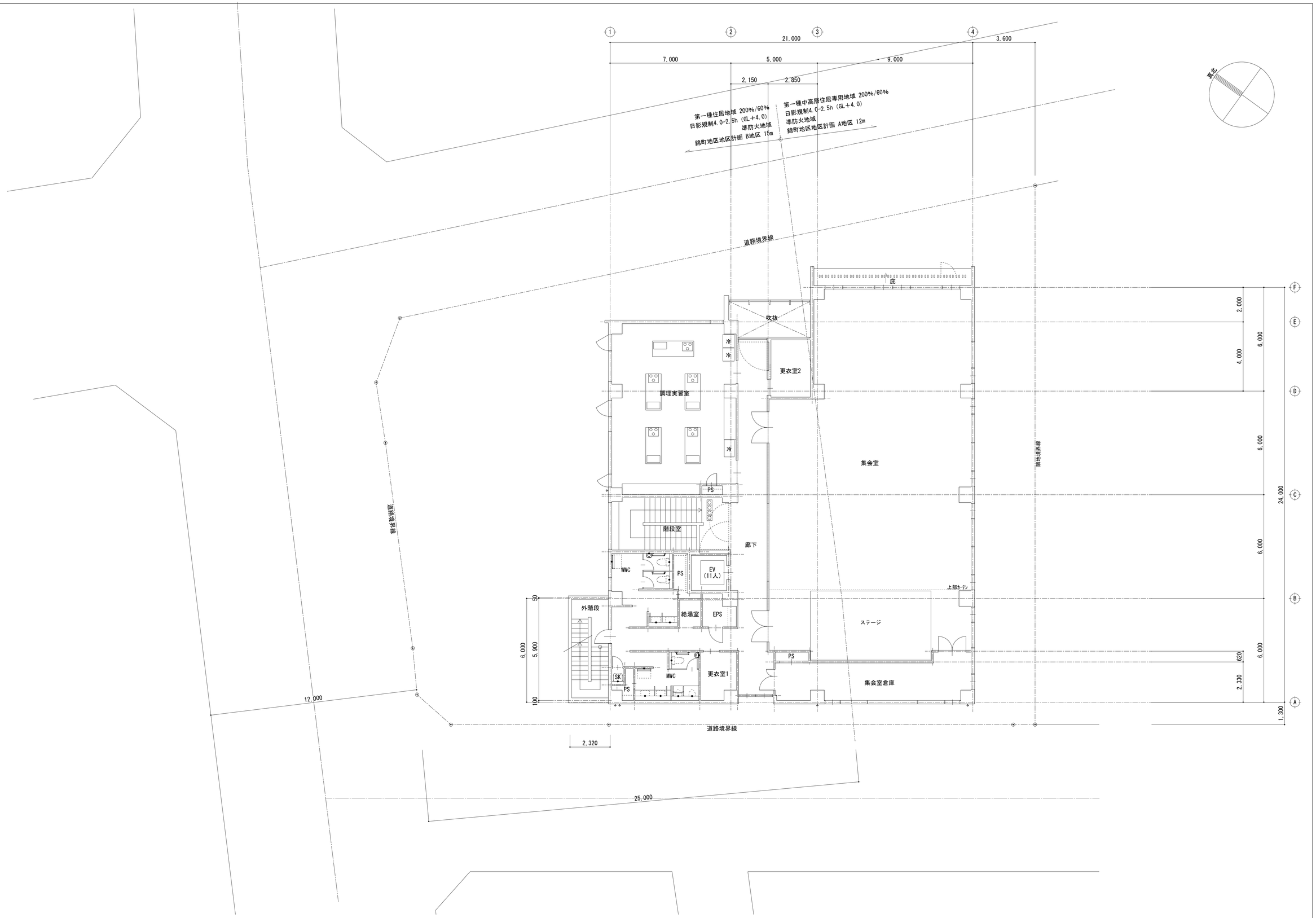
一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&DESIGNS 株式会社 カトウ建築事務所	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787
一級建築士 NO.164725 北田 英成					東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

工事名	(仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図名	1階平面図
S=	1/100(A1) 1/200(A3)
DATE	2025.09
No.	A-014

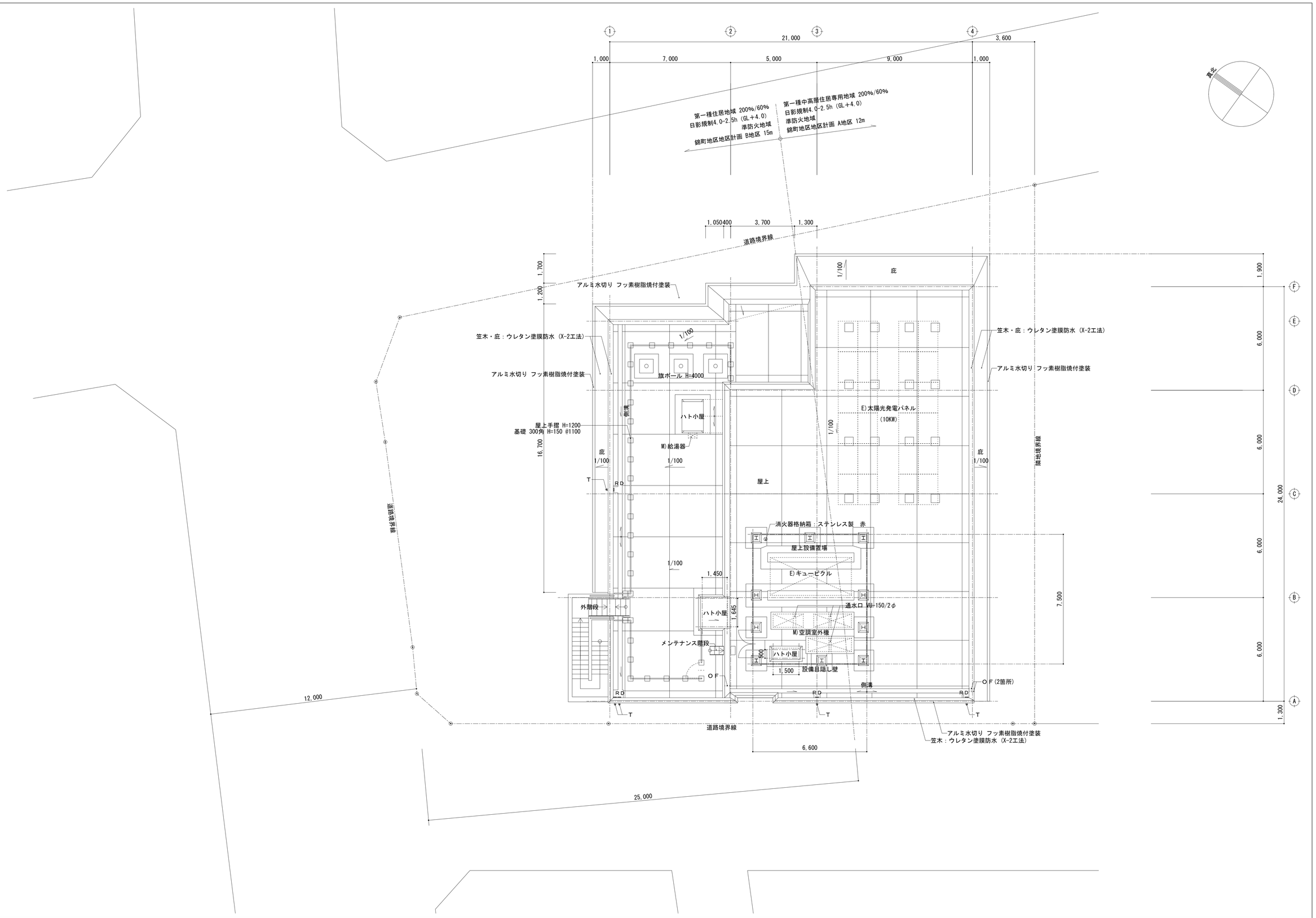


一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/100(A1) 1/200(A3)	
図名 2階平面図	DATE 2025.09	No. A-015



一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288
工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事					S= 1/100(A1) 1/200(A3)
図名 3階平面図					DATE 2025.09
					No. A-016



【凡例】			
	B）備品（別途）を示す	RD：横引きルーフドレン	
	E）電気設備工事を示す	Y：横引き管	
	M）機械設備工事を示す	T：竪樋	
	注）特記なき限り建築工事を示す	OF：オーバーフロー管	

一級建築士事務所
KATO
ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

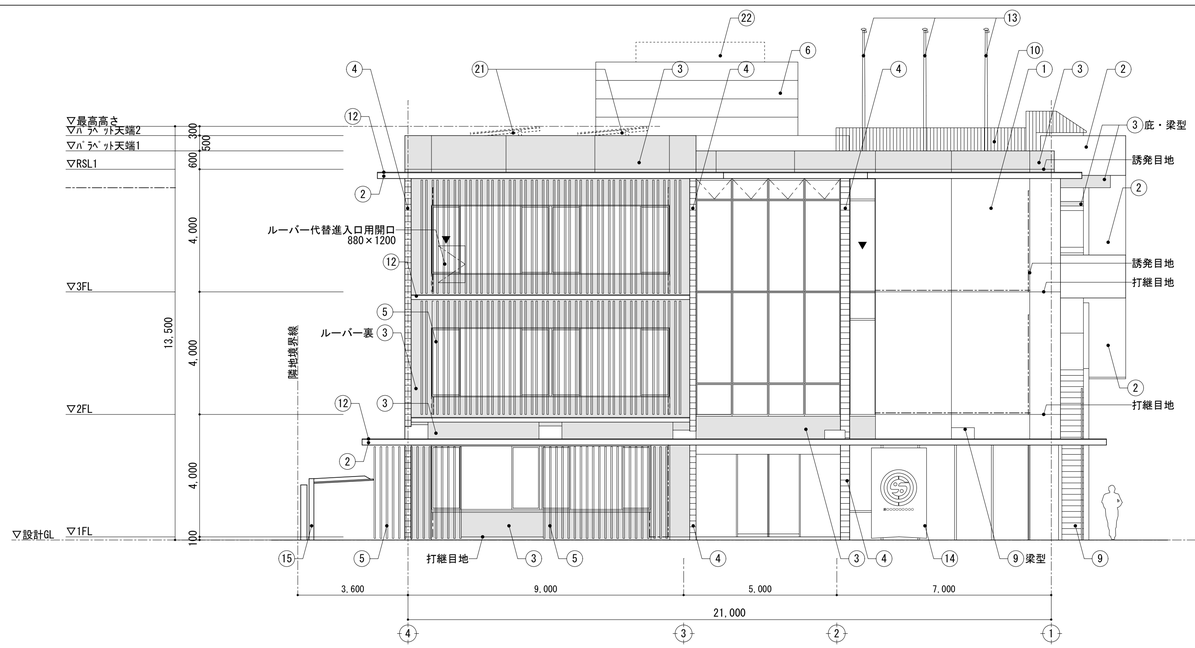
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

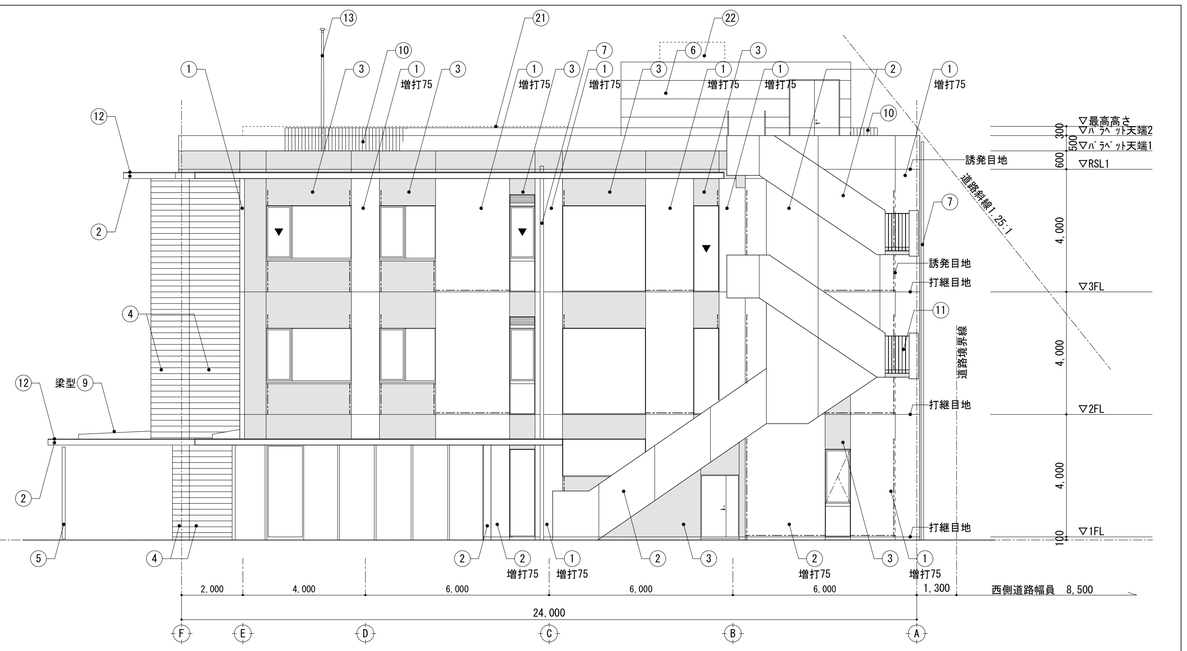
工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名
屋階平面図

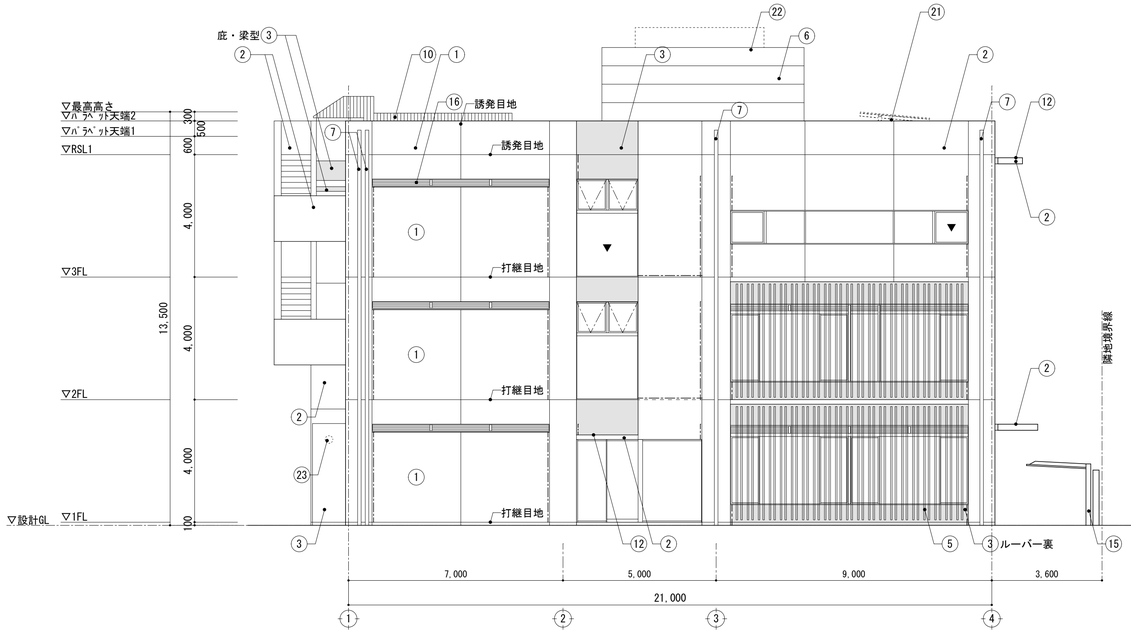
S= 1/100(A1)
1/200(A3)
DATE
2025.09
No.
A-017



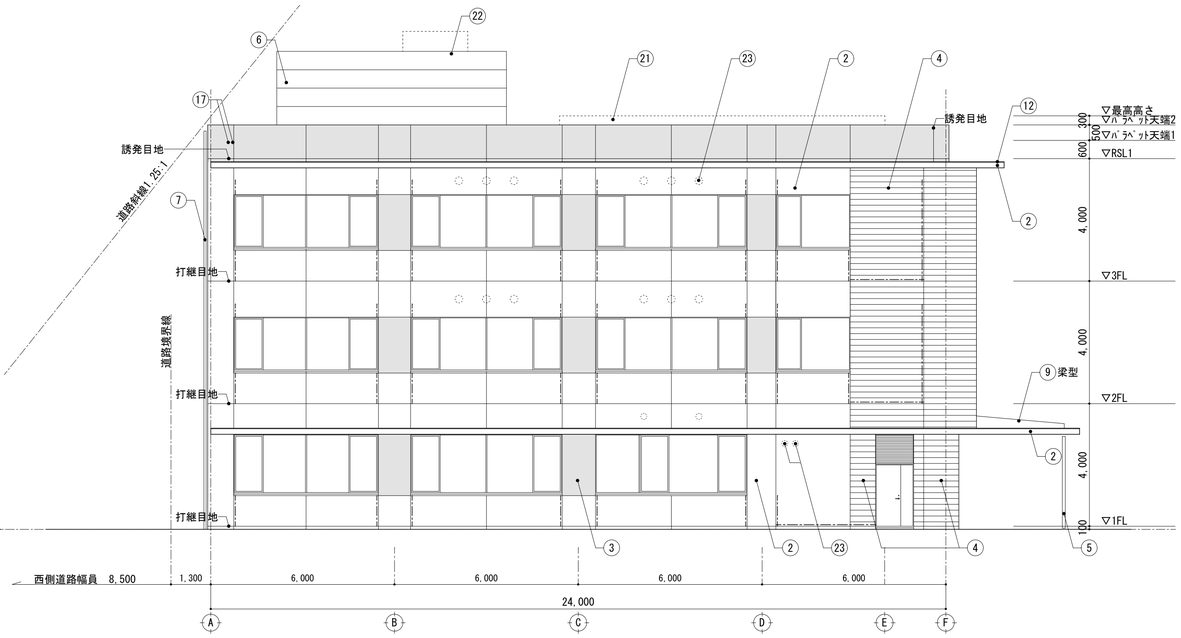
北立面図　S=1/100



西立面図　S=1/100



南立面図　S=1/100



東立面図　S=1/100

外部仕上凡例

①	外壁：コンクリート打放し＋砂壁状意匠性塗材	⑪	手摺（鉄部）：溶融亜鉛メッキ＋DP塗装	㉑	（電気設備工事）太陽光発電パネル
②	外壁：コンクリート打放し＋フッ素樹脂クリア	⑫	水切：アルミ フッ素樹脂焼付塗装	㉒	（電気設備工事）受変電設備
③	外壁：コンクリート打放し＋フッ素樹脂カラークリア	⑬	旗ポール	㉓	（機械設備工事）丸型フラット型ベントキャップ
④	外壁：杉板型枠コンクリート打放し＋フッ素樹脂クリア	⑭	蕨双子織暖簾		
⑤	目隠しルーバー：アルミ製ルーバー	⑮	駐輪場：アルミ製既製品		▼：代替進入口
⑥	設備目隠し壁：押出成形セメント板 DP塗装	⑯	アルミ製ガラリ		打継目地：15×15（①部 PS-2、②③④部 PU-2）
⑦	竪樋：塗装ガルバリウム鋼板製竪樋	⑰	オーバーフロー管		誘発目地：15×15（①部 PS-2、②③④部 PU-2）
⑧	竪樋：SUS製鎖樋	⑱		---	構造スリット
⑨	ウレタン系塗膜防水（X-2）	⑲			※縦目地は構造スリット以外は誘発目地 ※横目地は構造スリット以外は打継目地 （パラペットは３階躯体と一体打ちとする）
⑩	手摺（鉄部）：溶融亜鉛メッキ	⑳			

一級建築士事務所
KATO
ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

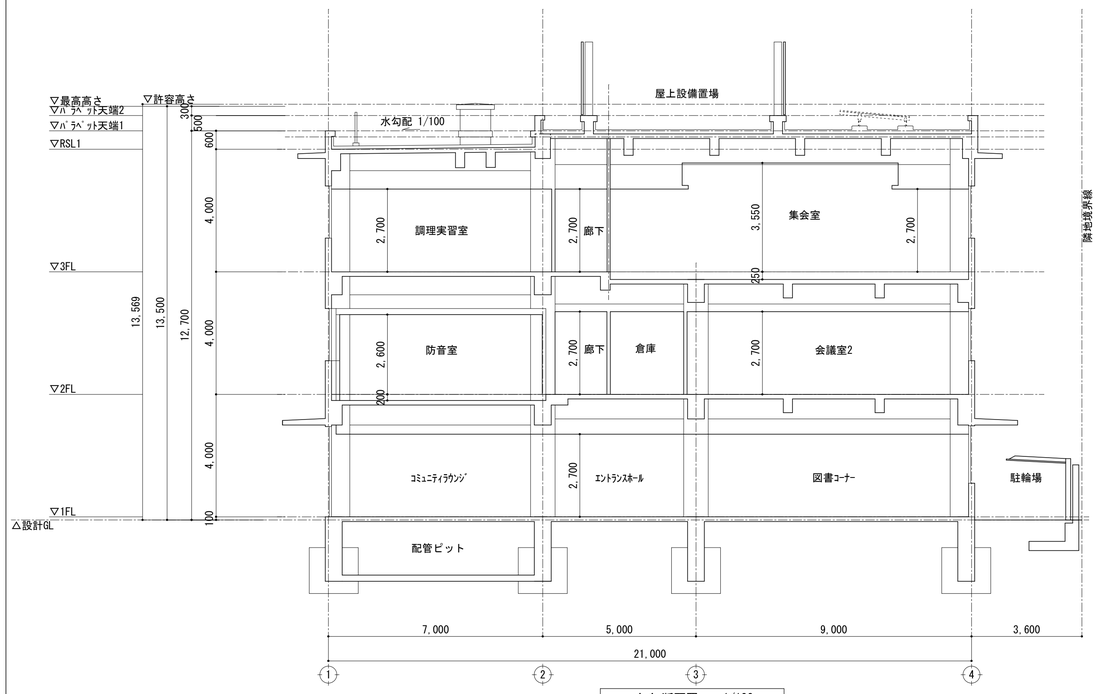
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

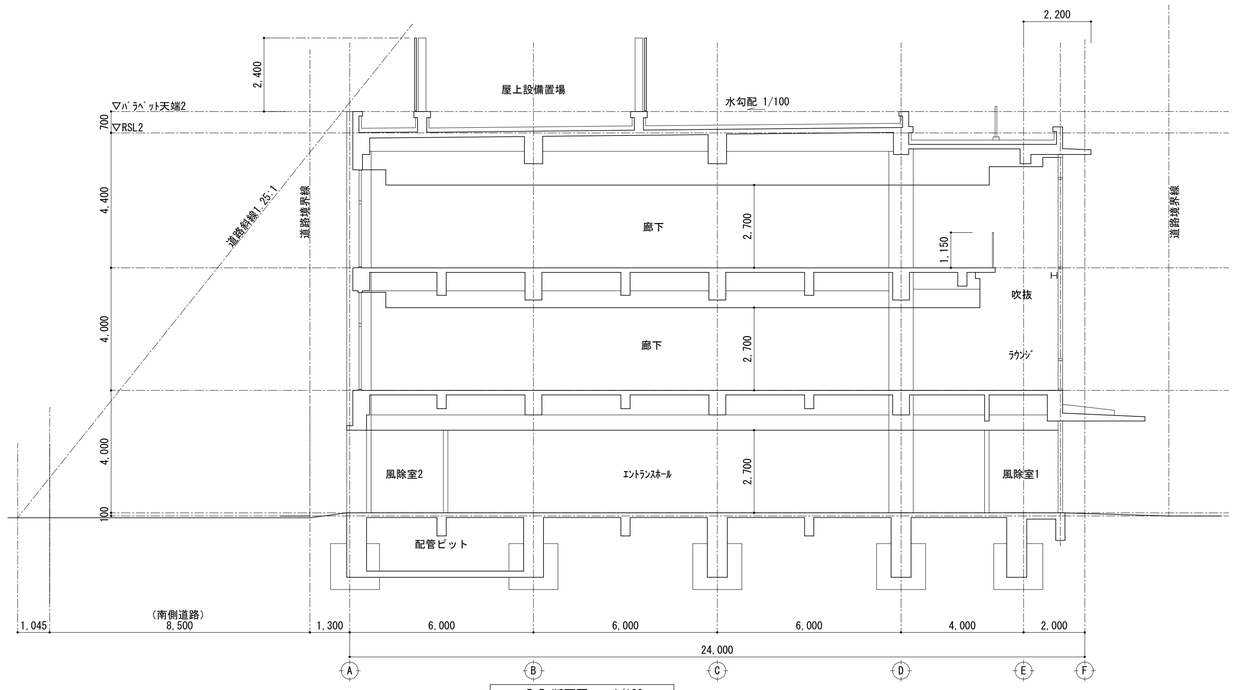
工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名
立面図

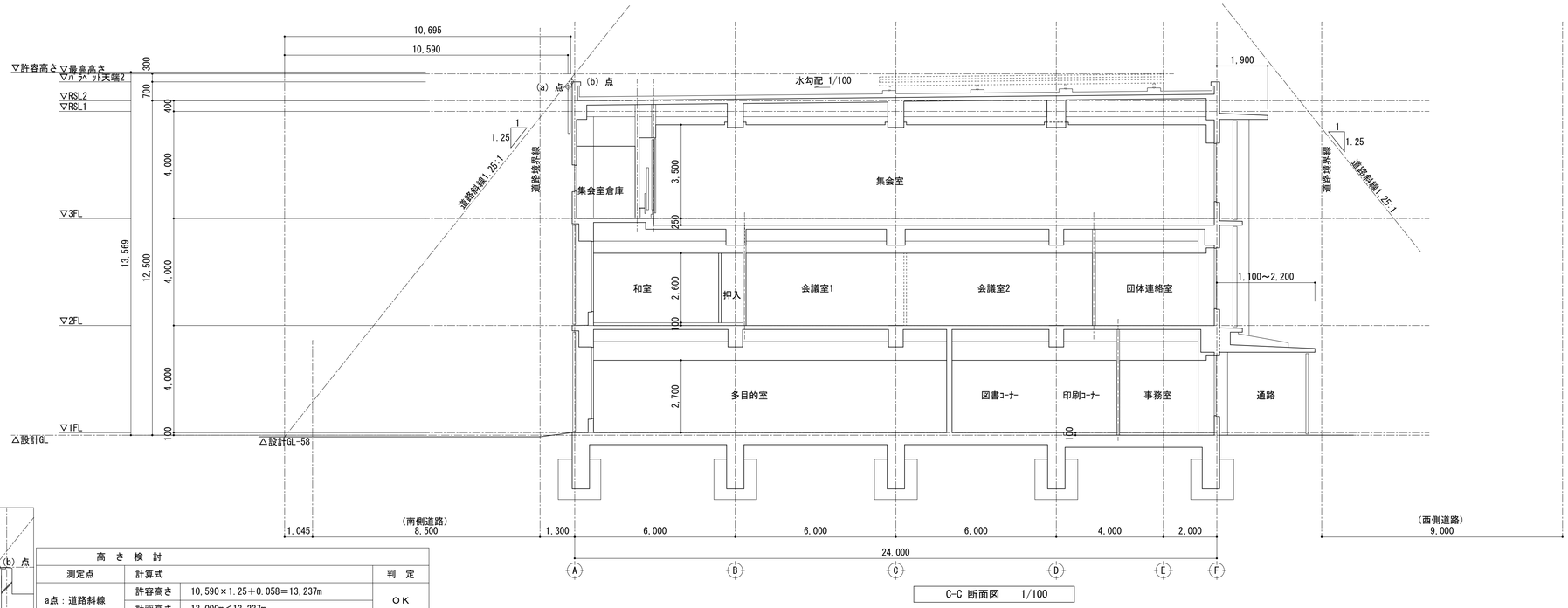
S= 1/100(A1)
1/200(A3)
DATE
2025.09
No.
A-018



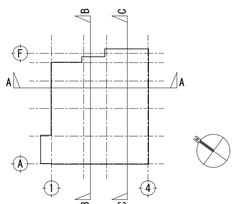
A-A 断面図　1/100



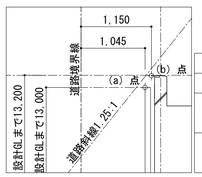
B-B 断面図　1/100



C-C 断面図　1/100



キープラン



高　さ　検　討			
測定点	計算式		判　定
a点：道路斜線	許容高さ	10,590×1.25＋0.058＝13,237m	ＯＫ
	計画高さ	13,000m＜13,237m	
b点：道路斜線	許容高さ	10,695×1.25＋0.058＝13,368m	ＯＫ
	計画高さ	13,200m＜13,368m	

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

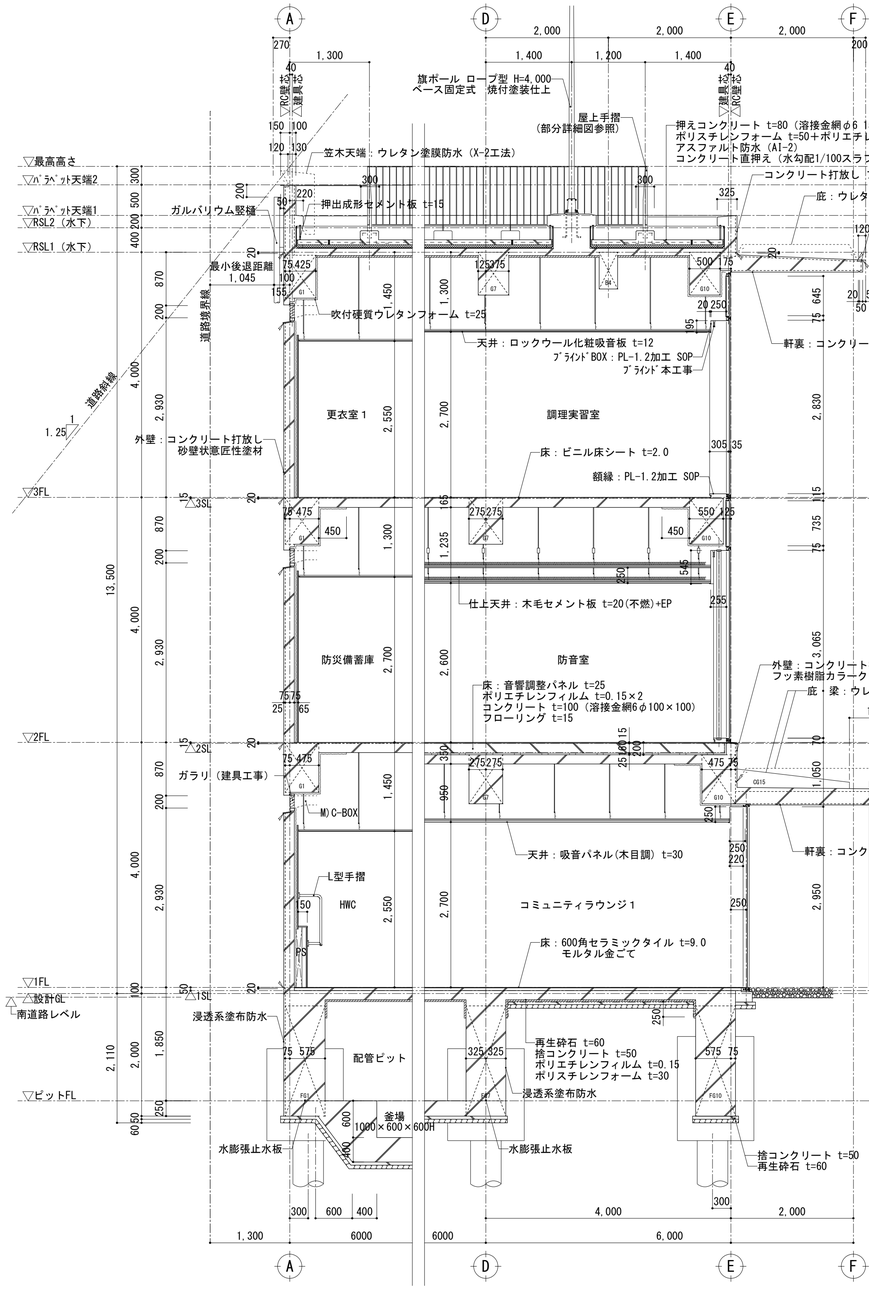
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

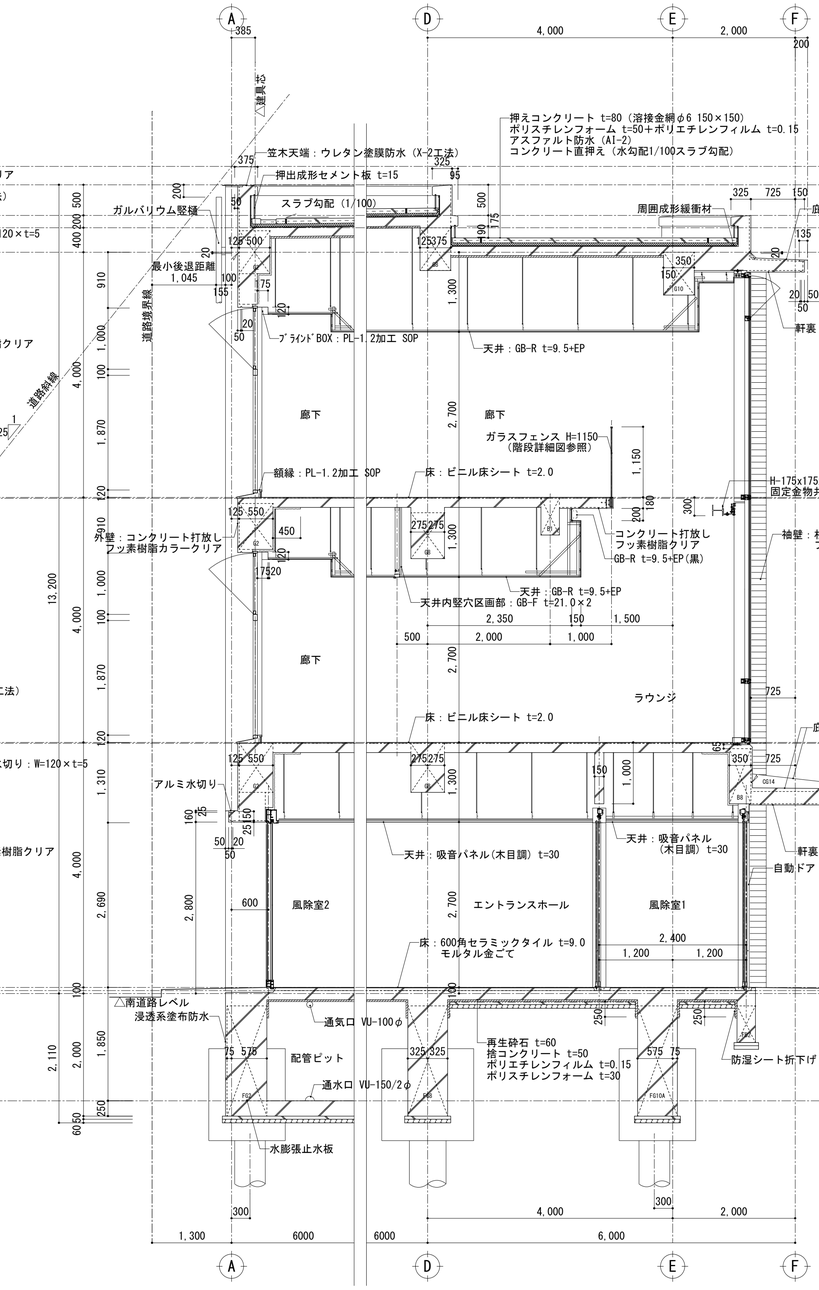
工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名
断面図

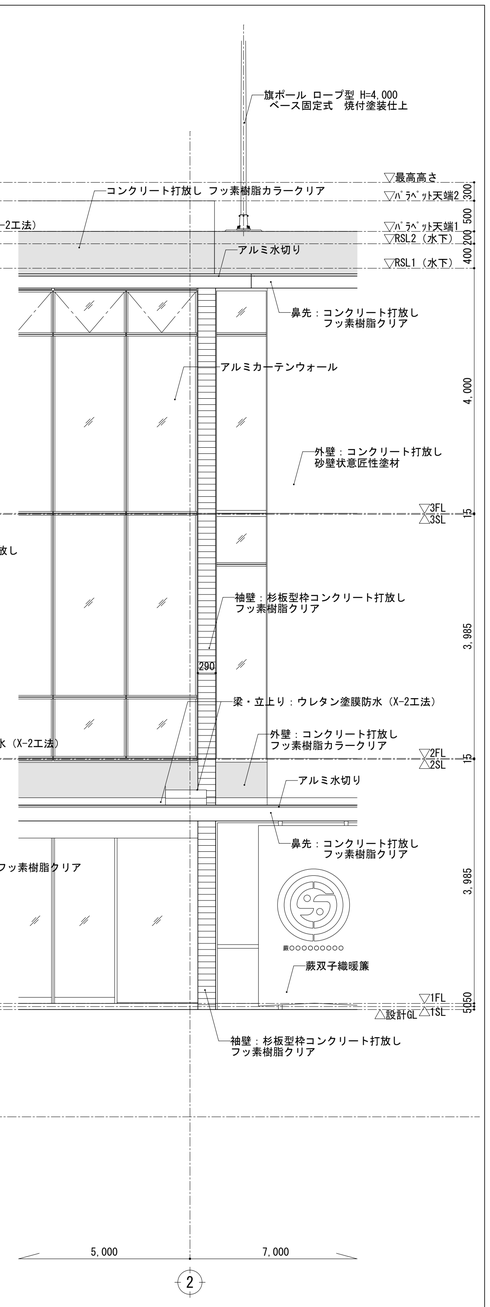
S= 1/100(A1)
1/200(A3)
DATE 2025.09
No. A-019



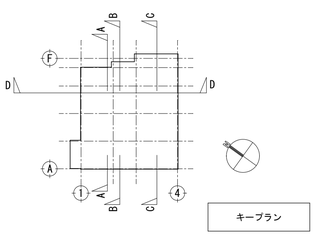
A-A 矩計図 1/50



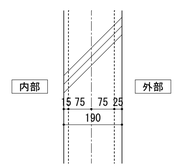
B-B 矩計図 1/50



北立面図1 1/50

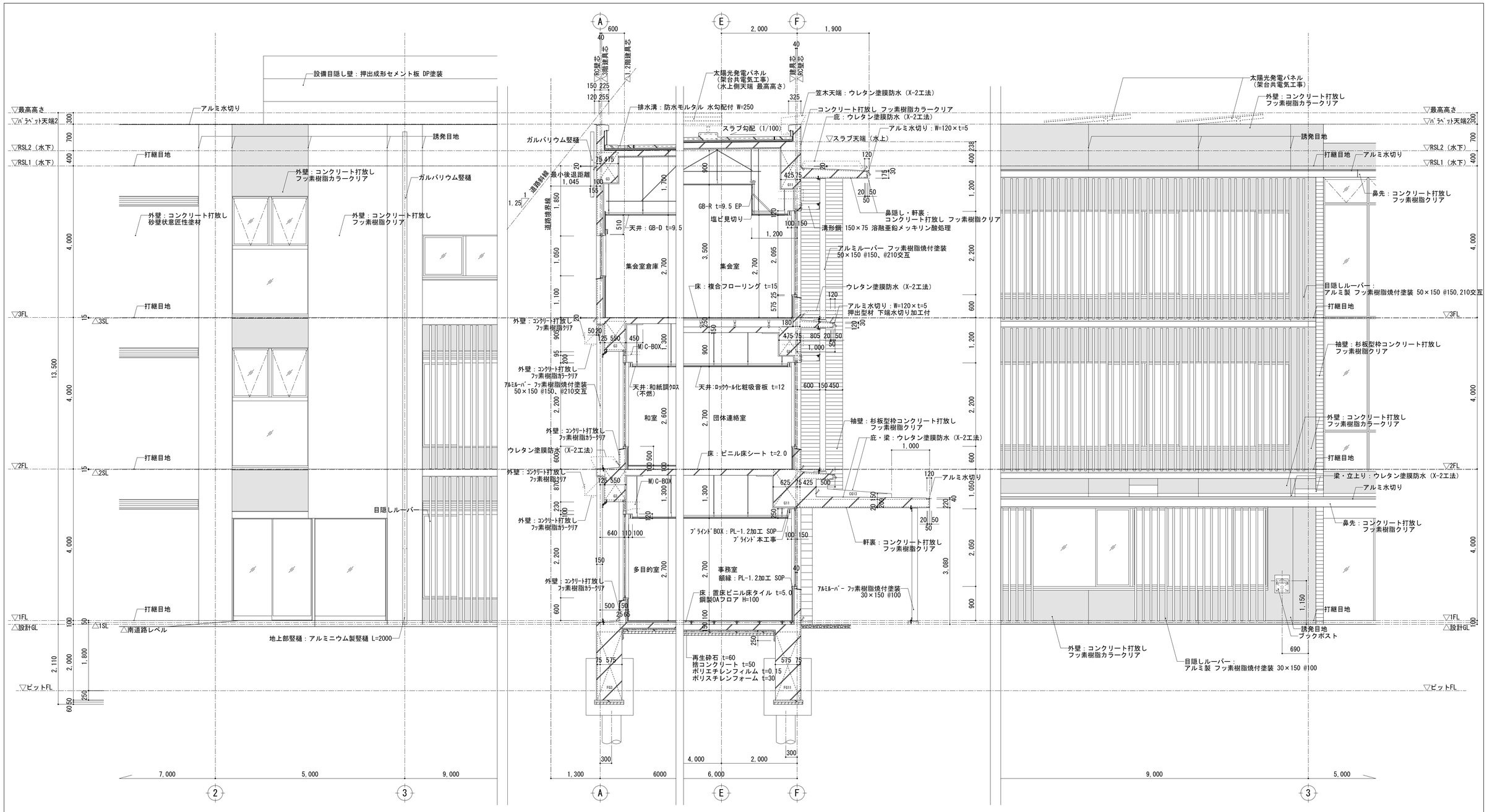


キープラン



RC壁標準断面図 1/10

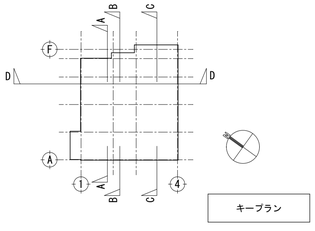
一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図名 矩計図1	S= 1/50(A1) 1/100(A3)	DATE 2025.09	No. A-020			



南立面図　1/50

C-C 矩計図　1/50

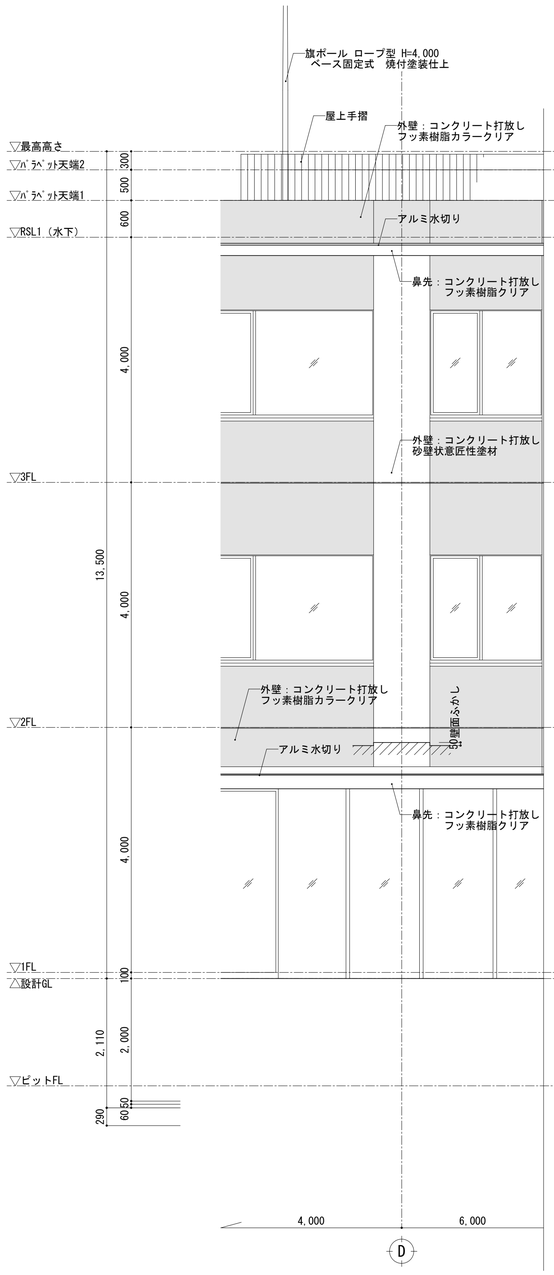
北立面図2　1/50



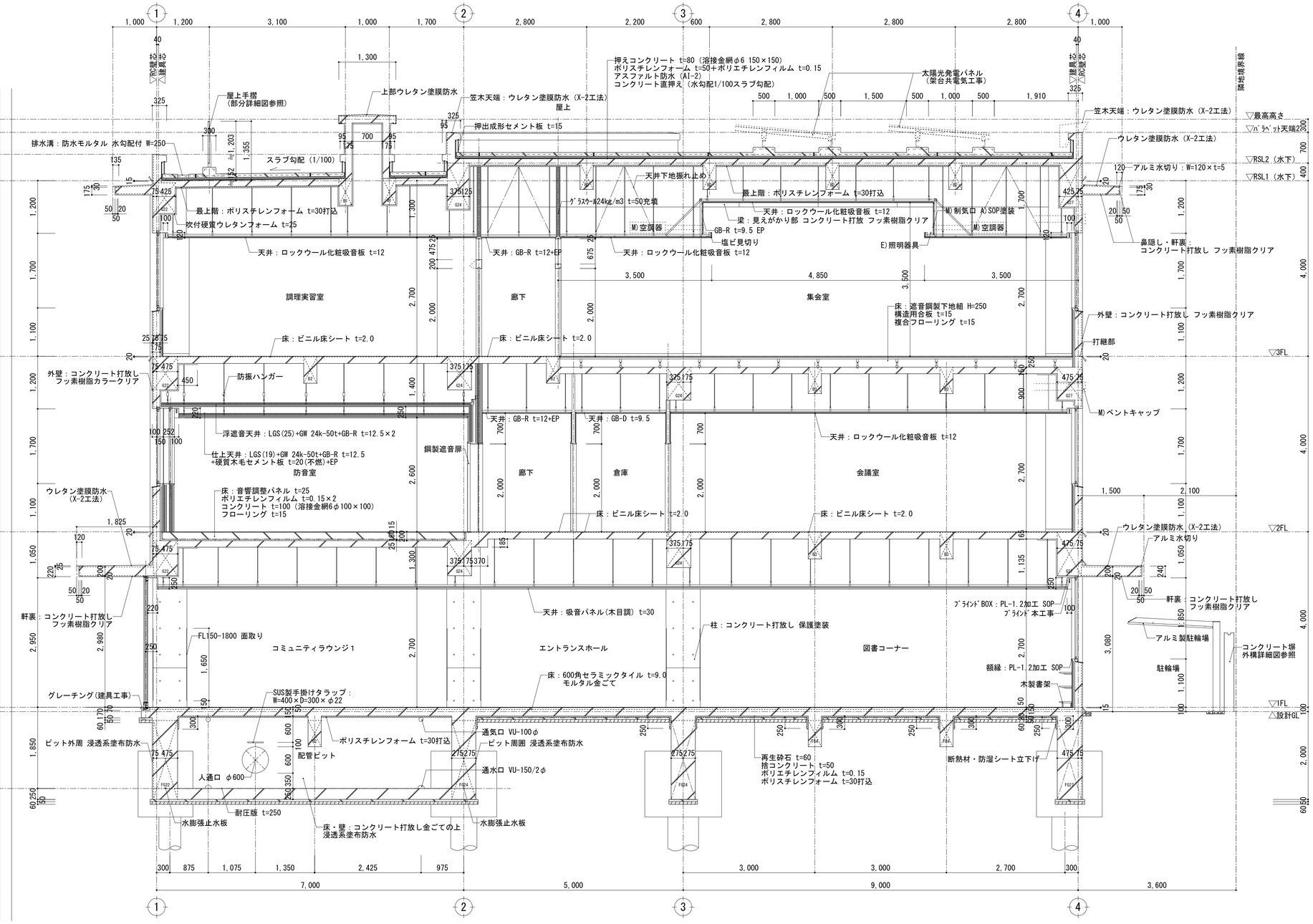
キープラン

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
						図名 矩計図2

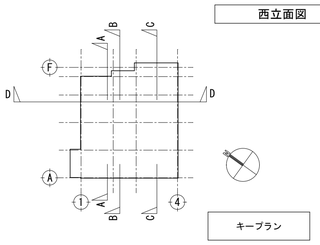
S=1/50(A1) 1/100(A3)
DATE 2025.09
No. A-021



西立面図　1/50

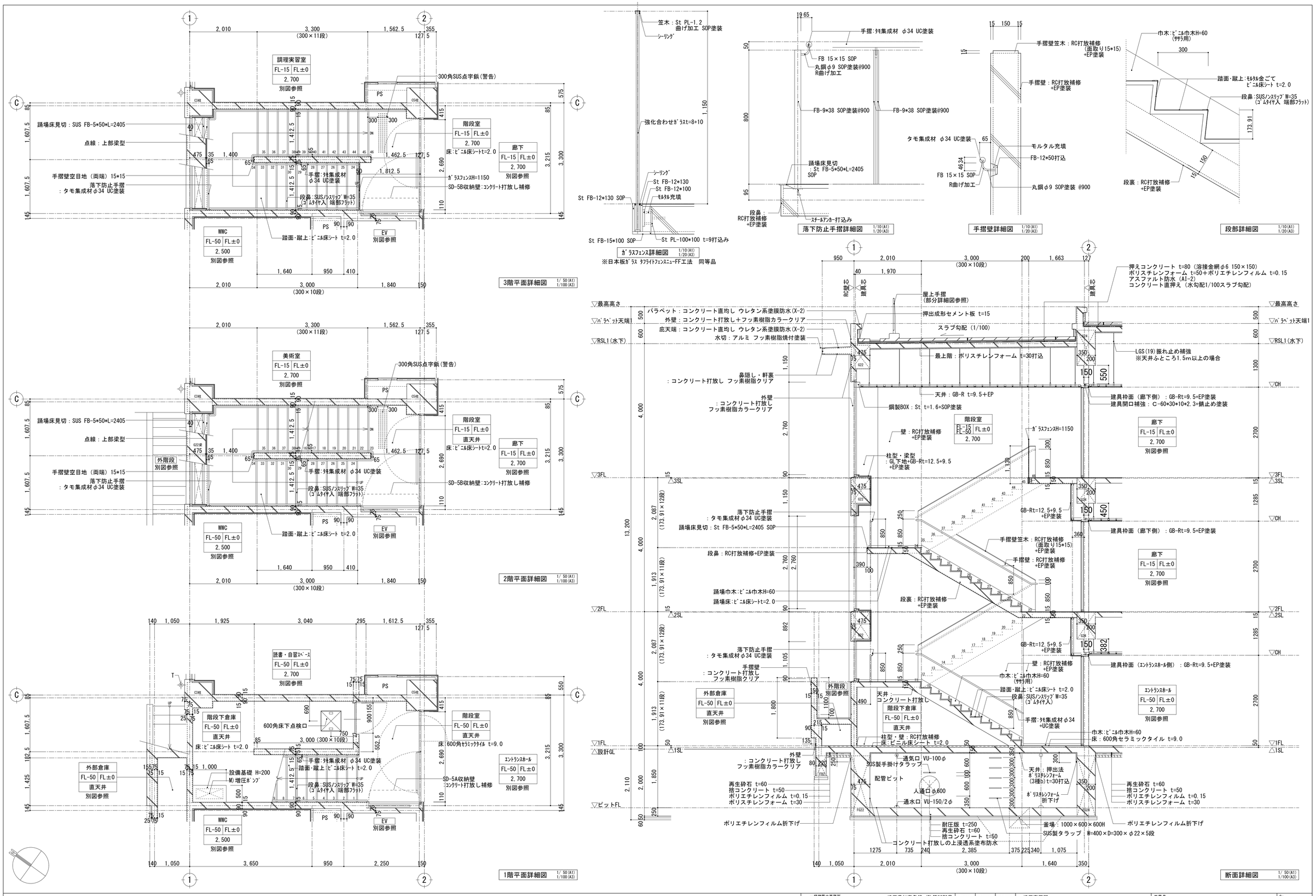


D-D 矩計図　1/50



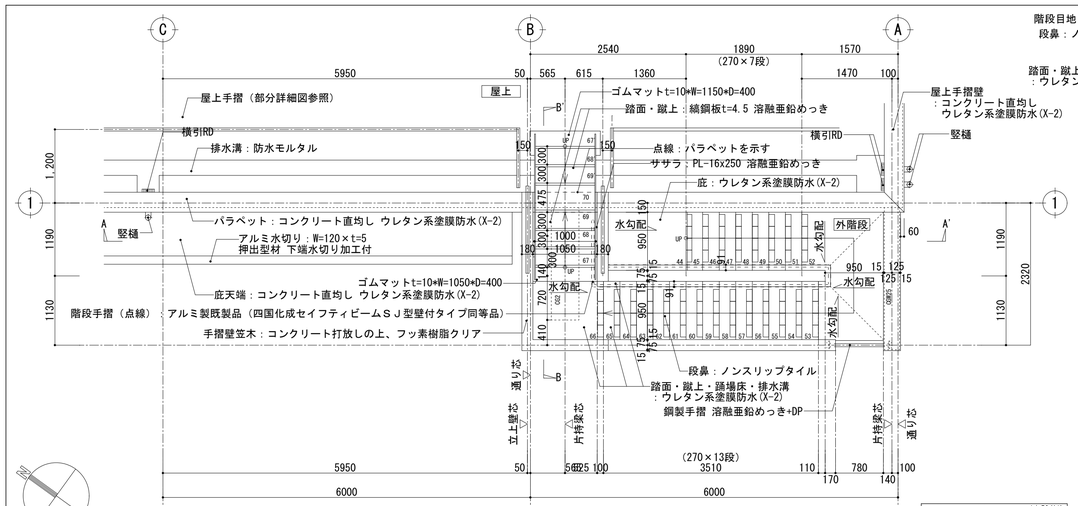
キープラン

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288
工事名	（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/50(A1) 1/100(A3)	DATE 2025.09	図名	矩計図3	No. A-022

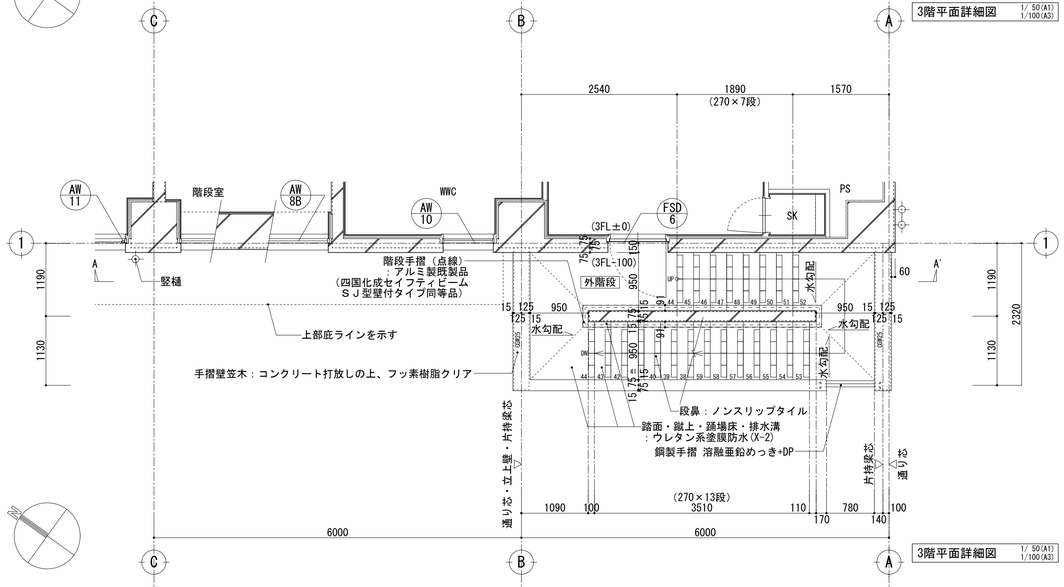


一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

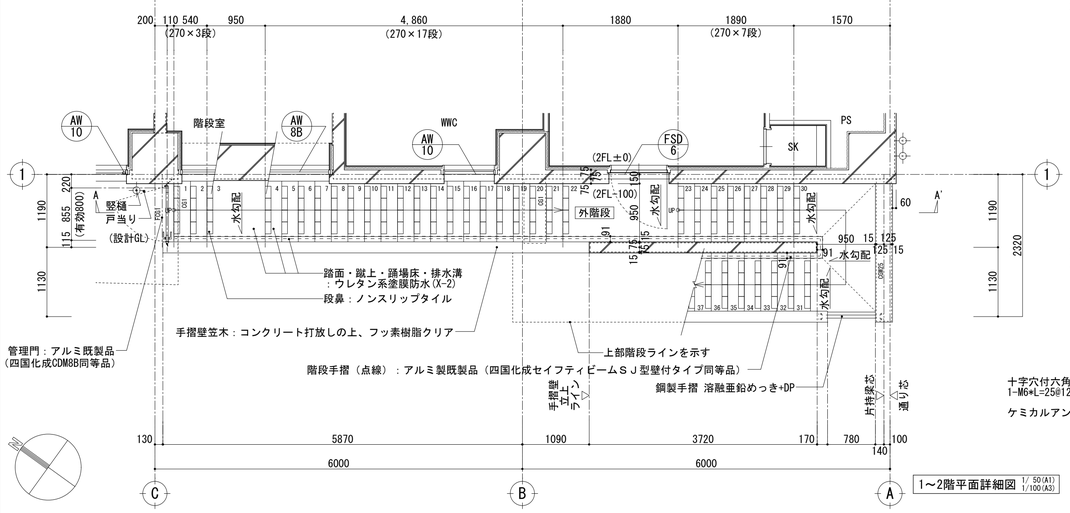
工事名	（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
S=	図示
DATE	2025.09
図名	階段詳細図
No.	A-023



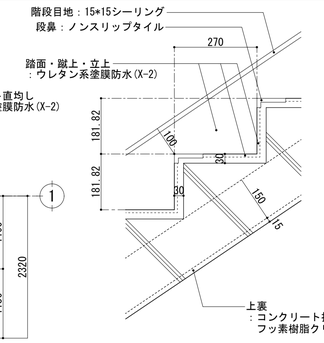
3階平面詳細図 1/50(A1) 1/100(A3)



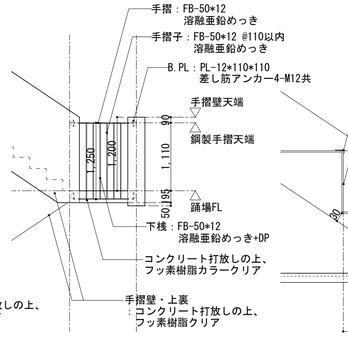
3階平面詳細図 1/50(A1) 1/100(A3)



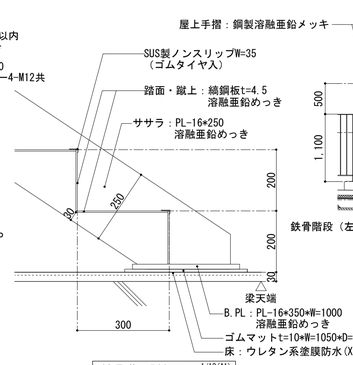
1～2階平面詳細図 1/50(A1) 1/100(A3)



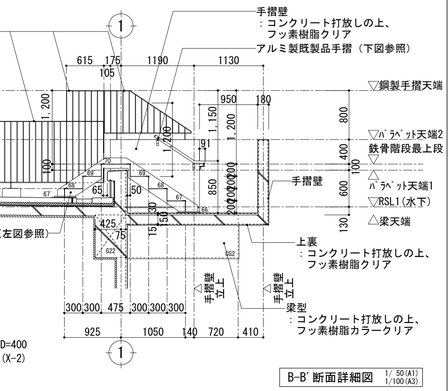
ＲＣ階段詳細図 1/10(A1) 1/20(A3)



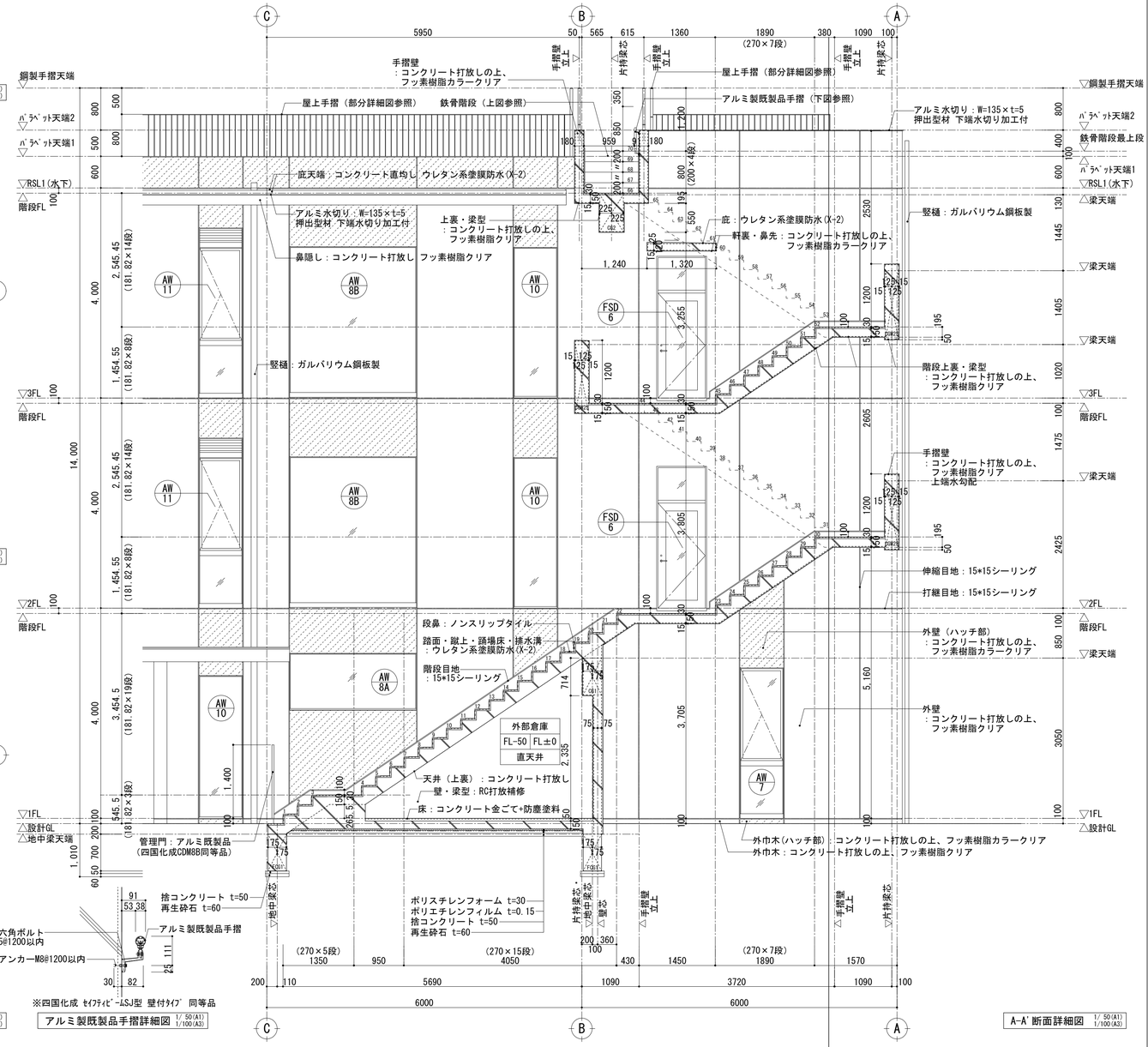
踊場鋼製手摺詳細図 1/50(A1) 1/100(A3)



鉄骨階段詳細図 1/10(A1) 1/20(A3)



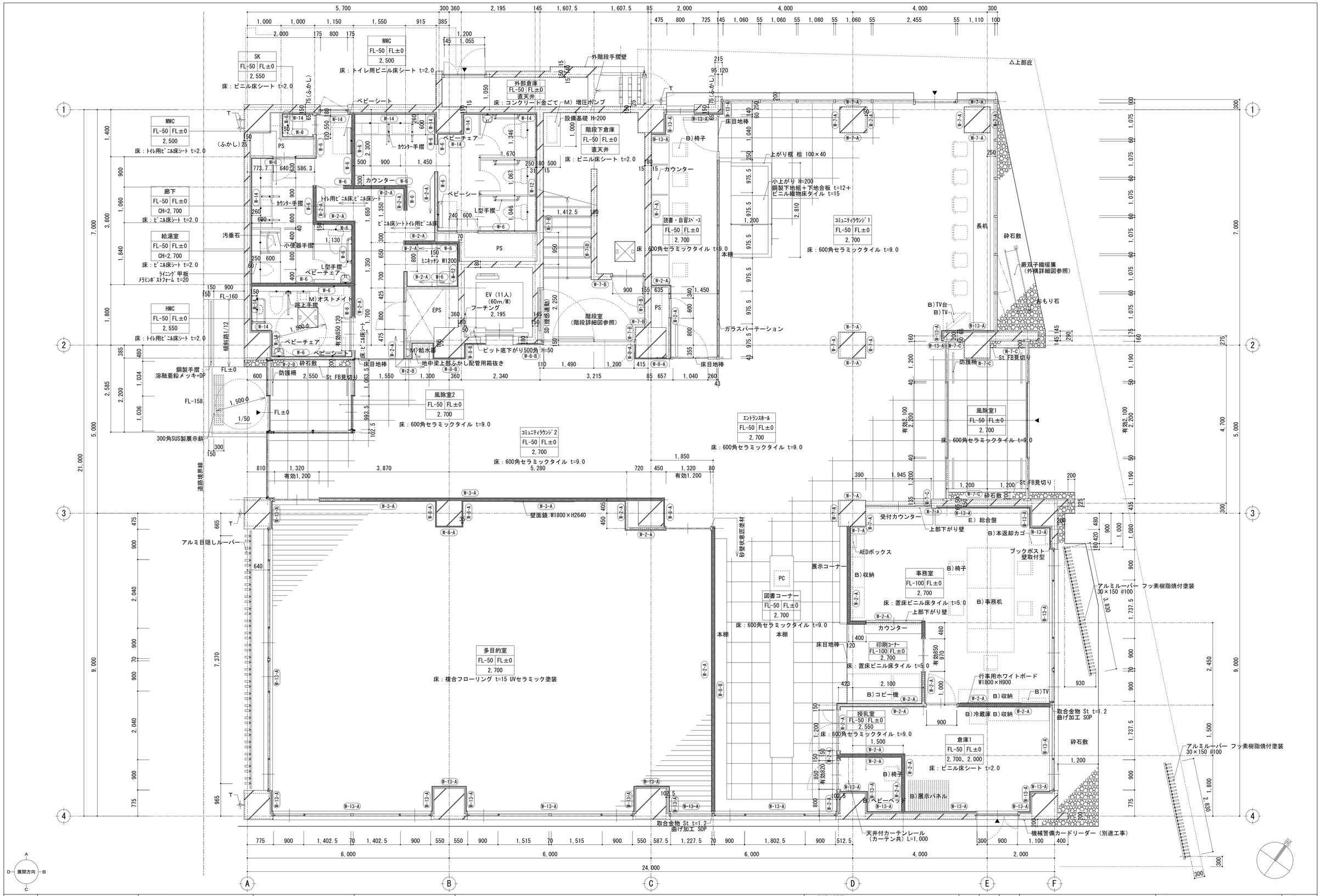
B-B' 断面詳細図 1/50(A1) 1/100(A3)



アルミ製既製品手摺詳細図 1/50(A1) 1/100(A3)

A-A' 断面詳細図 1/50(A1) 1/100(A3)

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTURE STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288
工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事					S= 図示
図名 屋外階段詳細図					DATE 2025.09
					No. A-024



【凡例】

室名	床仕上げﾚﾍﾞﾙ
ｽﾗﾌﾞﾚﾍﾞﾙ FL±0 FL±0 天井高	

□ 床下点検口（600×600）を示す。

B）備品（別途）を示す	RD：ルーフドレン	◀：出入口位置を示す
E）電気設備工事を示す	Y：横引き管	W-#-#：壁種別を示す（部分詳細図参照）
M）機械設備工事を示す	T：竪樋	
注）特記なき限り建築工事を示す	OF：オーバーフロー管	

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT AND STUDIO
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9787
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0268

工事名：（仮称）厳市立西公民館等複合施設建設工事

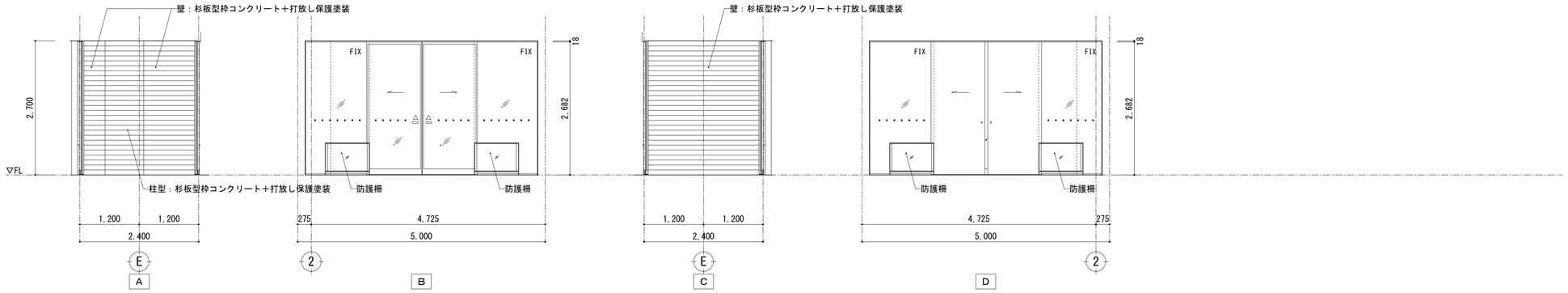
図名：1階平面詳細図

S= 1/50(A1) 1/100(A3)

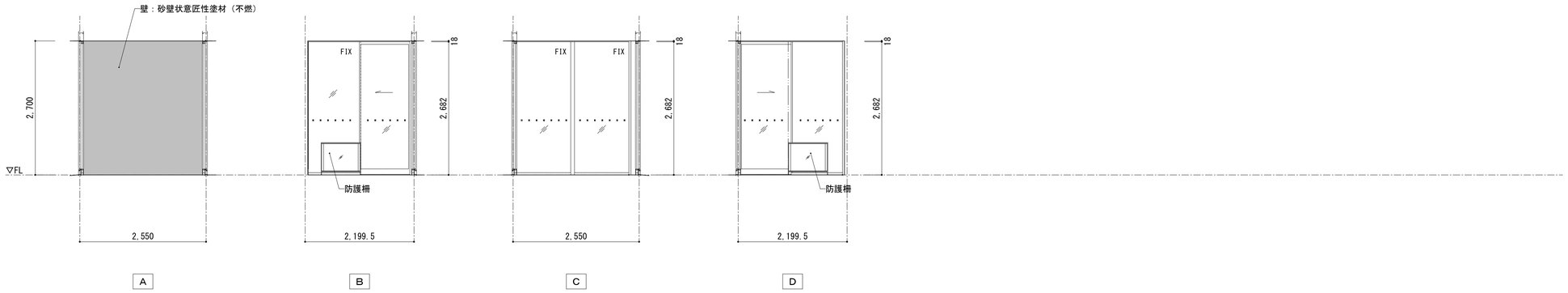
DATE 2025.09

No. A-025

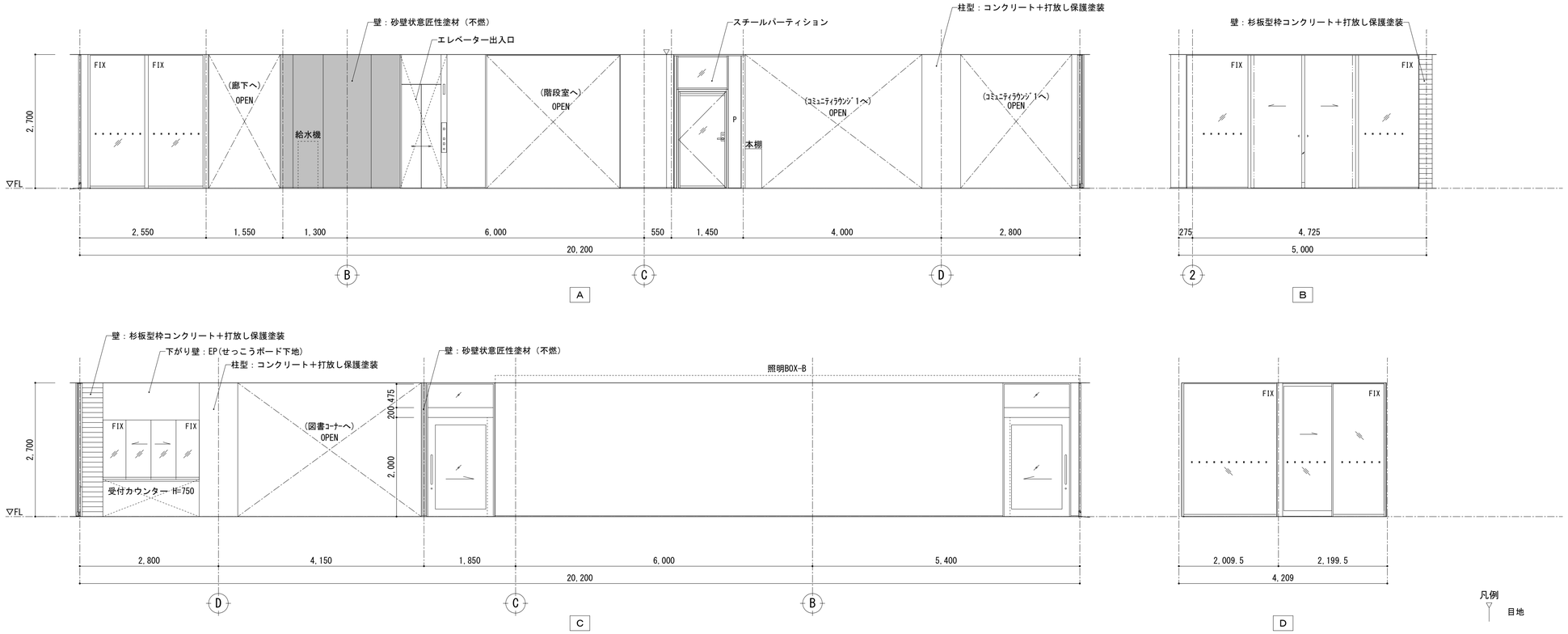
室 名	風除室1 (※特記なき限り下記による)		
床	600角セラミックタイル t=9.0(モルタル下地) 一部砕石敷		
巾 木	―		
壁	杉板型枠コンクリート＋打放し保護塗装		
天 井	GB-R t=9.5＋ 吸音パネル(木目調) t=30	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		―	―
廻 縁	―		
備 考	自動ドア防護柵		



室 名	風除室2 (※特記なき限り下記による)		
床	600角セラミックタイル t=9.0(モルタル下地)		
巾 木	―		
壁	砂壁状意匠性塗材(不燃)(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5＋ 吸音パネル(木目調) t=30	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		―	―
廻 縁	―		
備 考	自動ドア防護柵		



室 名	エントランスホール コミュニティラウンジ2 (※特記なき限り下記による)		
床	600角セラミックタイル t=9.0(モルタル下地)		
巾 木	アルミ入巾木		
壁	コンクリート＋打放し保護塗装 EP(せっこうボード下地) 砂壁状意匠性塗材(不燃)(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5＋ 吸音パネル(木目調) t=30	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		―	―
廻 縁	―		
備 考			



凡例

▽ 目地

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

APPR	CHKD	DRAWN

工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事

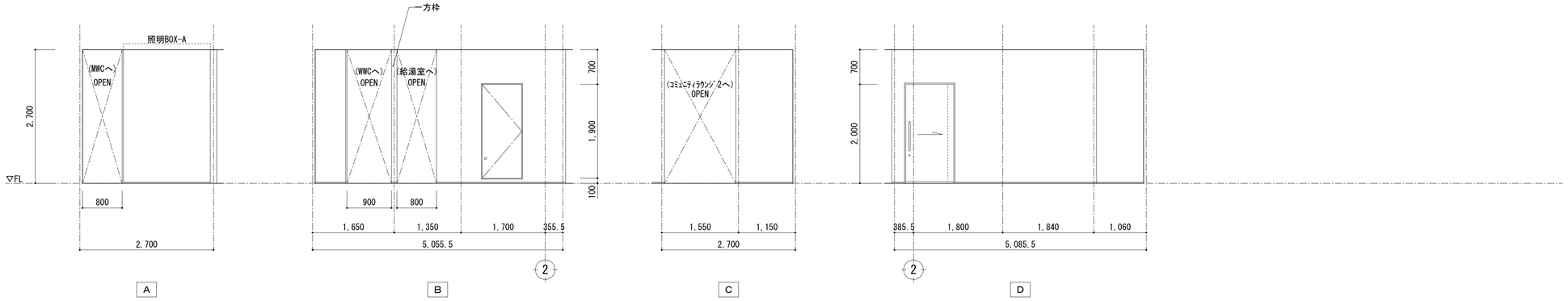
図 名 1階展開図1

S= 1/ 50(A1) 1/100(A3)

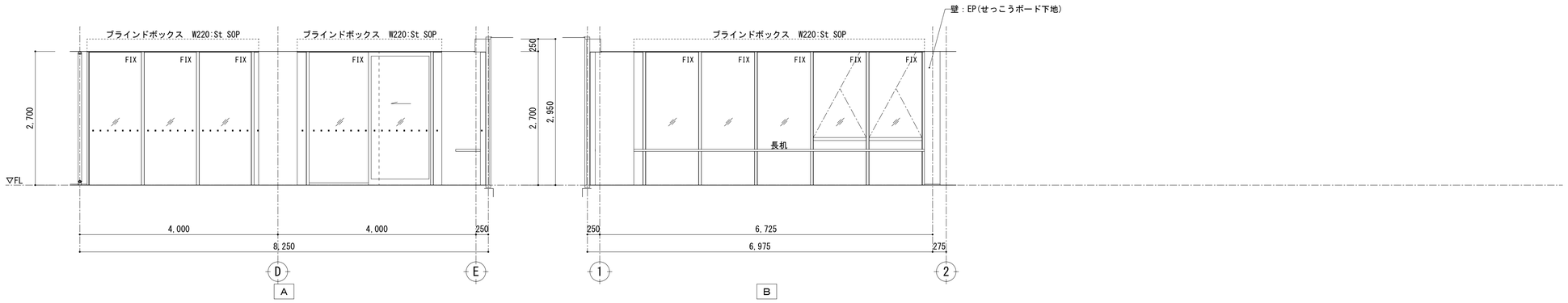
DATE 2025.09

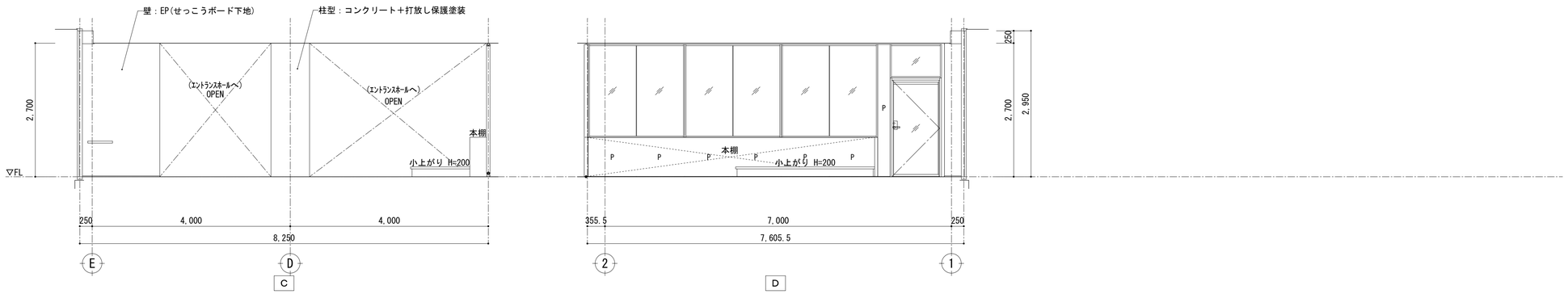
No. A-026

室 名	廊下　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	アルミ入巾木		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考			

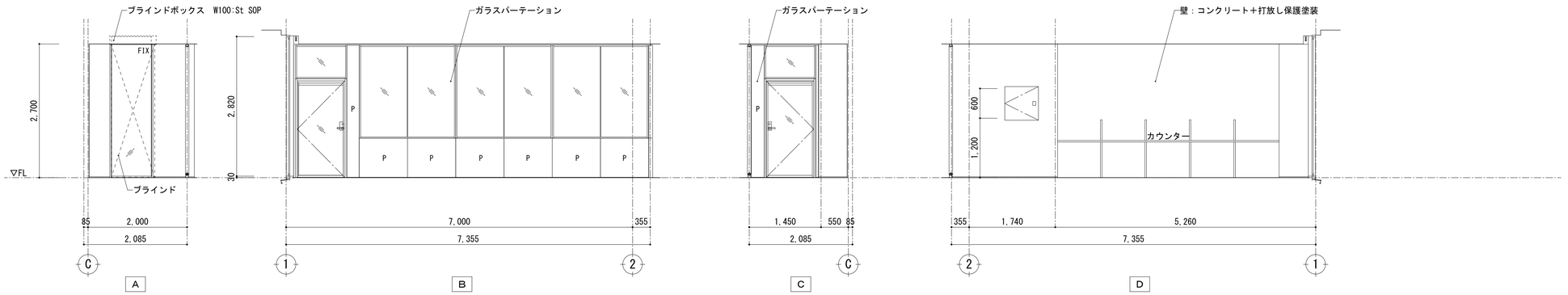


室 名	コミュニティラウンジ１(※特記なき限り下記による)		
床	600角セラミックタイル t=9.0(モルタル下地)		
巾 木	アルミ入巾木		
壁	コンクリート＋打放し保護塗装 一部 EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+ 吸音パネル(木目調) t=30	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	St SOP
廻 縁	—		
備 考	小上がり H=200 ガラスパーテーション、木製本棚、木製長机		





室 名	読書・自習スペース (※特記なき限り下記による)		
床	600角セラミックタイル t=9.0(モルタル下地)		
巾 木	アルミ入巾木		
壁	コンクリート＋打放し保護塗装 EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+ 吸音パネル(木目調) t=30	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	—		
備 考	ガラスパーテーション、木製カウンター		



一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成
埼玉県知事登録 (5)第8878号
埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787
東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

APPR	CHKD	DRAWN

工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事

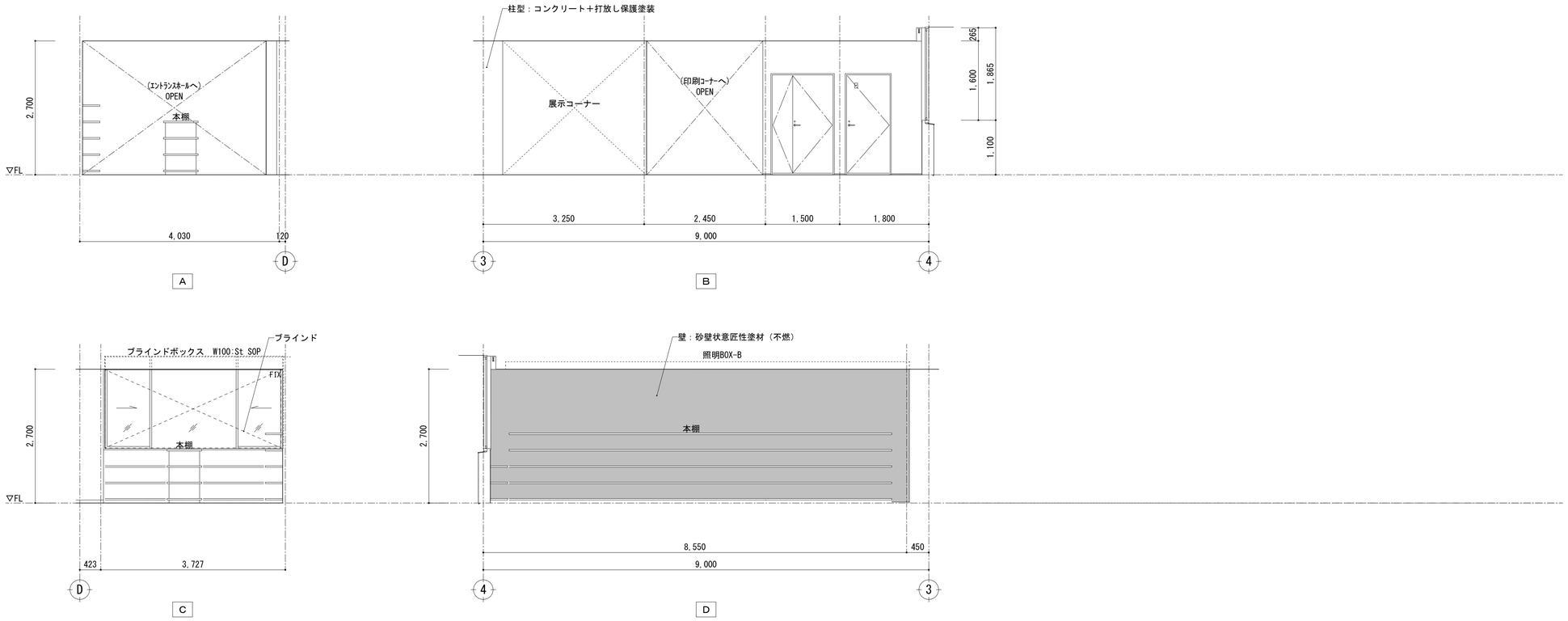
図 名 1階展開図2

S= 1/ 50(A1) 1/100(A3)

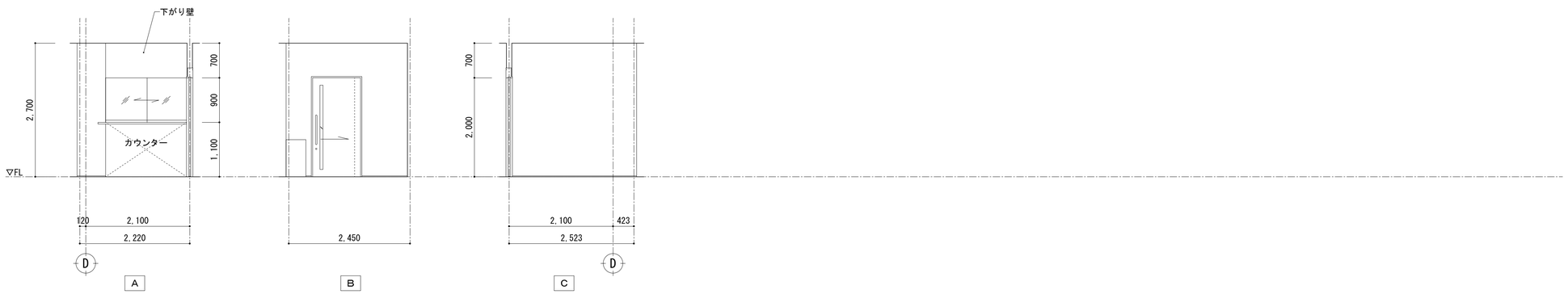
DATE 2025.09

No. A-027

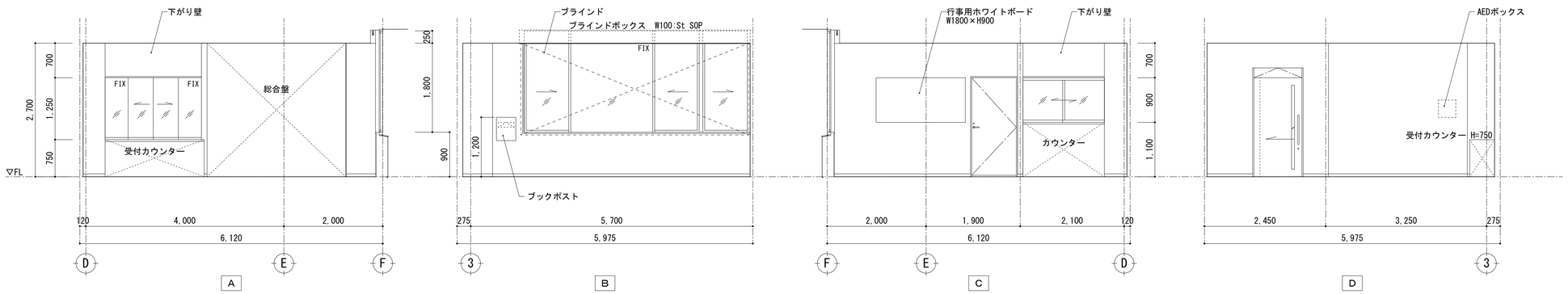
室 名	図書コーナー　　(※特記なき限り下記による)		
床	600角セラミックタイル t=9.0(モルタル下地)		
巾 木	アルミ入巾木		
壁	EP(せっこうボード下地) 砂壁状意匠性塗材(不燃)(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+ 吸音パネル(木目調) t=30	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	ー		
備 考	木製本棚、展示コーナー		



室 名	印刷コーナー　　(※特記なき限り下記による)		
床	置床ビニル床タイル t=5.0(鋼製OAﾌﾛｱ H=100)		
巾 木	アルミ入巾木		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+ 吸音パネル(木目調) t=30	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ー	ー
廻 縁	ー		
備 考	カウンター		

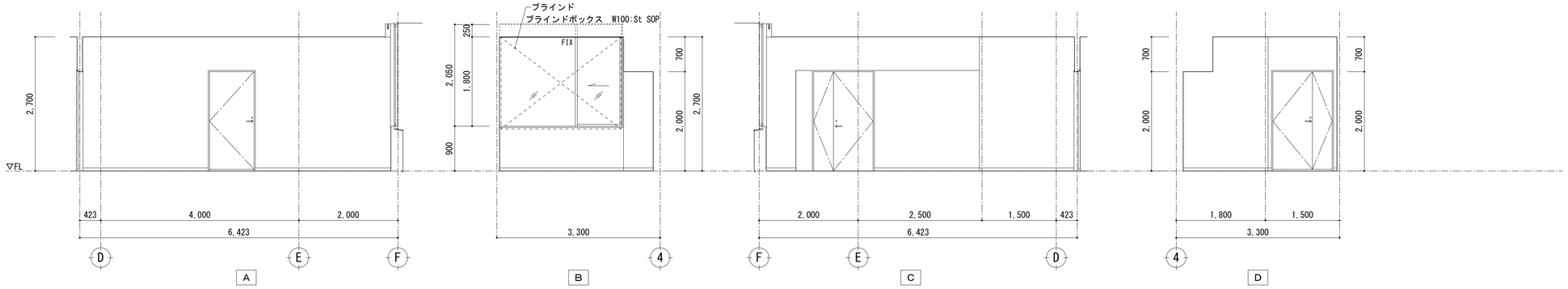


室 名	事務室　　(※特記なき限り下記による)		
床	置床ビニル床タイル t=5.0(鋼製OAﾌﾛｱ H=100)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+DR t=12	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	カウンター ブックポスト、AEDボックス、行事用ホワイトボード		

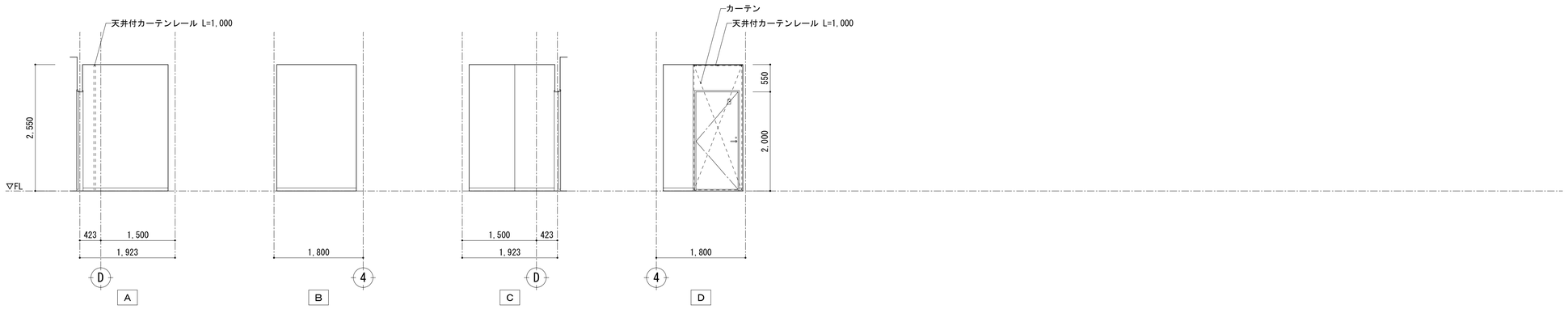


一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事 図 名 1階展開図3	S= 1/ 50(A1) 1/100(A3) DATE 2025.09 No. A-028

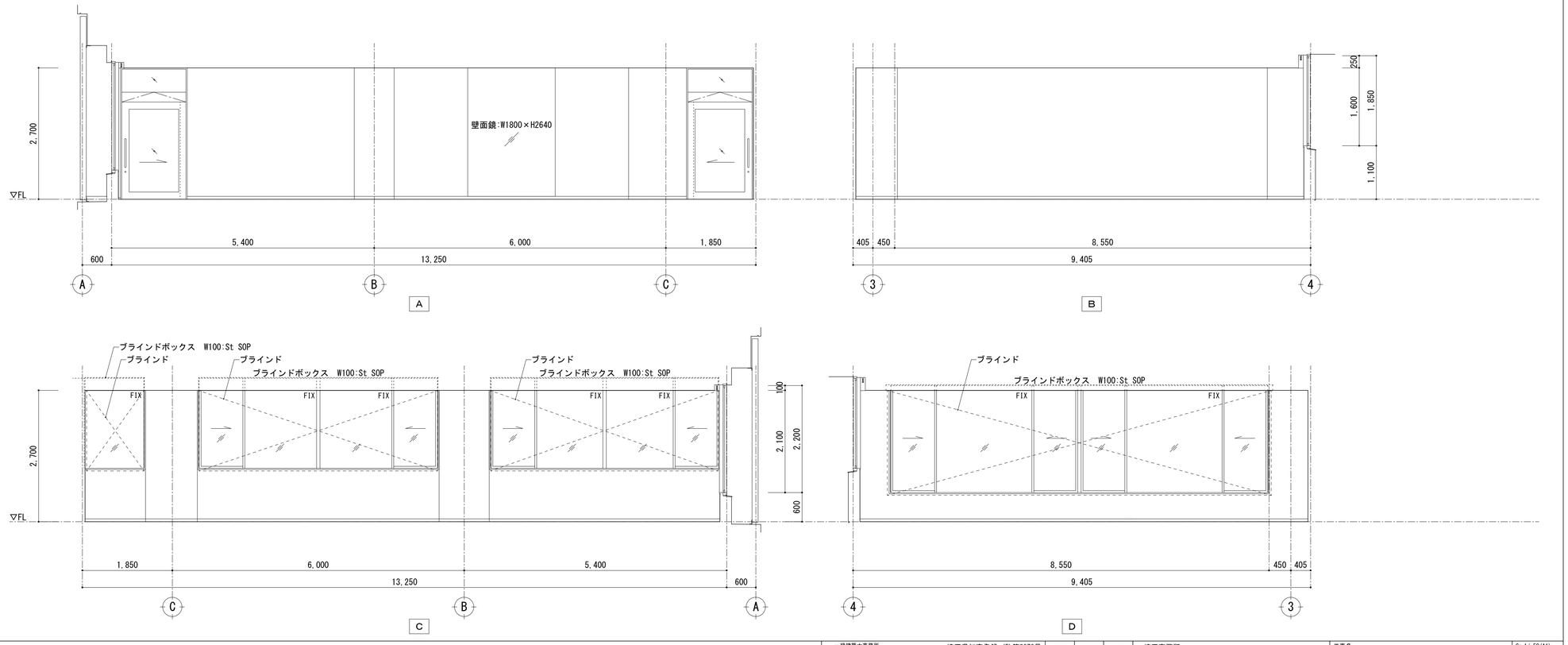
室 名	倉庫1 (※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考			



室 名	授乳室 (※特記なき限り下記による)		
床	600角セラミックタイル t=9.0(モルタル下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+DR t=12	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考	天井付カーテンレール (カーテン共) L=1,000		



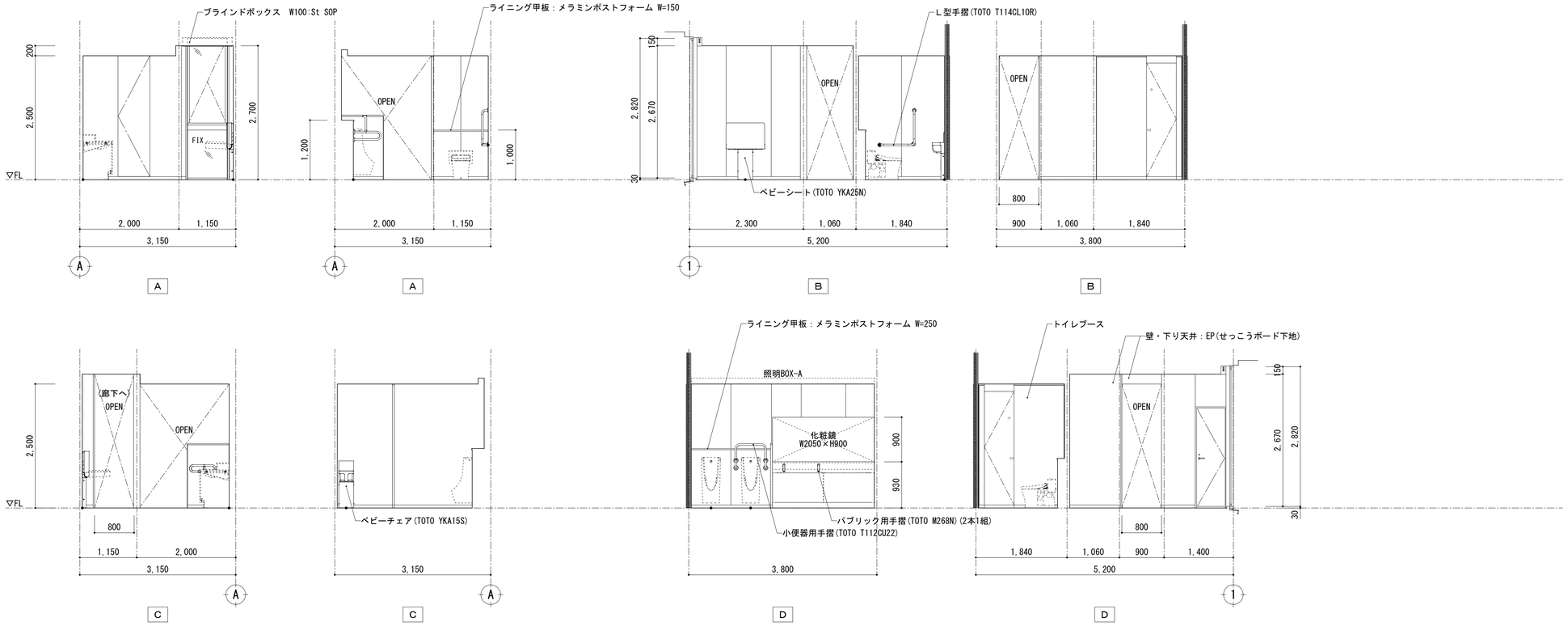
室 名	多目的室 (※特記なき限り下記による)		
床	複合フローリング t=15 UVセラミック塗装 (コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+DR t=12 一部 GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	壁面鏡:W1800×H2640		



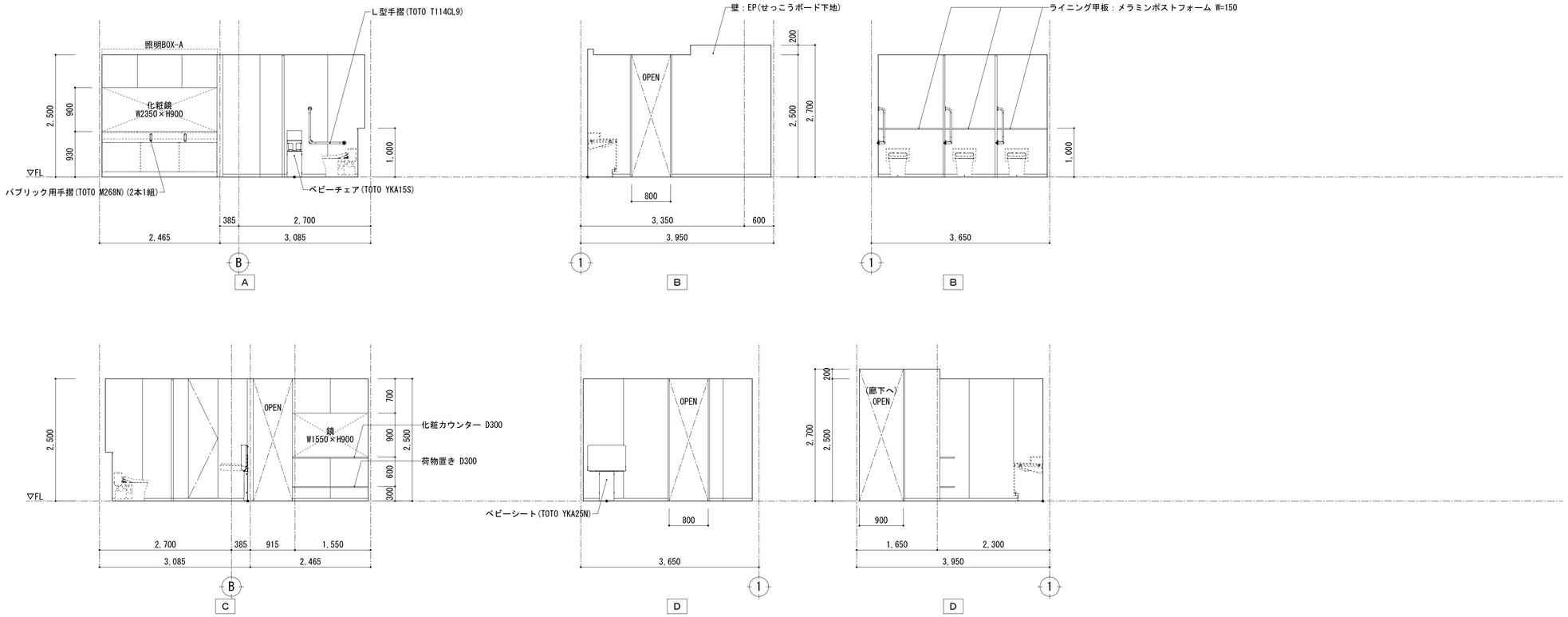
一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787
一級建築士 NO.164725 北田 英成					東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

工事名	(仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図 名	1階展開図4
S=	1/ 50(A1) 1/100(A3)
DATE	2025.09
No.	A-029

室 名	MWC (※特記なき限り下記による)		
床	トイレ用ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル床シート巻上 H=60		
壁	メラミン化粧板 t=3.0(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		―	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	トイレブース、化粧鏡 ライニング甲板 メラミンポストフォーム ベビーシート、ベビーチェア、手摺		



室 名	WWC (※特記なき限り下記による)		
床	トイレ用ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル床シート巻上 H=60		
壁	メラミン化粧板 t=3.0(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		―	―
廻 縁	塩ビ製		
備 考	トイレブース、化粧鏡 ライニング甲板 メラミンポストフォーム ベビーシート、ベビーチェア、手摺、化粧カウンター		



一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS

埼玉県知事登録 (5)第8878号

株式会社 カトウ建築事務所

一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787

東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名
(仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事

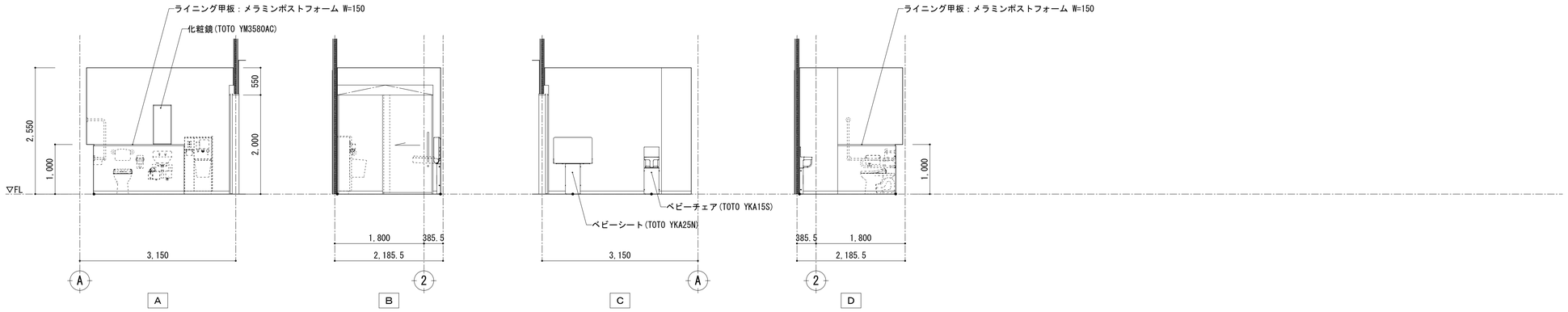
図 名
1階展開図5

S= 1/ 50(A1)
1/100(A3)

DATE 2025.09

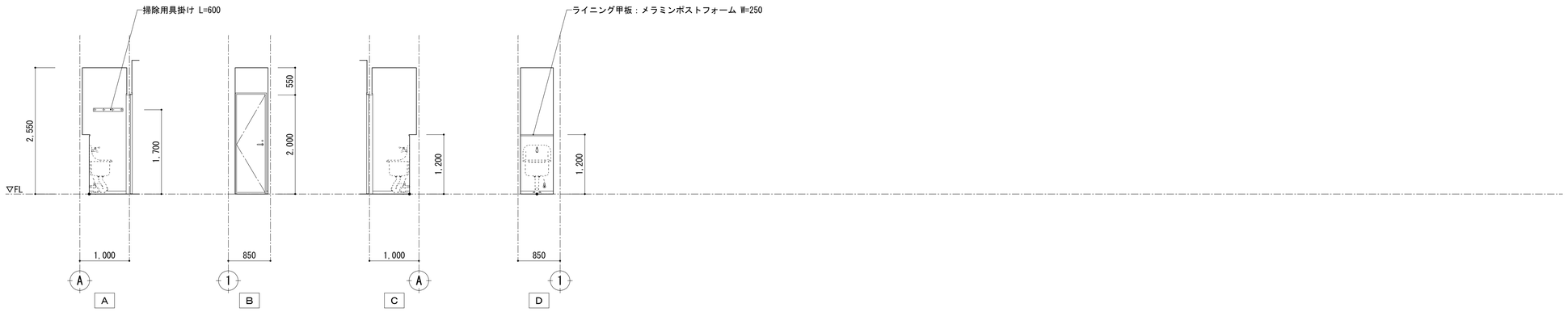
No. A-030

室 名	HWC (※特記なき限り下記による)		
床	トイレ用ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル床シート巻上 H=60		
壁	メラミン化粧板 t=3.0(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考	可動手摺、L型手摺、ベビーチェア、化粧鏡 ライニング甲板 メラミンポストフォーム、床下点検口		

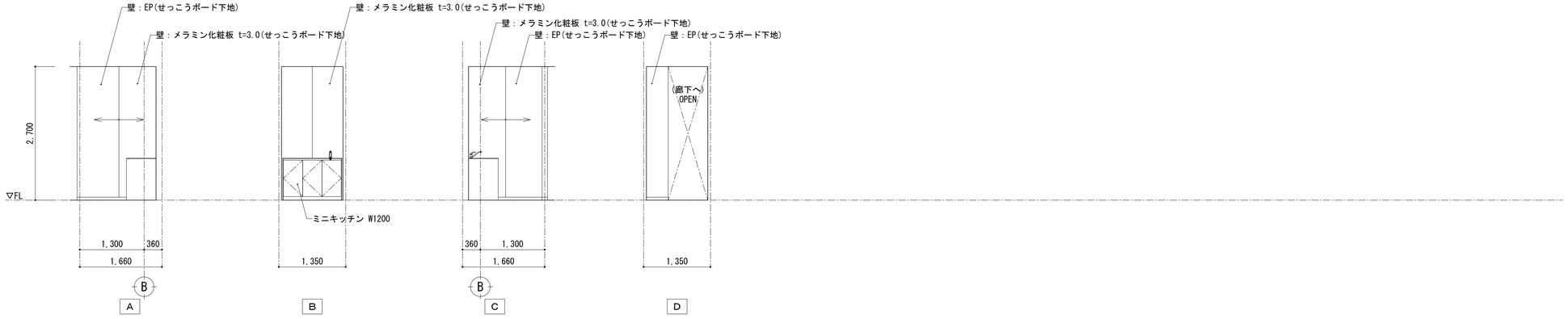


※各階共通

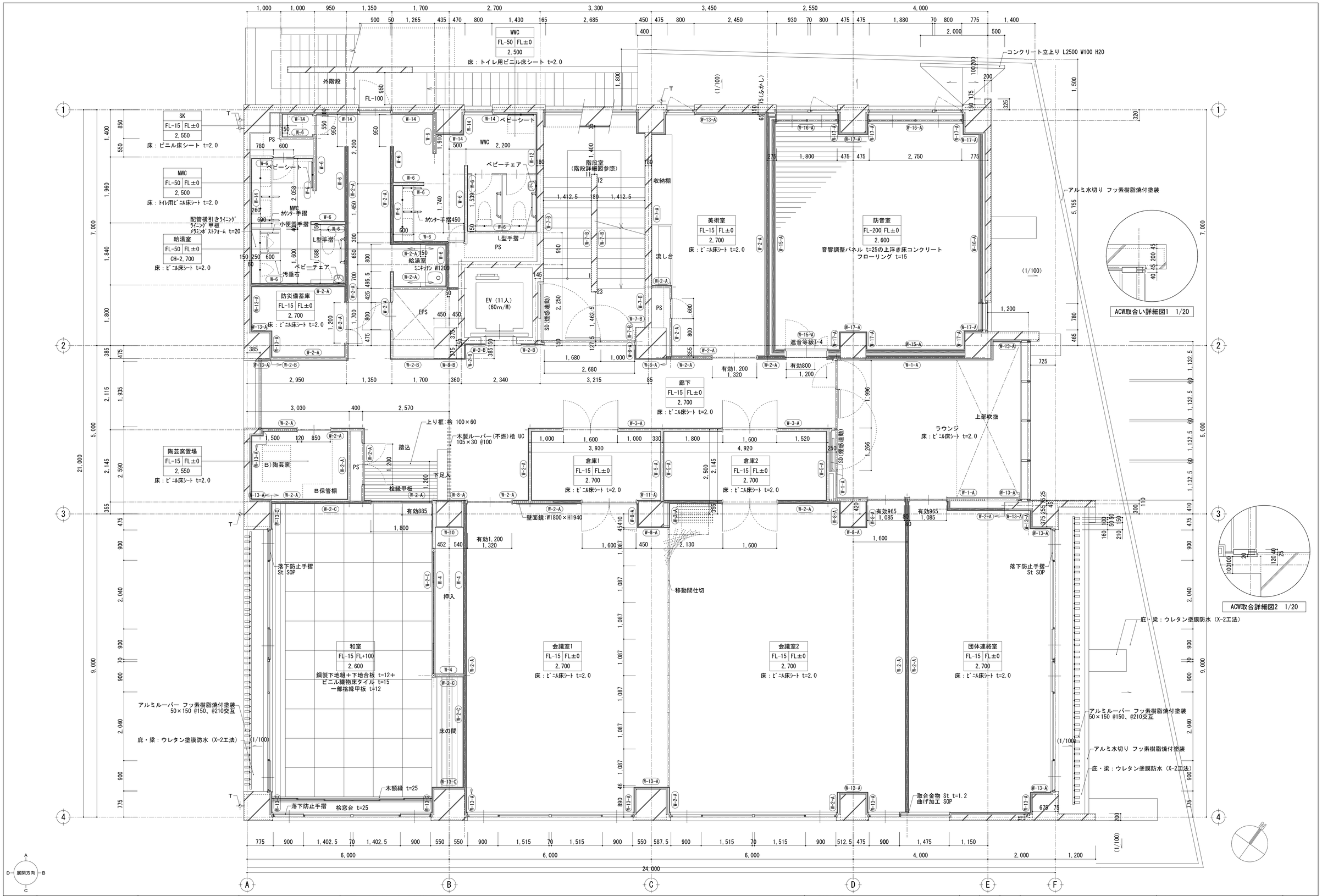
室 名	SK (※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル床シート巻上 H=60		
壁	化粧けい酸カルシウム板 t=6.0(せっこうボード下地)		
天 井	GB-D t=9.5	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考	掃除用具掛け		



室 名	給湯室 (※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	メラミン化粧板 t=3.0(せっこうボード下地) EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考	ミニキッチン W1200		



一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS	埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事 図 名 1階展開図6	S=1/50(A1) 1/100(A3) DATE 2025.09 No. A-031



【凡例】				
	室名 / スラブレベル FL±0 FL±0 床仕上げレベル / 天井高	B）備品（別途）を示す	RD：ルーフドレン	W-*-*：壁種別を示す（部分詳細図参照）
		E）電気設備工事を示す	Y：横引き管	
		M）機械設備工事を示す	T：竪樋	
		注）特記なき限り建築工事を示す	OF：オーバーフロー管	

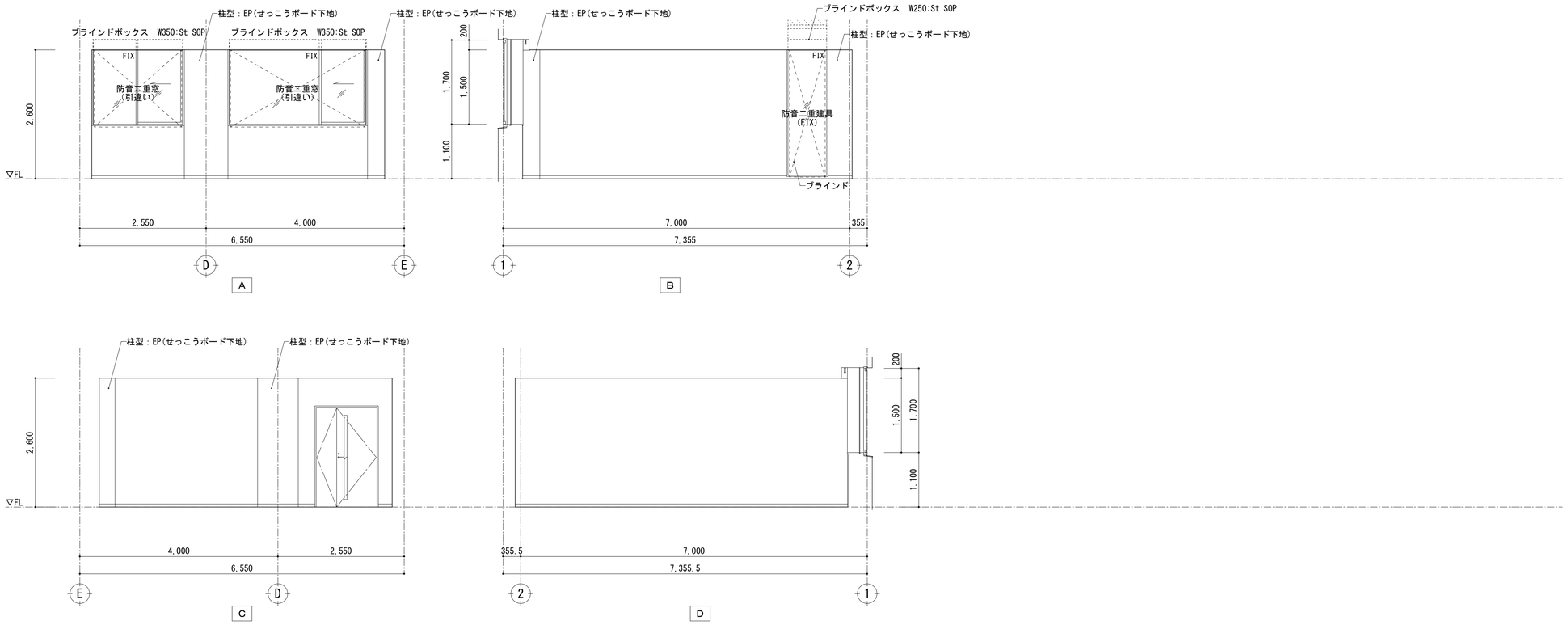
一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

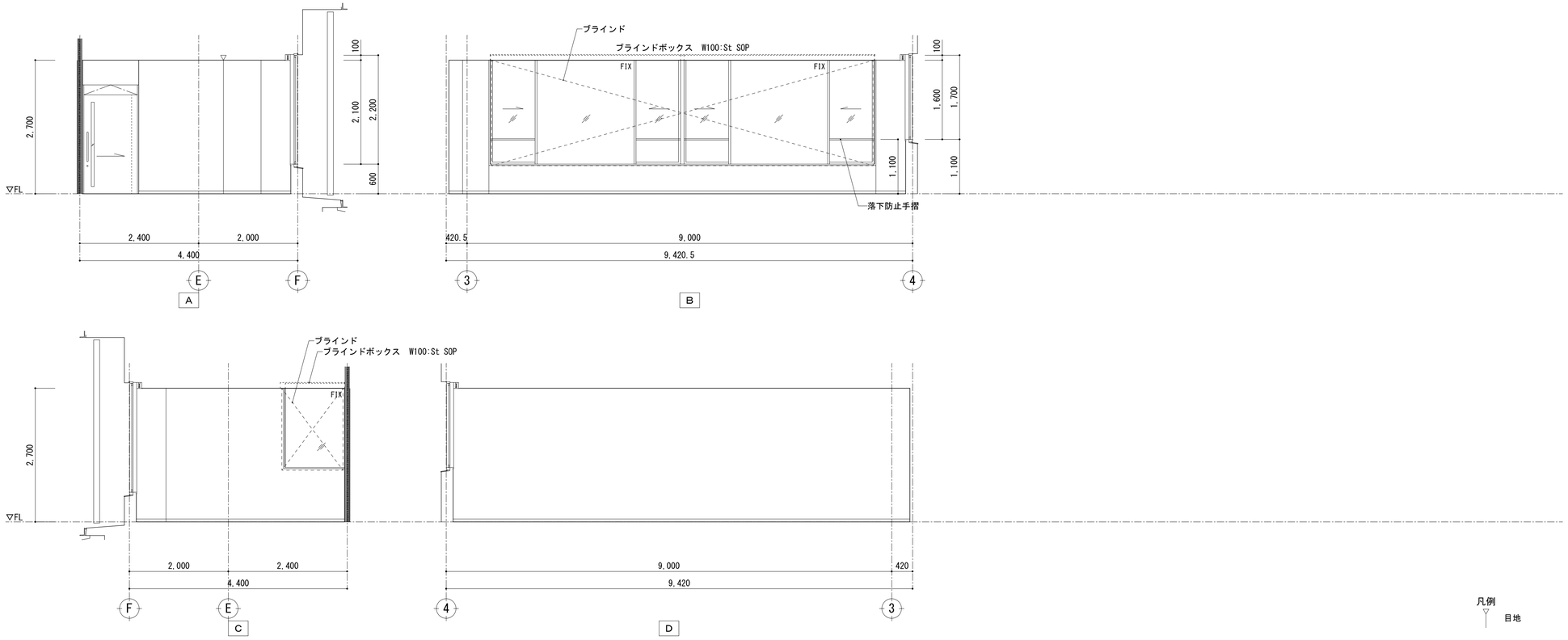
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名	S= 1/50(A1) 1/100(A3)
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	DATE 2025.09
図名 2階平面詳細図	No. A-032

室 名	防音室　　(※特記なき限り下記による)		
床	フローリング t=15(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	ｸﾞﾗｽｳｰﾙﾎﾞｰﾄﾞ96kg/m3 t=25 ｶﾞﾗｽｸﾛｽ額縁張 (せっこうボード下地)		
天 井	不燃木毛セメント板 t=20+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考			



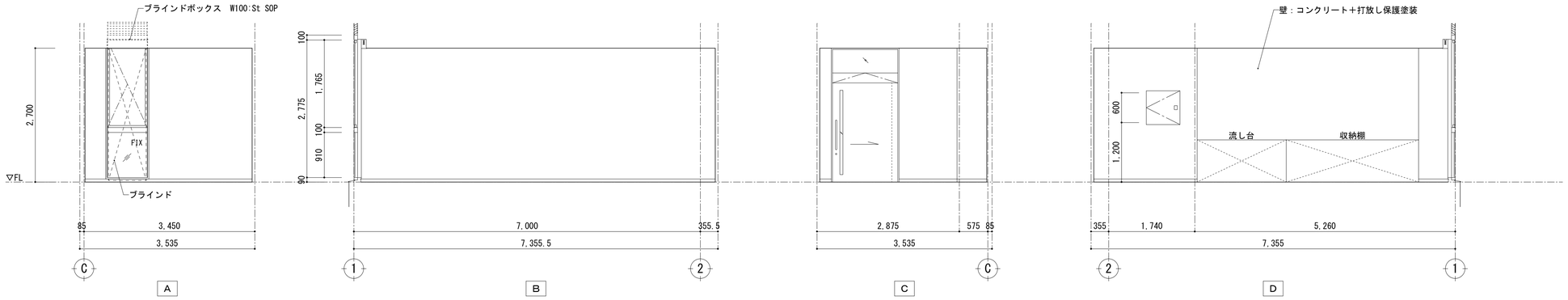
室 名	団体連絡室　　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+DR t=12 一部 GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考			



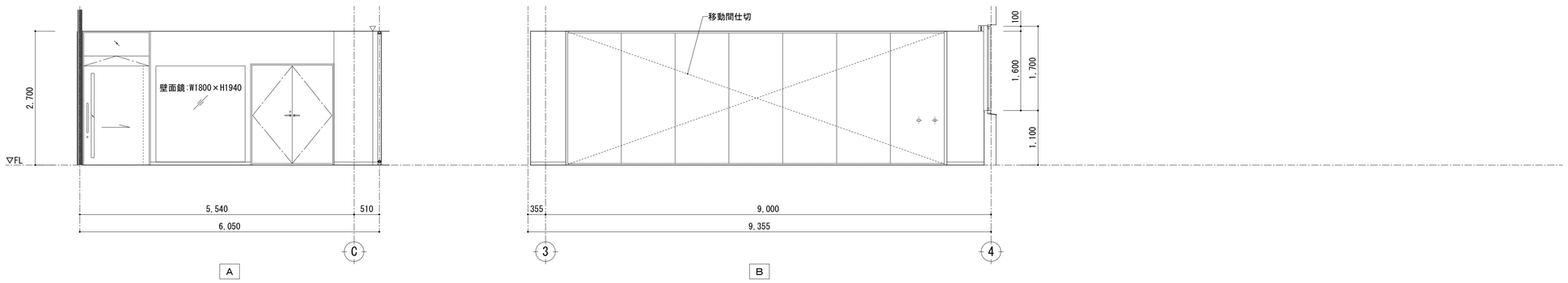
凡例
目地

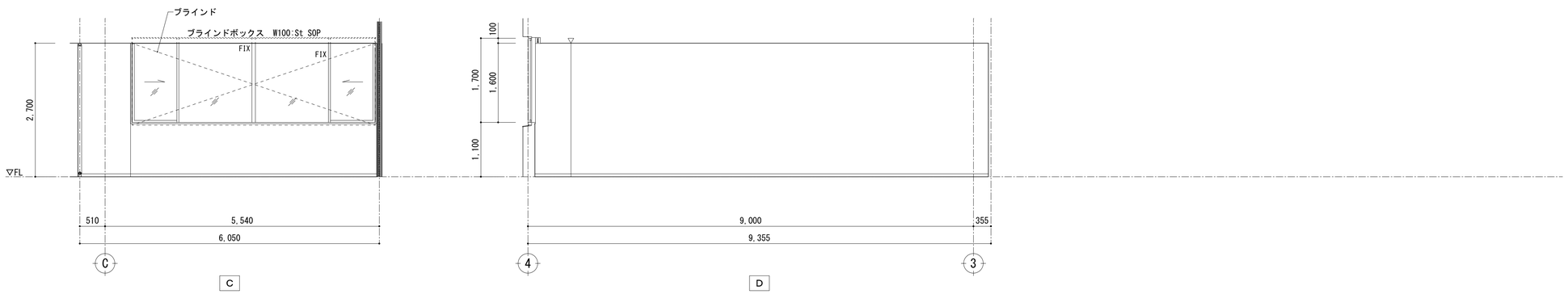
一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS 埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/ 50(A1) 1/100(A3) DATE 2025.09
					図 名 2階展開図1	No. A-033

室 名	美術室　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地) コンクリート＋打放し保護塗装		
天 井	GB-R t=9.5+DR t=12	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	流し台 収納棚		

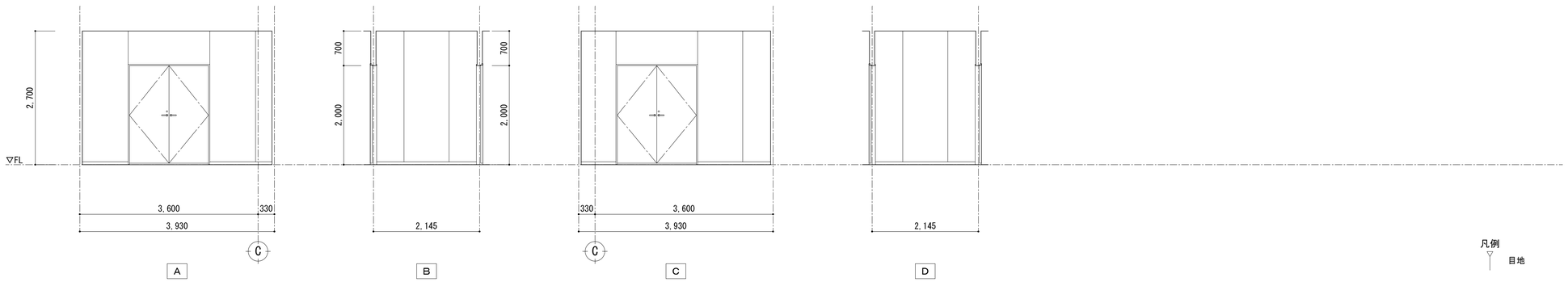


室 名	会議室1　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+DR t=12 一部 GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	移動間仕切 壁面鏡:W1800×H1940		





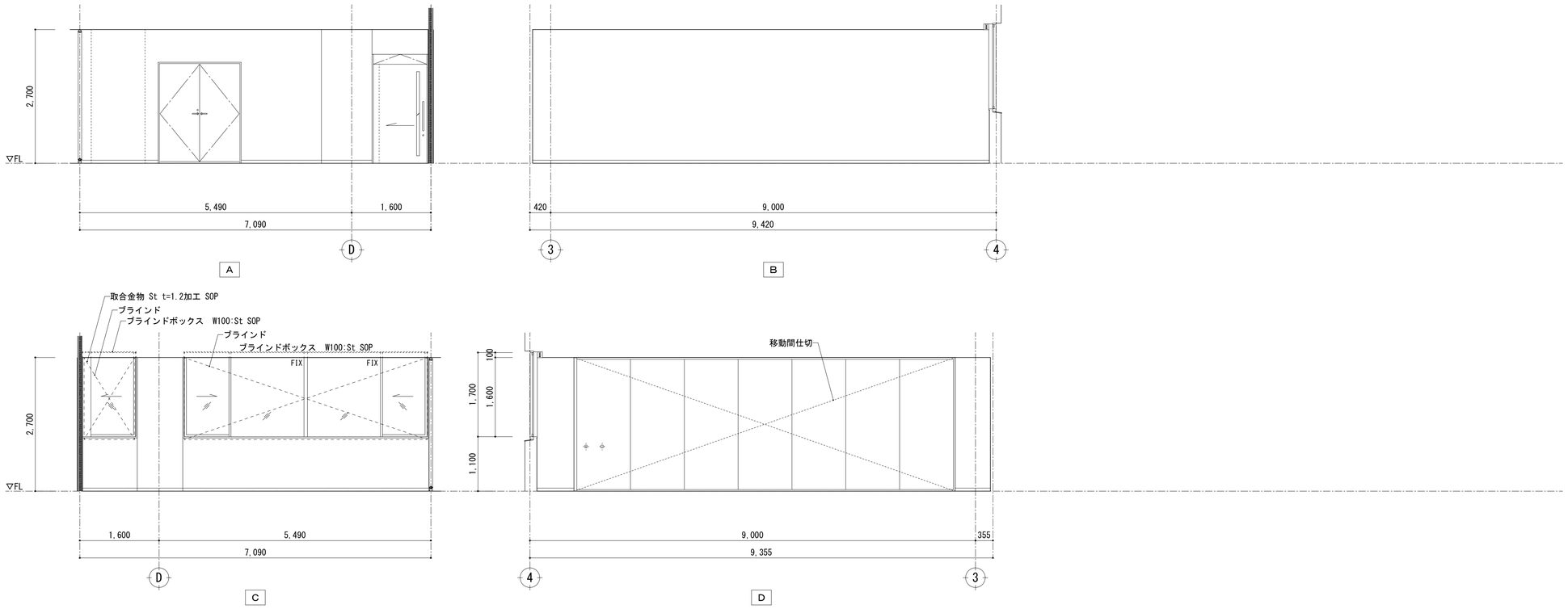
室 名	倉庫1　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	けい酸カルシウム板 t=6.0(せっこうボード下地)		
天 井	GB-D t=9.5	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考			



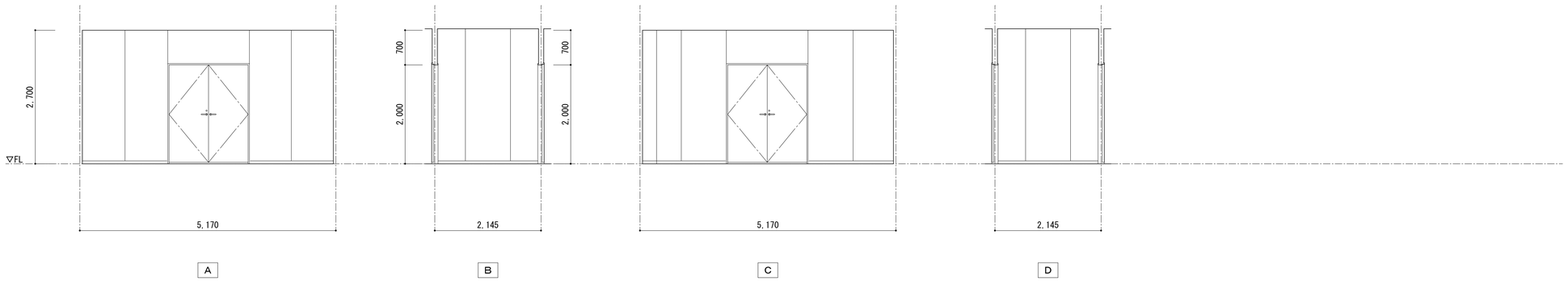
凡例
▽ 目地

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIOS 一級建築士 NO.164725　北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所	APPR	CHKD	DRAWN
埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9767 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/ 50(A1) 1/100(A3)		
	図 名 ２階展開図２	DATE 2025.09		
		No. A-034		

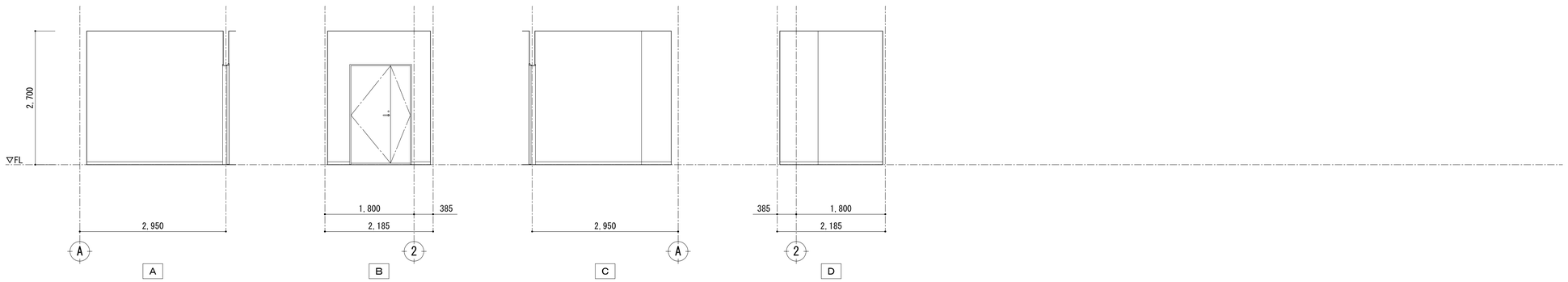
室 名	会議室2　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+DR t=12 一部 GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	移動間仕切		



室 名	倉庫2　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	けい酸カルシウム板 t=6.0(せっこうボード下地)		
天 井	GB-D t=9.5	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ —	B-BOX —
廻 縁	塩ビ製		
備 考			



室 名	防災備蓄倉庫　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-D t=9.5	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ —	B-BOX —
廻 縁	塩ビ製		
備 考			



一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

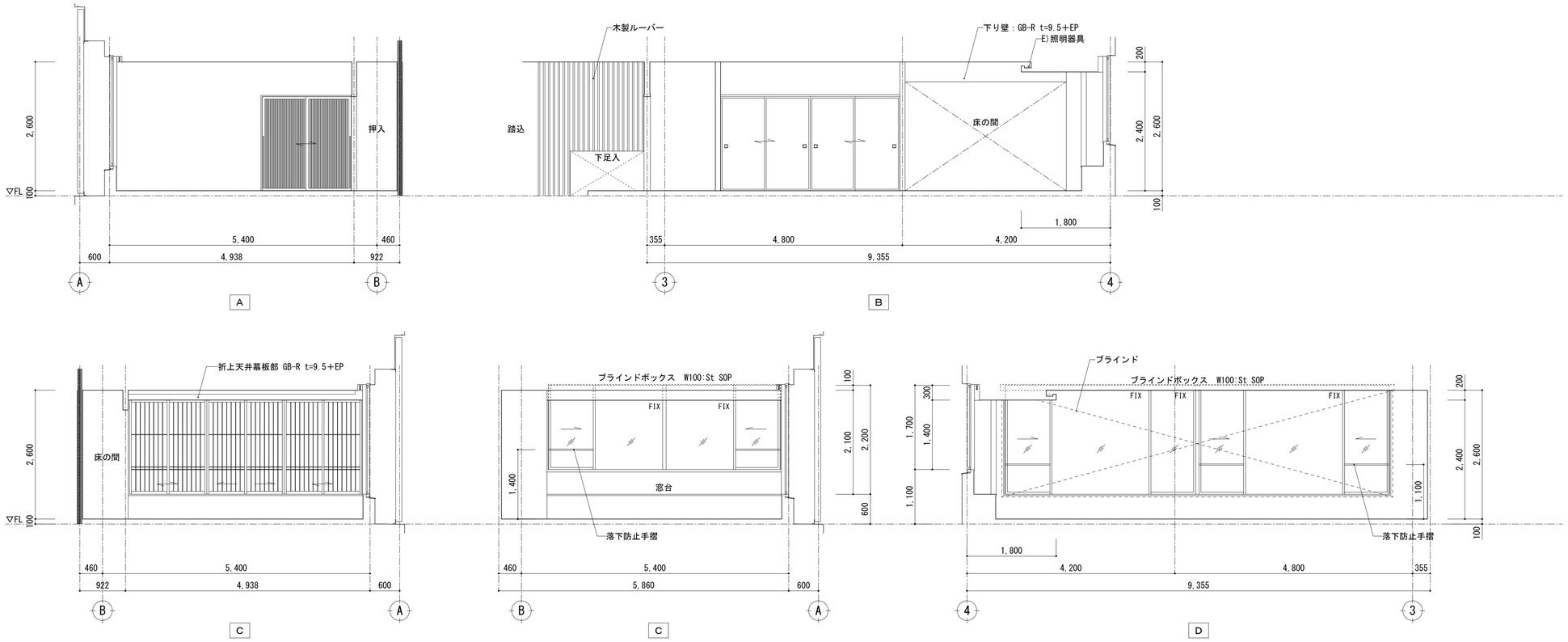
工事名
(仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図 名
2階展開図3

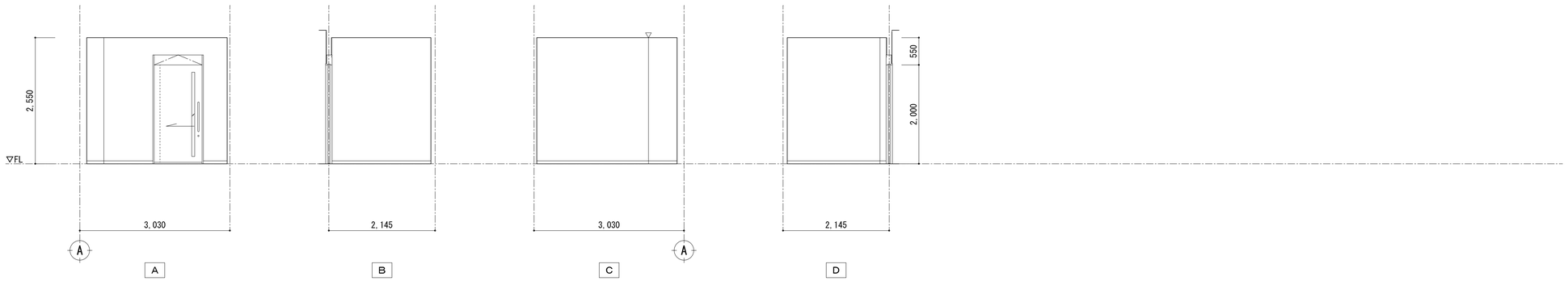
S= 1/ 50(A1)
1/100(A3)
DATE 2025.09
No. A-035

室 名	和室　（※特記なき限り下記による）		
床	ビニル織物床タイル t=15（ADVAN ボロン畳同等品） （合板下地） 一部桧縁甲板 t=12（合板下地）		
巾 木	たたみ寄せ		
壁	和紙調クロス（不燃）（せっこうボード下地）		
天 井	GB-R t=9.5+和紙調クロス(不燃)	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	押入 床の間		

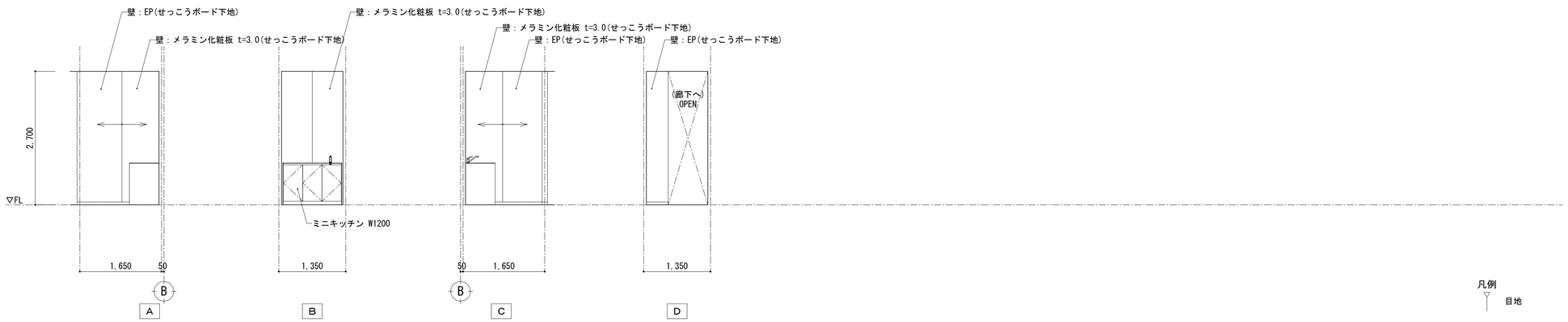
室 名	踏込　（※特記なき限り下記による）		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地) 一部桧縁甲板 t=12（合板下地）		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	木製ルーバー（不燃） EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考	下足入		



室 名	陶芸窯置場　（※特記なき限り下記による）		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-D t=9.5	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考			



室 名	給湯室　（※特記なき限り下記による）		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	メラミン化粧板 t=3.0(せっこうボード下地) EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考	ミニキッチン W1200		



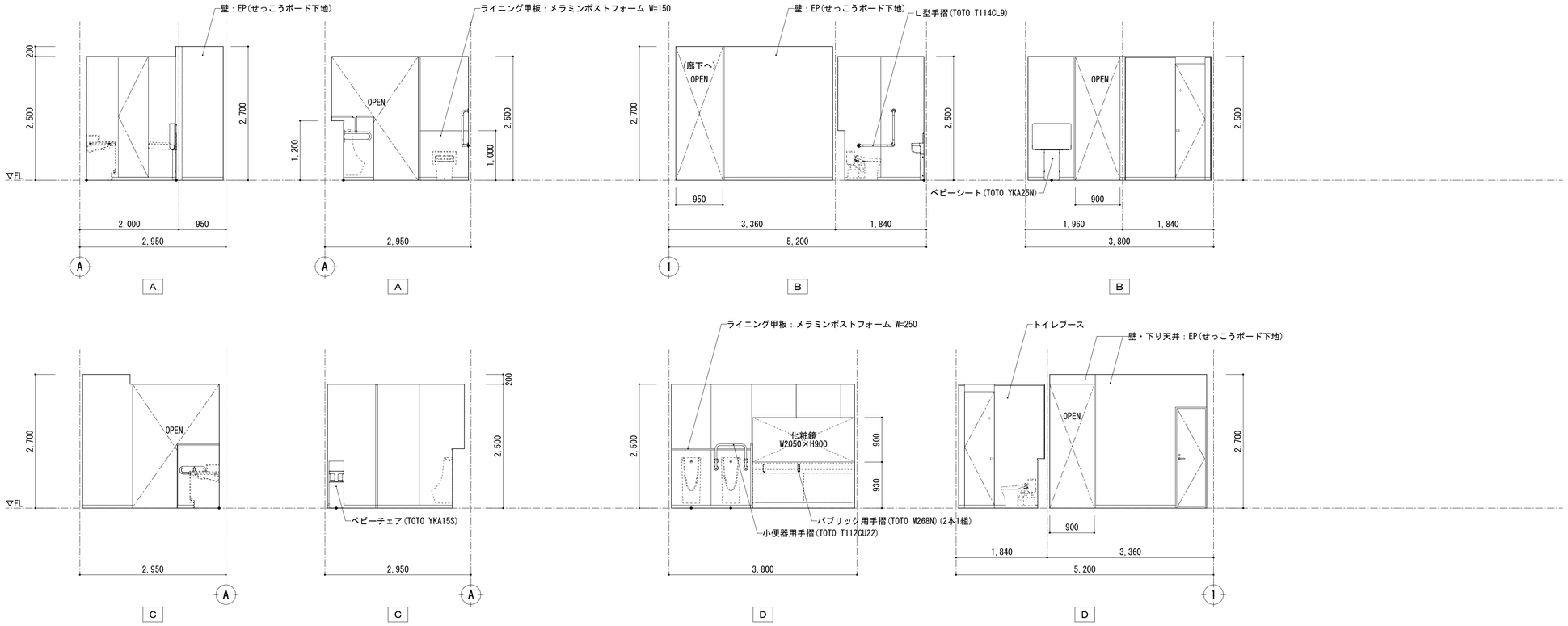
凡例
▽ 目地

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS	埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

工事名	（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/ 50(A1) 1/100(A3)
		DATE 2025.09
図 名	２階展開図４	No. A-036

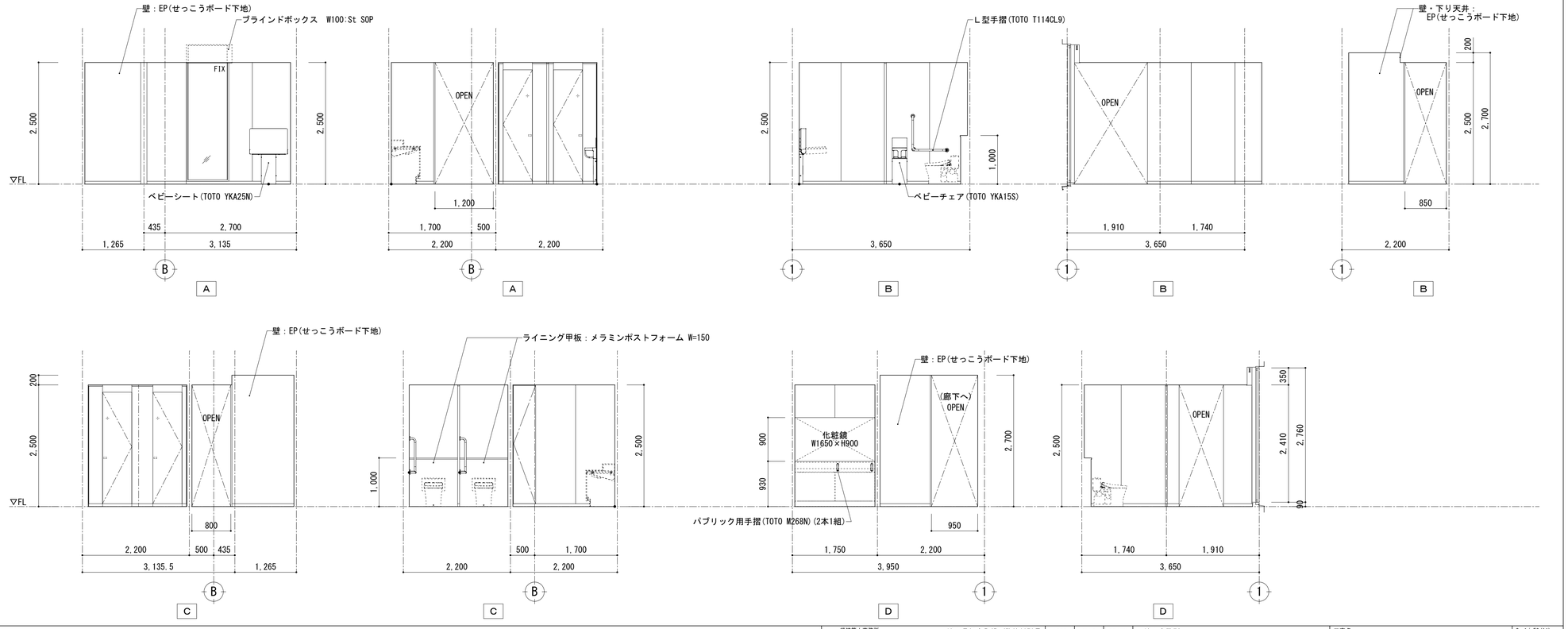
※２・３階共通

室 名	WWC　　(※特記なき限り下記による)		
床	トイレ用ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル床シート巻上 H=60		
壁	メラミン化粧板 t=3.0(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		―	―
廻 縁	塩ビ製		
備 考	トイレブース、洗面カウンター、化粧鏡 ライニング甲板 メラミンポストフォーム ベビーシート、ベビーチェア、手摺		



※２・３階共通

室 名	WWC　　(※特記なき限り下記による)		
床	トイレ用ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル床シート巻上 H=60		
壁	メラミン化粧板 t=3.0(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		―	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	トイレブース、洗面カウンター、化粧鏡 ライニング甲板 メラミンポストフォーム ベビーシート、ベビーチェア、手摺		



一級建築士事務所
KATO ARCHITECTS&DESIGNS
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成
埼玉県知事登録 (5)第8878号

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

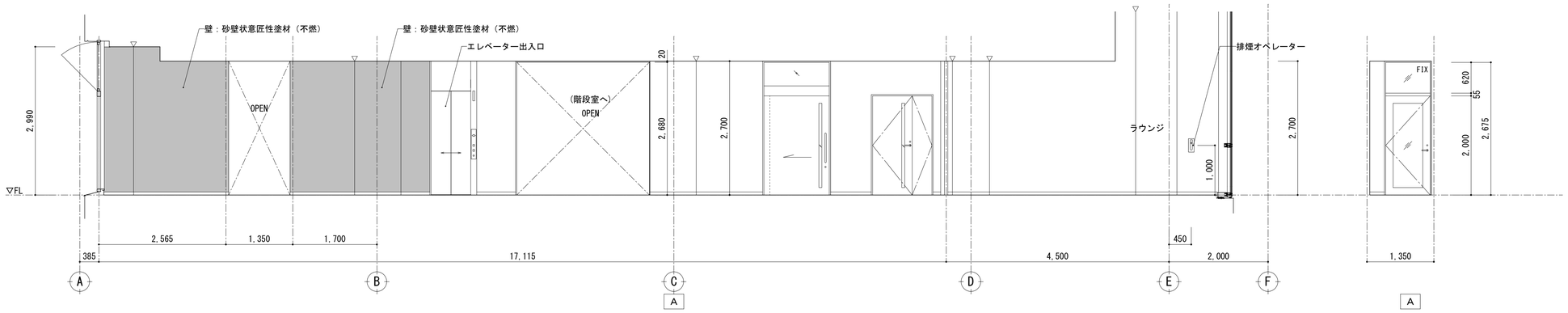
図名：２階展開図５

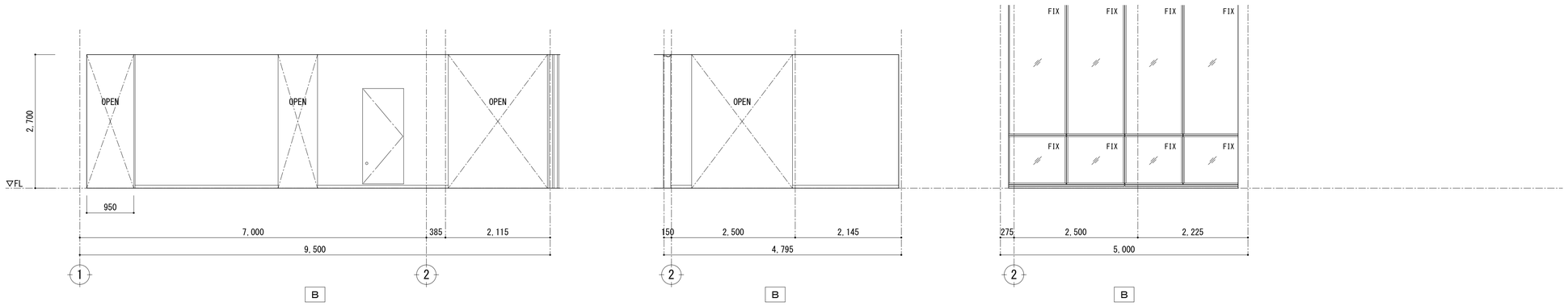
S= 1/ 50(A1)　1/100(A3)

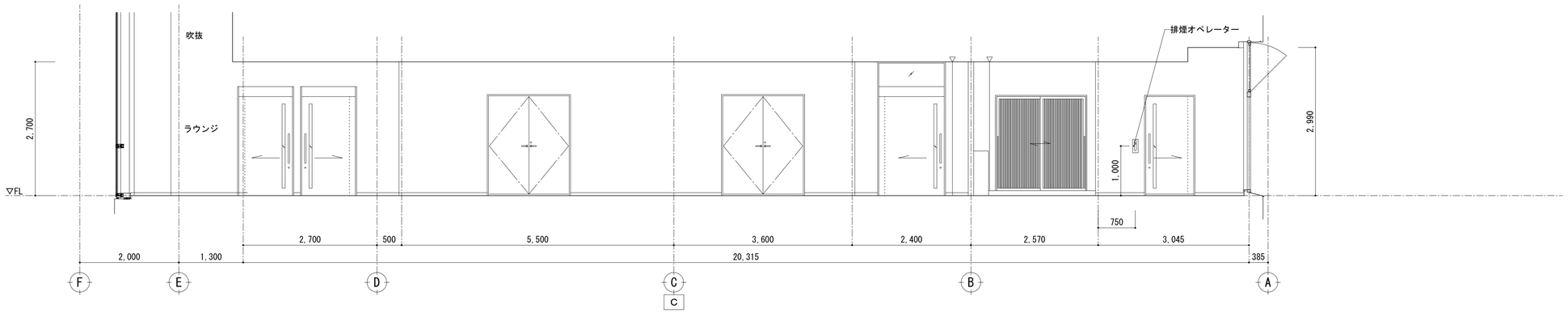
DATE 2025.09

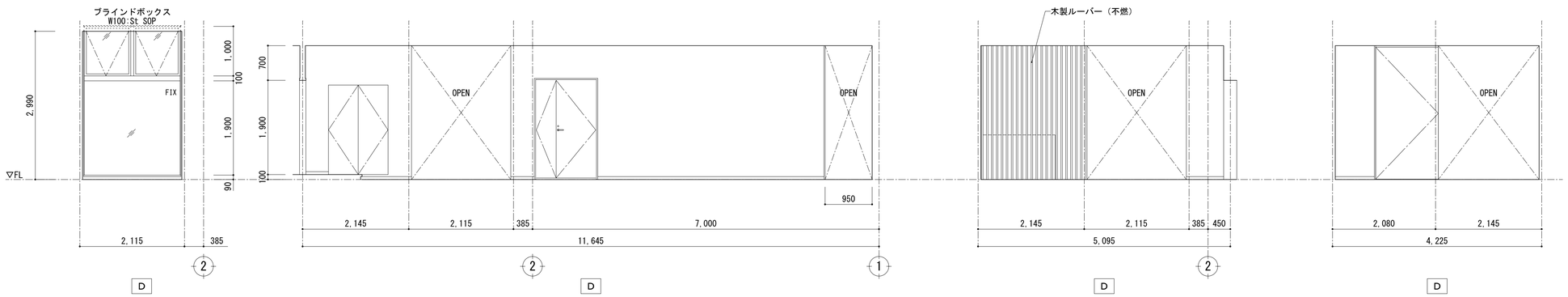
No. A-037

室 名	廊下・ラウンジ　（※特記なき限り下記による）		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地) 砂壁状意匠性塗材(不燃)(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ー	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考			





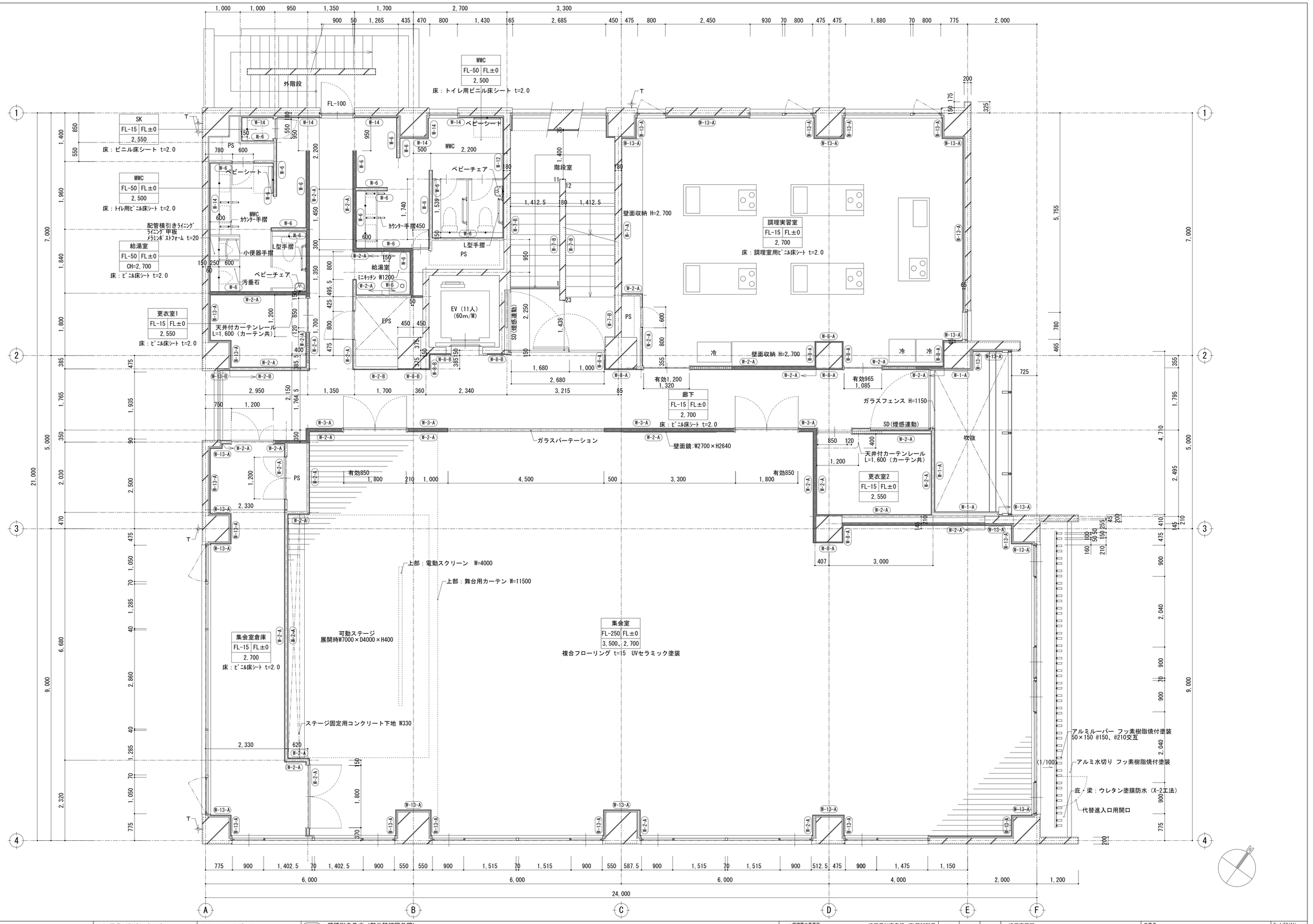




凡例

▽ 目地

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725　北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/ 50(A1) 1/100(A3)
						図 名 ２階展開図６	DATE 2025.09
							No. A-038



【凡例】

室名		
ｽﾗﾌﾞﾚﾍﾞﾙ	FL±0	FL±0 床仕上げﾚﾍﾞﾙ
天井高		

B）備品（別途）を示す	RD：ルーフドレン	W-*-* ：壁種別を示す（部分詳細図参照）
E）電気設備工事を示す	Y：横引き管	
M）機械設備工事を示す	T：竪樋	
注）特記なき限り建築工事を示す	OF：オーバーフロー管	

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

APPR	CHKD	DRAWN

工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

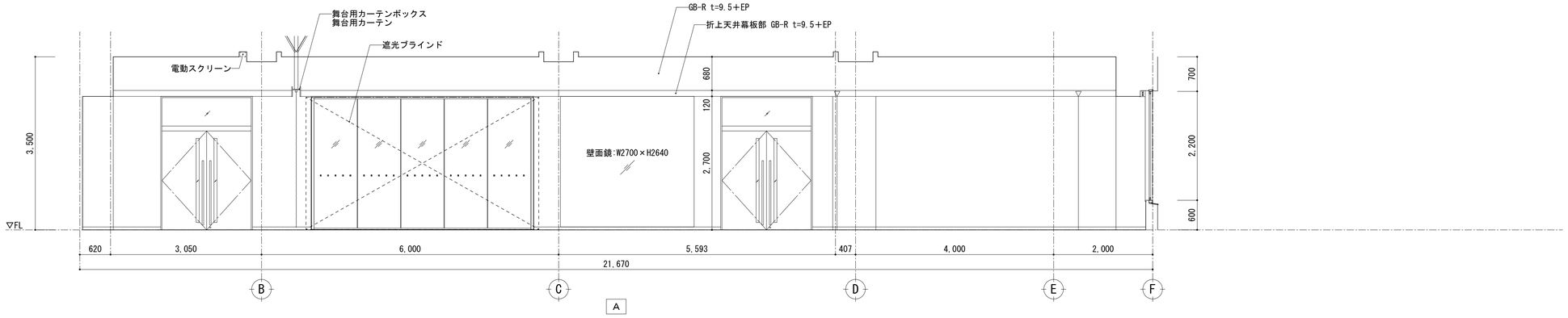
図名：3階平面詳細図

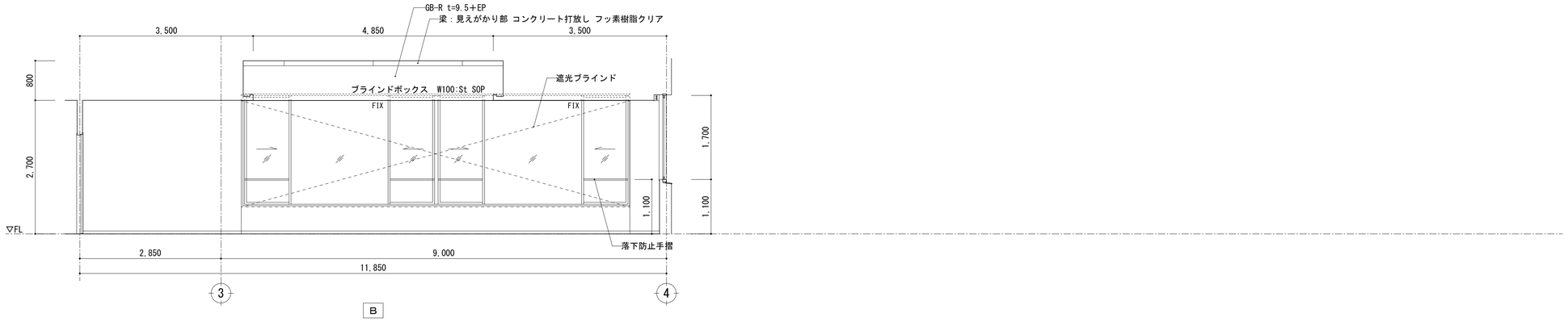
S= 1/50(A1) 1/100(A3)

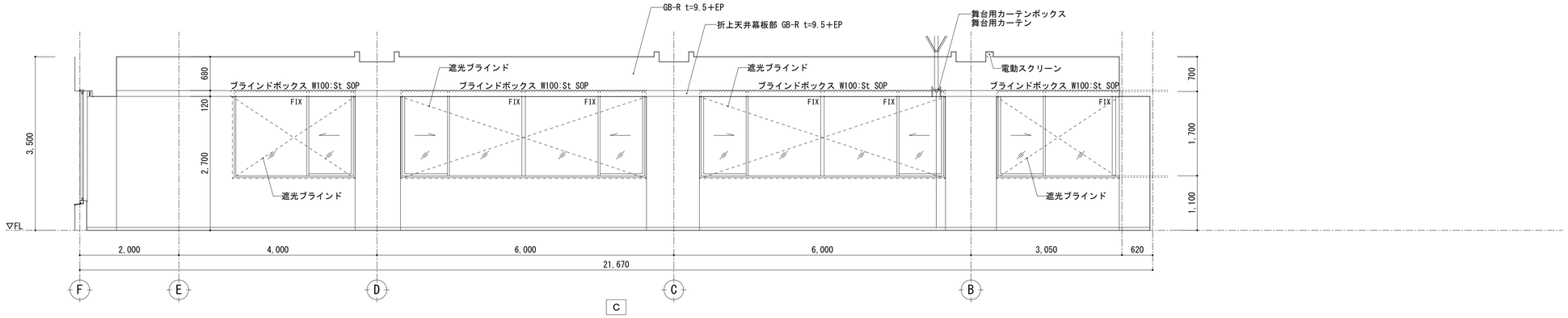
DATE 2025.09

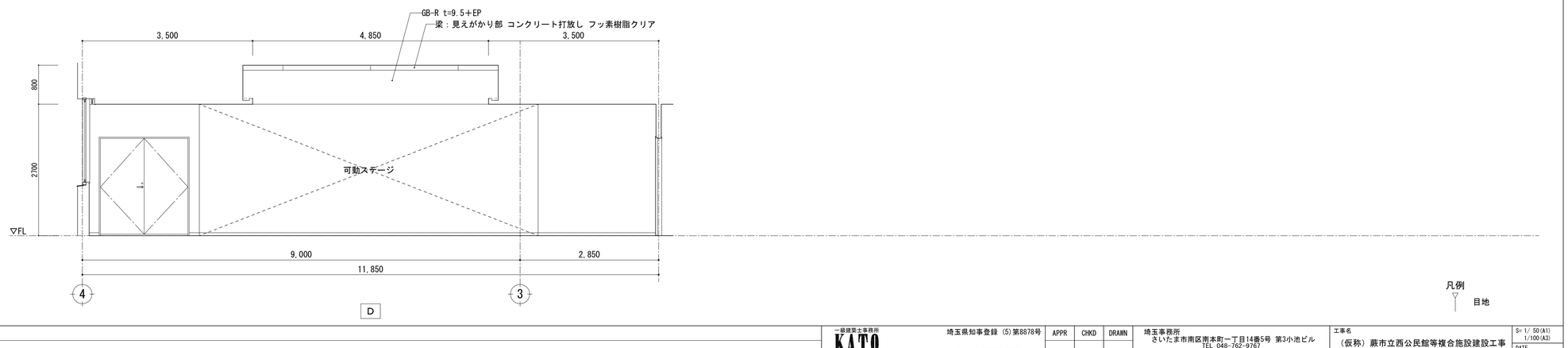
No. A-039

室 名	集会室　　(※特記なき限り下記による)		
床	複合フローリング t=15 UVセラミック塗装 (鋼製束下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+DR t=12	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		遮光ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	壁面鏡:W2700×H2640 電動スクリーン、上部カーテンボックス		





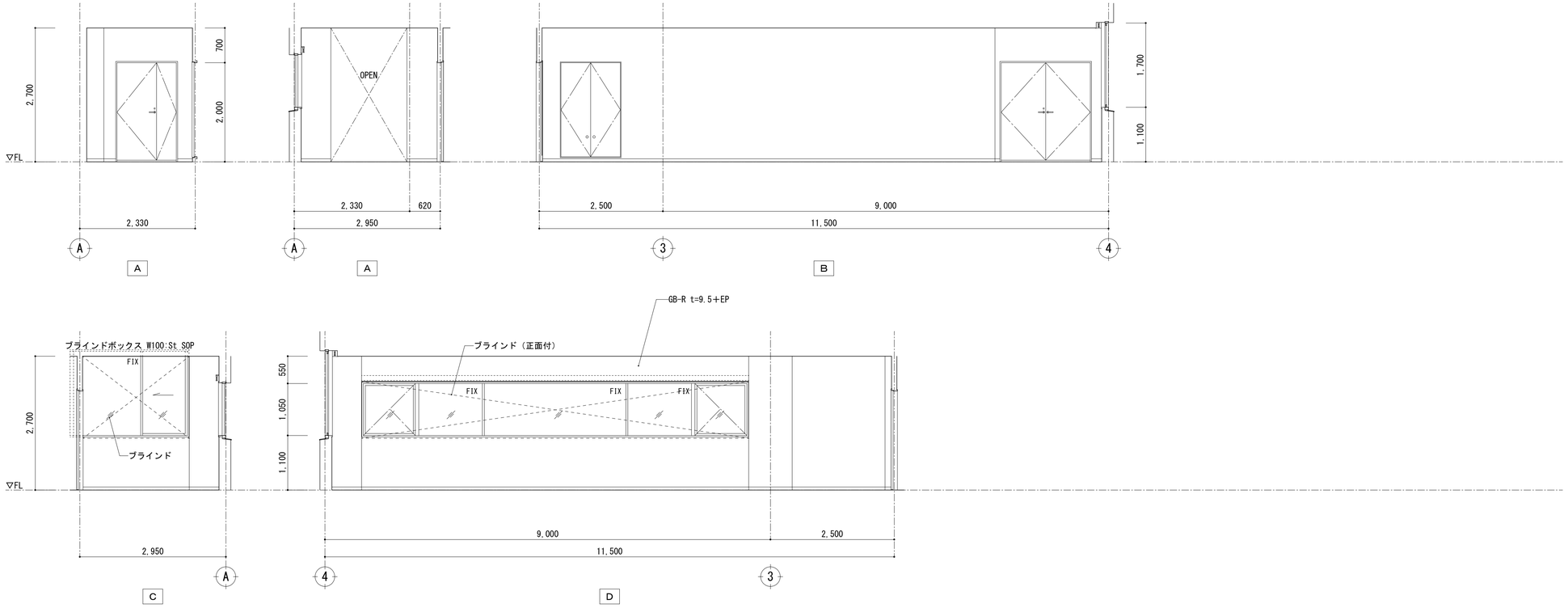




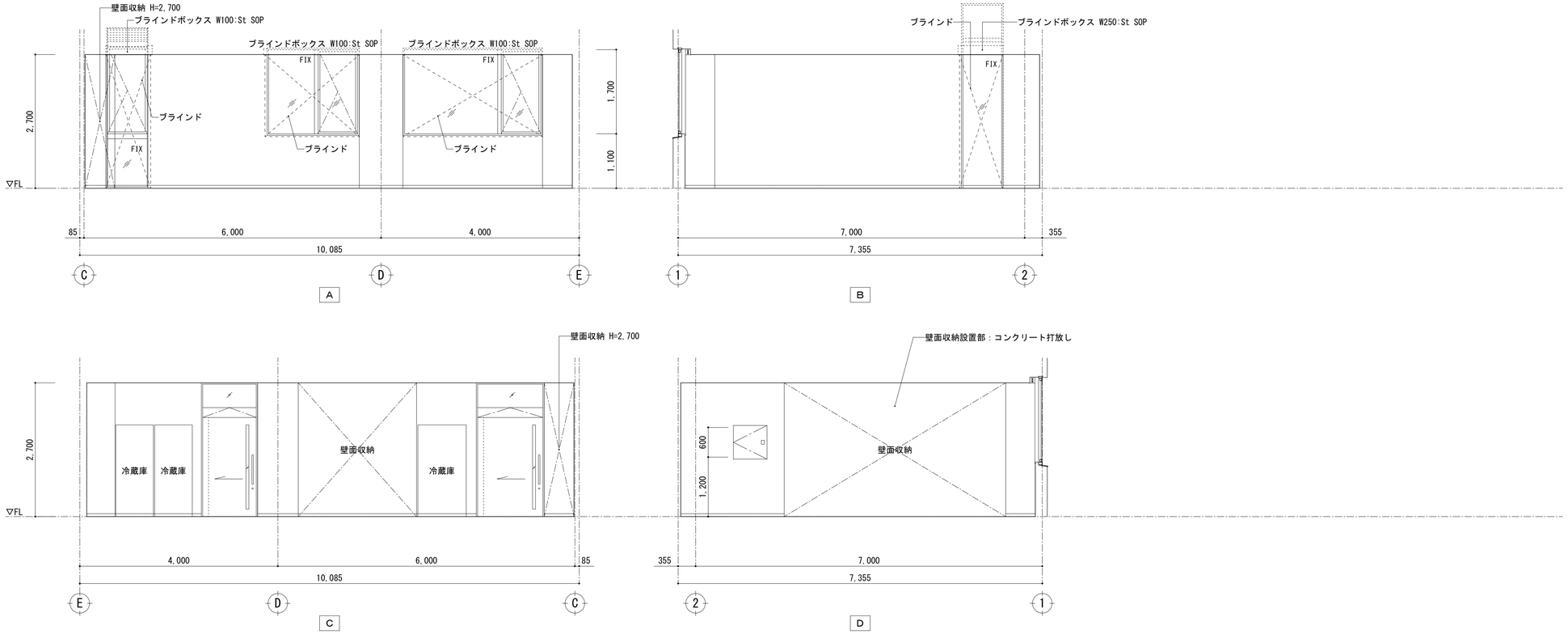
凡例
▽ 目地

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288
工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S=1/50(A1) 1/100(A3)	DATE 2025.09	図名 3階展開図1	No. A-040	

室 名	集会室倉庫　　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-D t=9.5	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考			



室 名	調理実習室　　(※特記なき限り下記による)		
床	調理室用ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+DR t=12	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考	調理台 壁面収納		



一級建築士事務所
KATO
ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

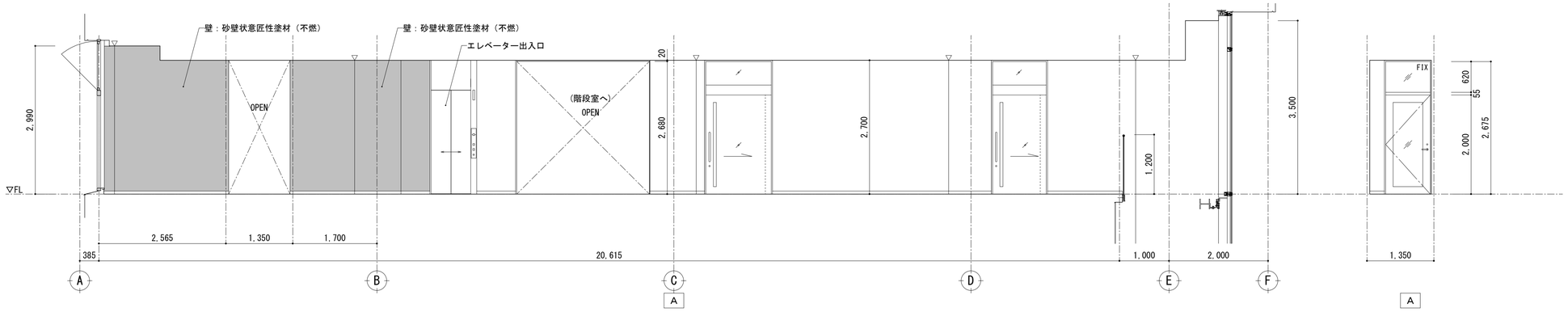
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

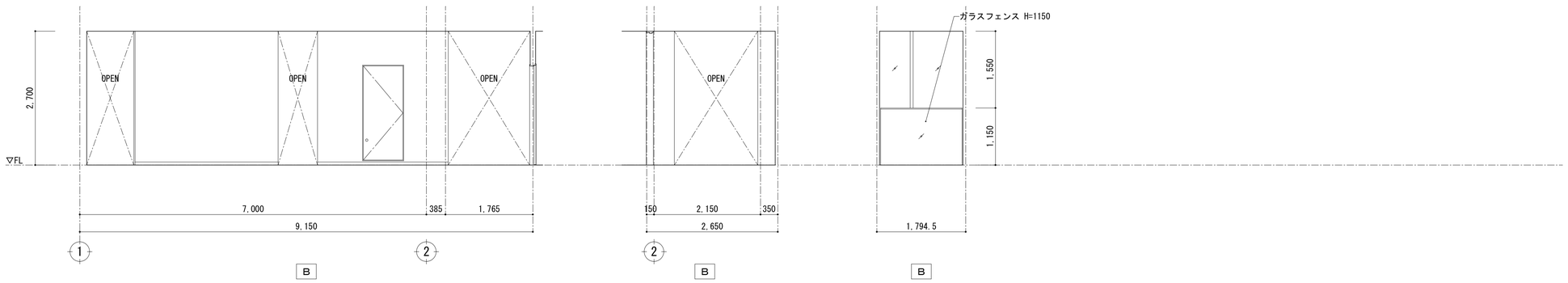
工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

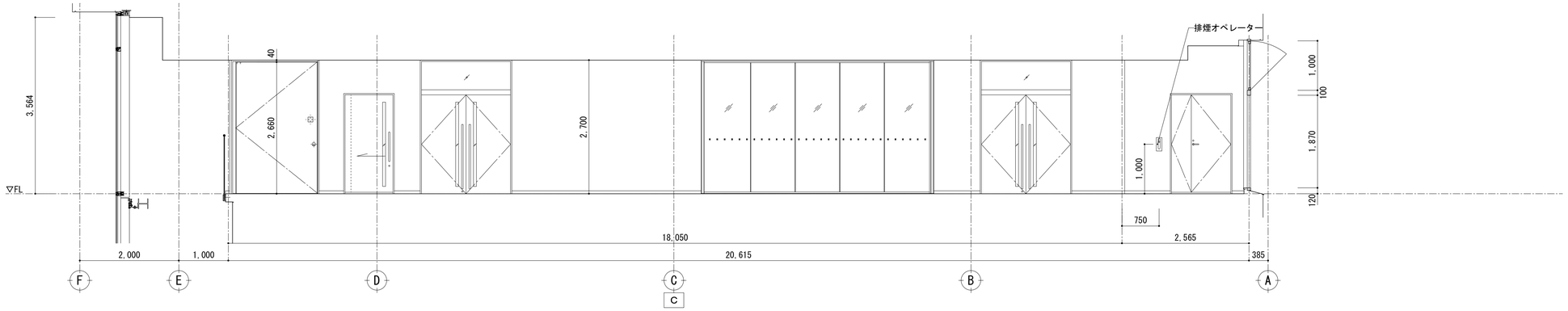
図 名
3階展開図2

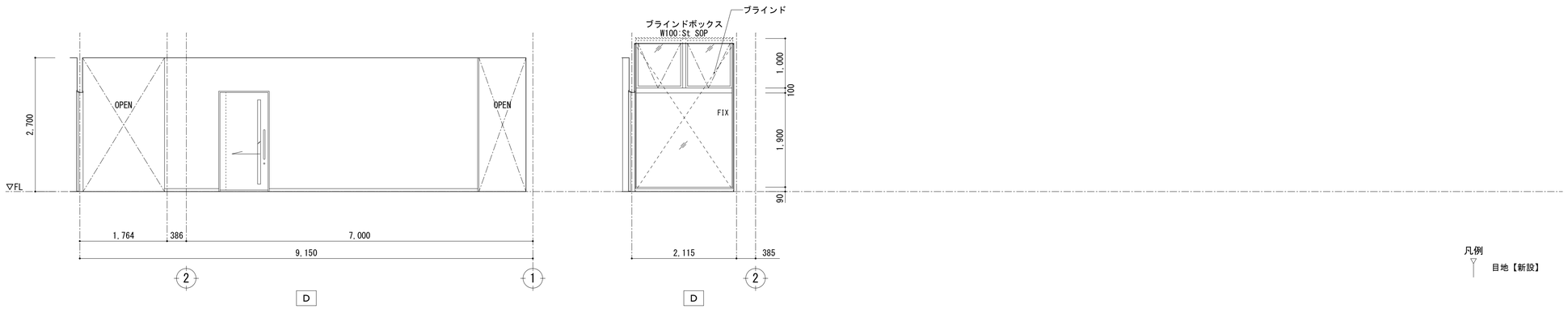
S= 1/ 50(A1)
1/100(A3)
DATE
2025.09
No.
A-041

室 名	廊下　　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地) 砂壁状意匠性塗材(不燃)(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		ー	St SOP
廻 縁	塩ビ製		
備 考			







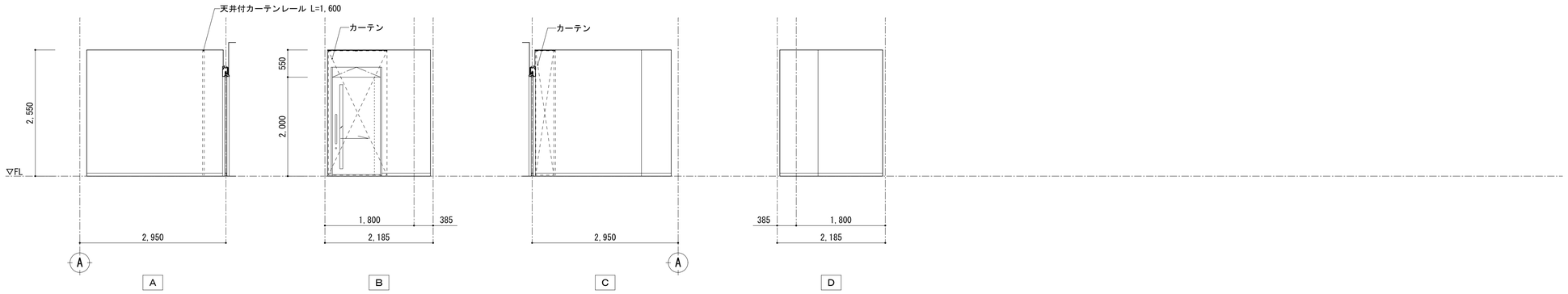


凡例

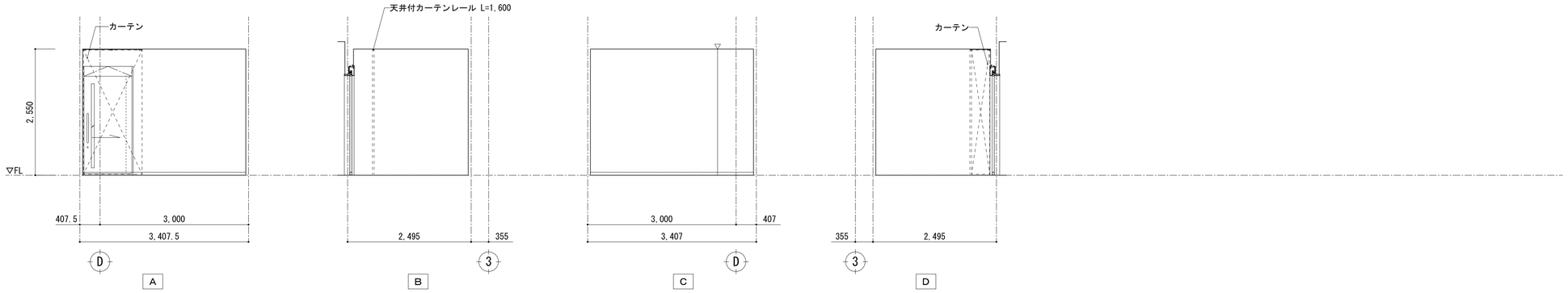
▽ 目地【新設】

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTURE+STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/ 50(A1) 1/100(A3)
						図 名 ３階展開図３	DATE 2025.09 No. A-042

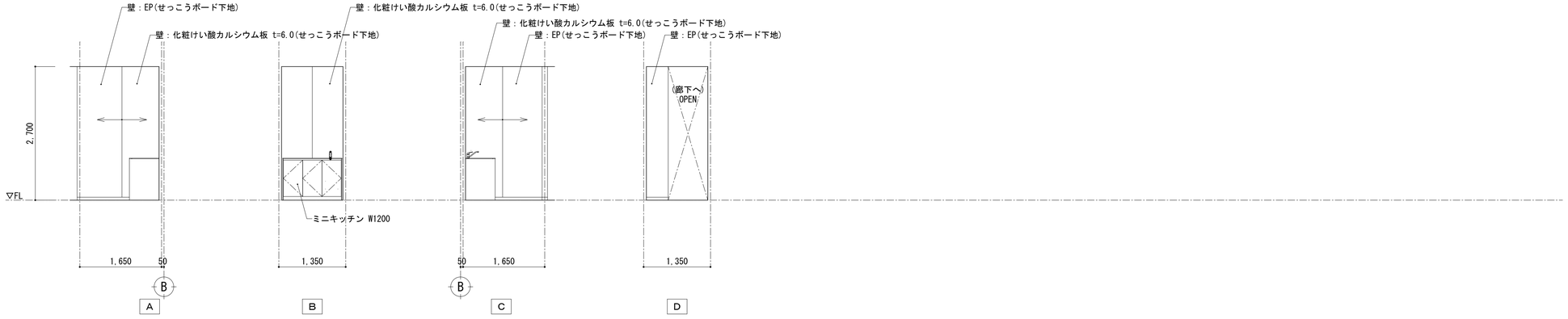
室 名	更衣室1　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-D t=9.5	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考	天井付カーテンレール L=1,600 (カーテン共)		



室 名	更衣室2　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-D t=9.5	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考	天井付カーテンレール L=1,600 (カーテン共)		



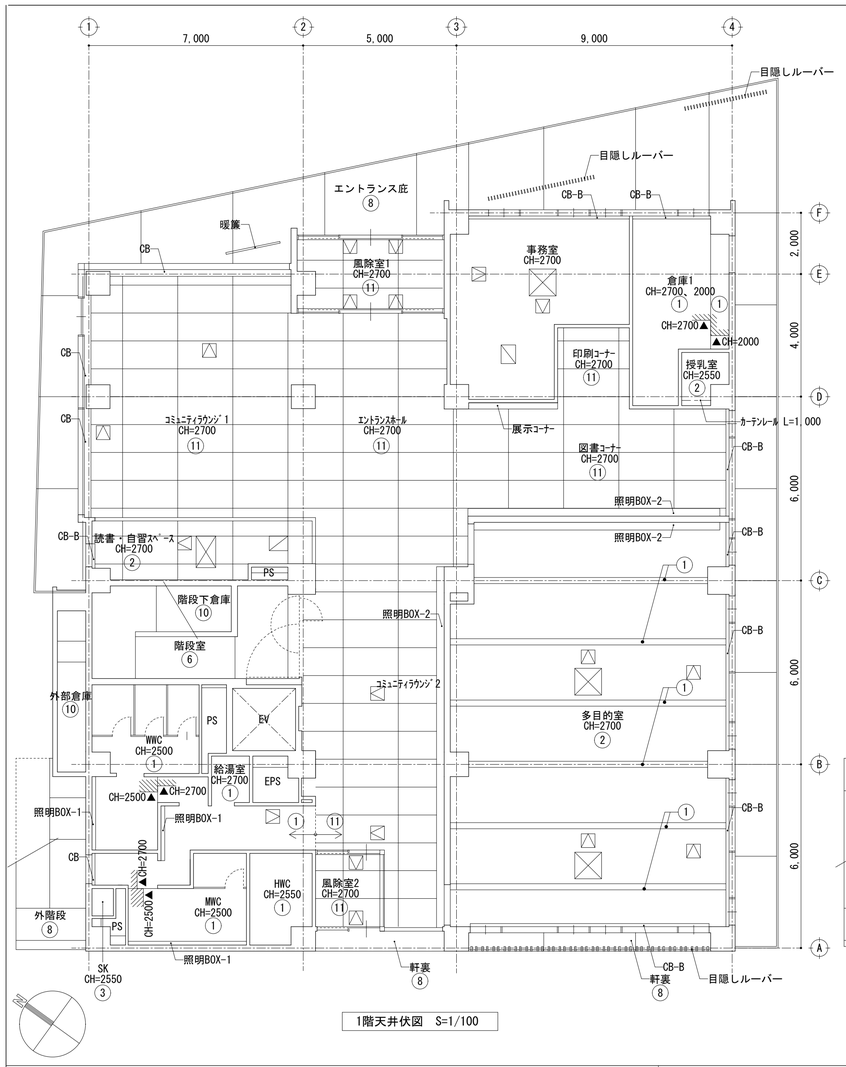
室 名	給湯室　(※特記なき限り下記による)		
床	ビニル床シート t=2.0(コンクリート下地)		
巾 木	ビニル巾木 H=60		
壁	メラミン化粧板 t=3.0(せっこうボード下地) EP(せっこうボード下地)		
天 井	GB-R t=9.5+EP	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	B-BOX
		—	—
廻 縁	塩ビ製		
備 考	ミニキッチン W1200		



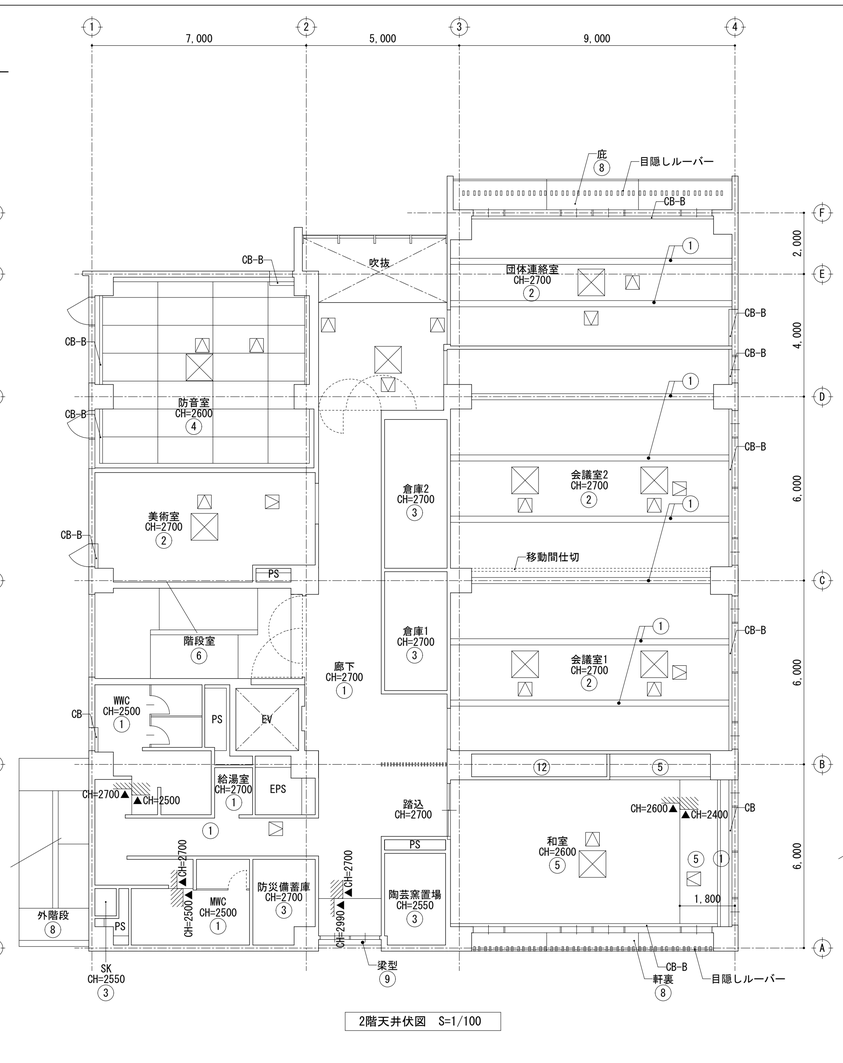
凡例

▽ 目地

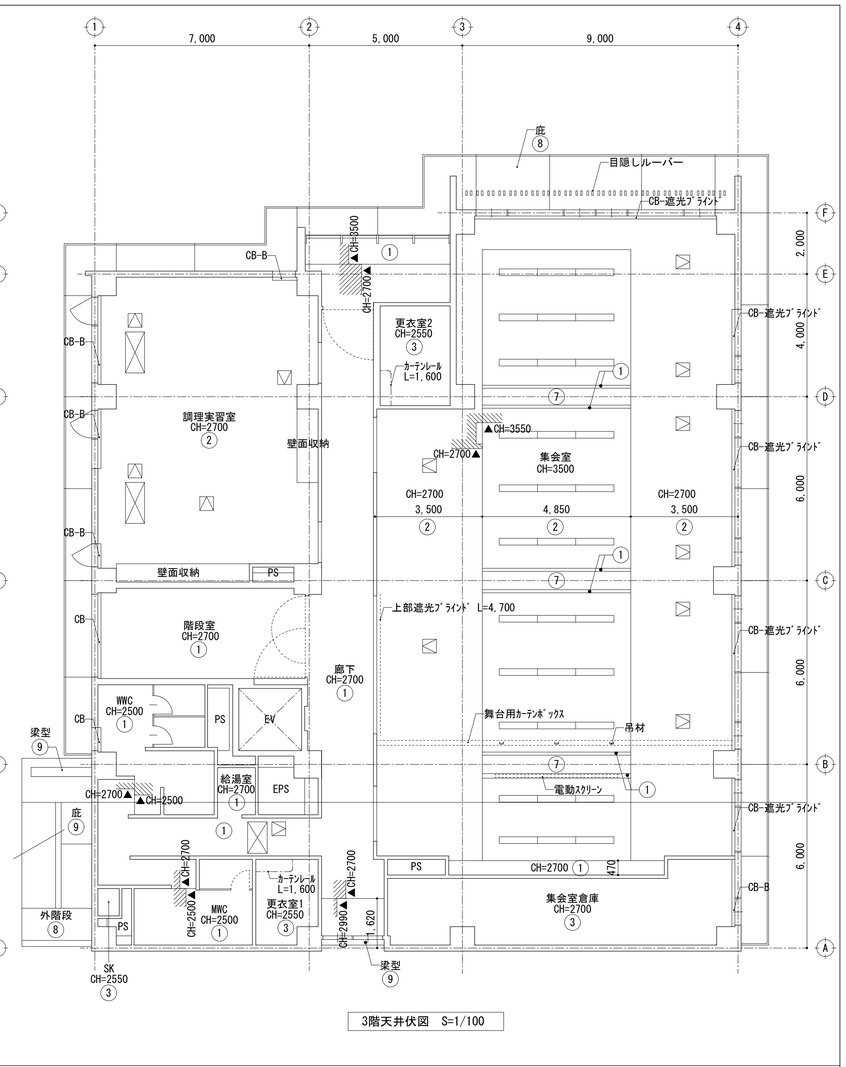
一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事 図 名 3階展開図4	S=1/50(A1) 1/100(A3) DATE 2025.09 No. A-043



1階天井伏図　S=1/100



2階天井伏図　S=1/100



3階天井伏図　S=1/100

天井仕上凡例	
①	GB-R t=9.5+EP
②	GB-R t=9.5+DR t=12
③	GB-D t=9.5
④	不燃木毛セメント板 t=20+EP
⑤	GB-R t=9.5+和紙調クロス（不燃）
⑥	コンクリート打放し+EP
⑦	コンクリート打放し+保護塗装
⑧	コンクリート打放し+フッ素樹脂クリア
⑨	コンクリート打放し+フッ素樹脂カラークリア
⑩	コンクリート打放し（外壁廻り、吹付硬質ウレタンフォーム t=25）
⑪	GB-R t=9.5+吸音パネル(木目調) t=30
⑫	不燃積層せっこうボード t=9.5
⑬	

※特記なきEPS、PS天井仕上はコンクリート打放し直天井（外壁廻りは、吹付硬質ウレタンフォーム t=25）とする。

ブラインドボックス凡例	
CB	ブラインドボックス　W100:St SOP
CB-B	ブラインドボックス　W100:St SOP/ブラインド（本工事）

照明ボックス凡例	
照明BOX-1	照明ボックス W120×H180
照明BOX-2	照明ボックス W250×H300

軽鉄天井下地開口補強		
天井点検口（目地タイプ 白色焼付塗装）		
	450×450	47ヶ所
天井下地開口補強		
	475×610	2ヶ所
	875×875	12ヶ所
	640×1030	2ヶ所
	620×1340	2ヶ所
	220×1250	33ヶ所

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南木町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

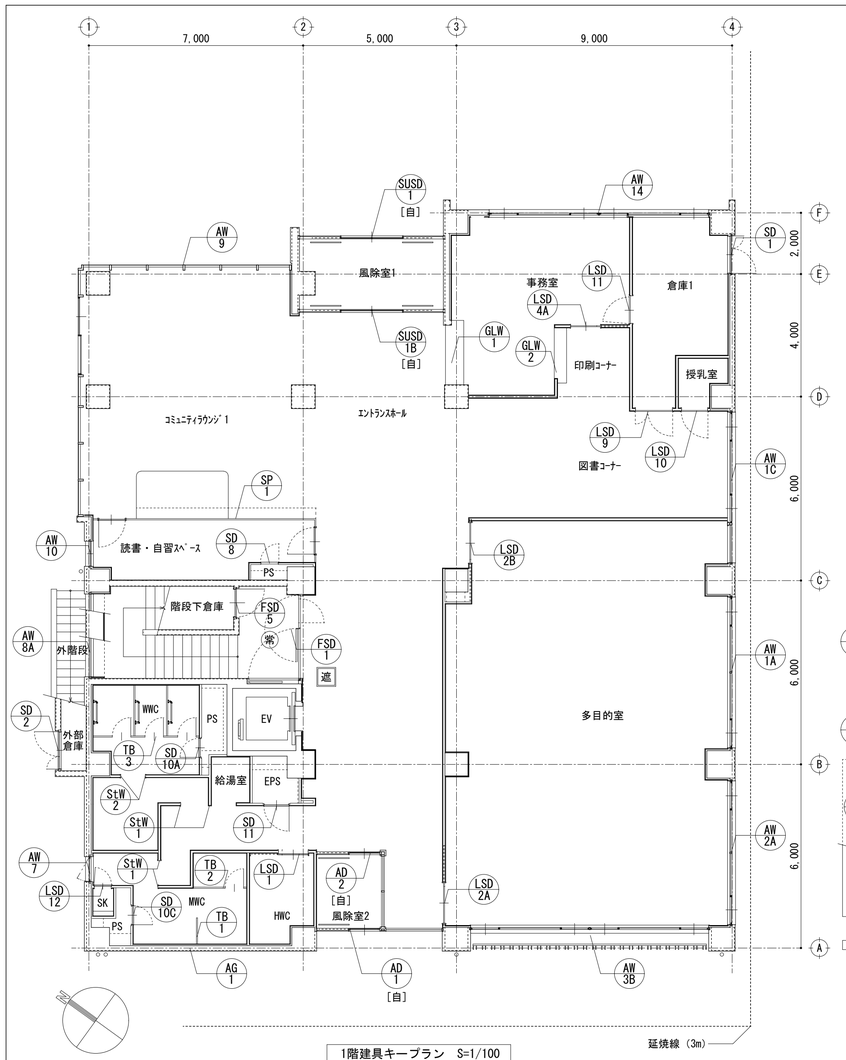
工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名：天井伏図

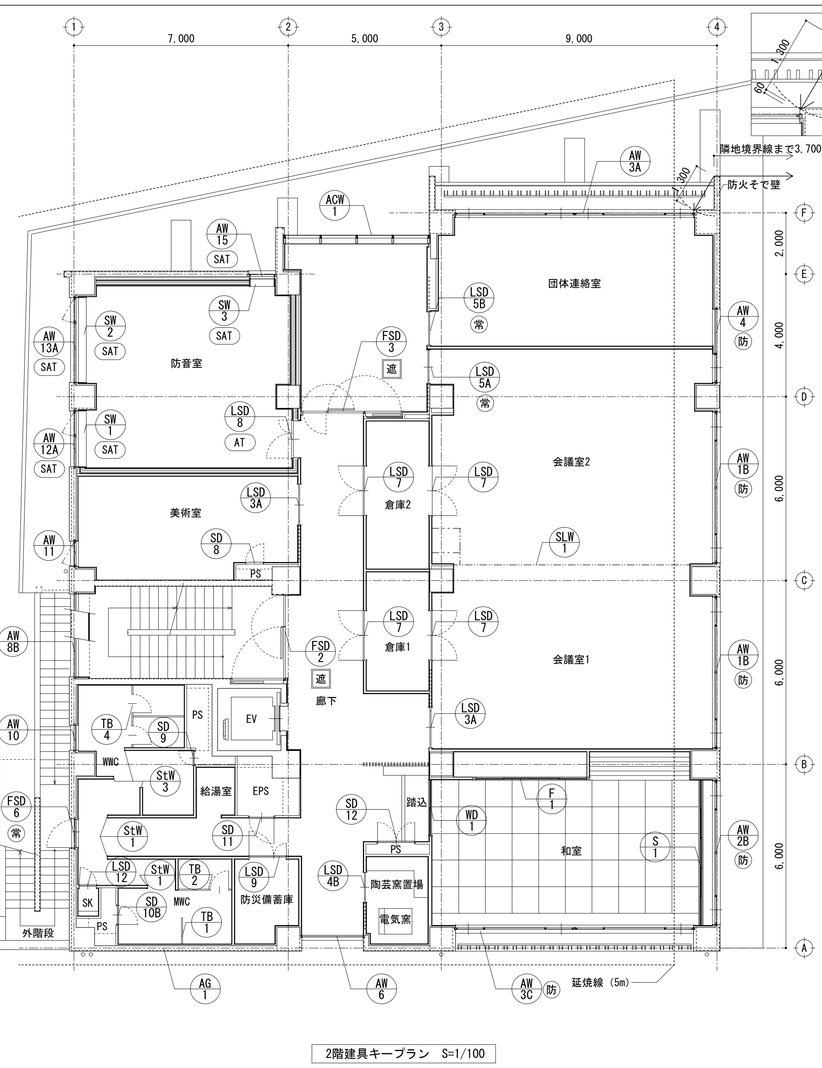
S=1/100(A1) 1/200(A3)

DATE 2025.9

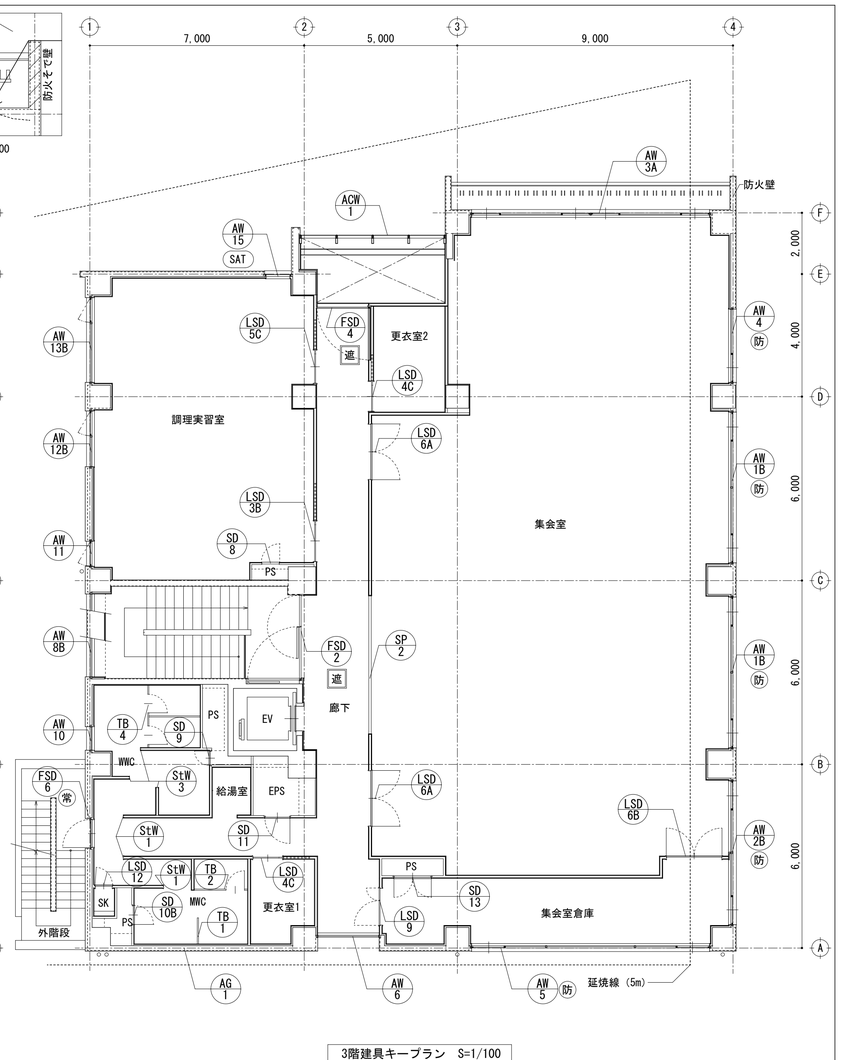
No. A-044



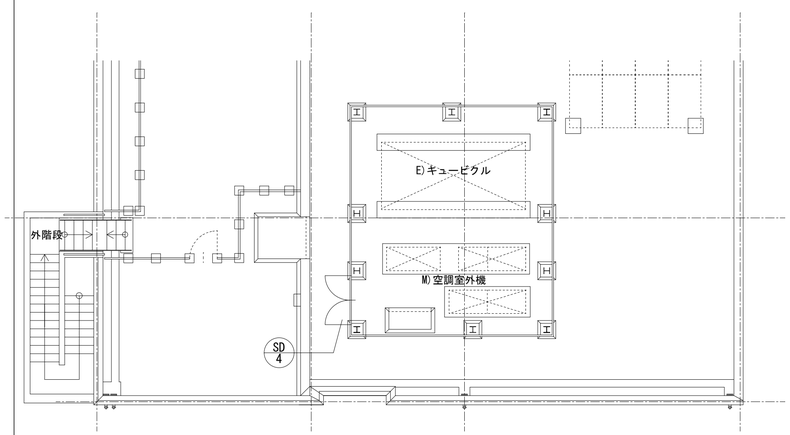
1階建具キープラン　S=1/100



2階建具キープラン　S=1/100



3階建具キープラン　S=1/100



屋階建具キープラン　S=1/100

【建具記号凡例】　※建具詳細は建具表および建具詳細図参照。

材種 AW 00 建具形式 番号

記号	摘要
防	防火設備
常	防火設備 （常時閉鎖式、告示第2564号遮煙性能）
特	特定防火設備
遮	特定防火設備 （常時閉鎖式、告示第2564号遮煙性能）
遮	特定防火設備 （煙感知器連動式閉鎖、告示第2564号遮煙性能）
AT	防音仕様（建具表１参照）
SAT	遮音仕様（建具表１参照）
[自]	自動ドア

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名　（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名　建具キープラン

S=1/100(A1) 1/200(A3)

DATE 2025.9

No. A-045

建具特記仕様

1．沓摺の形状は以下の通りとする

型	沓摺形状	型	沓摺形状
A	SUSt2.0 40×20 / 15 3（内部用）	D	0.3 / 1 2.5 / 1 2.5（外部用）
B	1.5 / 15 3（内部用）	E	0.3 / 1 2.5 / 1 2.5（外部気密用）
C	1.5 / 15 3（内部気密用）	F	段差は0～2mm / 0～2（内部用：目地棒）

※A～EはSUS304 t2.0HLとする
※FはSUS304 4×12とする
※隣室床材が同材料の場合は沓摺なし

2．建具金物凡例

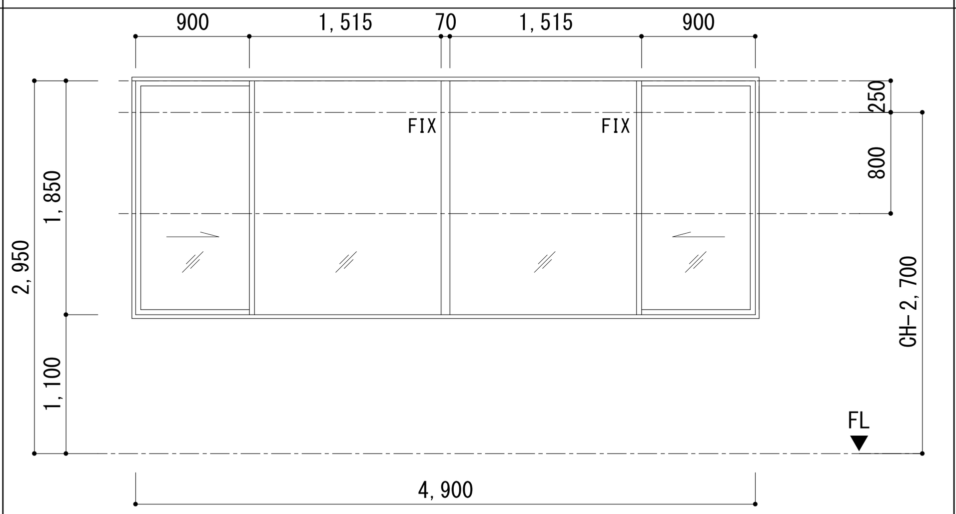
	金物名称	記号
支持金物	三角丁番 ピボットヒンジ スプリングヒンジ オートヒンジ	丁番 PH SH AH
開角調整金物	ドアチェック フロアヒンジ 戸当り	DC FH 戸当
把手類	レバーハンドル カムラッチハンドル ケースハンドル グレモンハンドル ドアハンドル 掘込引手	LH KH CH GH DH 掘込引手
閉鎖装置金物	シリンダー錠 表示錠 鎌錠（引戸用） 電気錠（通電金物共） フランス落し クレセント 点検口錠	シ錠 表示錠 鎌錠 電気錠 フ落 クレ
その他	排煙オペレーター SUS製網戸	OP 網戸

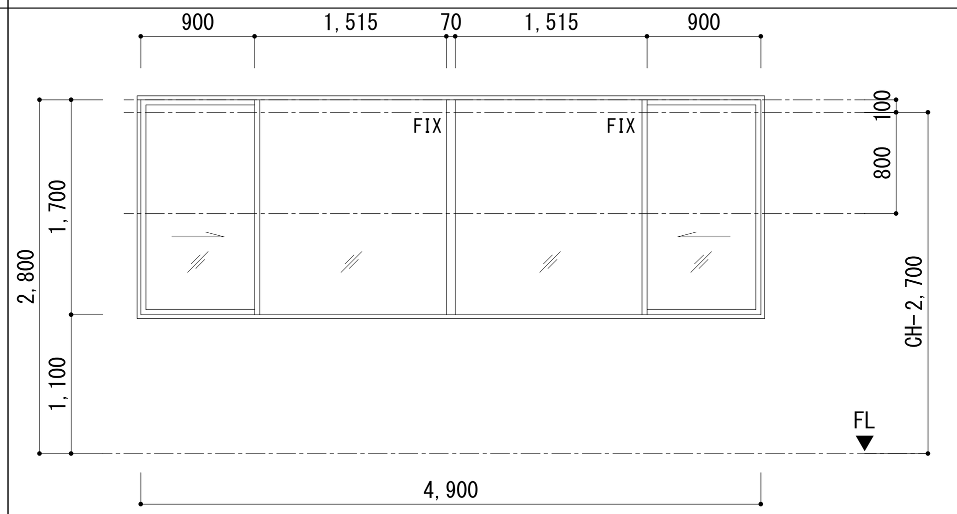
3．ガラス凡例

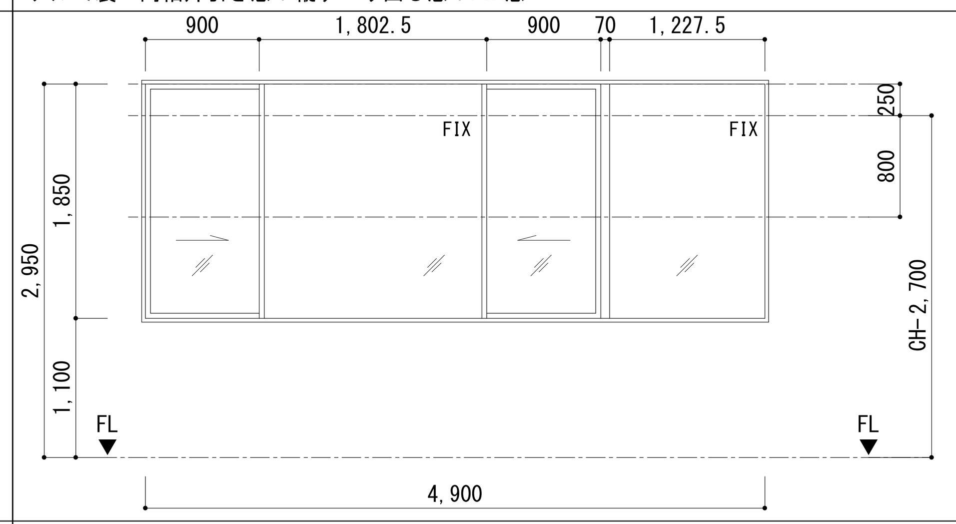
記号	ガラス名称
FL	フロートガラス
F	型板ガラス
ST	学校用強化ガラス
FST	学校用強化型板ガラス
TP	強化ガラス
FTP	強化型板ガラス
FW	網入型板ガラス
PW	網入磨き板ガラス
PW線	線入磨き板ガラス
FLF	耐熱強化ガラス
GB	ガラスブロック
G	ガラリ
AP	アルミパネルt3
ADP	アルミ断熱パネルt18
FIX	ハメコロシ

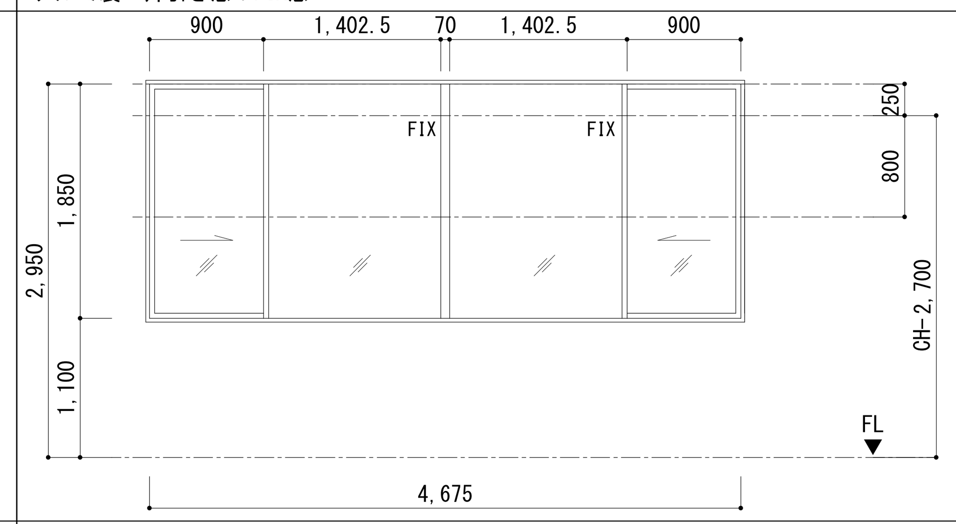
建具見込み寸法（mm）	SD 40（H=2,400未満、扉一枚の幅=1,050以下） 50（H=2,400以上、扉一枚の幅=1,600以下）	LSD：36 P：28 H：21 WD：36
形　状	(1) AW(H=1,600以下)は中桟無しとする。 (2) SDのうち、点検扉は片面フラッシュ戸とする。 (3) ダクト接続のガラリには四方枠(PL-t2.3加工、見込み70mm、見付25mm、2-FUE塗装)を付ける。	
仕上げ	(1) LSDの小口包み板は目板エッジレスタイプとする。 (2) SD及びLSDのドアガラリは、建具表面仕上と同材とする。 (3) SSD及びSSのステンレス製方立ては、特記なき限りステンレスバイブレーション仕上とする。	
建具金物	(1) 支持金物及び開角調整金物は建具表による。 尚、特記なき限り、DCはコンシールド型とし、丁番は三角丁番とする。 (2) 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザの有無にかかわらず戸当たりを設ける。戸当たりは原則として床付けとするが、巾木付との別は現場指示による。 (3) 排煙窓のクレセントおよび操作レバーの位置は床面から1,500mm以下とする。 (4) 扉の握り玉、把手類は原則として床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。 (5) 外部に面するAW、ACW、SCWは結露受及び水切を設ける。 (6) 一般開戸は、特記なき限り、以下の仕様とする。 ・両開戸に取付けるDCは順位調整器付とする。 ・特定防火設備・防火設備のDCはストッパーなしとする。 (7) 特記なき限り、レバーハンドルはユニオン G1170-01-061-L600同等品とする。 (8) 特記なき限り、ドアハンドルはユニオン UL291-002同等品とする。 (9) 特記なき限り、ケースハンドルはユニオン UCH1110-001同等品とする。 (10) 特記なき限り、戸当たりはユニオン UT-360-53同等品とする。	
防音仕様	防音仕様(AT) ※JIS遮音等級T-4	枠:ロックウール(80kg/m2)充填、扉:ロックウール(150kg/m2)充填、 上枠・たて枠：ATゴム付、下部気密材+ドアボトム+沓摺A ※例示仕様（右記（10）参照）の特定防火設備
	遮音仕様(SAT) ※JIS遮音等級T-2	アルミ製建具に使用する複層ガラスの中空層は12mm以上とする。

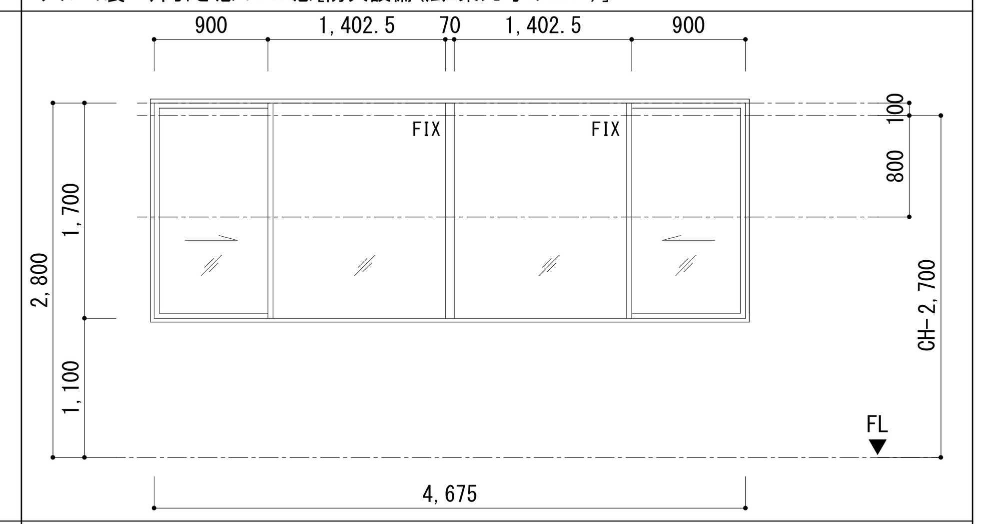
【特記事項】
(1) 特記無き限り、クレセント、鎌錠及びシリンダー錠はＦＬ＋800～1500に設けること。（共通）
(2) 特記なき限り、指詰防止機構は、指詰防止金具・ゴムストッパー・ゴム製戸当・戸先クッション(FL+1500mmまで欠込み)付とする。
(3) 排煙対象建具等の手動開放装置のうち、手で操作する部分はＦＬ＋800～1500の位置とする（共通）
(4) 煙感連動の防火防煙シャッターは障害物検知装置付とする。（煙感連動装置は連続通電仕様とする）
(5) 煙感連動の防火防煙シャッターは降下時 音声発生装置付とする。
(6) 内装建具の建築材料（接着材を含む）についてはＦ☆☆☆☆の認定品を使用すること。
(7) 金属製建具の枠まわりは外部建具：防水モルタル詰、内部建具：モルタル詰とする。
(8) 特記なき限り、扉を開放する時、壁に当たる場所には床付戸当りを設置すること。
(9) ガラス押えは特記なき限りシール押えとする
(10) 鋼製建具の特定防火設備は、「平成12年建設省告示第1369号」の規定を満たすものとする。
また、防火設備は、「平成12年建設省告示第1360号」の規定を満たすものとする。
(11) 防火設備連結材は、平成30年国住指第4608号に準拠した構造とする
(12) 特定防火設備及び防火設備の遮煙性能は、幅≦５ｍ以下の場合、「昭和４８建設省告示第2564号」の規定を満たすものとする。
(13) 窓付き特定防火設備は、階段区画には用いる場合は大臣認定EA-0064、異種用途区画に用いる場合はEA-0406同等の認定品とする
(14) 防火シャッターに関して、座板・レール・まぐさは全て鋼製・SOPとする。
(15) 特記無き限り、一般建具のDC、KH等はストッパー付とし、防火戸はストッパー無しとする。
(16) オペレーター附属金物(ステイ、滑車、ダンパー、ワイヤー等)は全て隠蔽式（化粧カバー付）とする。
(17) 外部に面するガラリは特記無き限り防虫網付とし、開口率は35%内外とする。（内部ガラリは50%内外）
(18) 水切小口塞ぎ材を設け、端部RC壁に水が伝わらないようにすること。
(19) 引込ハンガー戸の点検口は原則室内側とする。
(20) 特記なき限り、飛散防止フィルムは住友３Ｍ　スコッチティントウインドウフィルム同等品とする。
(21) 特記なき限り、障子紙はプラスチック製（朝日ペン　超強プラスチック障子紙同等品）とする。
(22) 特記なき限り、シリンダー錠は、「外：シリンダー　内：サムターン」とする。
(22) 開き戸のドアクローザーは室内側（大部屋内に当たっては小部屋側）取付けを原則とする。
(23) 縦滑り出し窓の開口開き角度は45度以上とする。
(24) 特記無き限り、開き戸召し合せは右記形状とする。内部一般：　外部一般：
(25) 鋼製建具のガラス押え金物はドアと同材同仕上とする。
(26) フロアヒンジはプレート落とし込みとし、床仕上げ同材を張った化粧プレートとする。
(27) シリンダー錠及びサムターンは把手類の同系色(既製品)とする。

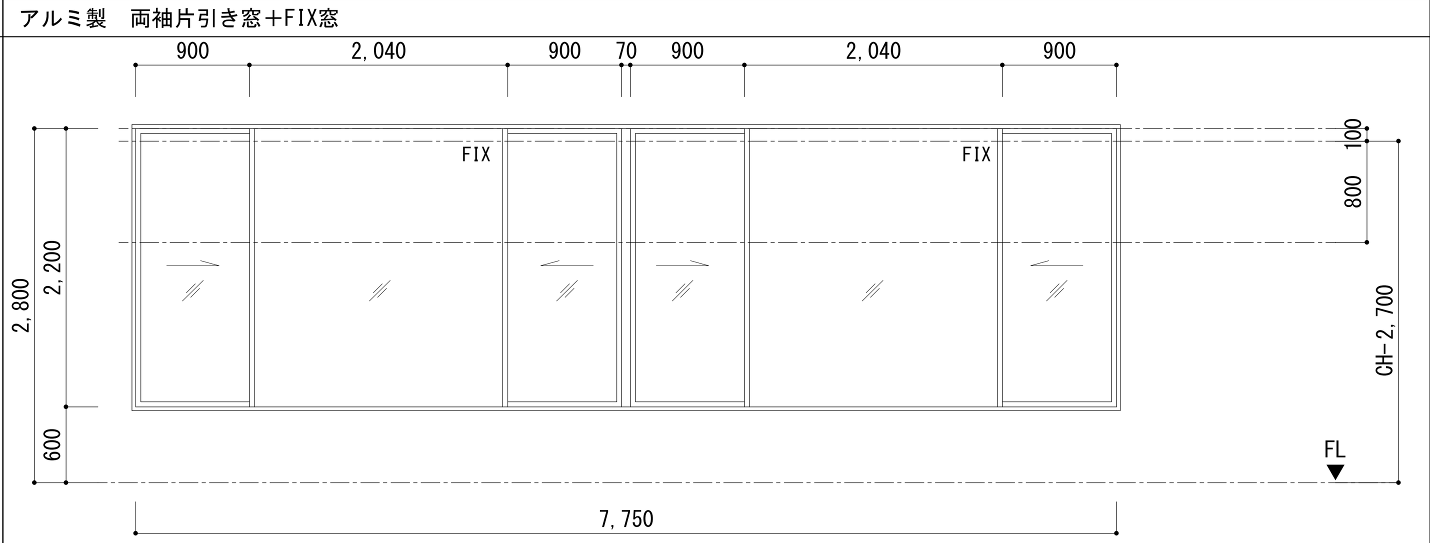
記号・数量	AW 1A　【外部】 1
種別・方式	アルミ製　両袖片引き窓＋FIX窓
形状・寸法	
使用場所	1階：多目的室
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金物	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

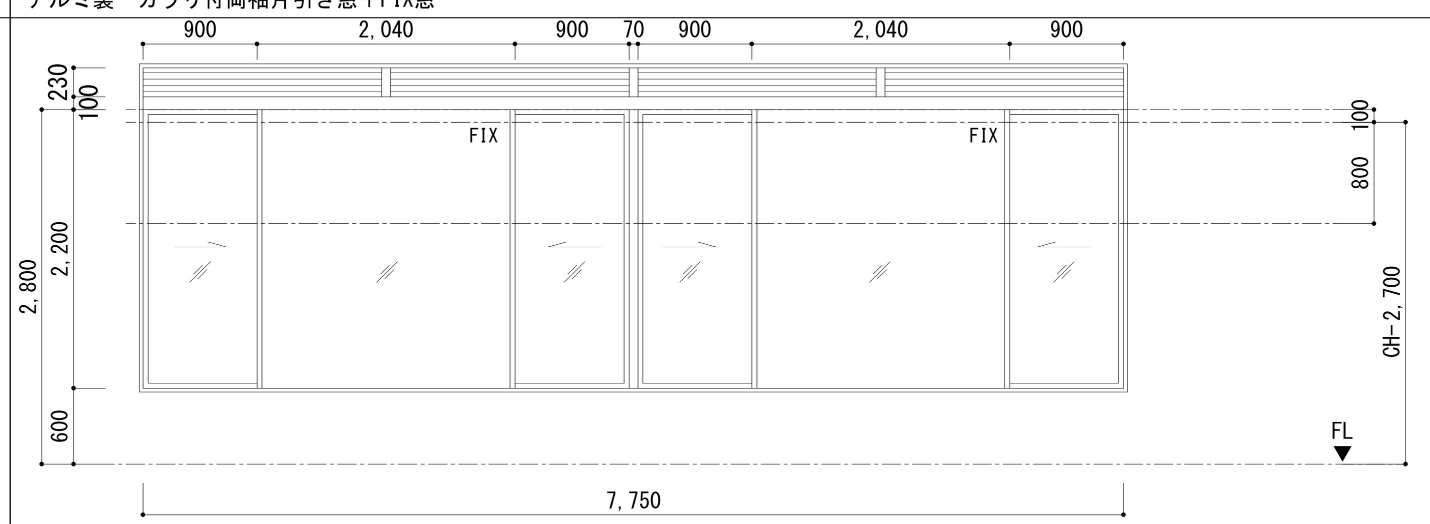
記号・数量	AW 1B 防　【外部】 4
種別・方式	アルミ製　両袖片引き窓＋FIX窓[防火設備(法2条九号のニロ)]
形状・寸法	
使用場所	2階：会議室1・会議室2、3階：集会室
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FW6.8）
金物	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

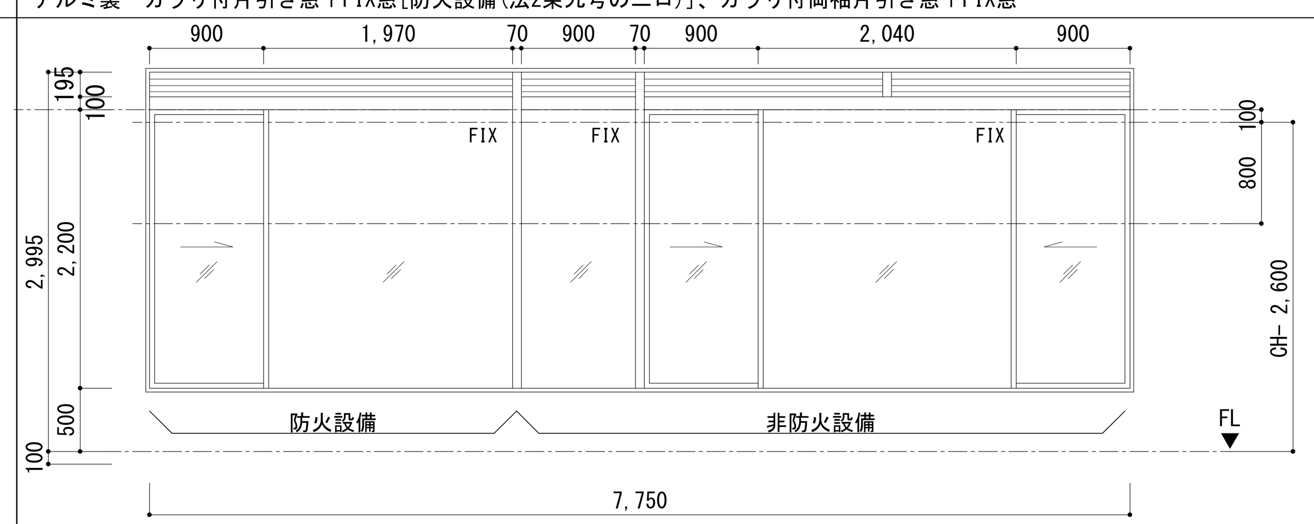
記号・数量	AW 1C　【外部】 1
種別・方式	アルミ製　両袖片引き窓＋縦すべり出し窓＋FIX窓
形状・寸法	
使用場所	1階：図書コーナー
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金物	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

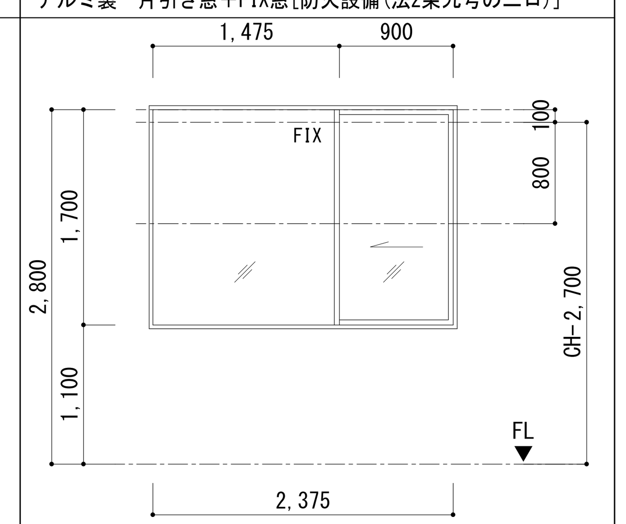
記号・数量	AW 2A　【外部】 1
種別・方式	アルミ製　片引き窓＋FIX窓
形状・寸法	
使用場所	1階：多目的室
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金物	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

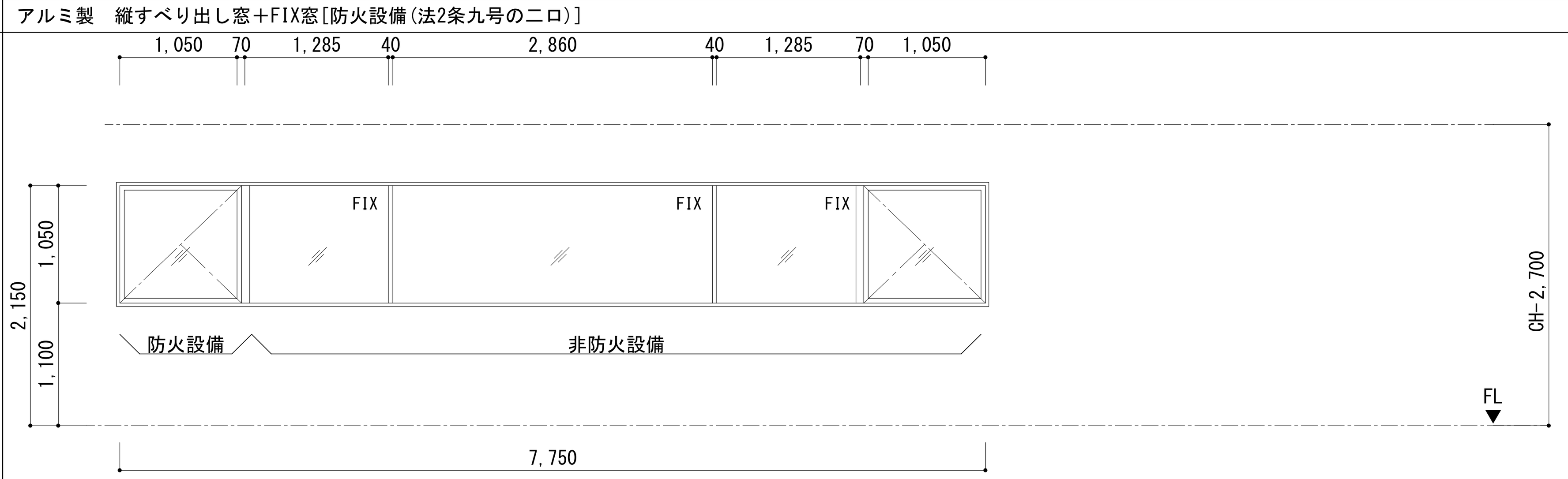
記号・数量	AW 2B 防　【外部】 2
種別・方式	アルミ製　片引き窓＋FIX窓[防火設備(法2条九号のニロ)]
形状・寸法	
使用場所	2階：和室、3階：集会室・集会室倉庫
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FW6.8）
金物	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

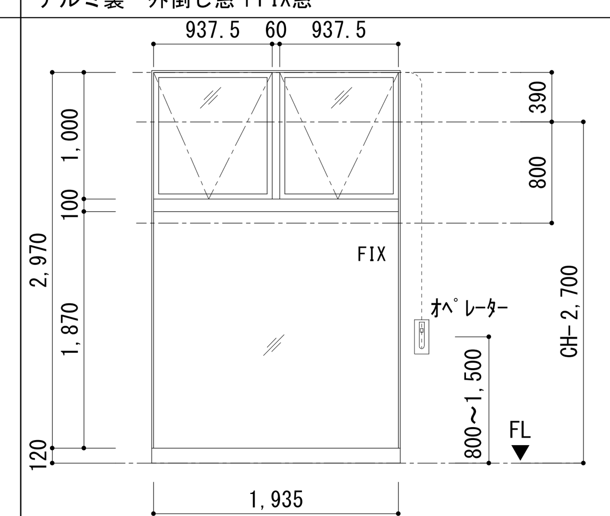
記号・数量	AW 3A　【外部】 2
種別・方式	アルミ製　両袖片引き窓＋FIX窓
形状・寸法	
使用場所	2階：団体連絡室、3階：集会室
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金物	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

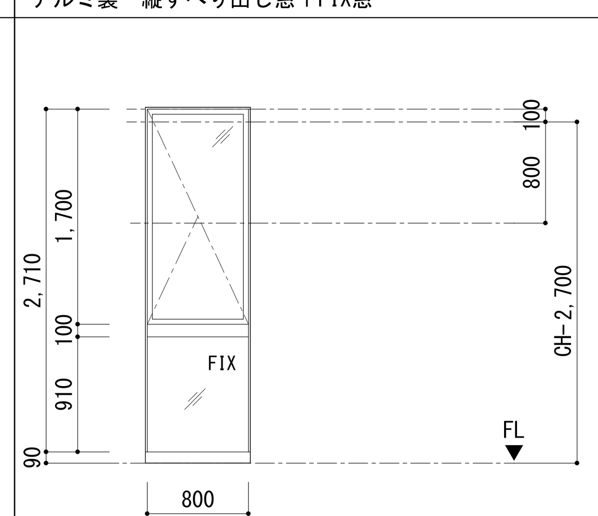
記号・数量	AW 3B　【外部】 1
種別・方式	アルミ製　ガラリ付両袖片引き窓＋FIX窓
形状・寸法	
使用場所	1階：多目的室
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金物	クレ、水切、防水ガラリ、ダクト受アングル、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

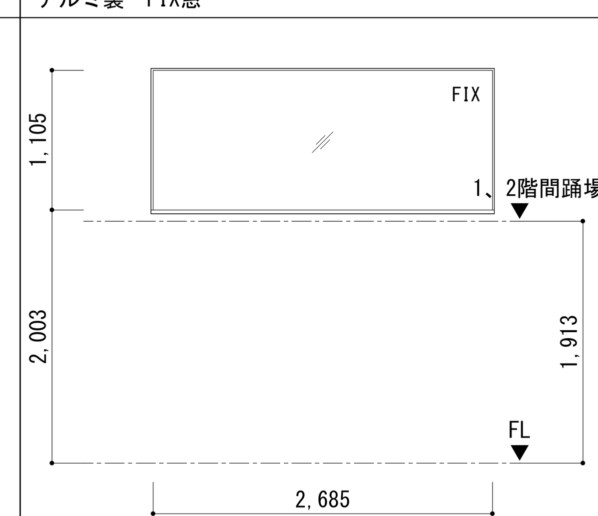
記号・数量	AW 3C 防　【外部】 1
種別・方式	アルミ製　ガラリ付片引き窓＋FIX窓[防火設備(法2条九号のニロ)]、ガラリ付両袖片引き窓＋FIX窓
形状・寸法	
使用場所	2階：和室
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	防火設備部：日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋PW6.8）、非防火設備部：日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金物	クレ、水切、防水ガラリ、ダクト受アングル、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

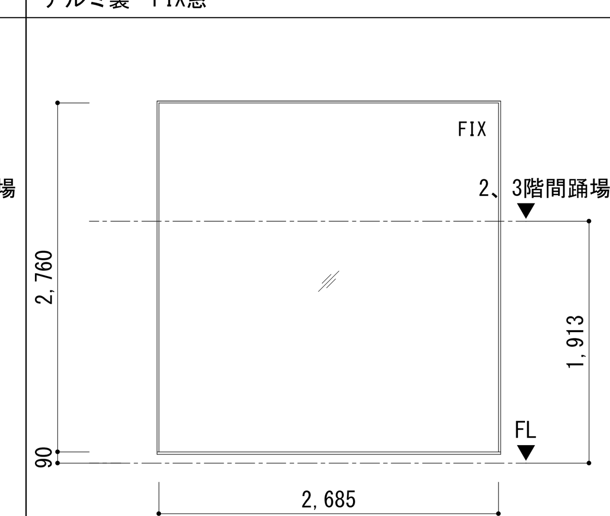
記号・数量	AW 4 防　【外部】 2
種別・方式	アルミ製　片引き窓＋FIX窓[防火設備(法2条九号のニロ)]
形状・寸法	
使用場所	2階：団体連絡室、3階：集会室
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FW6.8）
金物	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

記号・数量	AW 5 防　【外部】 1
種別・方式	アルミ製　縦すべり出し窓＋FIX窓[防火設備(法2条九号のニロ)]
形状・寸法	
使用場所	3階：集会室倉庫
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	防火設備部：日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋PW6.8）、非防火設備部：日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金物	GH、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

記号・数量	AW 6　【外部】 2
種別・方式	アルミ製　外倒し窓＋FIX窓
形状・寸法	
使用場所	2階：廊下、3階：廊下
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金物	水切、スチール額縁（SOP）、排煙OP（隠ぺい式）、附属金物一式
備考	※姿図は3階廊下を示す、下額縁のみ

記号・数量	AW 7　【外部】 1
種別・方式	アルミ製　縦すべり出し窓＋FIX窓
形状・寸法	
使用場所	1階：MWC
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋F4）
金物	KH、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備考	

記号・数量	AW 8A　【外部】 1
種別・方式	アルミ製　FIX窓
形状・寸法	
使用場所	1階：内部階段踊場
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金物	水切、スチール額縁（SOP）、附属金物一式
備考	※下額縁のみ

記号・数量	AW 8B　【外部】 2
種別・方式	アルミ製　FIX窓
形状・寸法	
使用場所	2階：内部階段踊場、3階：内部階段
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒） 70
硝子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E8＋A6＋FL6）
金物	水切、スチール額縁（SOP）、附属金物一式
備考	※姿図は2階内部階段踊場を示す、下額縁のみ

【建具記号凡例】

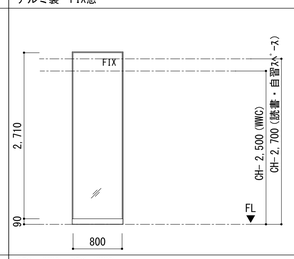
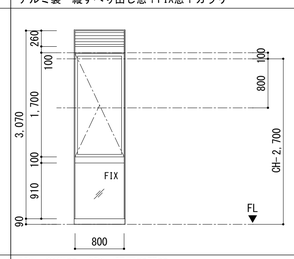
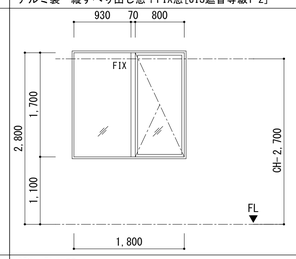
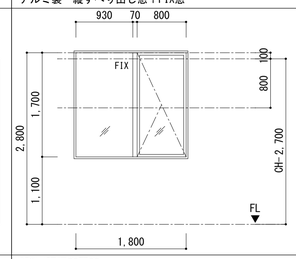
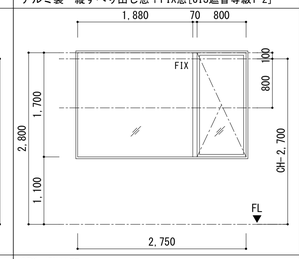
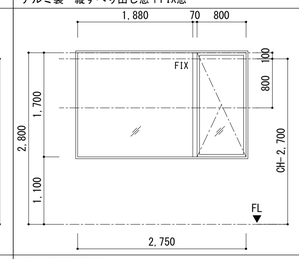
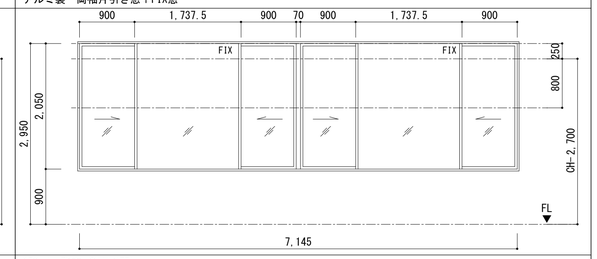
材種 AW（建具形式） 00（番号）

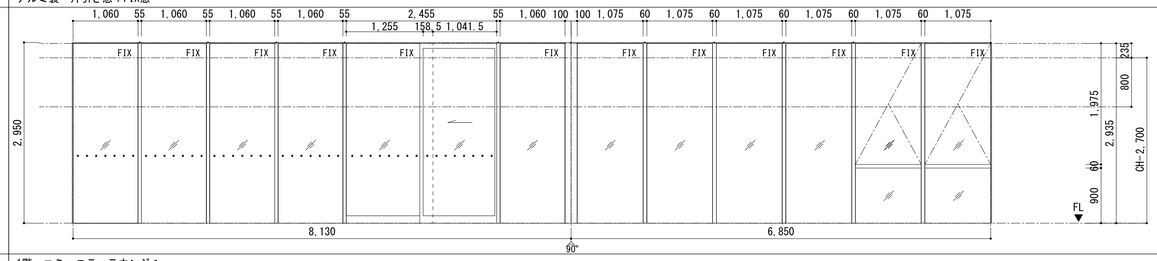
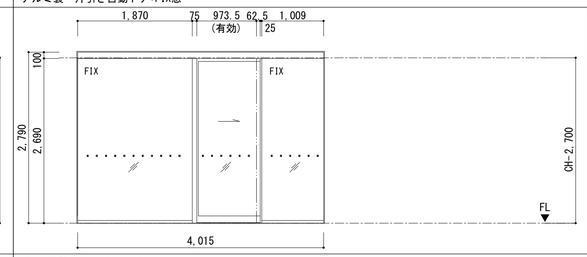
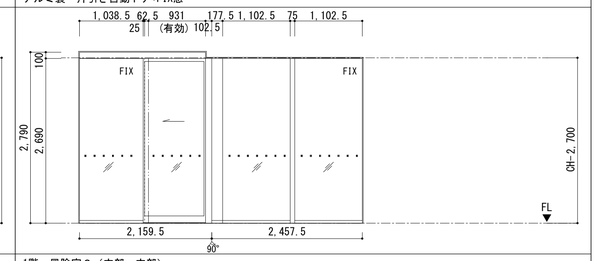
(防) 防火設備（法2条九号のニロ）	[常] 特定防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）
(常) 防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）	[随] 特定防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）
(随) 防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）	
(AT) 防音仕様（建具特記仕様参照）	(SAT) 遮音仕様（建具特記仕様参照）
[自] 自動ドア	

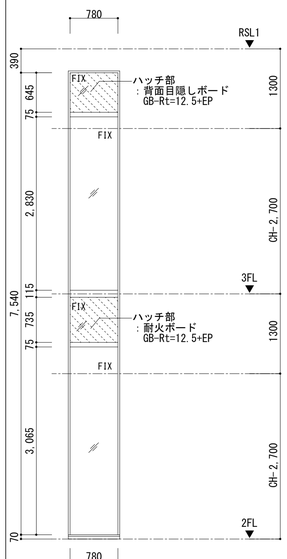
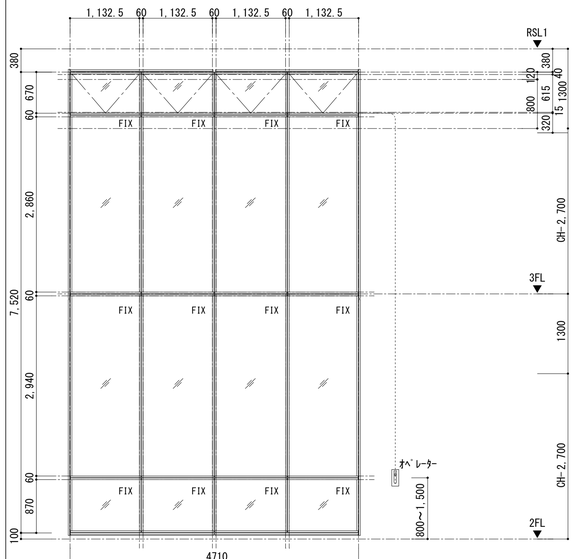
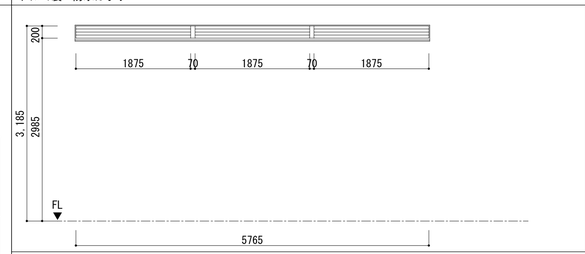
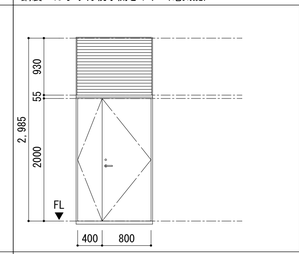
一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成
埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787
東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

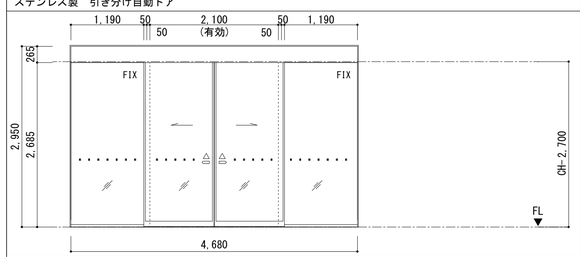
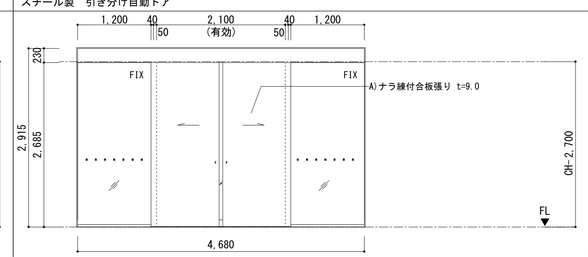
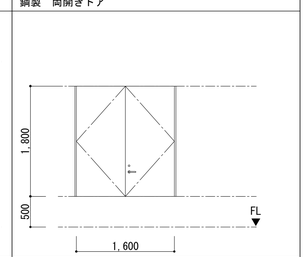
APPR	CHKD	DRAWN

工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
S= 1/50(A1) 1/100(A3)
DATE 2025.09
図名：建具表１(AW)
No. A-046

記号・数量	AW 10 【外部】 3	AW 11 【外部】 2	AW 12A SAT 【外部】 1	AW 12B 【外部】 1	AW 13A SAT 【外部】 1	AW 13B 【外部】 1	AW 14 【外部】 1
種別・方式	アルミ製　FIX窓	アルミ製　縦すべり出し窓＋FIX窓＋ガラリ	アルミ製　縦すべり出し窓＋FIX窓[JIS遮音等級T-2]	アルミ製　縦すべり出し窓＋FIX窓	アルミ製　縦すべり出し窓＋FIX窓[JIS遮音等級T-2]	アルミ製　縦すべり出し窓＋FIX窓	アルミ製　両袖片引き窓＋FIX窓
形状・寸法							
使用場所	2階：WWC、3階：WWC	2階：美術室、3階：調理実習室	2階：防音室	3階：調理実習室	2階：防音室	3階：調理実習室	1階：事務室-倉庫１間
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒）　70	アルミ：二次電解着色（黒）　70	アルミ：二次電解着色（黒）　70	アルミ：二次電解着色（黒）　70	アルミ：二次電解着色（黒）　70	アルミ：二次電解着色（黒）　70	アルミ：二次電解着色（黒）　70
硝　子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋F4）	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋F4）	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A12＋FL6）	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A12＋FL6）	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋FL5）
金　物	水切、スチール額縁（SOP）、附属金物一式	KH、水切、防水ガラリ、ダクト受アングル、 スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式	KH、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、 附属金物一式	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式	クレ、水切、スチール額縁（SOP）、網戸、附属金物一式
備　考	WWCは半透明フィルム張り						倉庫1は半透明フィルム張り

記号・数量	AW 9 【外部】 1	AD 1 ［自］ 【外部】 1	AD 2 ［自］ 【内部】 1
種別・方式	アルミ製　片引き窓＋FIX窓	アルミ製　片引き自動ドア+FIX窓	アルミ製　片引き自動ドア+FIX窓
形状・寸法			
使用場所	1階：コミュニティラウンジ１	1階：風除室２（外部～内部）	1階：風除室２（内部～内部）
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒）　70	アルミ：二次電解着色（黒）　100	アルミ：二次電解着色（黒）　100
硝　子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E6＋A6＋FL8）	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E6＋A6＋TP8）、扉部（TP6＋A6＋TP8）	TP6＋A6＋TP6
金　物	本締り錠、結露排水弁、KH、附属金物一式	外側シリンダー・内側サムターン、開錠スイッチ、自動ドアステッカー、警告ラベル、無目内蔵センサー、補助光電センサー、 自動ドアエンジン（所要電源容量AC100V・5A、煙感連動パニックオープン）、埋込用押釦・手動閉鎖装置、 アルミ額縁、結露排水弁、SUS製防護柵（2か所）、附属金物一式	外側シリンダー・内側サムターン、開錠スイッチ、自動ドアステッカー、警告ラベル、無目内蔵センサー、補助光電センサー、 自動ドアエンジン（所要電源容量AC100V・5A、煙感連動パニックオープン）、埋込用押釦・手動閉鎖装置、 アルミ額縁、結露排水弁、SUS製防護柵（2か所）、附属金物一式
備　考	A)衝突防止サイン	A)、衝突防止サイン、取付アンカー新設、レール等モルタル詰め、天井点検口一式 E)一次側電源　(AC100V・5A)、煙感知器および配電盤まで引込結線一式	A)衝突防止サイン、取付アンカー新設、レール等モルタル詰め、天井点検口一式 E)一次側電源　(AC100V・5A)、煙感知器および配電盤まで引込結線一式

記号・数量	AW 15 SAT 【外部】 1	ACW 1 【外部】 1	AG 1 【外部】 3	SD 1 【外部】 1	SD 2 【外部】 1	
種別・方式	アルミ製　FIX窓[JIS遮音等級T-2]	アルミ製　カーテンウォール	アルミ製　防水ガラリ	鋼製　ガラリ付親子開きドア（電気錠）	鋼製　親子開きドア	
形状・寸法						
使用場所	2階：防音室～3階：調理実習室	2階～3階：吹抜	1～3階：MWC	1階：倉庫１	1階：外部倉庫	
仕上・扉見込	アルミ：二次電解着色（黒）　70	アルミ：二次電解着色（黒）　100	アルミ：二次電解着色（黒）　70	ｽﾁｰﾙPL-1.6 DP塗装　扉:40　枠:120	ｽﾁｰﾙPL-1.6 DP塗装　扉:40　枠:100	
硝　子	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A12＋FL8）	日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E6＋A6＋FL8）	防水ガラリ（防虫網付、ガラリ開口率：50%程度）、アルミ水切、スチール額縁（SOP）、附属金物一式	—	—	
金　物	水切、スチール額縁（SOP）、結露排水弁 スチール製ロールスクリーンBOX(SOP)、附属金物一式	水切、スチール額縁・踏板（SOP）、結露排水弁 OP(隠ぺい式)、附属金物一式		電気錠・外側シリンダー・内側サムターン、レバーハンドル、ドアチェック ピボットヒンジ、防水ガラリ（防虫網付、ガラリ開口率:50%程度） フランス落し、スチール額縁（DP）、沓摺E、附属金物一式	外側シリンダー・内側サムターン、レバーハンドル、ドアチェック ピボットヒンジ、フランス落し、スチール額縁（DP）、 ガラリ（防虫網付）、沓摺D、附属金物一式	
備　考	層間塞ぎ:ﾛｯｸｳｰﾙ(150kg/m3)+押え金物L-60*60*4	取付鉄骨:H-175x175x7.5x11+SOP（固定金物共）、二重シール	A)衝突防止サイン、取付アンカー新設、レール等モルタル詰め、天井点検口、防護柵一式 E)一次側電源　(AC100V・5A)、煙感知器および配電盤まで引込結線一式	A)衝突防止サイン、取付アンカー新設、レール等モルタル詰め、天井点検口、防護柵一式 E)一次側電源　(AC100V・5A)、煙感知器および配電盤まで引込結線一式	A)押出成型セメント板開口補強	

記号・数量	SUSD 1 ［自］ 【外部】 1	SSD 1 ［自］ 【内部】 1	SD 4 【外部】 1
種別・方式	ステンレス製　引き分け自動ドア	スチール製　引き分け自動ドア	鋼製　両開きドア
形状・寸法			
使用場所	1階：風除室１（外部～内部）	1階：風除室１（内部～内部）	屋階：設備目隠し壁
仕上・扉見込	SUS 焼付塗装　100	スチール錆止め塗装 A)ナラ練付合板張り、SOP塗装　100	スチール DP塗装　扉：40　枠:80
硝　子	TP12	TP8	—
金　物	外側シリンダー・内側サムターン、開錠スイッチ、自動ドアステッカー、警告ラベル、無目内蔵センサー、補助光電センサー、 自動ドアエンジン（所要電源容量AC100V・5A、煙感連動パニックオープン）、埋込用押釦・手動閉鎖装置、 SUS焼付塗装額縁、結露排水弁、、附属金物一式	外側シリンダー・内側サムターン、開錠スイッチ、自動ドアステッカー、警告ラベル、無目内蔵センサー、補助光電センサー、 自動ドアエンジン（所要電源容量AC100V・5A、煙感連動パニックオープン）、埋込用押釦・手動閉鎖装置、 スチール額縁、結露排水弁、附属金物一式	シリンダー錠、レバーハンドル、ドアストッパー、 丁番、丸落とし、附属金物一式
備　考	A)衝突防止サイン、取付アンカー新設、レール等モルタル詰め、天井点検口、防護柵一式 E)一次側電源　(AC100V・5A)、煙感知器および配電盤まで引込結線一式	A)衝突防止サイン、取付アンカー新設、レール等モルタル詰め、天井点検口、防護柵一式 E)一次側電源　(AC100V・5A)、煙感知器および配電盤まで引込結線一式	

【建具記号凡例】

材種 AW 00 建具形式 番号

防 防火設備（法2条九号の二口）	常 特定防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）	AT 防音仕様（建具特記仕様参照）	
常 防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）	随 特定防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）	SAT 遮音仕様（建具特記仕様参照）	
随 防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）		［自］ 自動ドア	

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

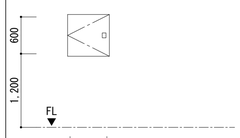
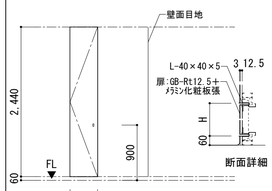
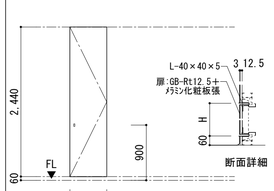
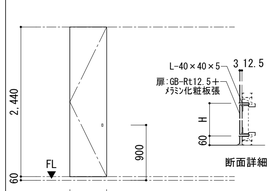
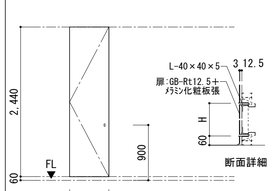
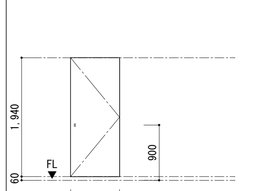
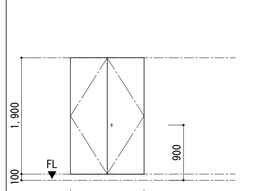
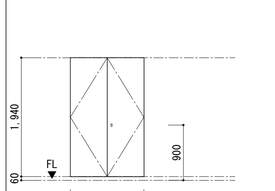
APPR	CHKD	DRAWN

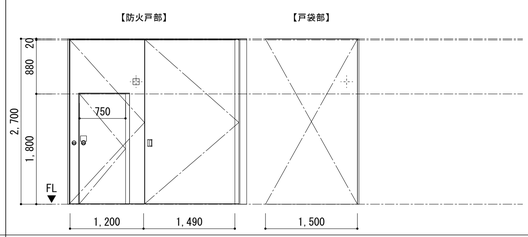
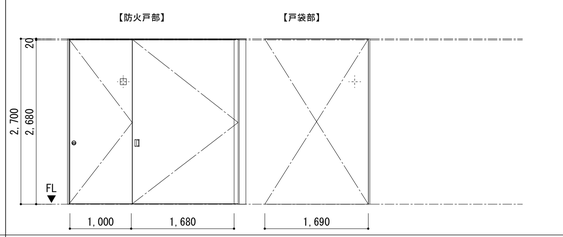
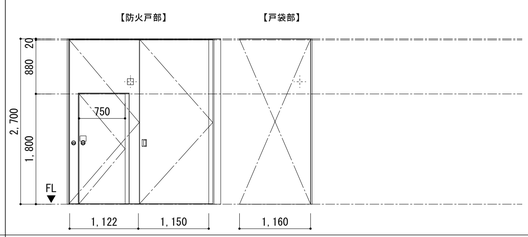
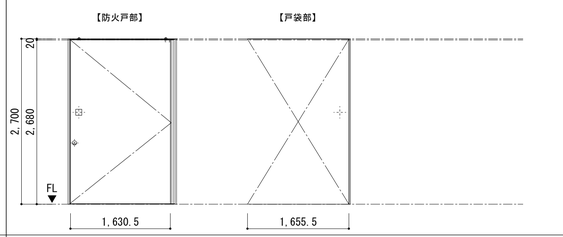
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

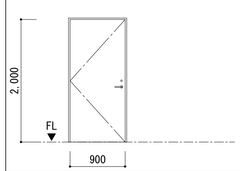
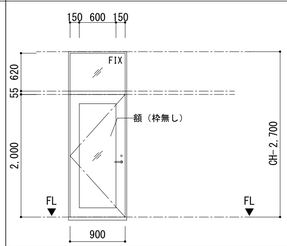
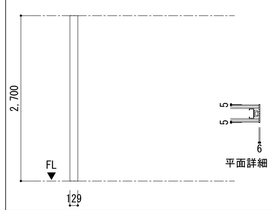
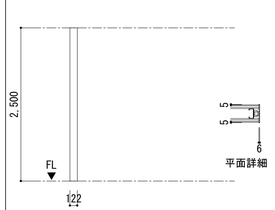
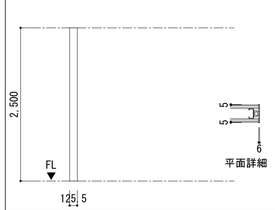
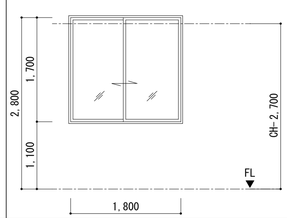
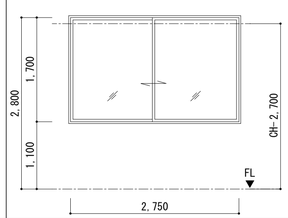
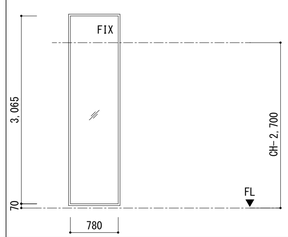
工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

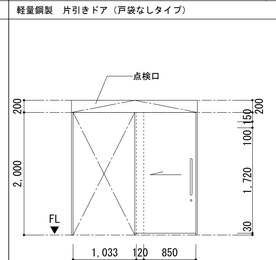
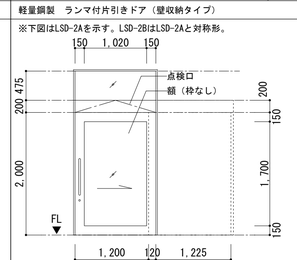
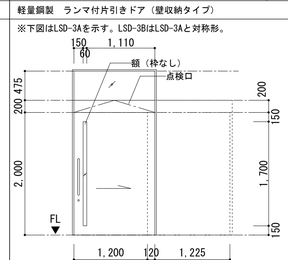
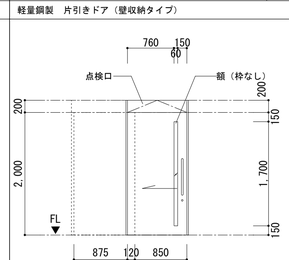
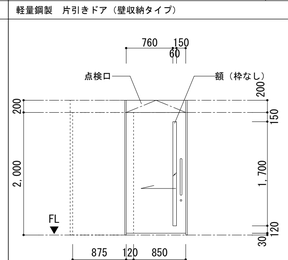
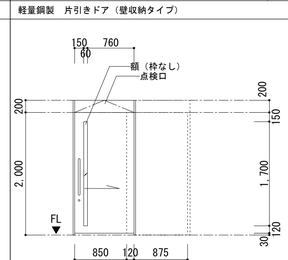
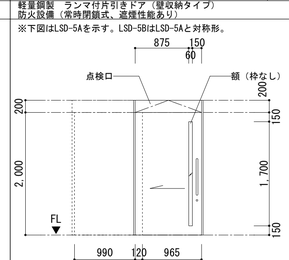
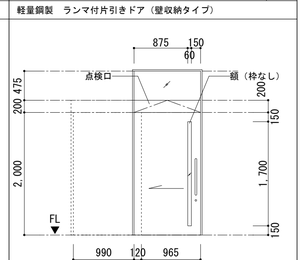
図名：建具表２(AW,AD,ACW,AG,SD,SSD,SUSD)

S= 1/50(A1) 1/100(A3)　DATE 2025.09　No. A-047

記号・数量	SD 8	3	SD 9	2	SD 10A	1	SD 10B	2	SD 10C	1	SD 11	3	SD 12	1	SD 13	1
種別・方式	鋼製 点検口		鋼製 点検口（片面アングルドア）		鋼製 点検口（片面アングルドア）		鋼製 点検口（片面アングルドア）		鋼製 点検口（片面アングルドア）		鋼製 点検口（片面アングルドア）		鋼製 点検口（片面アングルドア）		鋼製 点検口（片面アングルドア）	
形状・寸法																
使用場所	1～3階：PS（2通り-C通り廻り）		2～3階：PS（WWC内）		1階：PS（WWC内）		2～3階：PS（MWC内）		1階：PS（MWC内）		1階：EPS		2階：PS（踏込）		3階：PS（集会室倉庫）	
仕上・扉見込	スチールPL-1.6 焼付塗装	扉:40 枠:100	スチールPL-1.6（錆止め塗装）メラミン化粧板 t=3.0	扉:55 枠:100	スチールPL-1.6（錆止め塗装）メラミン化粧板 t=3.0	扉:55 枠:100	スチールPL-1.6（錆止め塗装）メラミン化粧板 t=3.0	扉:55 枠:100	スチールPL-1.6（錆止め塗装）メラミン化粧板 t=3.0	扉:55 枠:100	スチールPL-1.6 SOP塗装	扉:40 枠:100	スチールPL-1.6 SOP塗装	扉:40 枠:100	スチールPL-1.6 SOP塗装	扉:40 枠:100
硝　子	—		—		—		—		—		—		—		—	
金　物	スライド丁番、点検口錠、附属金物一式		隠し丁番、点検口錠、附属金物一式		隠し丁番、点検口錠、附属金物一式		隠し丁番、点検口錠、附属金物一式		隠し丁番、点検口錠、附属金物一式		隠し丁番、ケースリングハンドル、点検口錠、附属金物一式		隠し丁番、ケースリングハンドル、点検口錠、附属金物一式		隠し丁番、ケースリングハンドル、点検口錠、附属金物一式	
備　考	UNION UCP-99-600-K同等品		FB枠		FB枠		FB枠		FB枠		FB枠		FB枠		FB枠	

記号・数量	FSD 1 遮	1	FSD 2 遮	2	FSD 3 遮	1	FSD 4 遮	1
種別・方式	鋼製　戸袋・くぐり戸付２枚折れ防火戸 特定防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）		鋼製　戸袋付２枚折れ防火戸 特定防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）		鋼製　戸袋・くぐり戸付２枚折れ防火戸 特定防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）		鋼製　戸袋付防火戸 特定防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）	
形状・寸法								
使用場所	1階：内部階段		2、3階：内部階段		2階：廊下		3階：廊下	
仕上・扉見込	スチールPL-1.6 SOP塗装	扉:60 枠:230	スチールPL-1.6 SOP塗装	扉:60 枠:230	スチールPL-1.6 SOP塗装	扉:60 枠:230	スチールPL-1.6 SOP塗装	扉:60 枠:230
硝　子	—		—		—		—	
金　物	ヒンジクローザー、ケースハンドル、握込引手、ドアキャッチ、 電磁レリーズラッチ、エアタイトゴム・扉下端気密材、 附属金物一式		ヒンジクローザー、ケースハンドル、握込引手、ドアキャッチ、 電磁レリーズラッチ、エアタイトゴム・扉下端気密材、 附属金物一式		ヒンジクローザー、ケースハンドル、握込引手、ドアキャッチ、 電磁レリーズラッチ、エアタイトゴム・扉下端気密材、 附属金物一式		ヒンジクローザー、ケースハンドル、 電磁レリーズラッチ、エアタイトゴム・扉下端気密材、 附属金物一式	
備　考	つぶし枠、沓摺なし、E)煙感知器、配線引込結線マデ一式		つぶし枠、沓摺なし、E)煙感知器、配線引込結線マデ一式		つぶし枠、沓摺なし、E)煙感知器、配線引込結線マデ一式		つぶし枠、沓摺なし、E)煙感知器、配線引込結線マデ一式	

記号・数量	FSD 5 常	1	FSD 6 常 【外部】	2	StW 1	6	StW 2	2	StW 3	6	SW 1 SAT	1	SW 2 SAT	1	SW 3 SAT	1
種別・方式	鋼製 片開きドア 防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）		鋼製　欄間付片開きドア		鋼製 一方枠		鋼製 一方枠		鋼製 一方枠		鋼製　引違窓[JIS遮音等級T-2]		鋼製　引違窓[JIS遮音等級T-2]		鋼製　FIX窓[JIS遮音等級T-2]	
形状・寸法																
使用場所	1階：階段下倉庫		2階：廊下、3階：廊下		1～3階：WWCほか		1階：WWC		2～3階：WWC		2階：防音室		2階：防音室		2階：防音室	
仕上・扉見込	スチールPL-1.6 SOP塗装	扉:40 枠:100	ｽﾁｰﾙPL-1.6 DP塗装	扉:40 枠:120	スチールFB-6 SOP塗装		スチールFB-6 SOP塗装		スチールFB-6 SOP塗装		スチール SOP塗装	70	スチール SOP塗装	70	スチール SOP塗装	70
硝　子	—		日射取得型LOW-E複層ガラス（Low-E5＋A6＋PW6.8）		—		—		—		FL6		FL6		FL6	
金　物	外側シリンダー・内側サムターン、レバーハンドル、ドアチェック ピボットヒンジ、沓摺C、附属金物一式		外側シリンダー・内側破壊錠、レバーハンドル、ドアチェック ピボットヒンジ、スチール額縁（DP）、沓摺E、附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		附属金物一式		スチール額縁（SOP）、附属金物一式		スチール額縁（SOP）、附属金物一式		スチール額縁（SOP）、附属金物一式	
備　考																

記号・数量	LSD 1	1	LSD 2A LSD 2B	2A：1 2B：1	LSD 3A LSD 3B	2A：2 2B：1	LSD 4A	1	LSD 4B	1	LSD 4C	2	LSD 5A LSD 5B 常	5A：1 5B：1	LSD 5C	1
種別・方式	軽量鋼製　片引きドア（戸袋なしタイプ）		軽量鋼製　ランマ付片引きドア（壁収納タイプ）		軽量鋼製　ランマ付片引きドア（壁収納タイプ）		軽量鋼製　片引きドア（壁収納タイプ）		軽量鋼製　片引きドア（壁収納タイプ）		軽量鋼製　片引きドア（壁収納タイプ）		軽量鋼製　ランマ付片引きドア（壁収納タイプ） 防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）		軽量鋼製　ランマ付片引きドア（壁収納タイプ）	
形状・寸法			※下図はLSD-2Aを示す。LSD-2BはLSD-2Aと対称形。 		※下図はLSD-3Aを示す。LSD-3BはLSD-3Aと対称形。 								※下図はLSD-5Aを示す。LSD-5BはLSD-5Aと対称形。 			
使用場所	1階：HWC		LSD-2A　1階：多目的室 LSD-2B　1階：多目的室		LSD-3A　2階：美術室・会議室１ LSD-3B　3階：調理実習室		1階：事務室		2階：陶芸窯置場		3階：更衣室１、２		LSD-5A　2階：会議室２ LSD-5B　2階：団体連絡室		3階：調理実習室	
仕上・扉見込	枠・戸：焼付塗装（指定色）	扉:40 枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）	扉:40 枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）	扉:40 枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）	扉:40 枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）	扉:40 枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）	扉:40 枠:130（更衣室１） 枠:195（更衣室２）	枠・戸：焼付塗装（指定色）	扉:40 枠:150	枠・戸：焼付塗装（指定色）	扉:40 枠:150
硝　子	—		TP5（飛散防止フィルム貼）		F4		F4		F4		F4（半透明フィルム張り）		TP5（飛散防止フィルム貼）		TP5（飛散防止フィルム貼）	
金　物	DH、ハンガー機構（ストッパー有り）、戸当、 表示錠、沓摺F、アンダーカットH=30、附属金物一式		DH、ハンガー機構（ストッパー有り）、戸当、 外側シリンダー錠・内側サムターン、沓摺F、附属金物一式		DH、ハンガー機構（ストッパー有り）、戸当、 外側シリンダー錠・内側サムターン、附属金物一式		DH、ハンガー機構（ストッパー有り）、戸当、 外側シリンダー錠・内側サムターン、 沓摺F、附属金物一式		DH、ハンガー機構（ストッパー有り）、戸当、 外側シリンダー錠・内側サムターン、 アンダーカットH=30、附属金物一式		DH、ハンガー機構（ストッパー有り）、戸当、 外側シリンダー錠・内側サムターン、 アンダーカットH=30、附属金物一式		DH、ハンガー機構（ストッパー無し）、戸当、 外側シリンダー錠・内側サムターン、附属金物一式		DH、ハンガー機構（ストッパー有り）、戸当、 外側シリンダー錠・内側サムターン、附属金物一式	
備　考																

【建具記号凡例】

材種 AW / 建具形式 00 / 番号

防	防火設備（法2条九号の二ロ）	常	特定防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）	AT	防音仕様（建具特記仕様参照）
常	防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）	随	特定防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）	SAT	遮音仕様（建具特記仕様参照）
随	防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）			[自]	自動ドア

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

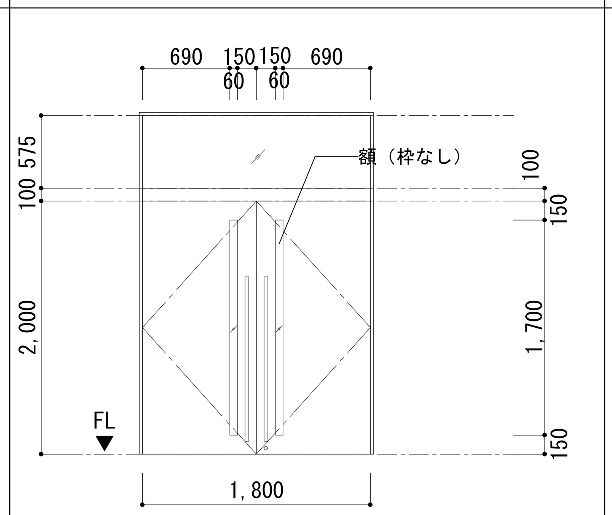
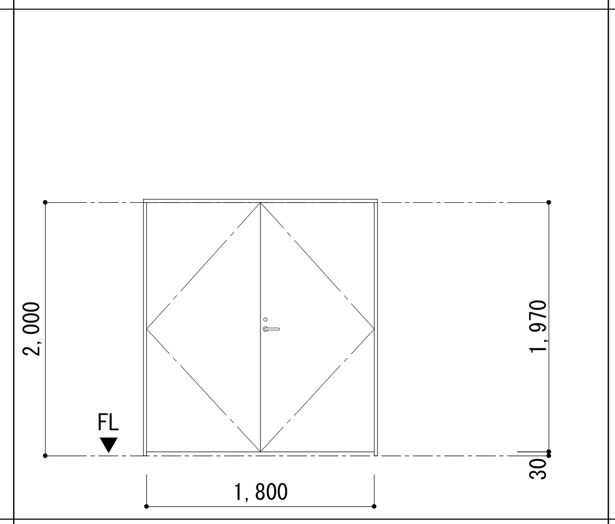
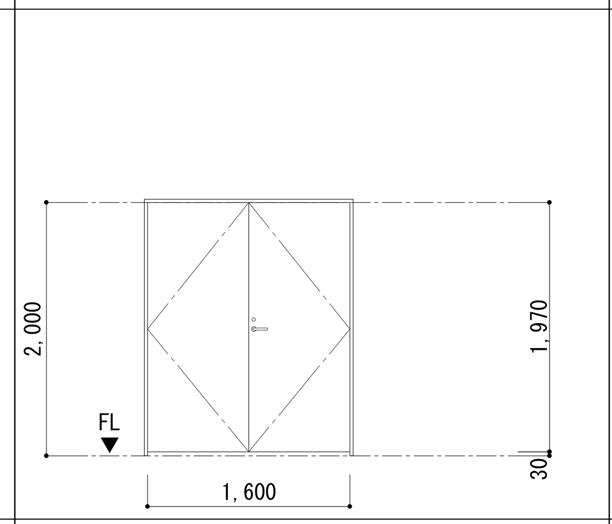
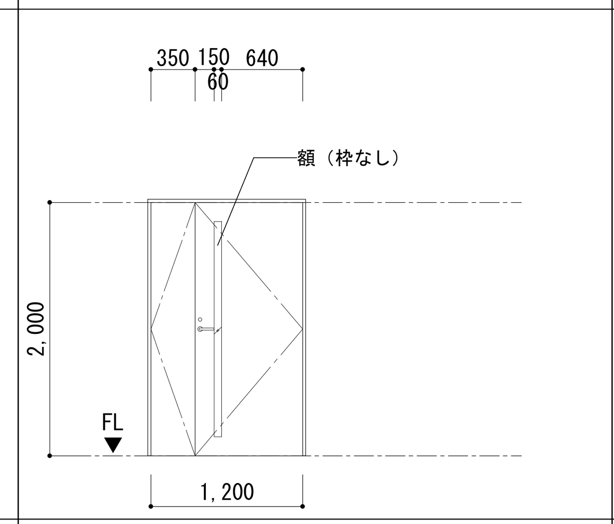
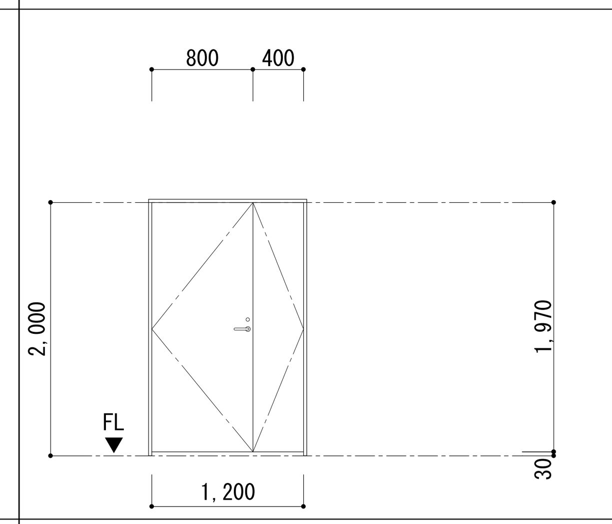
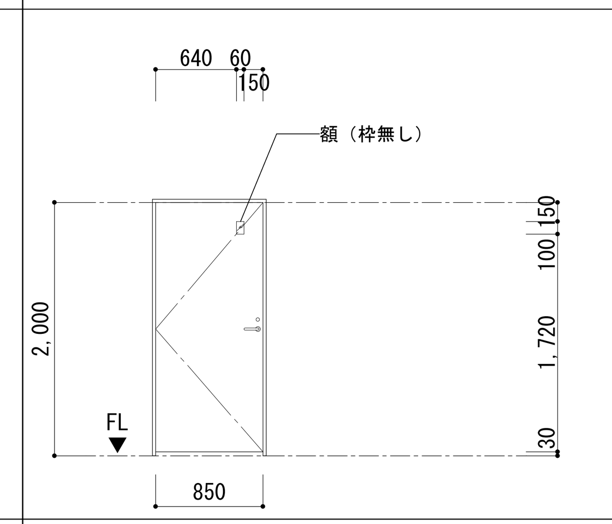
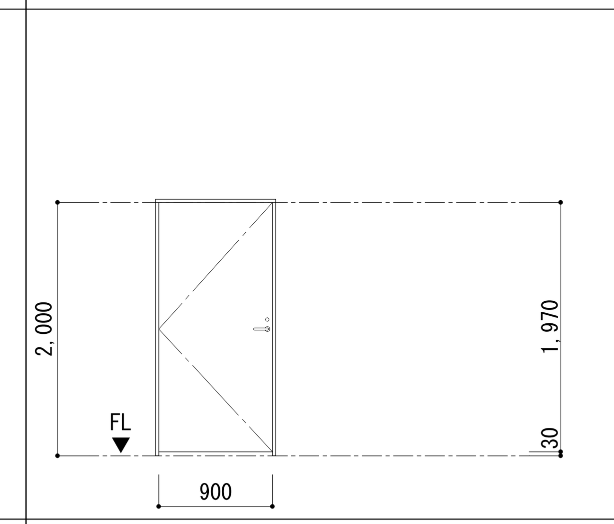
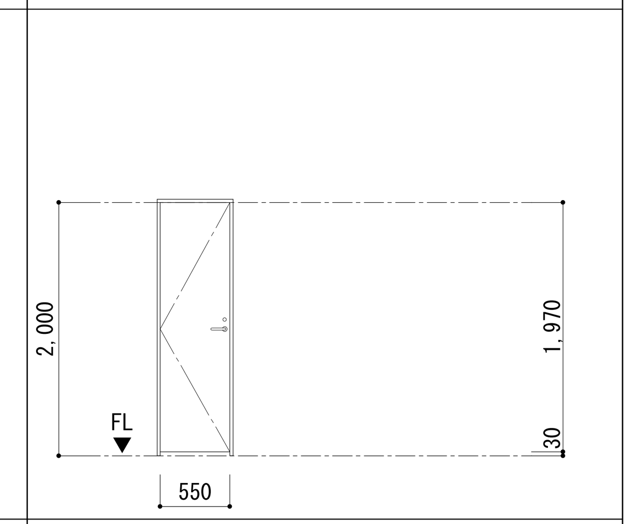
工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

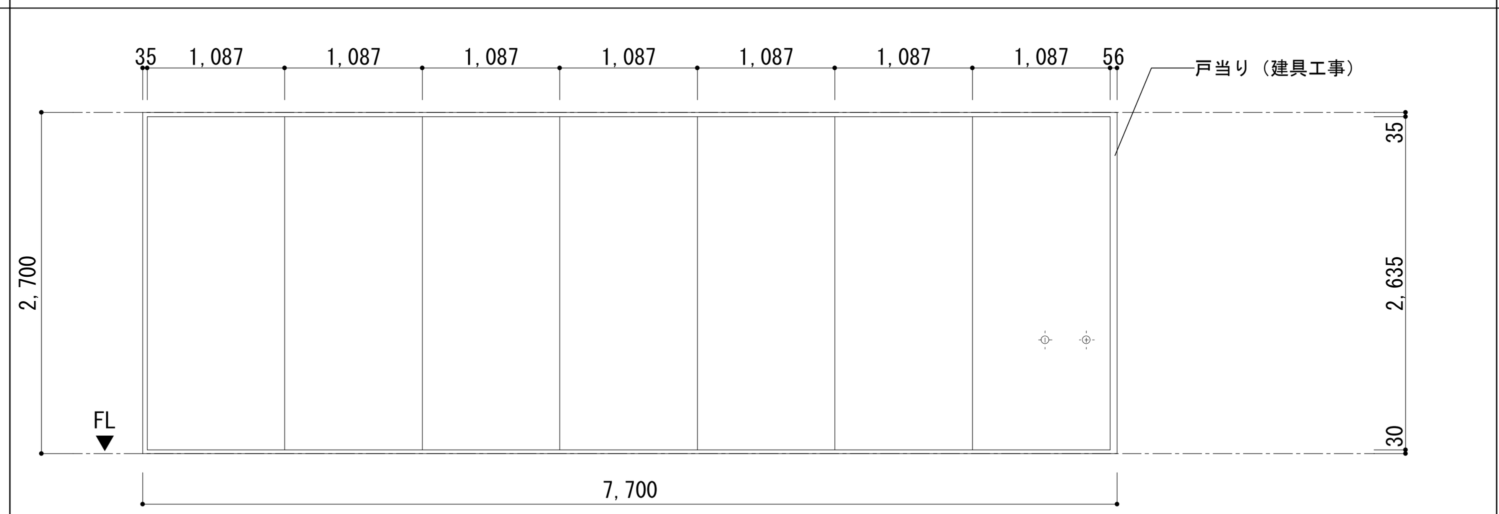
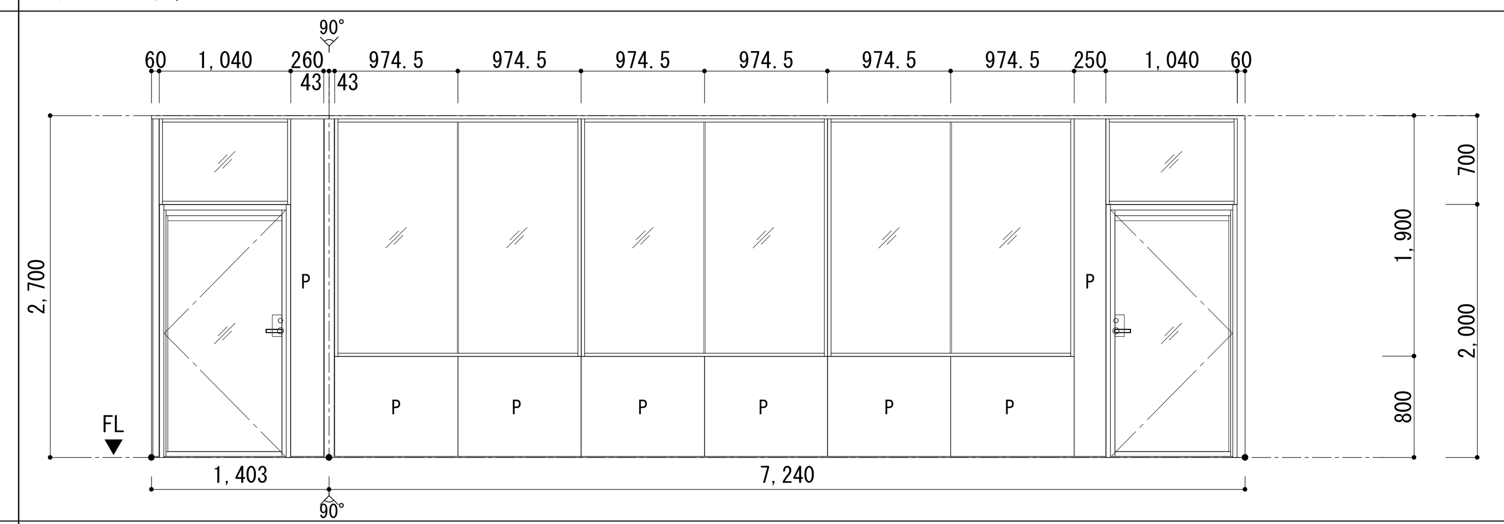
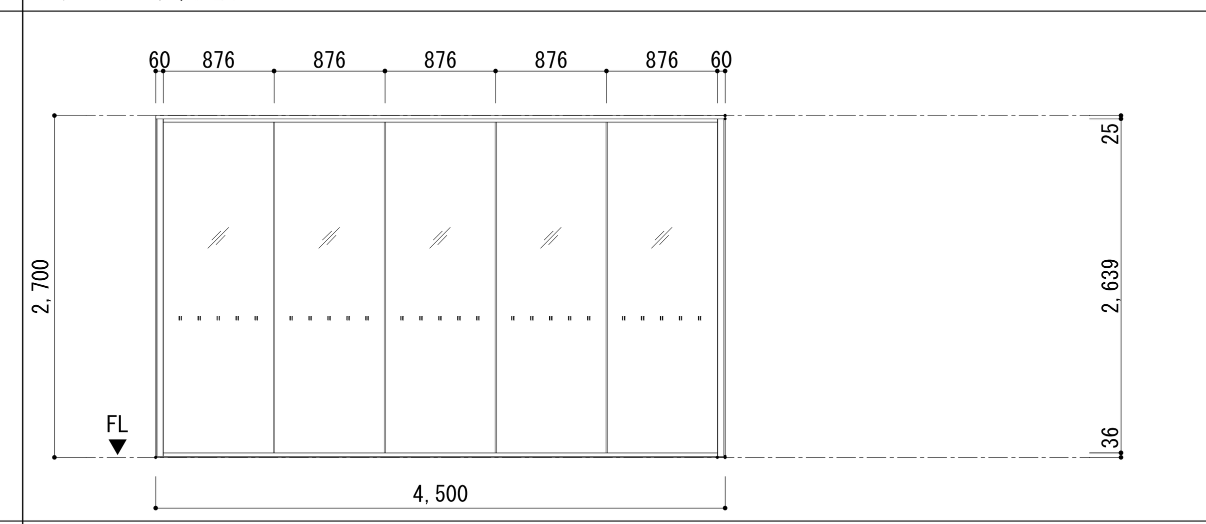
図名：建具表３(SD,FSD,StW,SW,LSD)

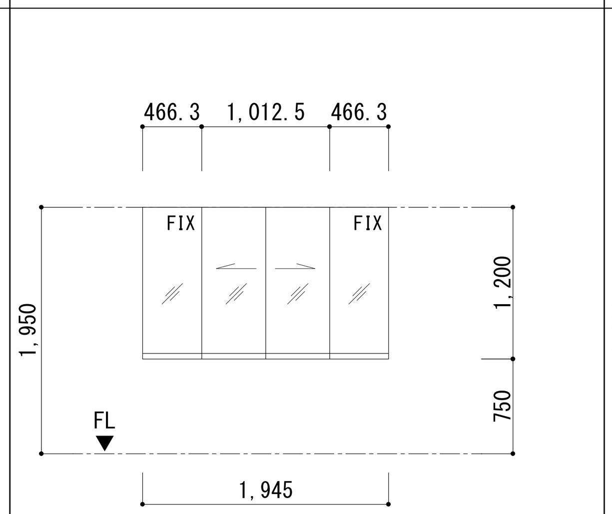
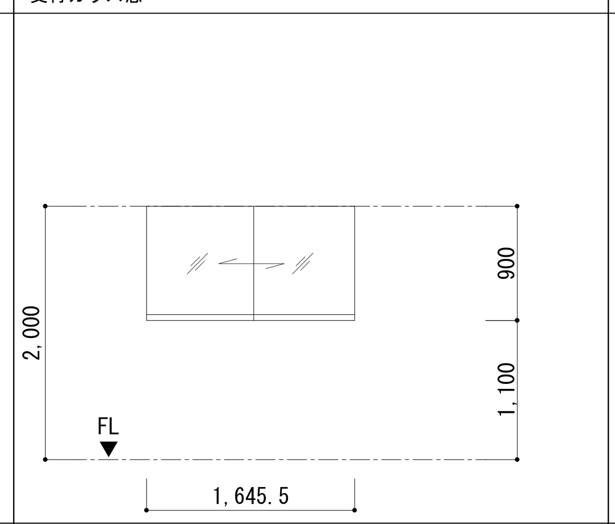
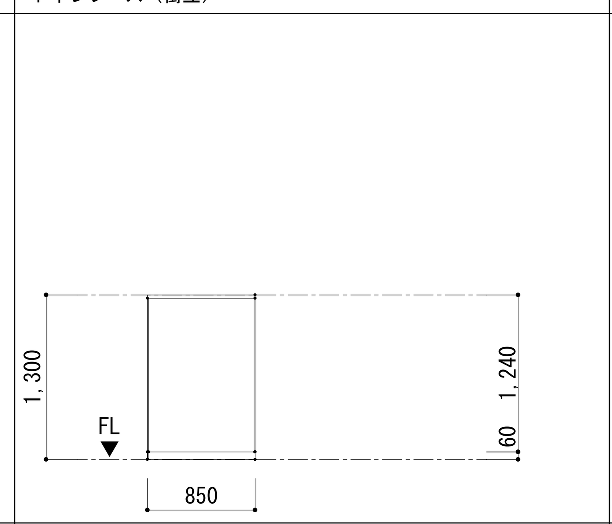
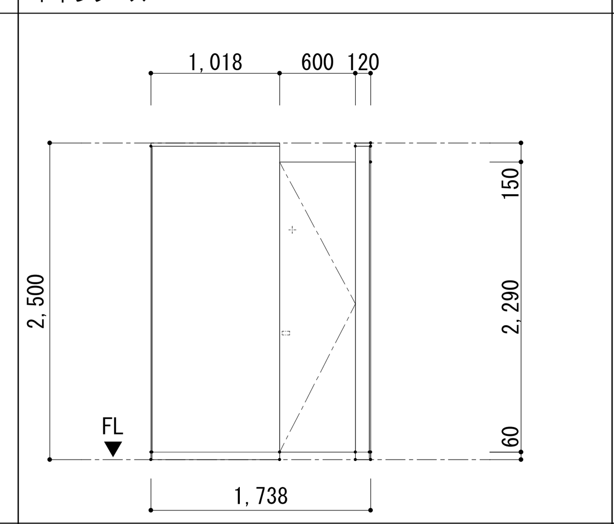
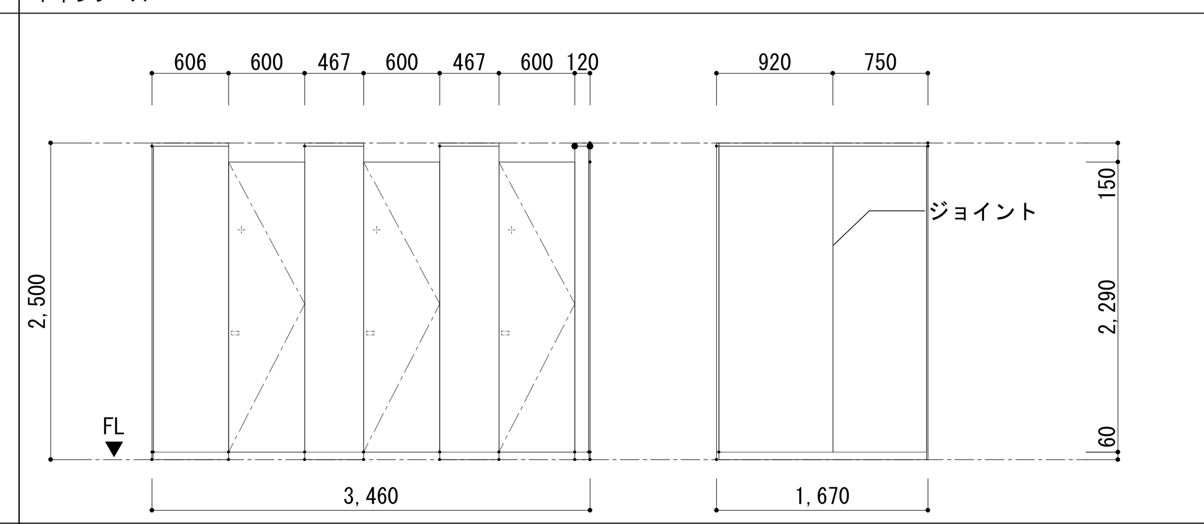
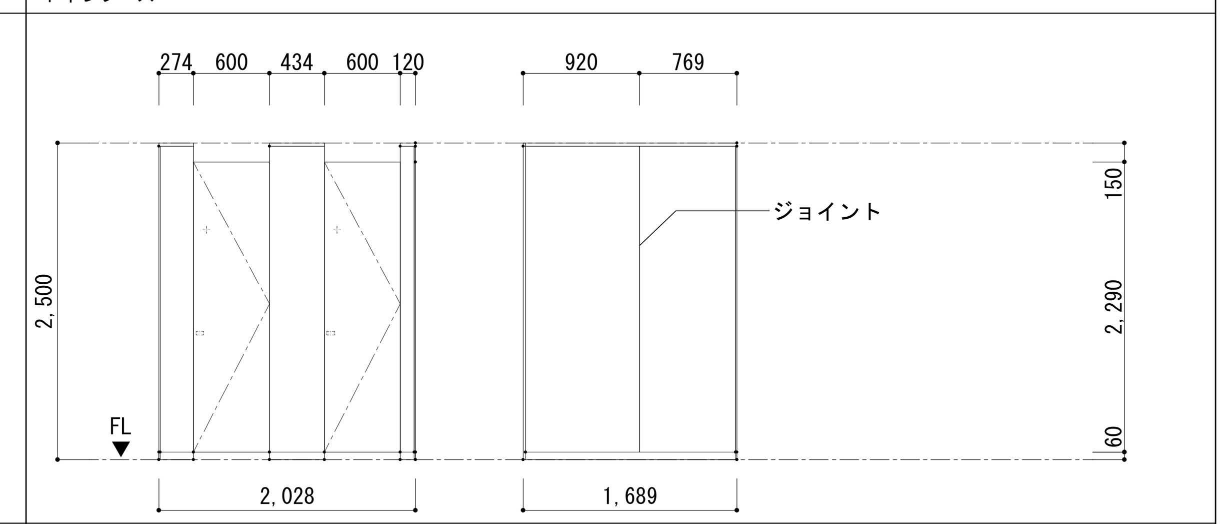
S= 1/50(A1) 1/100(A3)

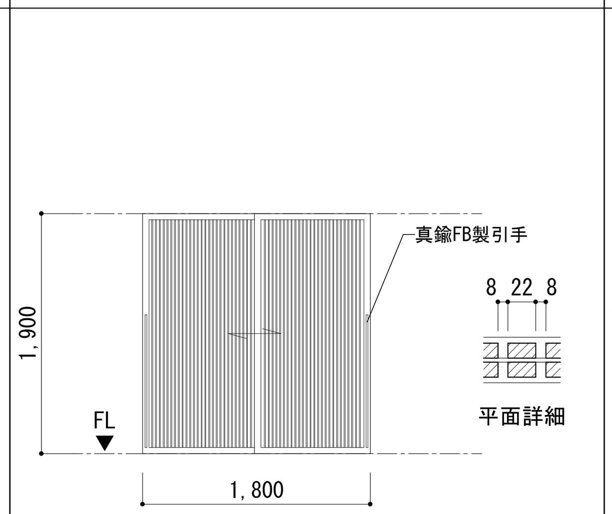
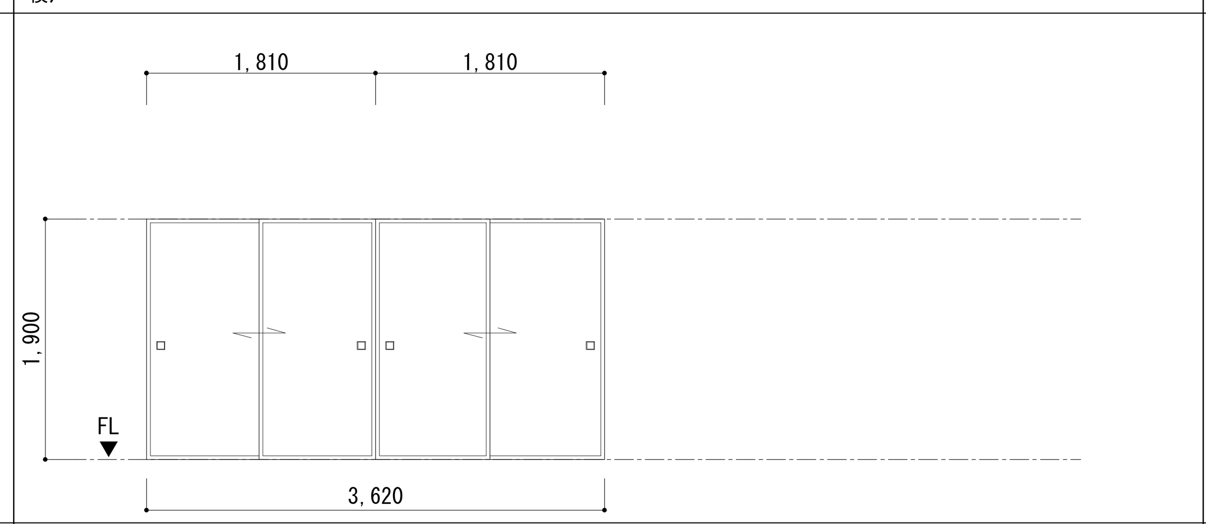
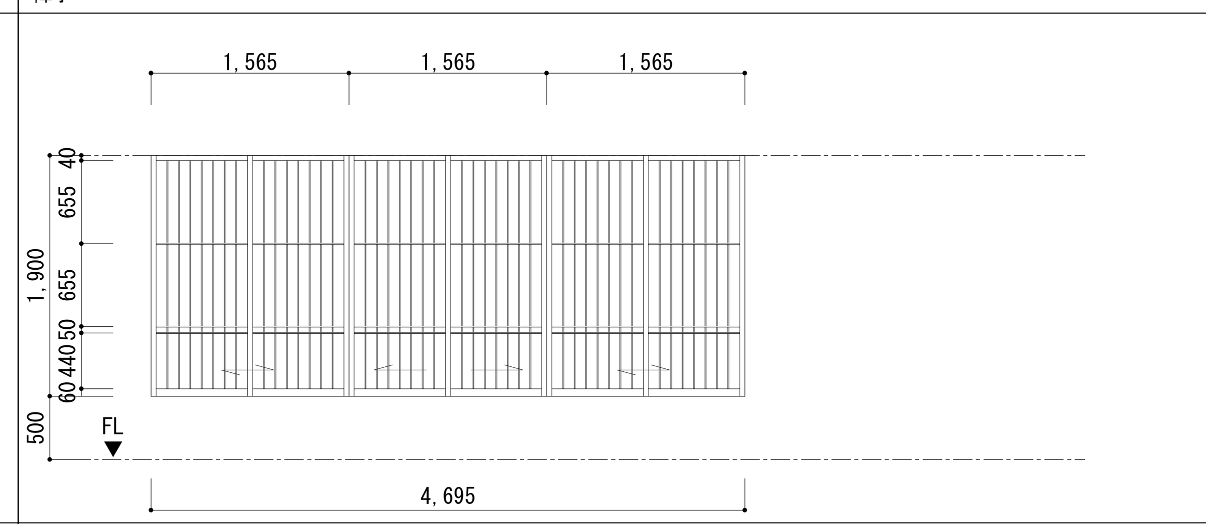
DATE 2025.09

No. A-048

記号・数量	LSD 6A　2	LSD 6B　1	LSD 7　4	LSD 8 (AT)　1	LSD 9　3	LSD 10　【内部】 1	LSD 11　【内部】 1	LSD 12　【内部】 3
種別・方式	軽量鋼製　ランマ付両開きドア	軽量鋼製　両開きドア	軽量鋼製　両開きドア	軽量鋼製　親子開き防音ドア	軽量鋼製　親子開きドア	軽量鋼製　片開きドア	軽量鋼製　片開きドア	軽量鋼製　片開きドア
形状・寸法								
使用場所	3階：集会室	3階：集会室倉庫	2階：倉庫１・倉庫２	2階：防音室	1階：倉庫１、2階：防災備蓄倉庫、3階：集会室倉庫	1階：授乳室	1階：事務室	1～3階：SK
仕上・扉見込	枠・戸：焼付塗装（指定色）　扉:40　枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）　扉:40　枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）　扉:40　枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）　扉:60　枠:316	枠・戸：焼付塗装（指定色）　扉:40　枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）　扉:40　枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）　扉:40　枠:130	枠・戸：焼付塗装（指定色）　扉:40　枠:130
硝　子	F4	—	—	F4	—	F4（半透明フィルム張り）	—	—
金　物	ドアハンドル、ドアチェック（ストッパー有り）、ピボットヒンジ、外側シリンダー錠・内側サムターン、沓摺F、附属金物一式	レバーハンドル、ドアチェック（ストッパー有り）、ピボットヒンジ、外側シリンダー錠・内側サムターン、沓摺F、アンダーカットH=30、附属金物一式	レバーハンドル、ドアチェック（ストッパー有り）、ピボットヒンジ、外側シリンダー錠・内側サムターン、沓摺F、アンダーカットH=30、附属金物一式	レバーハンドル、ドアチェック（ストッパー有り）、フランス落し、ピボットヒンジ、外側シリンダー錠・内側サムターン、沓摺A、防音仕様(AT)、附属金物一式	レバーハンドル、ドアチェック（ストッパー有り）、フランス落し、ピボットヒンジ、外側シリンダー錠・内側サムターン、沓摺F、アンダーカットH=30、附属金物一式	レバーハンドル、ドアチェック（ストッパー有り）、ピボットヒンジ、外側シリンダー錠・内側サムターン、沓摺F、アンダーカットH=30、附属金物一式	レバーハンドル、ドアチェック（ストッパー有り）、ピボットヒンジ、外側シリンダー錠・内側サムターン、沓摺F、アンダーカットH=30、附属金物一式	レバーハンドル、ドアチェック（ストッパー有り）、ピボットヒンジ、外側シリンダー錠・内側サムターン、沓摺F、アンダーカットH=30、附属金物一式
備　考	ドアハンドルはユニオン G1271-26-116-L1300同等品							

記号・数量	SLW 1　【内部】 1	SP 1　【内部】 1	SP 2　【内部】 1
種別・方式	スライディングウォール	スチールパーティション	スチールパーティション
形状・寸法			
使用場所	2階：会議室１～会議室２間	1階：読書・自習ｽﾍﾟｰｽ	3階：集会室
仕上・扉見込	亜鉛めっき鋼板t0.5mm（焼付塗装）、下張り:石膏ボードt 12.5mm(不燃)、充填材:グラスウール24kgm3　69	枠：冷間圧延鋼板（指定色焼付塗装仕上）、各種骨材：冷間圧延鋼板（指定色焼付塗装仕上）・アルミ押出形材（指定色焼付塗装仕上）、パネル：亜鉛めっき鋼板t=0.5（指定色焼付塗装仕上、芯材：石膏ボードt12.5、グラスウール32kgm3 t=25充填）　70	枠：冷間圧延鋼板（指定色焼付塗装仕上）、各種骨材：冷間圧延鋼板（指定色焼付塗装仕上）・アルミ押出形材（指定色焼付塗装仕上）　70
硝　子	—	扉・ランマ部：TP5、その他：TP10（目隠しフィルム張）	TP10（飛散防止フィルム貼）
金　物	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)、コーナー部 直角レール、走行輪、吊ボルト、フラットレバーハンドル(可倒式)、表面操作口(引き手付、上下圧着/サイド圧着)、取付鉄骨下地（吊り材・通し材・受けネコ・振れ止め）、附属金物一式	ドア枠気密材、ドアフレーム、目板、ドアボトム、ピボットヒンジ、ドアクローザー、レバーハンドル、外側シリンダー錠・内側サムターン、戸当り、附属金物一式	附属金物一式
備　考	A)後施エアンカーM10@910（収納部300）、天井内遮音壁：GB-Rt=12.5（両面、グラスウール24kgm3充填）		A)衝突防止サイン

記号・数量	GLW 1　【内部】 1	GLW 2　【内部】 1	TB 1　【内部】 3	TB 2　【内部】 3	TB 3　【内部】 1	TB 4　【内部】 2
種別・方式	受付ガラス窓	受付ガラス窓	トイレブース（衝立）	トイレブース	トイレブース	トイレブース
形状・寸法						
使用場所	1階：事務室	1階：事務室	1～3階：MWC	1～3階：MWC	1階：WWC	2～3階：WWC
仕上・扉見込	ハカマ SUS SOP塗装　30	ハカマ SUS SOP塗装　30	メラミン化粧合板（芯材：パーティクルボード）　40	メラミン化粧合板（芯材：パーティクルボード）　40	メラミン化粧合板（芯材：パーティクルボード）　40	メラミン化粧合板（芯材：パーティクルボード）　40
硝　子	TP6	TP6	—	—	—	—
金　物	SUSレール、枠彫込み、プッシュ錠、附属金物一式	SUSレール、枠彫込み、プッシュ錠、附属金物一式	SUS巾木、アルミ笠木(焼付塗装)、附属金物一式	SUS巾木、アルミ笠木(焼付塗装)、グラビティヒンジ、戸当り、笠木レス戸当り、表示付スライドボルト 手摺・紙巻器取付用下地、附属金物一式	SUS巾木、アルミ笠木(焼付塗装)、グラビティヒンジ、戸当り、笠木レス戸当り、表示付スライドボルト 手摺・紙巻器取付用下地、附属金物一式	SUS巾木、アルミ笠木(焼付塗装)、グラビティヒンジ、戸当り、笠木レス戸当り、表示付スライドボルト 手摺・紙巻器取付用下地、附属金物一式
備　考						

記号・数量	WD 1　【内部】 1	F 1　【内部】 1	S 1　【内部】 1
種別・方式	木製　アクリル板入両面格子引違戸	襖戸	障子
形状・寸法			
使用場所	2階：和室	2階：和室	2階：和室
仕上・扉見込	扉・枠共：スプルス 和紙調アクリル樹脂板　36	扉・枠共：スプルス 襖紙:新鳥の子　21	扉・枠共：スプルス 障子紙:和紙調プラスチック製　30
硝　子	—	—	—
金　物	引違錠、真鍮FB製引手、真鍮製フラッターレール、フラッター戸車、附属金物一式	木彫込引手、附属金物一式	附属金物一式
備　考			

【建具記号凡例】

材種 AW 建具形式 / 00 番号

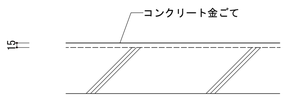
(防) 防火設備（法2条九号の二ロ）	常 特定防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）	(SAT) 遮音仕様（建具特記仕様参照）
(常) 防火設備（常時閉鎖式、遮煙性能あり）	随 特定防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）	[自] 自動ドア
(随) 防火設備（煙感知器連動随時閉鎖式、遮煙性能あり）	(AT) 防音仕様（建具特記仕様参照）	

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成
埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787
東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

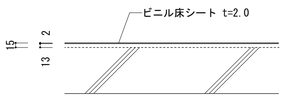
APPR	CHKD	DRAWN

工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
S= 1/50(A1) 1/100(A3)
DATE 2025.09
図 名 建具表４(LSD,SLW,SP,GLW,TB,WD,F,S)
No. A-049

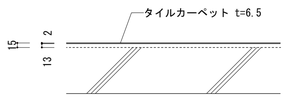
F-1A コンクリート金ごて
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



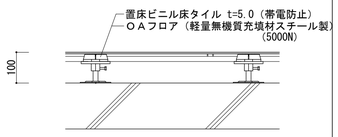
F-2A ビニル床シート t=2.0
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



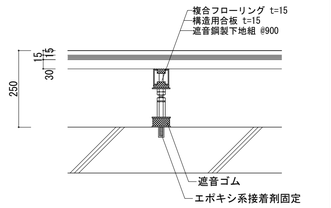
F-2B タイルカーペット t=6.5
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



F-3A ＯＡフロア
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

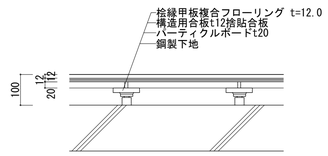


F-3B 遮音鋼製束+複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t=15
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

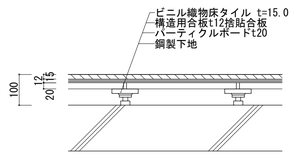


※染野製作所　900-L型同等品

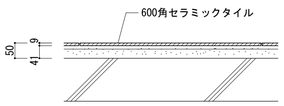
F-3C 鋼製下地+縁甲板
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



F-3D 鋼製下地+ﾋﾞﾆﾙ織物床ﾀｲﾙ
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

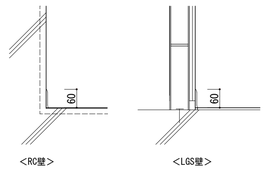


F-5 600角セラミックタイル
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

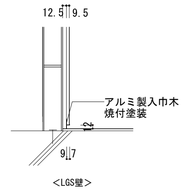


S=1:10(A1) S=1:20(A3)

H-1 ビニル巾木
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

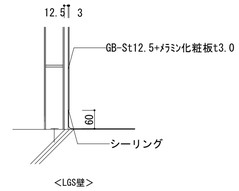


H-2 アルミ製入巾木
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

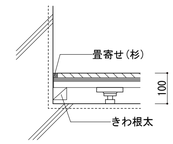


※創建 アルミAT-9同等品

H-3 ビニル床シート巻上げ
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

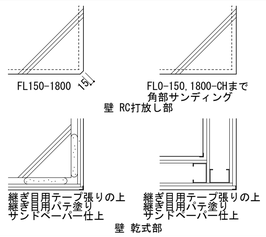


H-4 畳寄せ
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

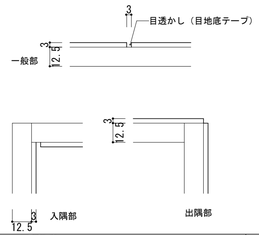


S=1:10(A1) S=1:20(A3)

W共通 壁コーナー部 詳細
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

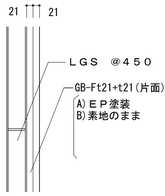


W共通 メラミン化粧板 詳細
S=1:2(A1) S=1:4(A3)

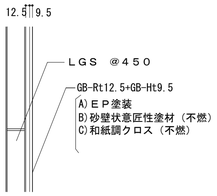


W-1 耐火壁：LGS+GB-F(t21+t21)(片面)
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

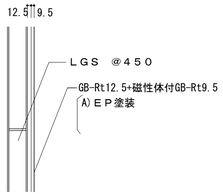
※1時間耐火 FP060NP-0233



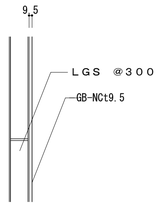
W-2 一般壁：LGS+GB-Rt12.5+GB-Ht9.5
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



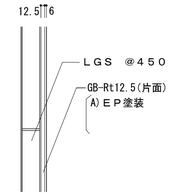
W-3 一般壁：LGS+GB-Rt12.5+磁性体付t9.5
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



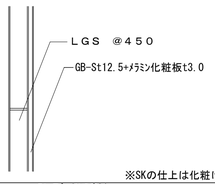
W-4 一般壁：LGS+GB-NCt9.5
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



W-5 倉庫壁：LGS+GB-Rt12.5+ｹｲｶﾙ板t6.0
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

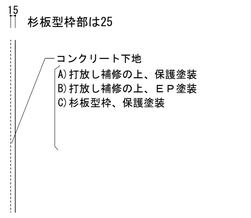


W-6 水廻り壁：LGS+GB-St12.5+ﾒﾗﾐﾝ化粧板t3.0
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

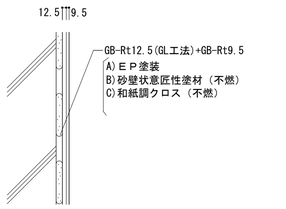


※SKの仕上は化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0

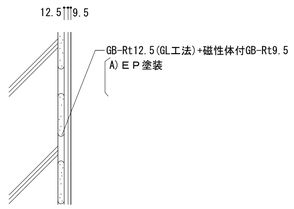
W-7 RC壁：コンクリート下地
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



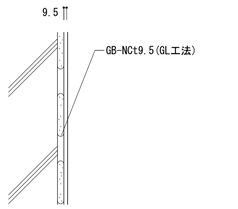
W-8 GL壁：GL工法+GB-Rt12.5+GB-Ht9.5
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



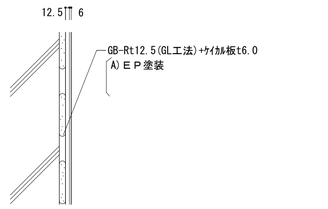
W-9 GL壁：GL工法+GB-Rt12.5+磁性体付t9.5
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



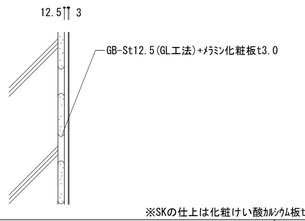
W-10 GL壁：GL工法+GB-NCt9.5
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



W-11 倉庫壁：GL工法+GB-Rt12.5+ｹｲｶﾙ板t6.0
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

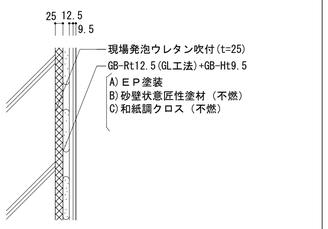


W-12 水廻り壁：GL工法+GB-St12.5+ﾒﾗﾐﾝ化粧板t3.0
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

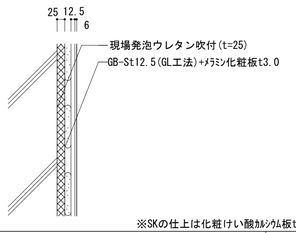


※SKの仕上は化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0

W-13 GL壁(断熱)：GL工法+GB-Rt12.5+GB-Ht9.5
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

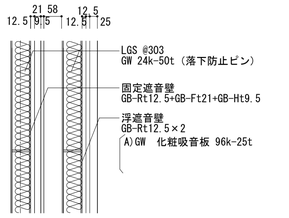


W-14 水回りGL壁(断熱)：GL工法 GB-St12.5+ﾒﾗﾐﾝ化粧板t3.0
S=1:10(A1) S=1:20(A3)

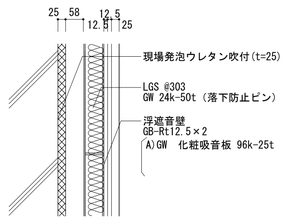


※SKの仕上は化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0

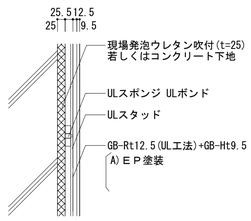
W-15 防音壁：固定遮音壁+浮遮音壁
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



W-16 防音壁：浮遮音壁
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



W-17 UL壁(断熱)：UL工法+GB-Rt12.5+GB-Ht9.5
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



【凡例】

	B）備品（別途）を示す	F）床仕様を示す
	E）電気設備工事を示す	H）巾木仕様を示す
	M）機械設備工事を示す	W）壁仕様を示す
	注）特記なき限り建築工事を示す	C）天井仕様を示す

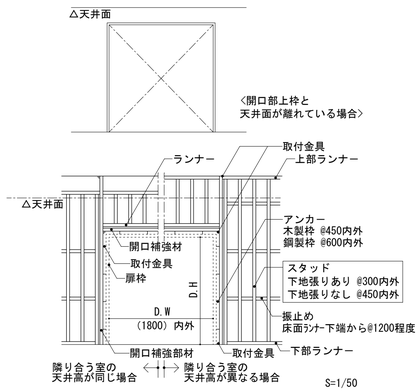
一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

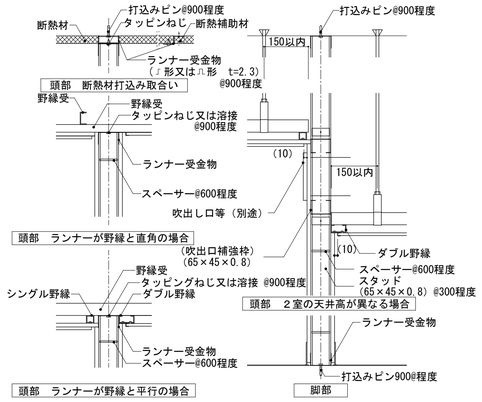
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区浅二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名	（仮称）厩市立西公民館等複合施設建設工事
S=	図示
DATE	2025.09
図名	部分詳細図 1
No.	A-050

内壁 軽量鉄骨下地（共通事項）詳細　S=1/10,1/50



S=1/50

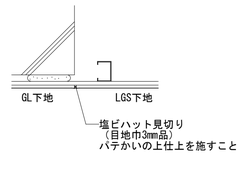


S=1/10

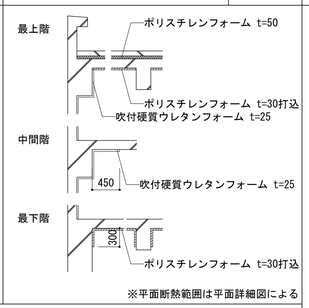
□注記事項
・ダクト類の小規模の補強は、各スタッド・ランナーとする。
・スタッド高に皇帝がある場合は、高い方に合わせる。
・スタッド・ランナー及び補強枠の切断小口及び溶接部分は、両面から防錆する。

部材など / 種類	スタッド	ランナー	振止め	出入口及びこれに準ずる開口部の補強材	補強材取付用金物	スタッドの高さによる摘要
50形	50×45×0.8	52×40×0.8	19×10×1.2	――	――	H2.7m以下
65形	65×45×0.8	67×40×0.8	25×10×1.2 @1.2m程度	C-60×30×10×2.3 C-75×45×15×2.3 2C-75×45×15×2.3	L-30×30×3 L-50×50×4	H4.0m以下 H4.0mを越え4.5m以下 H4.0mを越え5.0m以下

GL、LGS下地取合い目地　S=1:10(A1) S=1:20(A3)

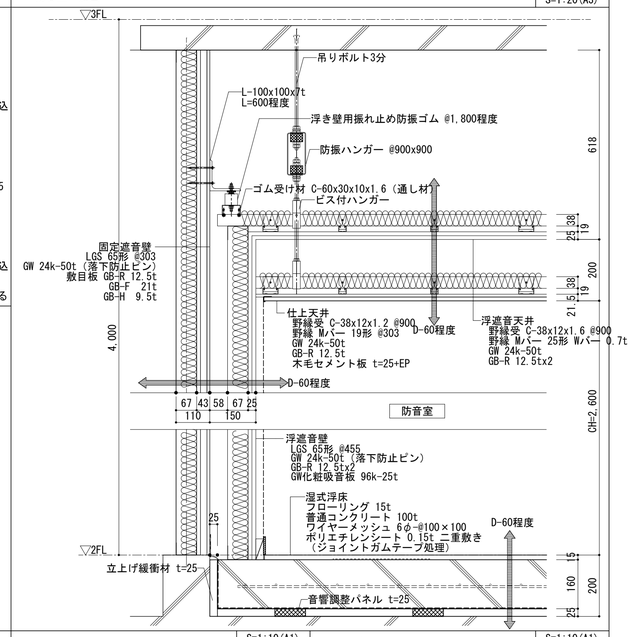


屋内断熱一般図　S=1/50



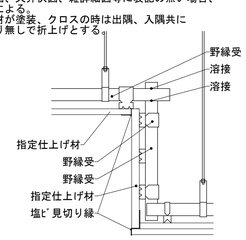
※平面断熱範囲は平面詳細図による

防音室一般図　S=1:10(A1) S=1:20(A3)

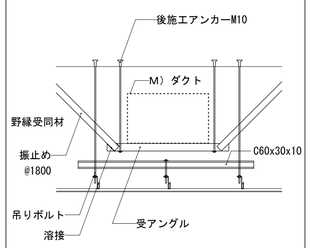


折上天井詳細図　S=1:10(A1) S=1:20(A3)

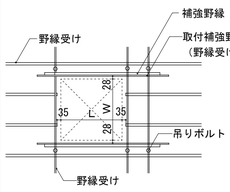
※矩計図、天井伏図、雑詳細図等に表記の無い場合、下記による。
※天井材が塗装、クロスの時は出隅、入隅共に見切り無しで折上げとする。



天井下地補強（ダクト設備類）詳細　S=1/30

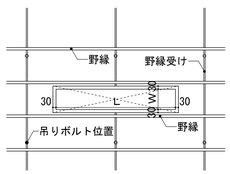


天井開口補強（点検口等）詳細　S=1/30



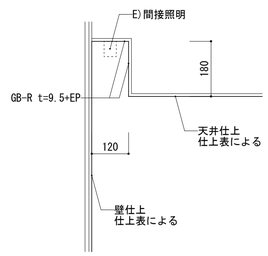
【野縁を切断する場合】

天井開口補強(照明器具等)　S=1/30

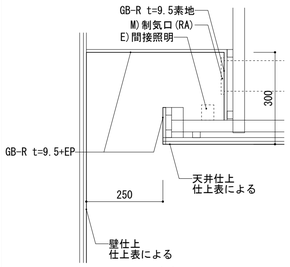


【野縁を切断しない場合】

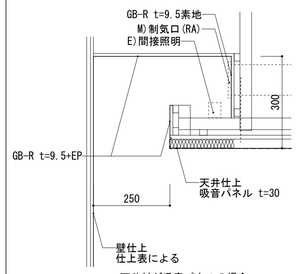
照明ボックス-1　S=1:10(A1) S=1:20(A3)



照明ボックス-2　S=1:10(A1) S=1:20(A3)

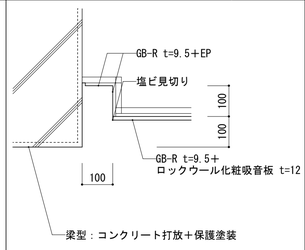


一般部

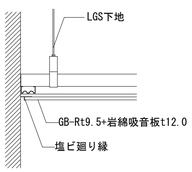


天井材が吸音パネルの場合

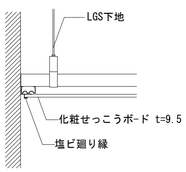
集会室天井梁型廻り詳細図　S=1:10(A1) S=1:20(A3)



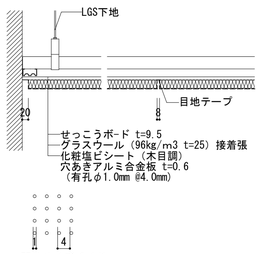
ロックウール化粧吸音板 t=9.0　S=1:10(A1) S=1:20(A3)



化粧せっこうボード t=9.5　S=1:10(A1) S=1:20(A3)



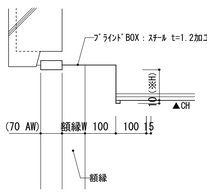
木目調吸音パネル t=30　S=1:10(A1) S=1:20(A3)



開孔サイズ S=1/1

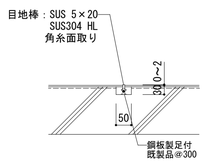
※㈱セラーズ ピンホールパネル同等品とする。

ブラインドボックス 詳細図　S=1:10(A1) S=1:20(A3)



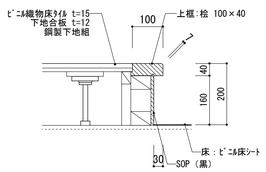
カーテンボックス詳細(L型)

SUS床見切 詳細図　S=1:10(A1) S=1:20(A3)



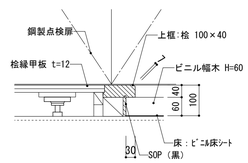
床仕上の材質が異なる場合
（上図は一例）

1階小上がり 詳細図　S=1:10(A1) S=1:20(A3)

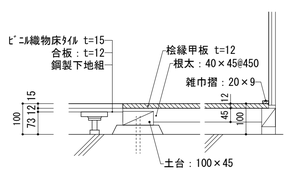


※ビニル織物床タイルはADVAN ボロン畳同等品とする。

2階踏込 上がり框 詳細図　S=1:10(A1) S=1:20(A3)



和室と床の間の納まり　S=1:10(A1) S=1:20(A3)



※特記無き限り木材の材質は「杉」とする

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

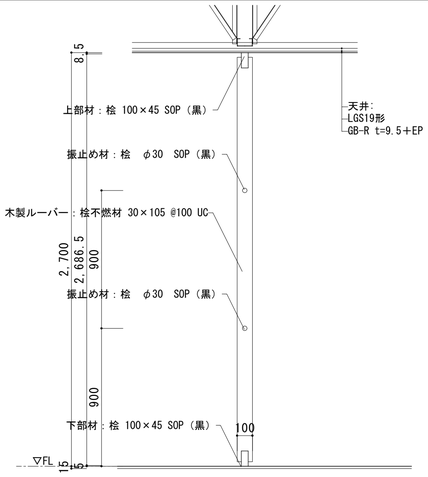
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

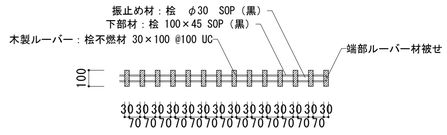
工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図名：部分詳細図２
S=：図示
DATE：2025.09
No.：A-051

木製ルーバー

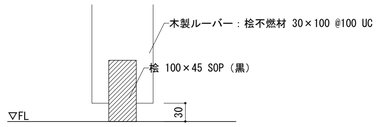
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



ルーバー断面詳細図　S=1/20



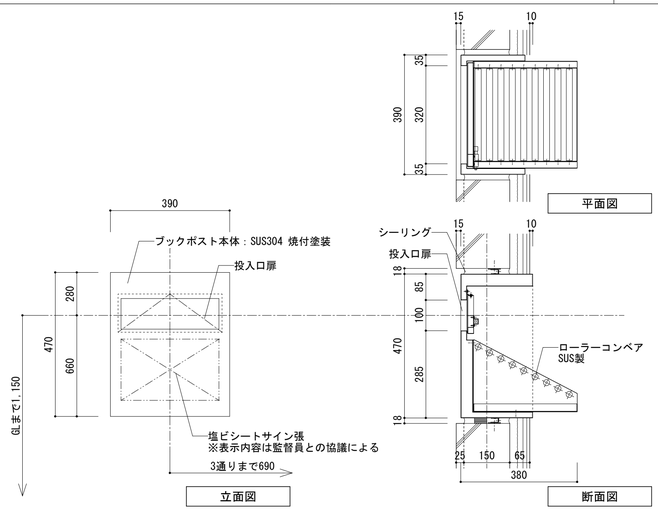
ルーバー平面詳細図　S=1/20



下部材断面詳細図　S=1/5

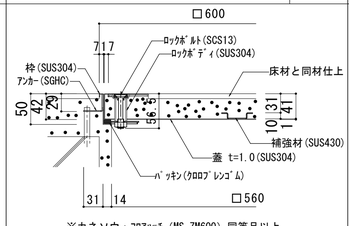
ブックポスト 詳細図

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



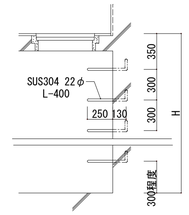
床下点検口 詳細

S=1:5(A1)
S=1:10(A3)



※カネソウ：ﾌﾛｱﾊｯﾁ（MS, ZM600）同等品以上

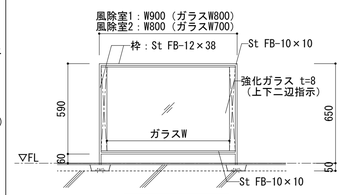
蓋詳細図　S=1/5



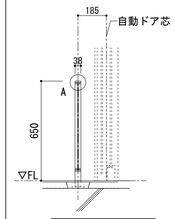
断面図　S=1/30

自動ドア防護柵 詳細図

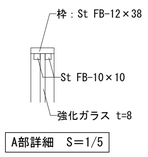
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



立面図　S=1/20



断面図　S=1/20

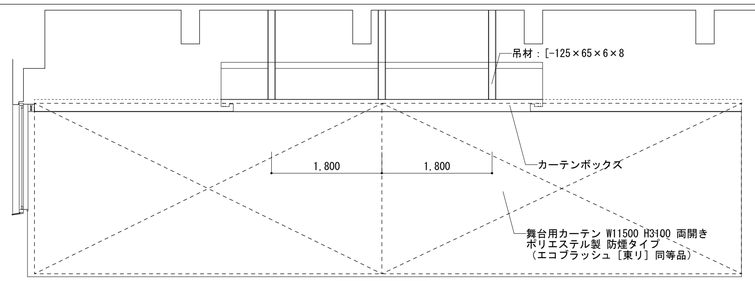


A部詳細　S=1/5

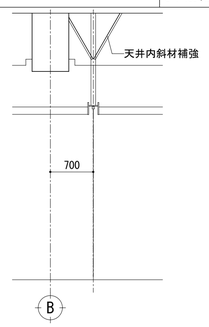
※特記なき鉄部見えがかり部はSOPとする。

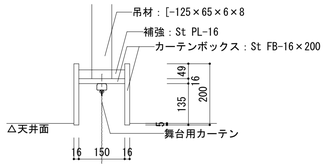
集会室舞台用カーテンボックス　詳細図

S=1:50(A1)
S=1:100(A3)



断面図　S=1/50



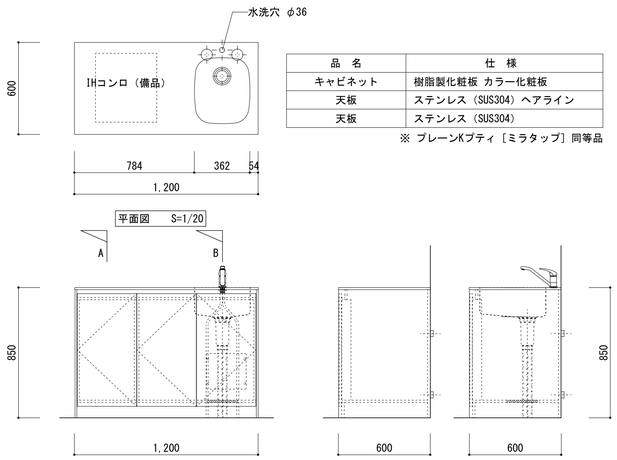


断面詳細図　S=1/50

※特記なき鉄部見えがかり部はSOPとする。

給湯室キッチン 詳細図

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)

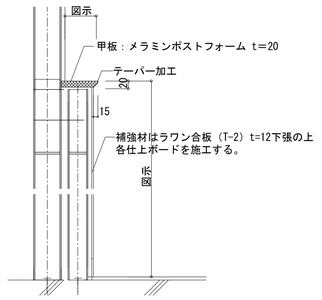


品　名	仕　様
キャビネット	樹脂製化粧板 カラー化粧板
天板	ステンレス（SUS304）ヘアライン
天板	ステンレス（SUS304）

※ ブレーンKブティ［ミラタップ］同等品

ライニング 詳細図

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



一級建築士事務所
KATO
ARCHITECT&SYSTEMS
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名：部分詳細図３

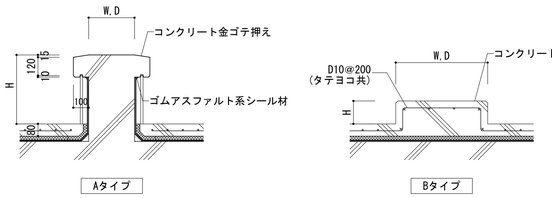
S= 図示

DATE 2025.09

No. A-052

屋上設備等基礎

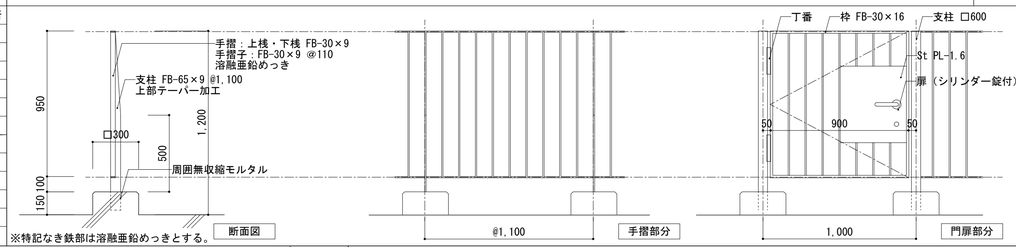
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



屋上設備等基礎リスト	符号	W × D × H	箇所
キュービクル	A	5000×340×400	2
設備目隠し壁	A	400×400×500	8
太陽光発電パネル	B	500×500×120	16
空調室外機	B	4800×1000×150	1
空調室外機	B	2800×1000×150	1
旗ポール	A	600×600×420	3
TVアンテナ	B	900×900×150	1
屋上手摺	B	300×300×150	33

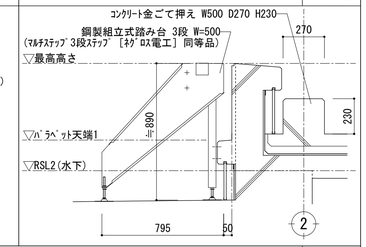
屋上手摺詳細図

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



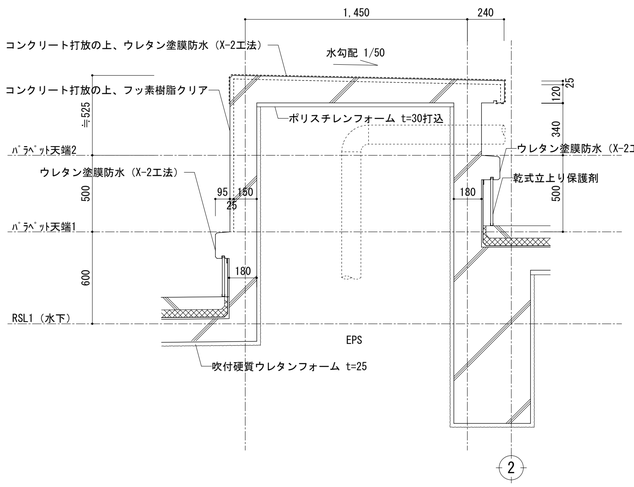
屋上メンテナンス階段詳細図

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



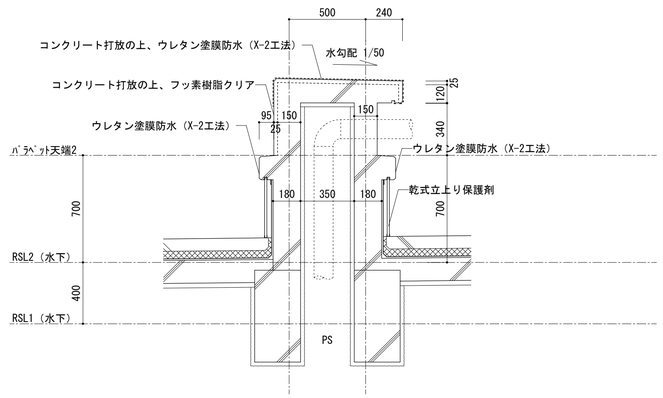
ハト小屋詳細図（EPS）

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



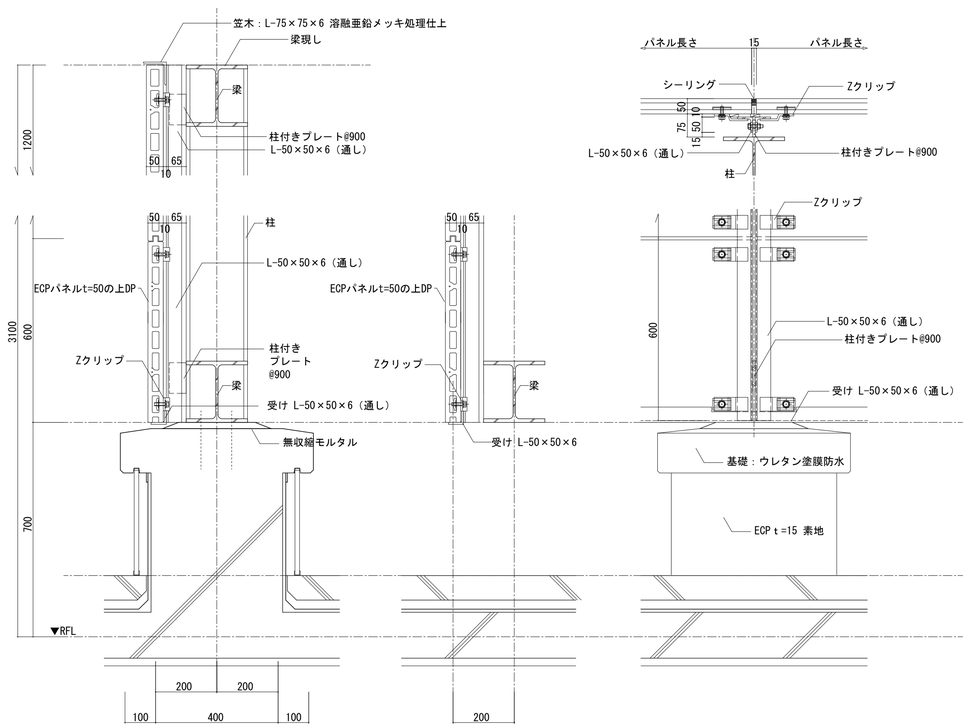
ハト小屋詳細図（PS）

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



屋上設備目隠し壁詳細図

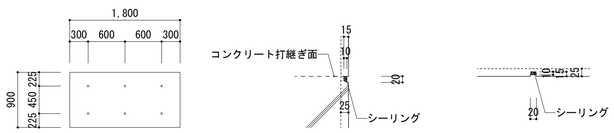
S=1:10(A1)
S=1:20(A3)



※ECPパネル柱・梁：H-200*200*8*12（溶融亜鉛メッキ仕上）

コンクリート打放し基本割付

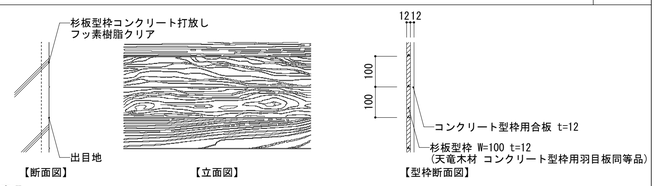
図示



【基本割付 S=1/50】　【打継部誘発目地 S=1/10】　【誘発目地 S=1/10】（二面接着の場合）

杉板型枠コンクリート打放詳細図

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

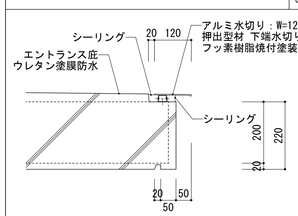


【断面図】　【立面図】　【型枠断面図】

特記事項
・杉板型枠コンクリート打設時は通常の作業員に追加で１層につき普通作業員５名を見込む事。
・モックアップを作成し意匠(杉板の仕上、出目地の状態等、クリア塗装状態)、打設方法（型枠の存置期間、養生方法等）の検証を行う。
・過度なピンホール、コールドジョイント、ジャンカ等が発生した場合は専門業者による補修を行う事。
（参考業者　セントラルコンクリート同等以上）

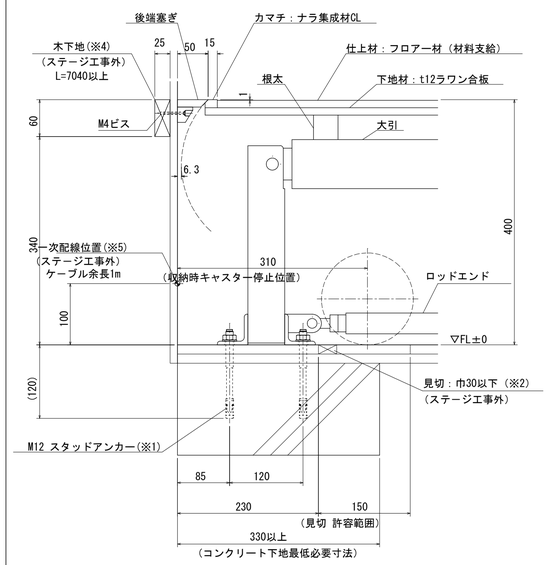
アルミ水切り金物詳細図

S=1:10(A1)
S=1:20(A3)

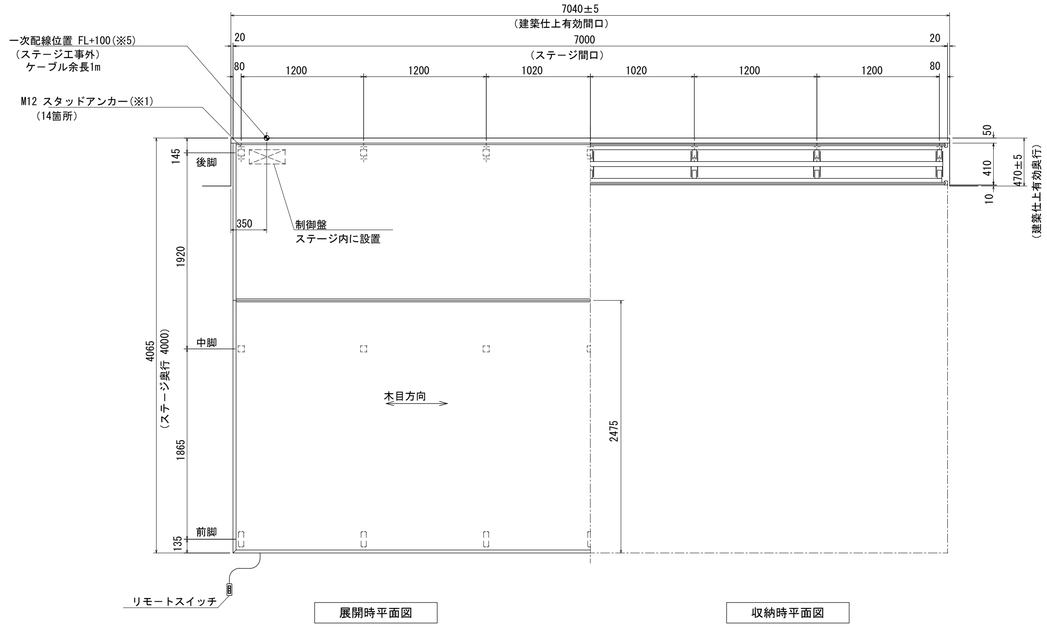


※アルミ水切りの継目部は雨水の滴下および汚れの発生を防止するため、継目処理を適切に行う事。

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS	埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 図示 DATE 2025.09
						図名 部分詳細図４	No. A-053

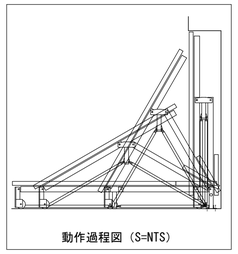


A部詳細図 (S=1:5)



展開時平面図

収納時平面図



動作過程図 (S=NTS)

集会室　電動式壁面収納折畳みステージ　仕様

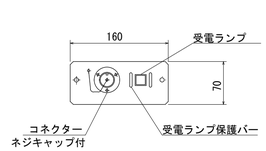
ステージサイズ	W： 7000　D：4000　H：400　(mm)
ステージ本体重量	1494 kg
最大積載荷重	360 kg/㎡
操作方法	リモートスイッチ（使用・収納・非常停止）
動作時間	60Hz 約4分、50Hz 約4.5分
設置階	3 階

本 体 主 要 構 成 部 品

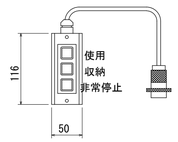
品　名	仕　様	備　考
フロアー材	フローリング	材料支給
下地材	t12ラワン合板	F☆☆☆☆
カマチ	ナラ集成材	クリアラッカー塗装
前幕板	t12ポリエステル化粧合板	ナラ木目、目地付き施工
側幕板	t12ポリエステル化粧合板	ナラ木目、取り外し式
キャスター	φ150ウレタン車輪	
開閉補助装置	偏平線コイルバネ+チェーン	
ワイヤーロープ	JIS6×19	
駆動部	ブレーキ付きギヤモートル	三相200V　0.75kw　2台
制御盤	W350×D140×H210	ステージ内に設置
本体フレーム	角鋼管 他	合成樹脂塗装（ブラック）

ステージ工事外項目(建築工事における注意点)

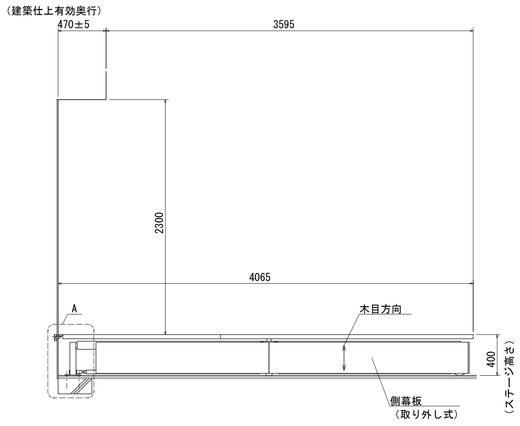
※1　建築床収納部はコンクリートとし直接アンカー固定を可能とするため
　　配筋等の干渉のないこと
　　コンクリート圧縮強度はJIS規格210kgf/cm²以上の普通コンクリートを推奨
※2　建築床使用部はキャスター走行箇所に段差や見切り等なく平坦とし
　　仕上がり面の最大高低差(傾斜の場合)は±3mm以内
　　(見切りが必要な場合は指定範囲内にて巾30mm以下までを許容)
※3　ステージ収納部三方枠は建築工事とし仕上有効寸法(コーナー材等含む)は±5mm以内
※4　後端塞ぎ用木下地t25×60程度(t12以上の構造用合板でも可)を設置すること
※5　一次側電気配線は三相 200V 3.5KVA（アース込）とすること



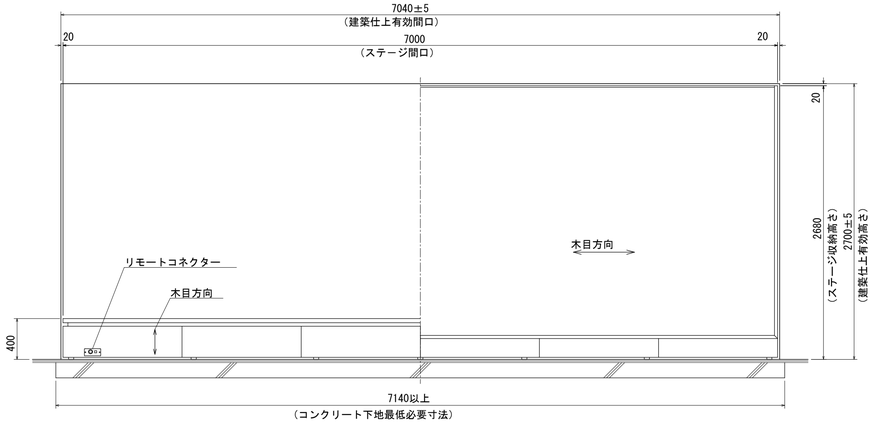
リモートコネクター詳細図
(S=1:5)



リモートスイッチ詳細図
(S=1:5)

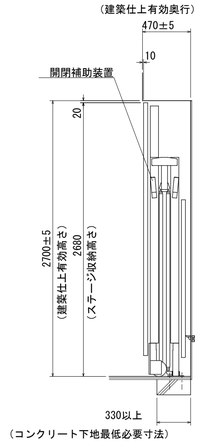


展開時側面図

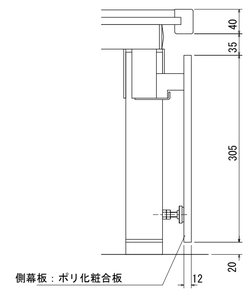


展開時正面図

収納時正面図



収納時側面図



側幕板詳細図 (S=1:5)

※ニチブ（株）電動式壁面収納折畳みステージ　ND-30同等品とする。

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTURE&DESIGN
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9787
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

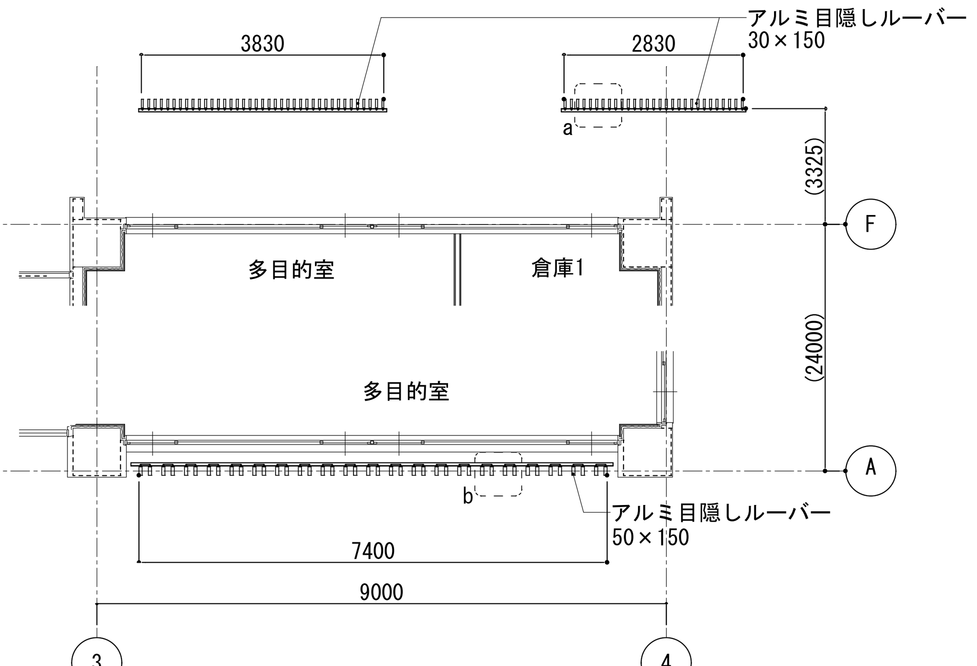
工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名：可動ステージ詳細図

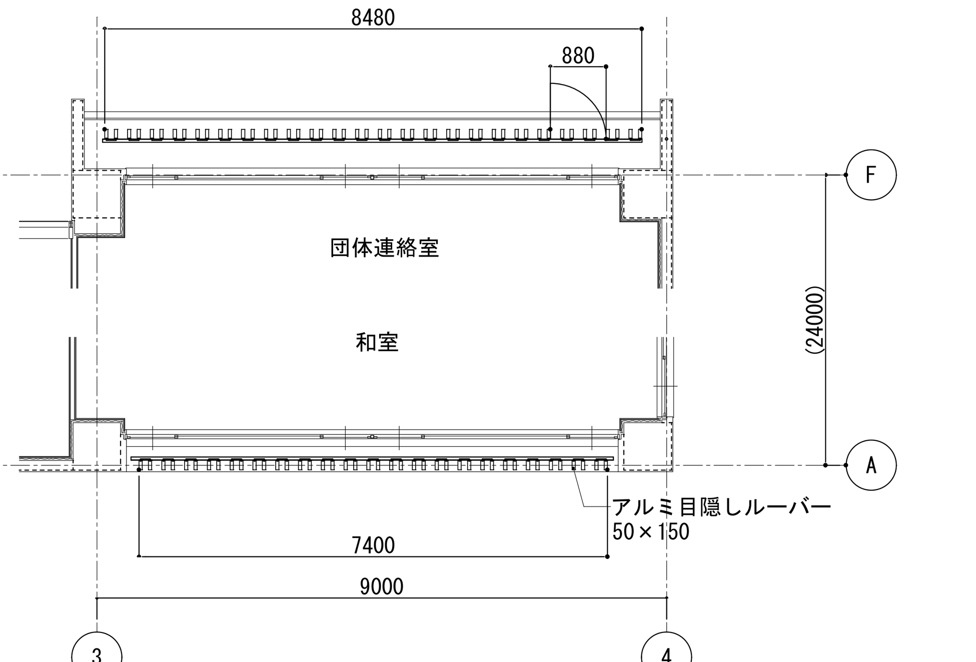
S=1/5・1/30(A1) 1/10・1/60(A3)

DATE 2025.09

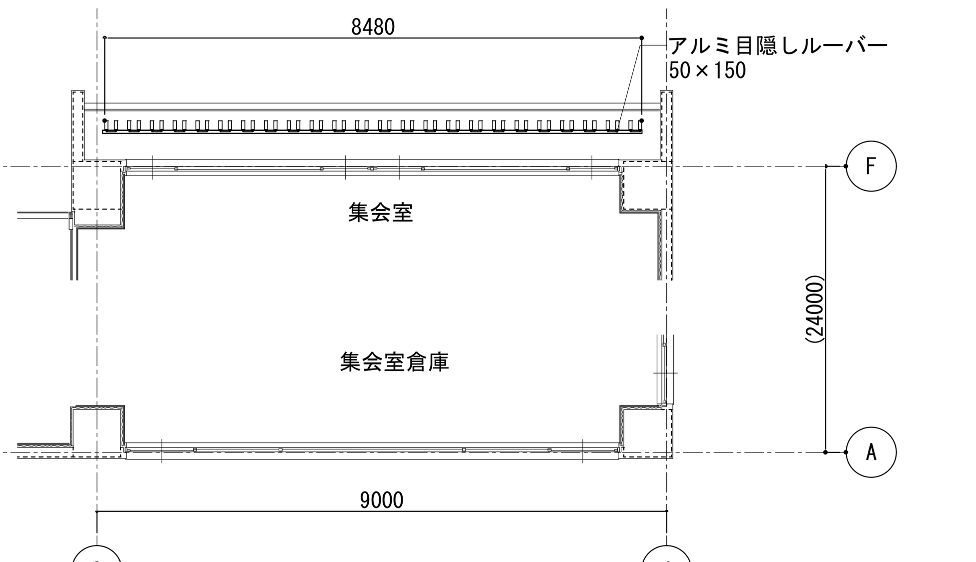
No. A-054



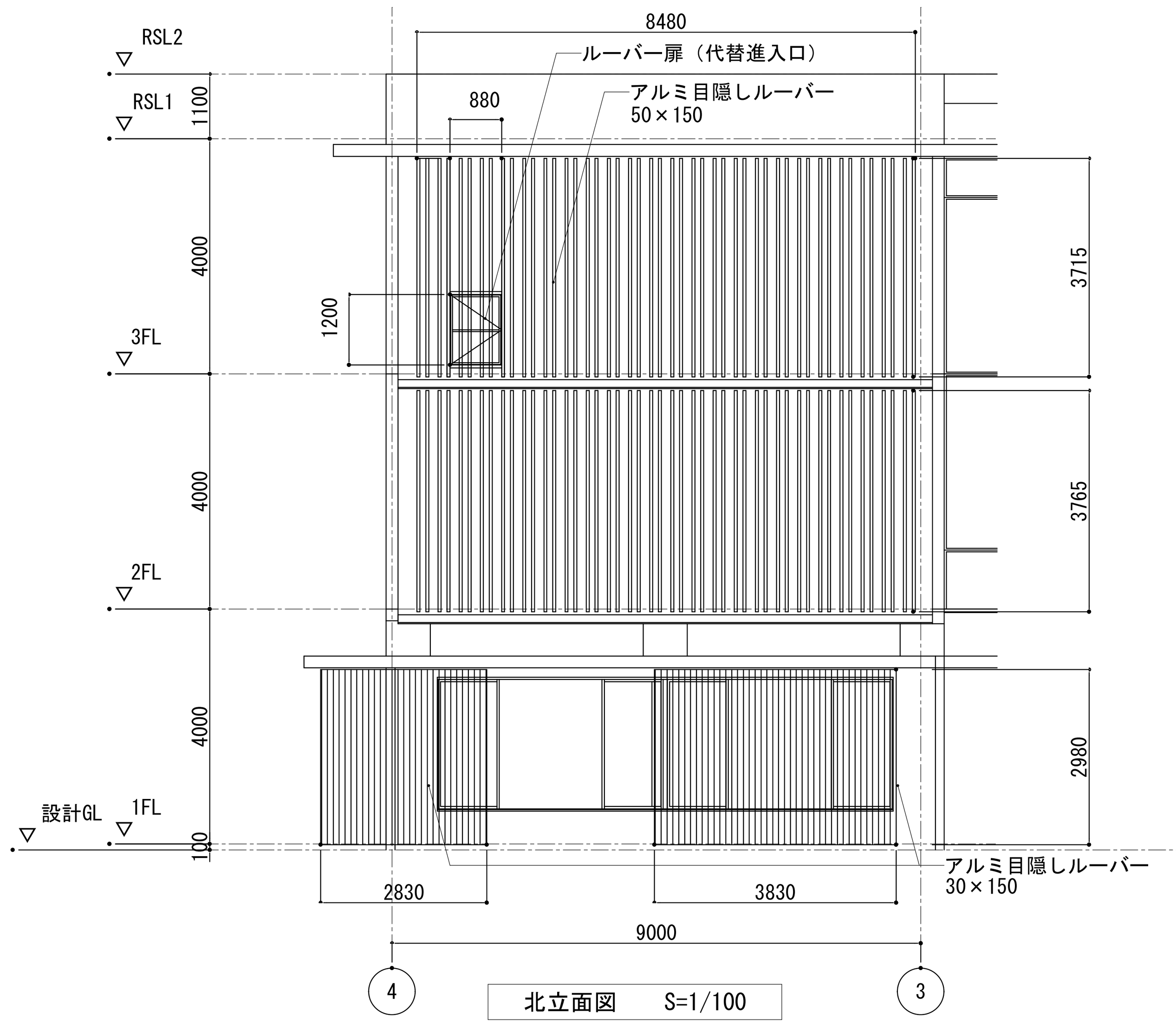
１階平面図　S=1/100



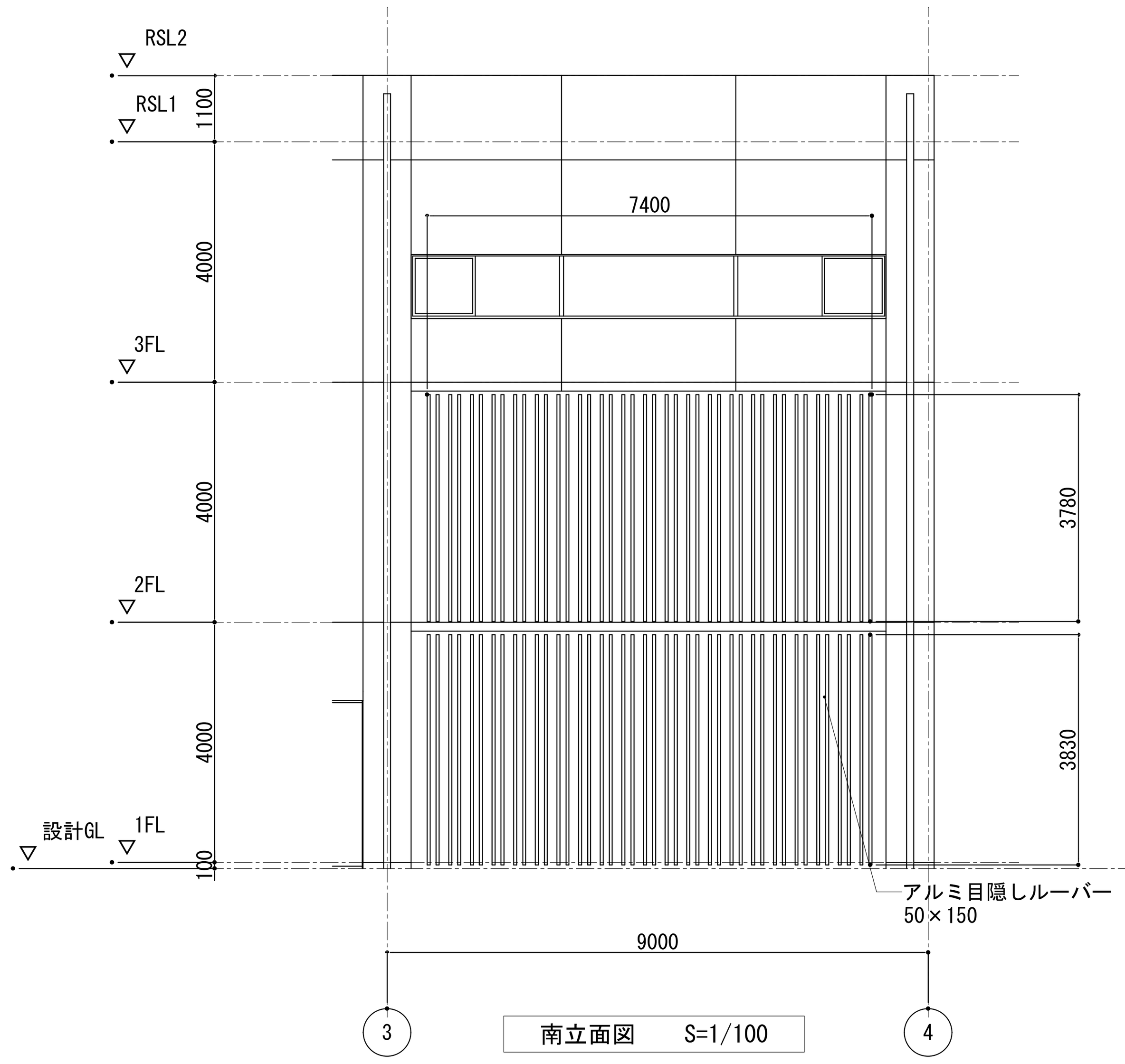
２階平面図　S=1/100



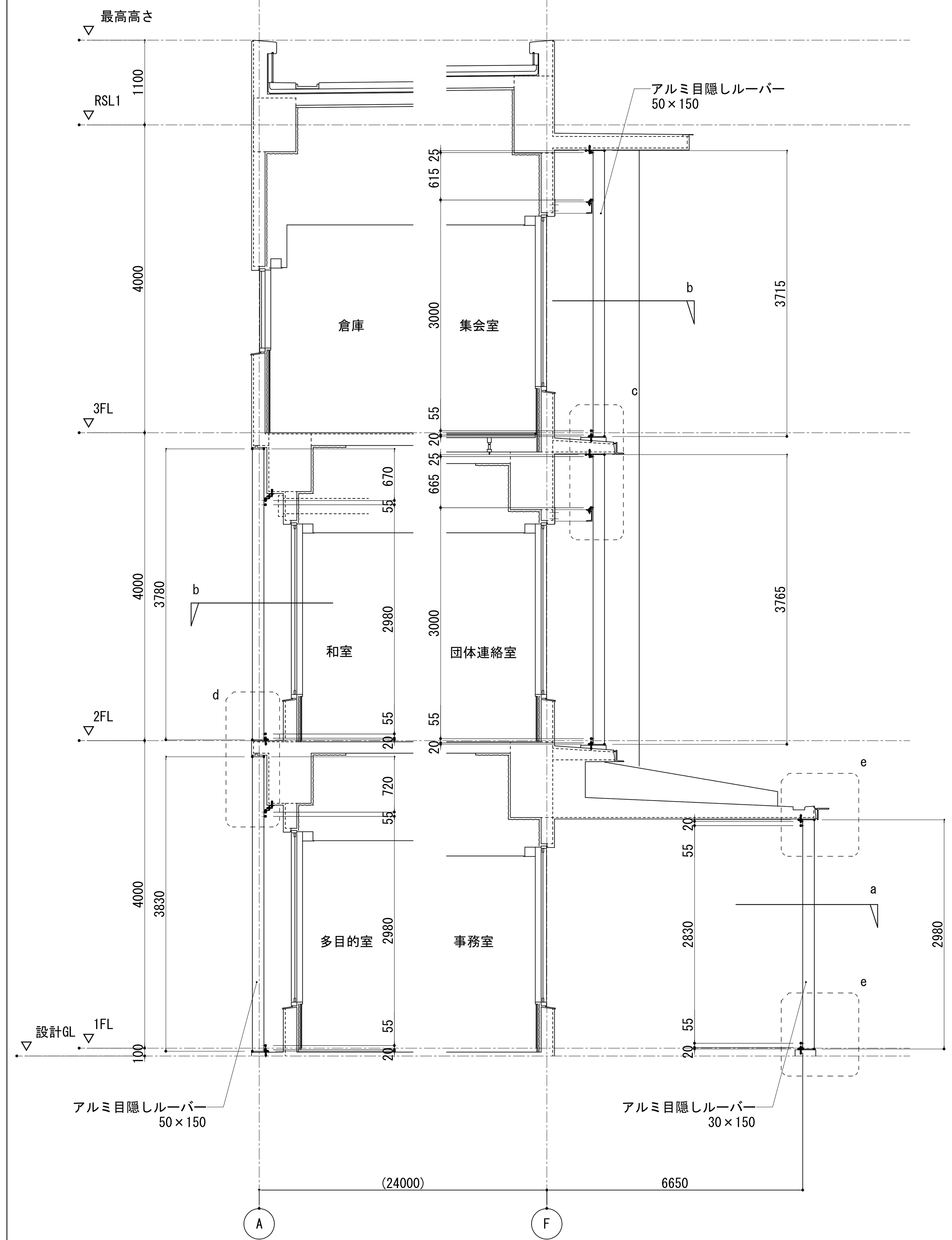
３階平面図　S=1/100



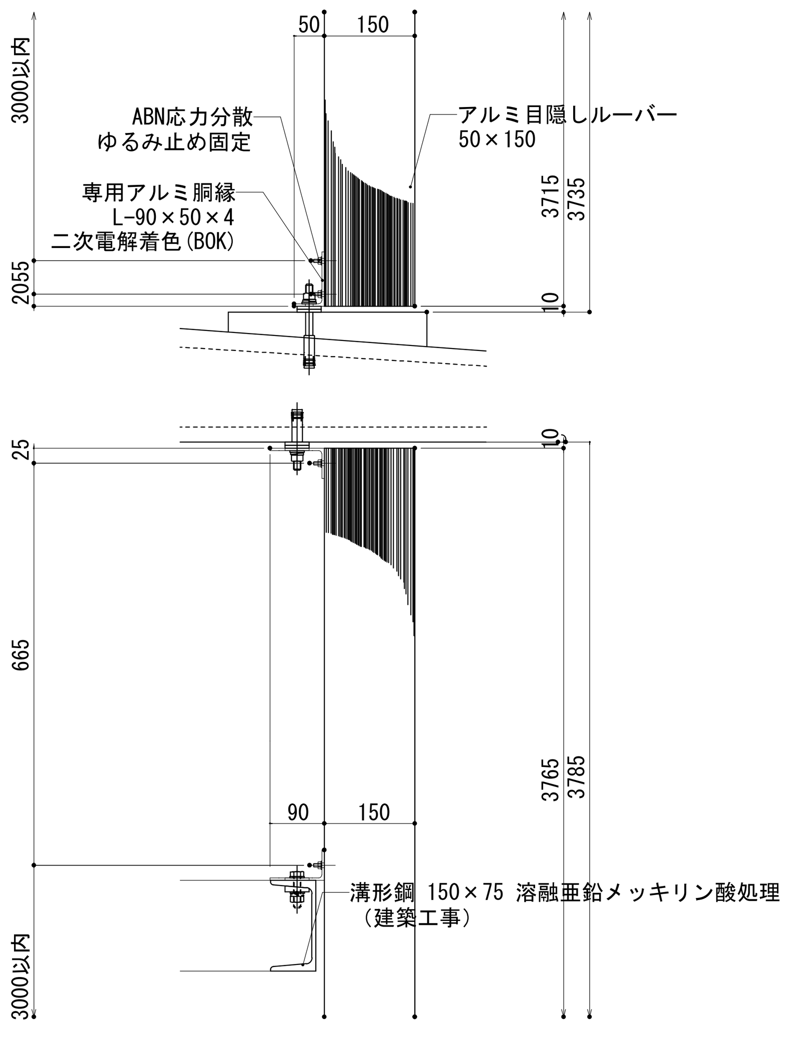
北立面図　S=1/100



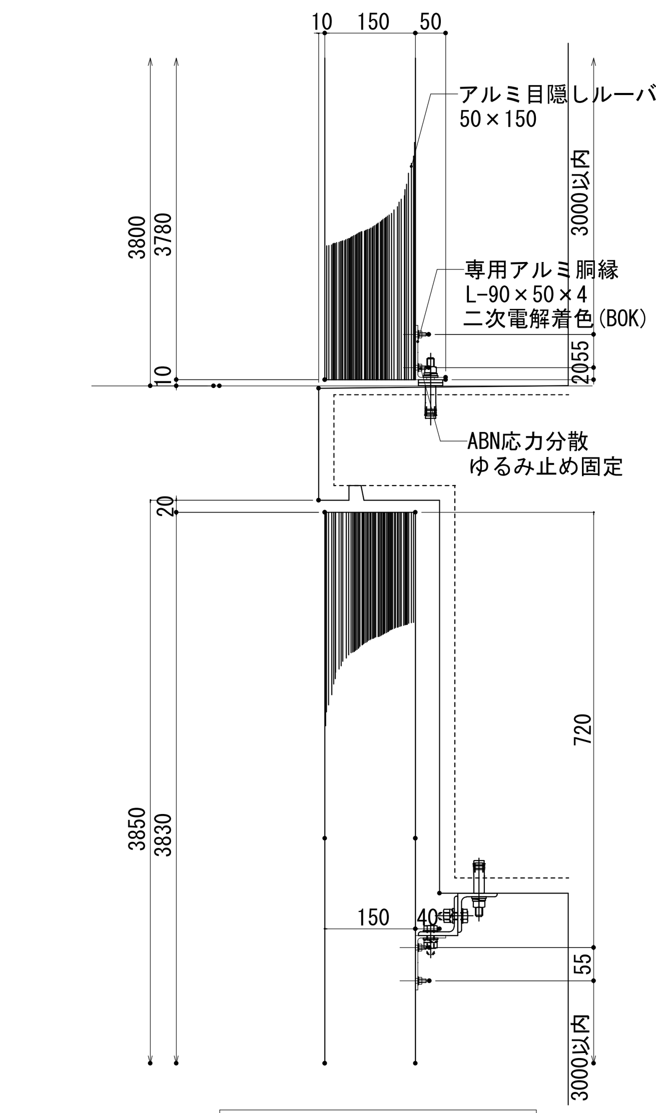
南立面図　S=1/100



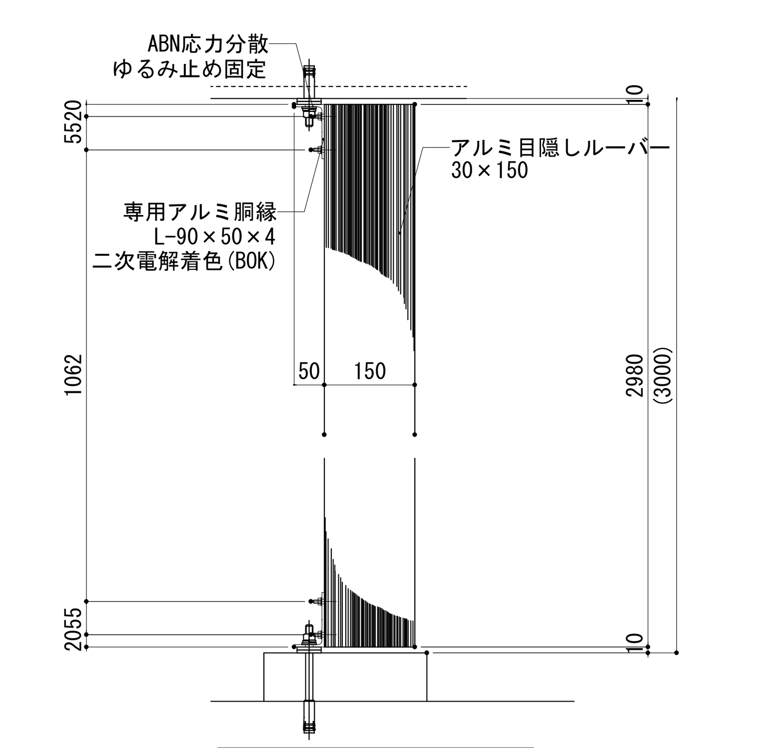
断面図　S=1/100



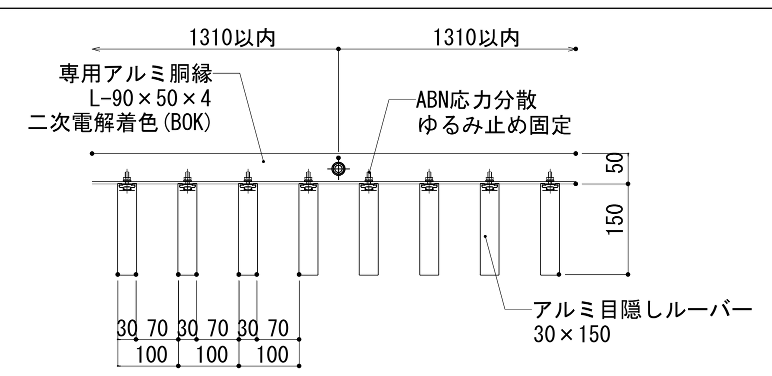
c拡大図　S=1/5



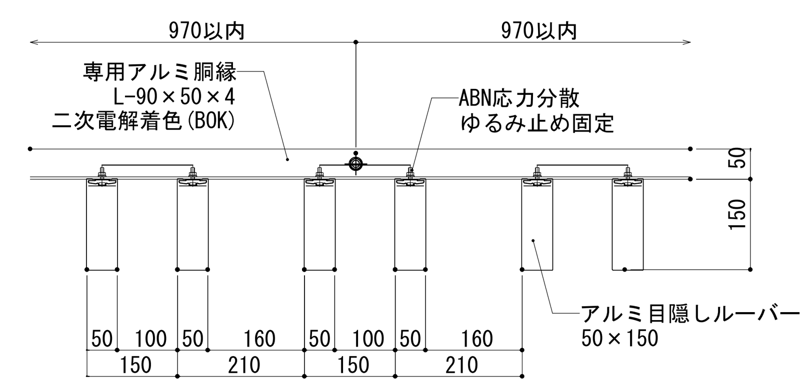
d拡大図　S=1/5



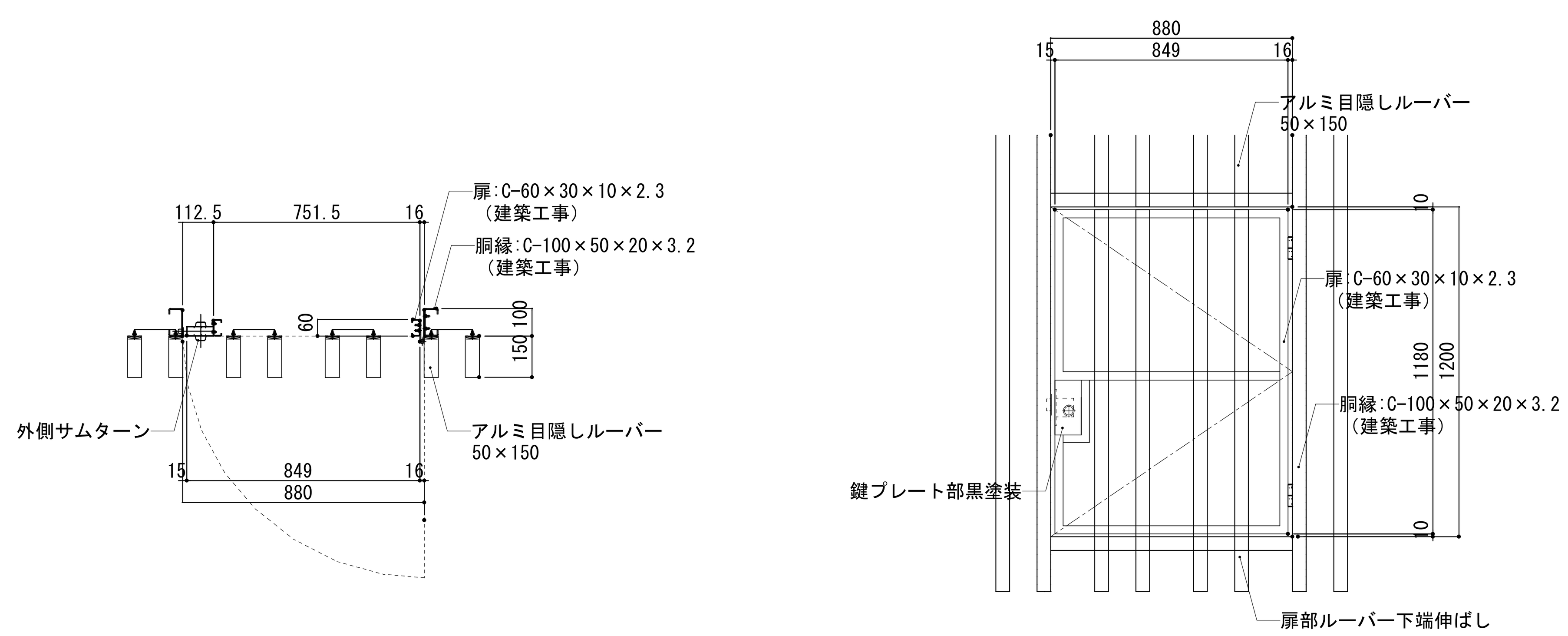
e 拡大図　S=1/5



a平面詳細図　S=1/5



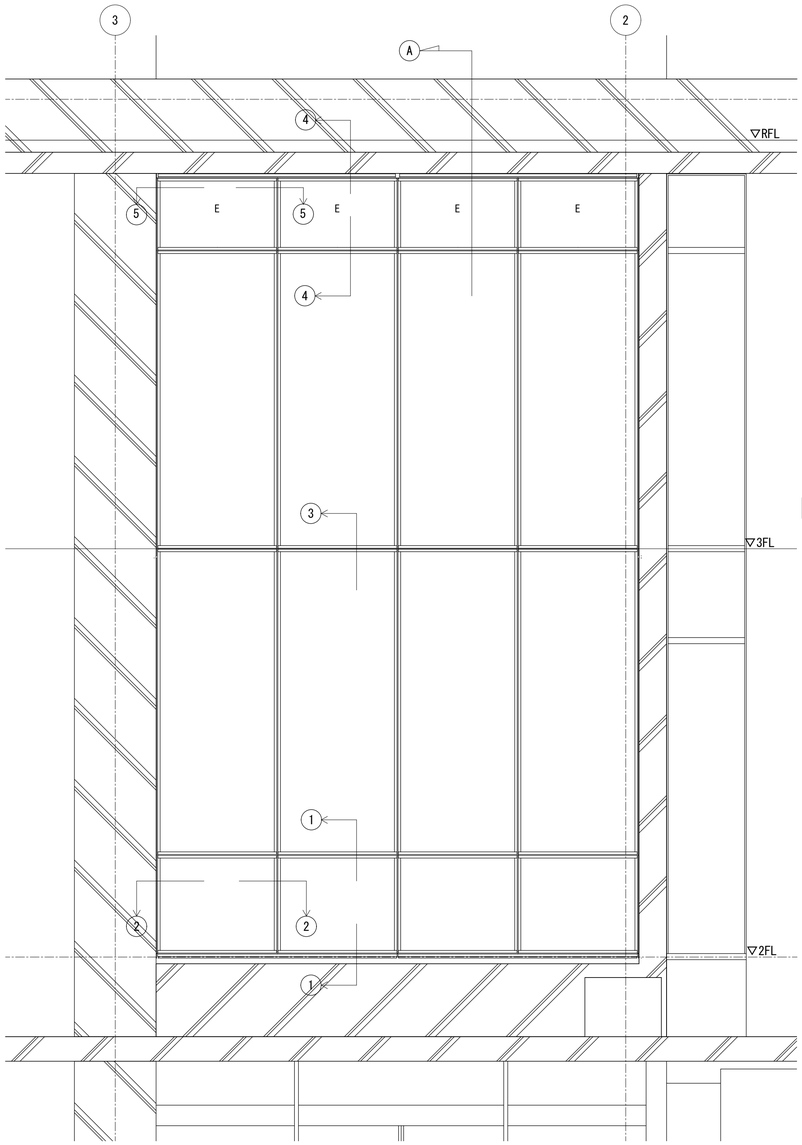
b平面詳細図　S=1/5

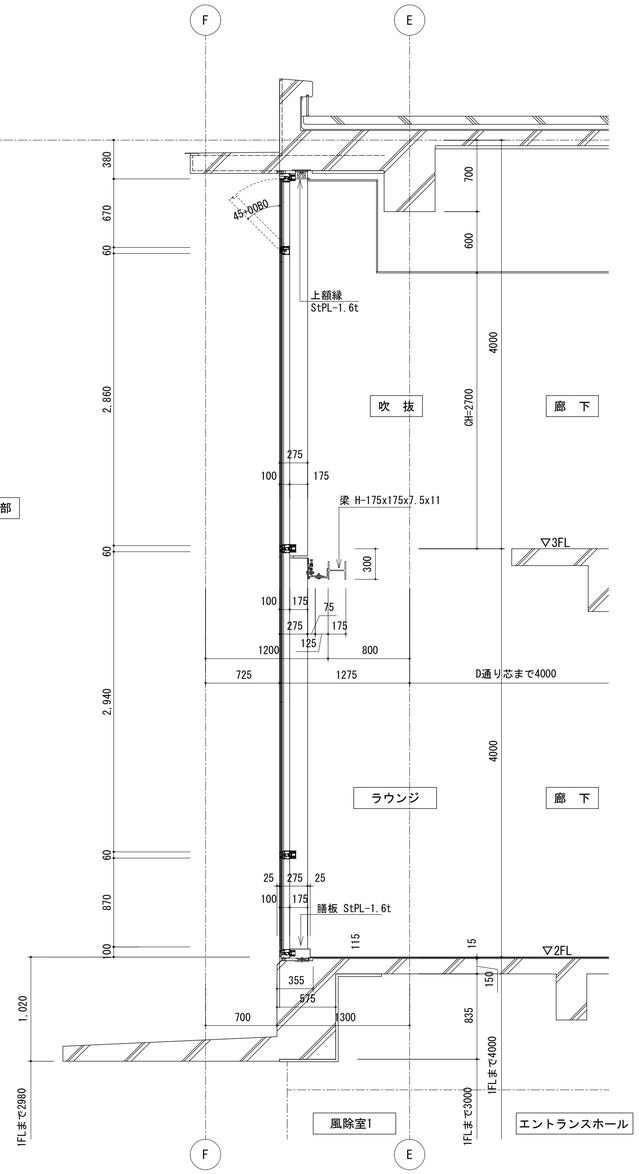


扉部詳細図　S=1/20

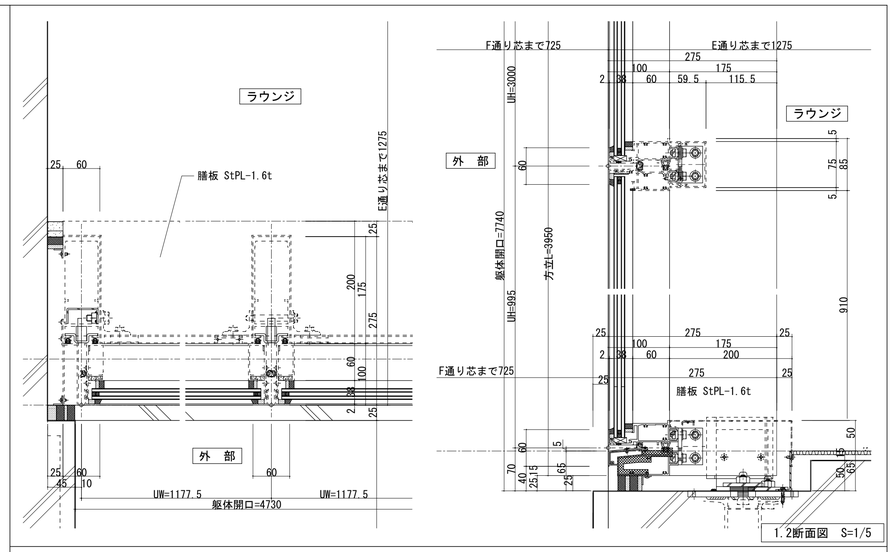
※アルミルーバーはアクリル樹脂焼付塗装とする。
※アルミルーバーはABC商会 リグナム同等品とする。
※建築工事の鋼材は溶融亜鉛リン酸処理仕上とする。

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 図示 DATE 2025.09
一級建築士 NO.164725 北田 英成					東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	図 名 ルーバー詳細図	No. A-055

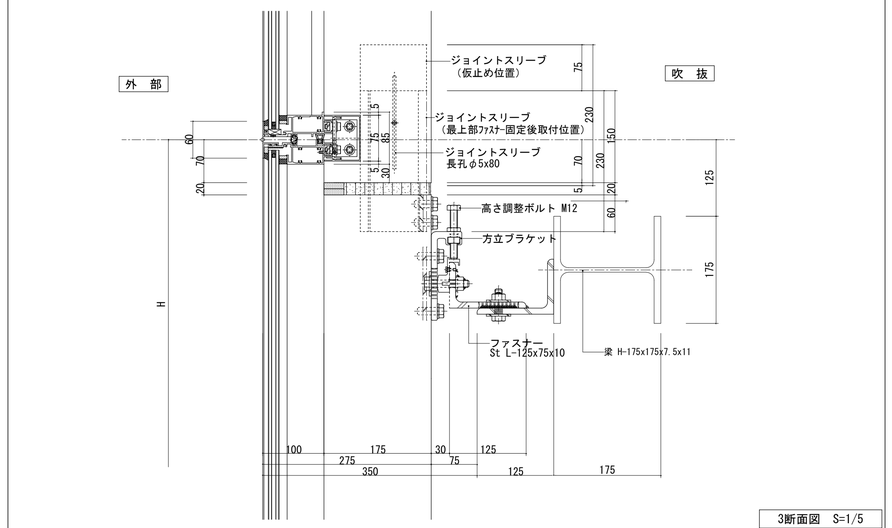




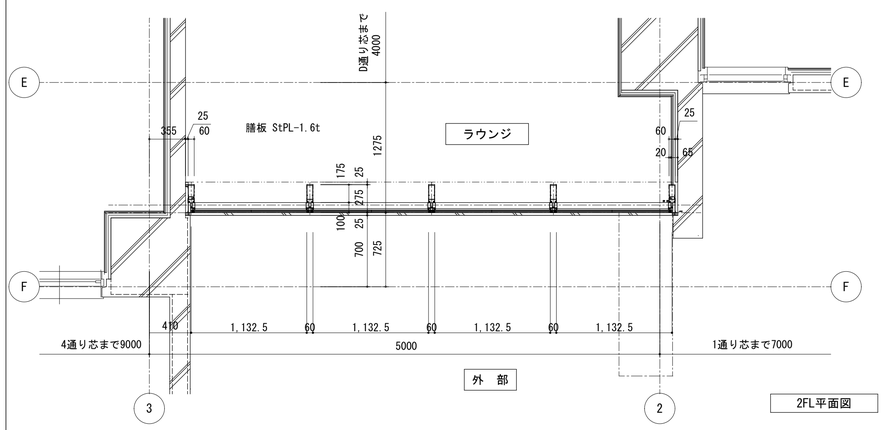
A 矢視矩計図



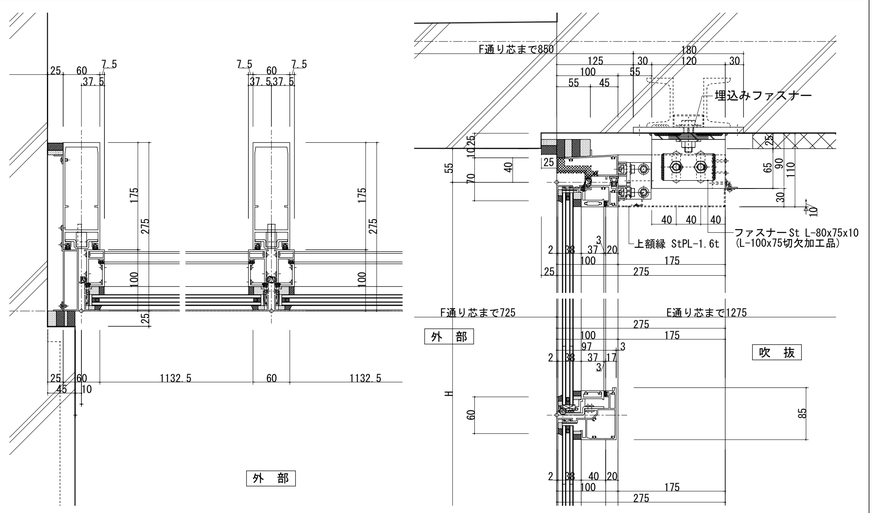
1.2断面図　S=1/5



3断面図　S=1/5



2FL平面図



4.5断面図　S=1/5

姿図　S=1/30

カーテンウォール仕様	数量　1
	YKKAP SYSTEMA9201c（非防火）同等品
性能項目	基本仕様
設計風圧	S-5 (2400Pa)
水密性能	1000Pa
気 密 性	A-4 (A-4等級線)
耐火性能	３０分　耐火ボードｔ＝20mm
	１時間　耐火ボードｔ＝35mm
層間変位	1/300 ： 構成材に何ら損傷なし
	1/100 ： 破損・部材脱落なし
可動タイプ	外倒し窓
	片開きドア
ガラス	Low-E6(室内側) + A6 + 透明強化8(外側)
仕上げ	
備　考	

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&DESIGNS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

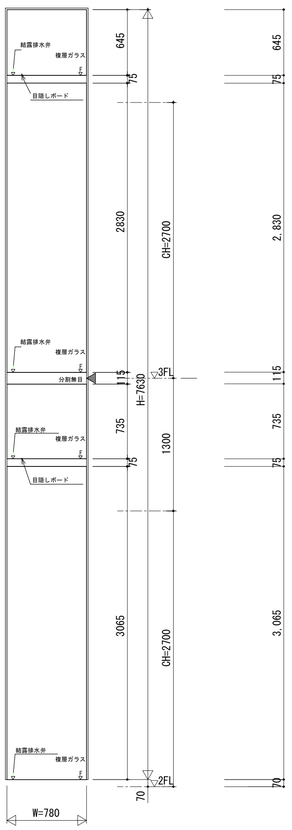
図名
アルミカーテンウォール詳細図

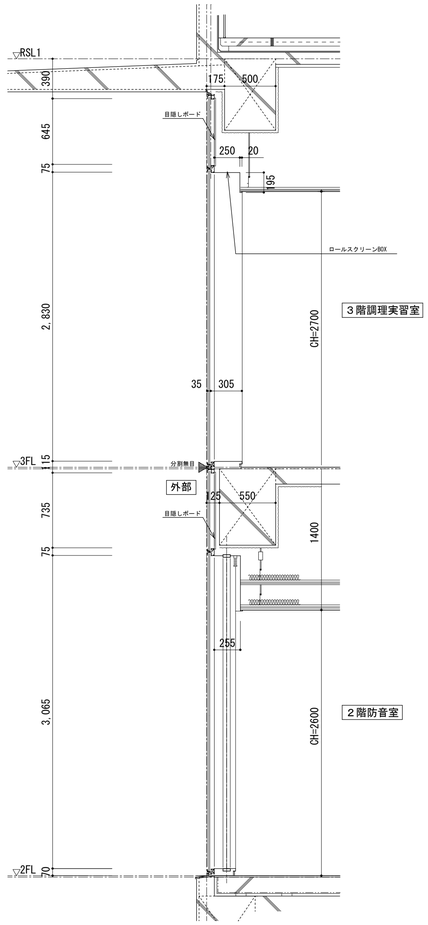
S= 図示(A1) 図示(A3)
DATE 2025.09
No. A-056

建具符号	AW-15	取付場所	2階 防音室 3階 調理実習室
合計数量	1	カラー区分	色未定
		製品ｼﾘｰｽﾞ	YKKAP SYSTEMA31(S-5)同等品
防火設備仕様	有 ・ (無)	ガラス厚	Low-E5+A12+FL8
網 戸	有 ・ (無)	ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞ方式	ガスケット・(シール)

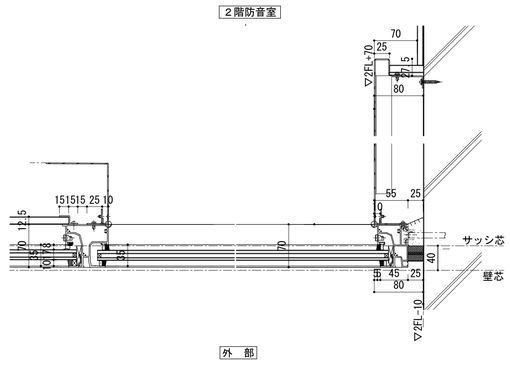
部品名	品番・型式	数量
結露排水弁		8

内観姿図を示す

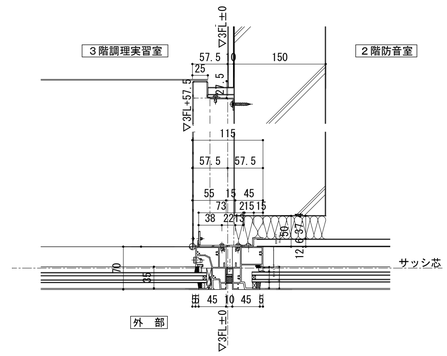




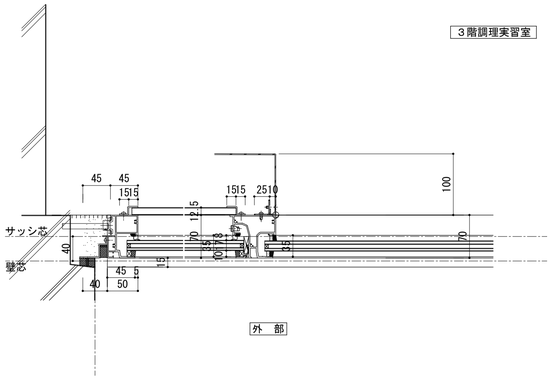
姿図 S=1/30



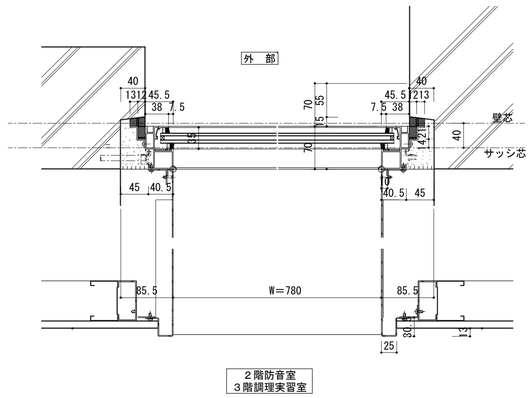
FIX窓断窓4段窓 縦断面 S=1/5



FIX窓断窓4段窓 縦断面 S=1/5

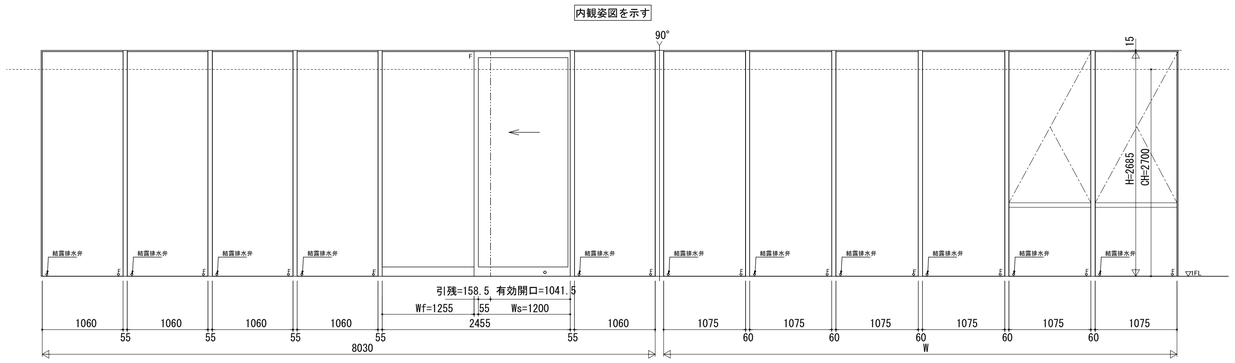


FIX窓断窓4段窓 縦断面 S=1/5



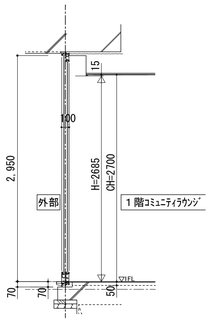
FIX窓4段窓 横断面 S=1/5

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO	埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事 図 名 アルミ建具詳細図1 詳細図	S= 図示(A1) 図示(A3) DATE 2025.09 No. A-057

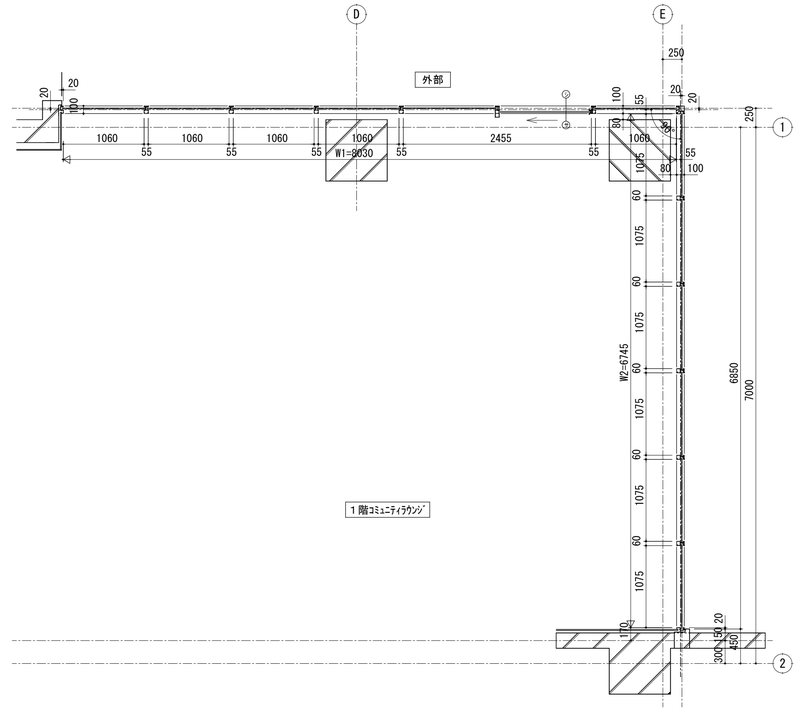


建具符号	AW-9	取付場所	1階 コミュニティラウンジ1
合計数量	1	カラー区分	色未定
		製品ｼﾘｰｽﾞ	YKKAP SYSTEMA520e(S-2)同等品 YKKAP SYSTEMA31同等品
防火設備性能	有 ・ (無)	ガラス厚	Low-E6＋A6＋FL8
網 戸	有 ・ (無)	ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞ方式	ガスケット・ジール

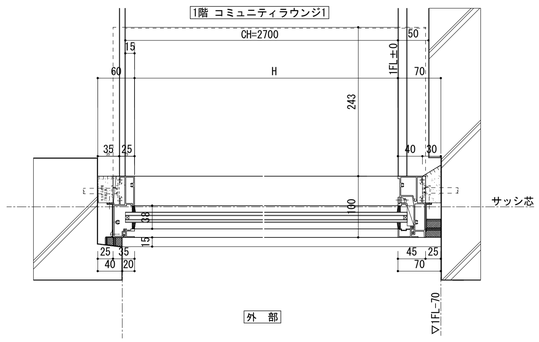
部品名	品番・型式	数量
結露排水弁	3K31341	22
＊本締り錠	美和 DG-1	1
押棒（丸）	YKK AP制定品5K-12991	1



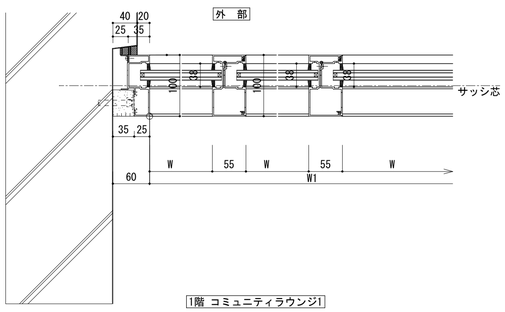
姿図 S=1/40



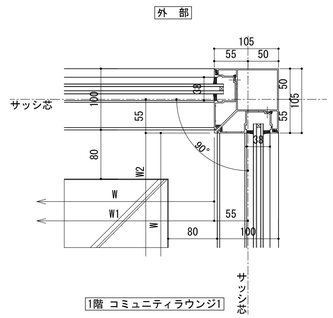
姿図 S=1/40



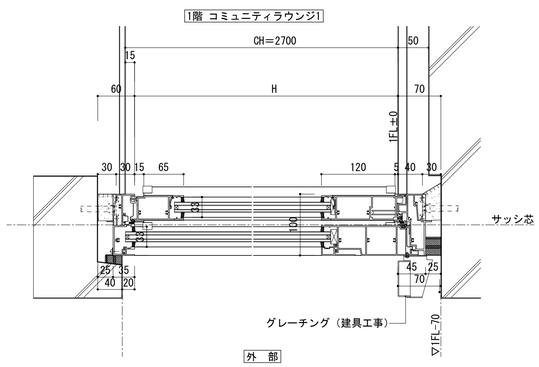
FIX窓縦断面図 S=1/5



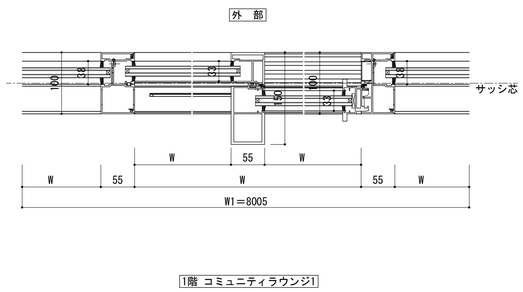
FIX窓連窓横断面図 S=1/5



FIX窓連窓横断面図 S=1/5



片引き戸縦断面図 S=1/5



FIX窓、片引き戸連窓横断面図 S=1/5

片引き戸縦断面図 S=1/5

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成
埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787
東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

APPR	CHKD	DRAWN

工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

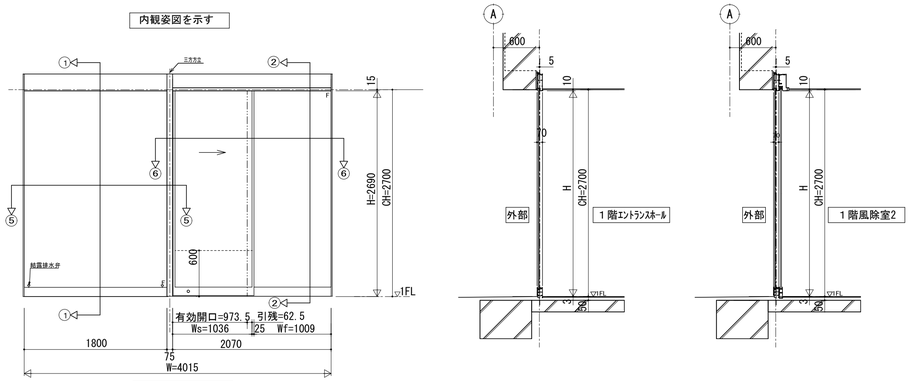
図名 アルミカーテンウォール詳細図

S= 1/5・1/30(A1) 1/10・1/60*(A3)

DATE 2025.09

No. A-058

内観姿図を示す



平面図は次図参照

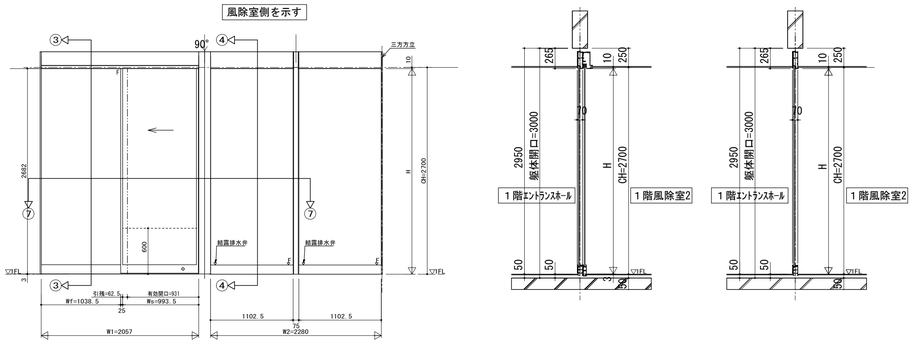
A姿図

建具符号	AD-1	取付場所	1階 風除室2
合計数量	1	カラー区分	色未定
		製品ｼﾘｰｽﾞ	YKKAP SYSTEMA31e(S-1)同等品
防火設備仕様	有 ・ (無)	ガラス厚	Low-E6＋A6＋TP8 扉部 TP6＋A6＋TP8
網 戸	有 ・ (無)	ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞ方式	ガスケット・ジール

部品名	品番・型式	数量
結露排水弁	3K31341	2
本締り錠	美和DG2	1
自動ドアエンジン	ナブコ製	1
＊ 無目センサー (室内側)	***	1
＊ 無目センサー (室外側)	***	1
ゴミ受有り		
補助光電センサー		1

ご注意 自動ドア事故未然防止の為 自動ドア警告ラベルを貼付下さい
平成２０年３月
国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築保全業務共通仕様書に
自動ドア警告ラベルの貼付が規定されました

風除室側を示す



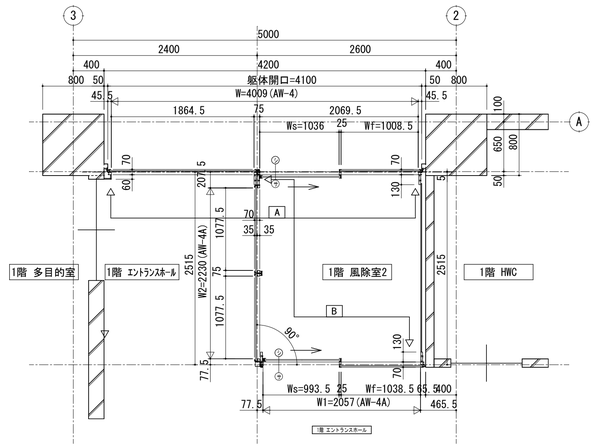
平面図は次図参照

建具符号	AD-2	取付場所	1階 風除室2
合計数量	1	カラー区分	色未定
		製品ｼﾘｰｽﾞ	YKKAP SYSTEMA31e(S-1)同等品
防火設備仕様	有 ・ (無)	ガラス厚	Low-E6＋A6＋TP8 扉部 TP6＋A6＋TP8
網 戸	有 ・ (無)	ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞ方式	ガスケット・ジール

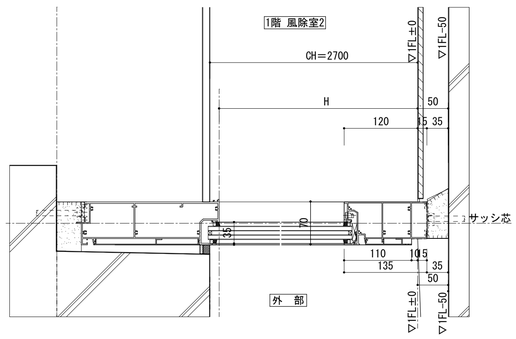
部品名	品番・型式	数量
本締り錠	美和DG2	1
自動ドアエンジン	ナブコ製	1
＊ 無目センサー (室内側)	***	1
＊ 無目センサー (室外側)	***	1
ゴミ受有り		
補助光電センサー		1
結露排水弁	3K31341	4

ご注意 自動ドア事故未然防止の為 自動ドア警告ラベルを貼付下さい
平成２０年３月
国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築保全業務共通仕様書に
自動ドア警告ラベルの貼付が規定されました

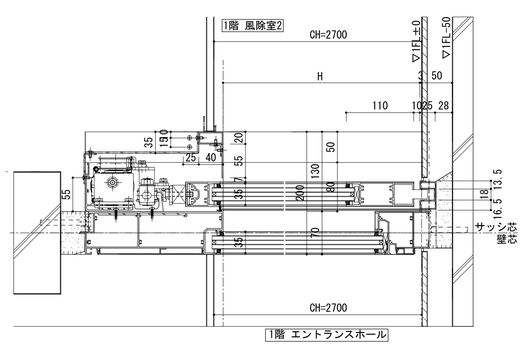
姿図 S=1/40



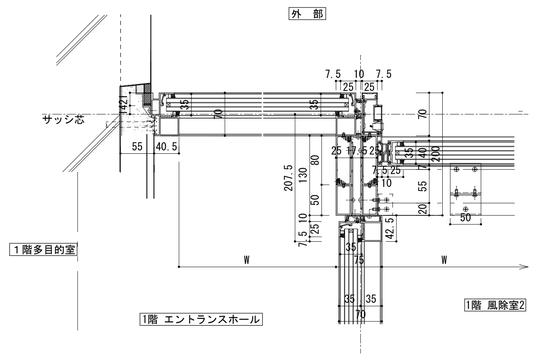
姿図 S=1/40



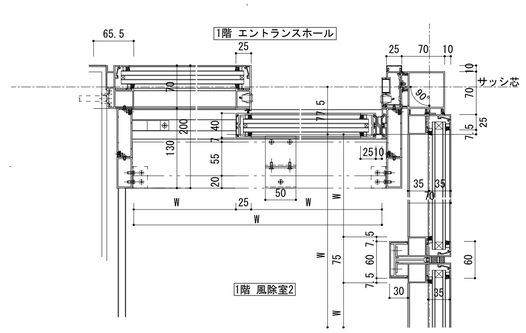
FIX窓 縦断面① S=1/5



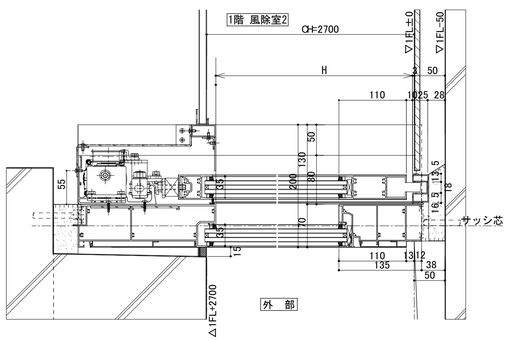
自動ドア 縦断面③ S=1/5



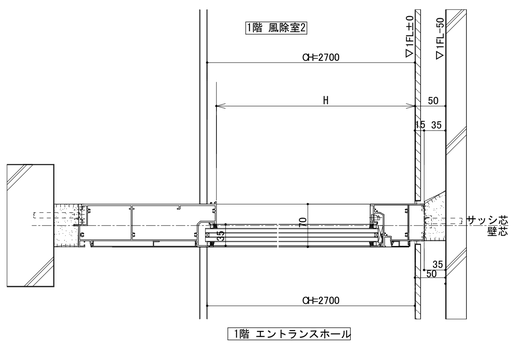
FIX窓、自動ドア連窓 横断面⑤ S=1/5



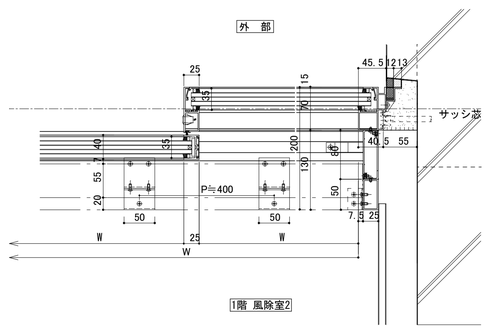
自動ドア、FIX窓連窓 横断面⑦ S=1/5



自動ドア 縦断面② S=1/5



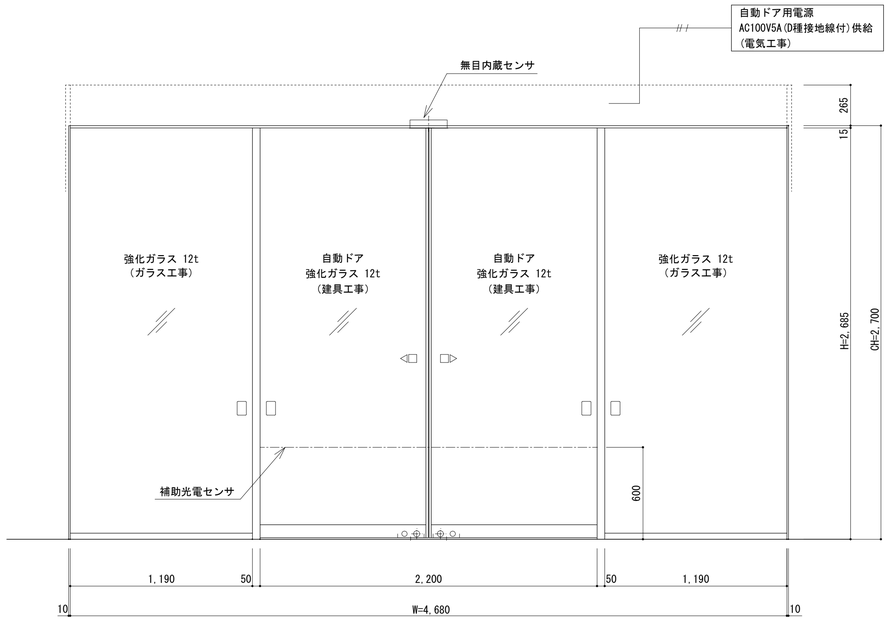
FIX窓 縦断面④ S=1/5



自動ドア 横断面⑥ S=1/5

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

工事名	（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 図示(A1) 図示(A3)
図 名	アルミ建具詳細図3（風除室）	DATE 2025.09
		No. A-059



外部側姿図 S=1/20 SUSD 1

【防火区分：無】
【防　　振：無】
【気密性能：無】

耐風圧性：S-1等級

符号	数量		材質・仕上	取付階
SUSD 1	1	枠	SUS304 1.5t 角出し (0.8mm残し) 指定色焼付塗装仕上	1F
		扉	SUS304 1.5t 角出し (0.8mm残し) 指定色焼付塗装仕上	
		下地材	特記なき限り、St 1.6t通し材とする。	

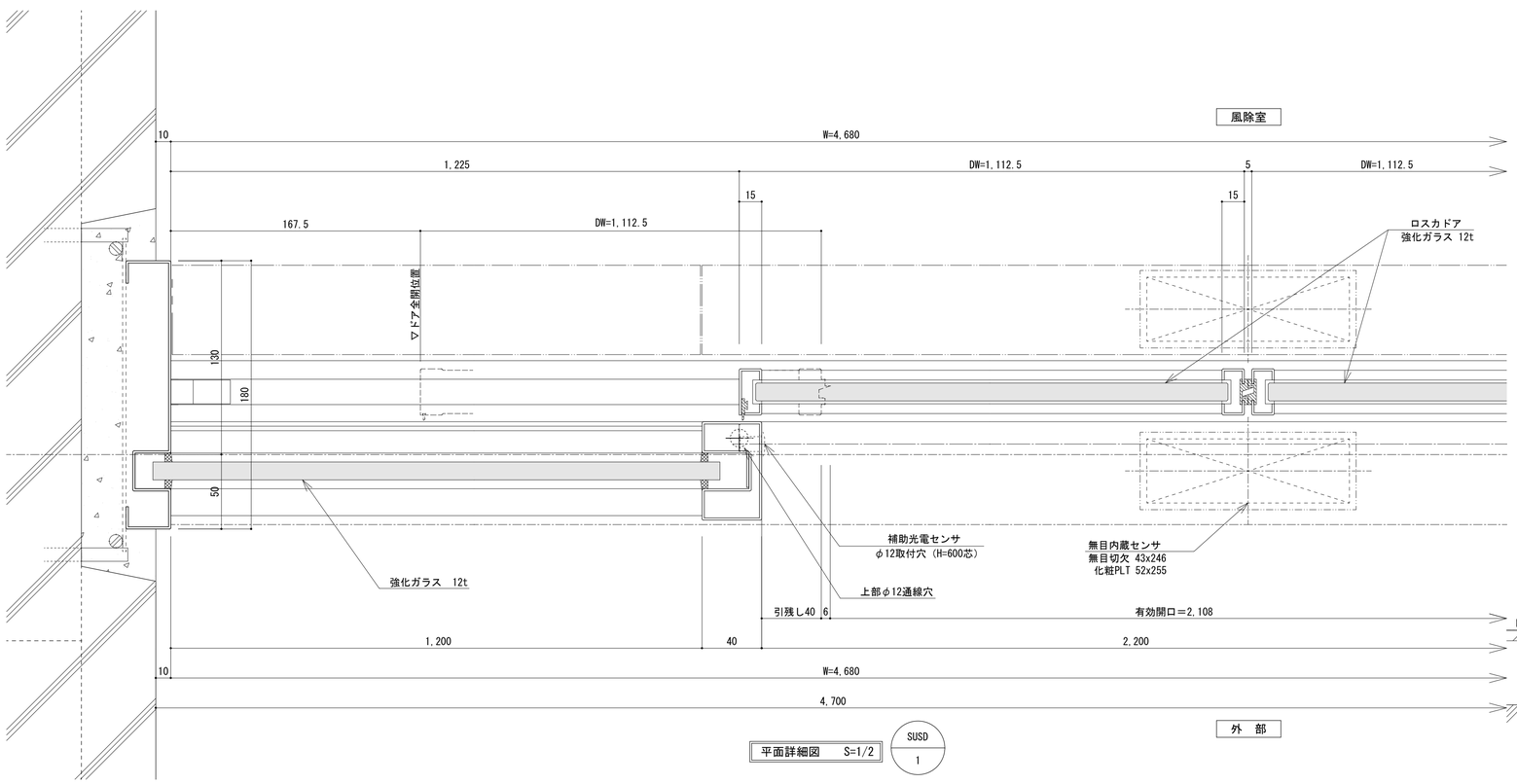
品　名	メーカー	品　番	数量	備　考
エンジン装置	ナブコ	V-SL	1	
起動センサ	ナブコ	NS-A02	1	無目内蔵型
補助光電センサ	ナブコ	NP-01	1	
規格ドアガラスシール				建築サイン工事
錠 前	MIWA	TRU-1	2	焼付塗装（既製品）

ドア単体面積＝3.1㎡
ドア縦横比＝2.5

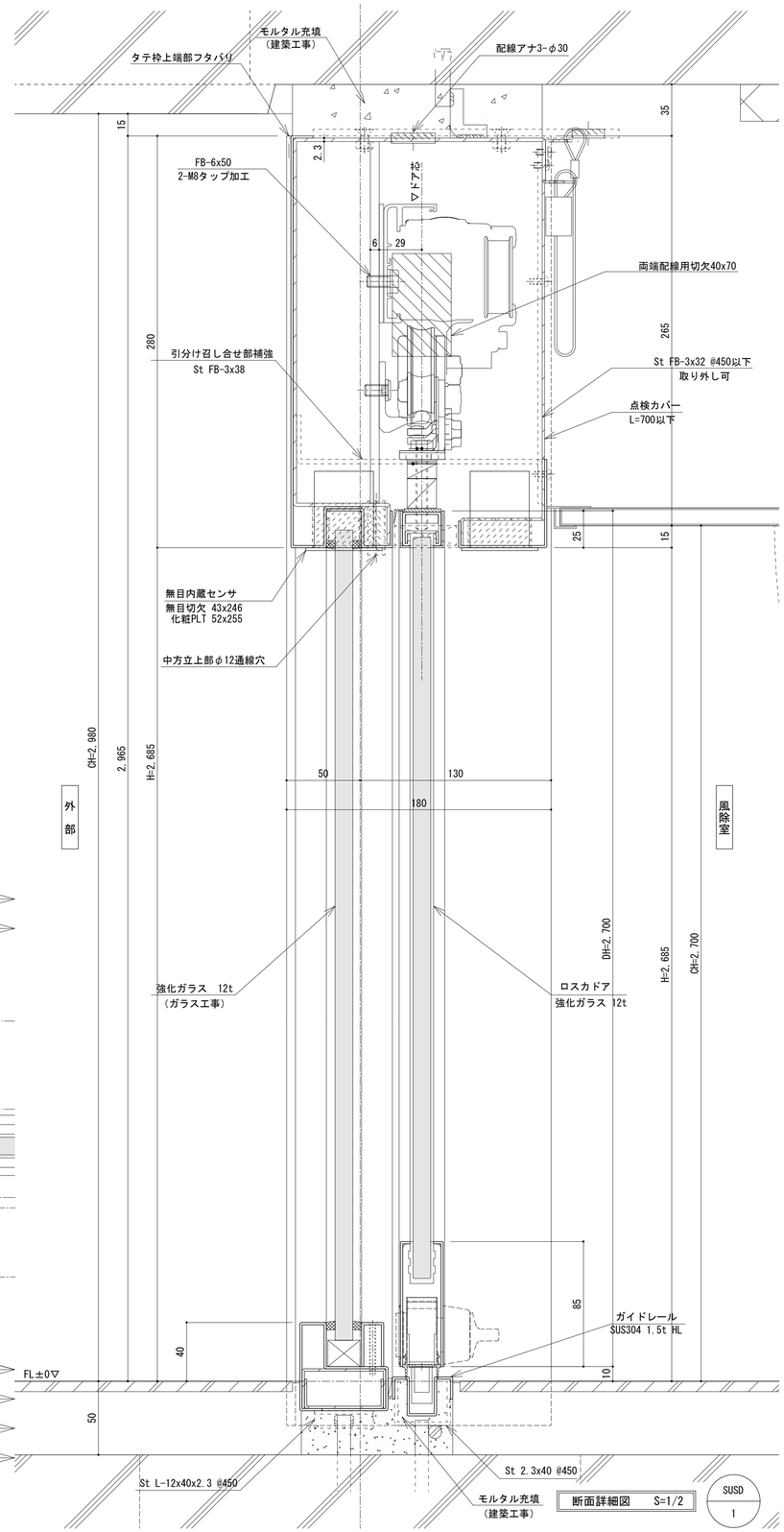
※表中型番名は全て同等品とする。

【JIS A 4722 対応表】

建具符号	SUSD-1	開閉方式	引分け
ドア質量	100kg	開閉速度 (mm/sec)	開=400 閉=200
設置場所	子どもへの配慮が必要な場合		
閉の安全防護	保護装置による保護		
開の安全防護	安全距離の確保ができない部分を低速開作動		
低速作動	速度＝130mm/sec	開始位置＝全開－400mm	



平面詳細図 S=1/2 SUSD 1



断面詳細図 S=1/2 SUSD 1

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

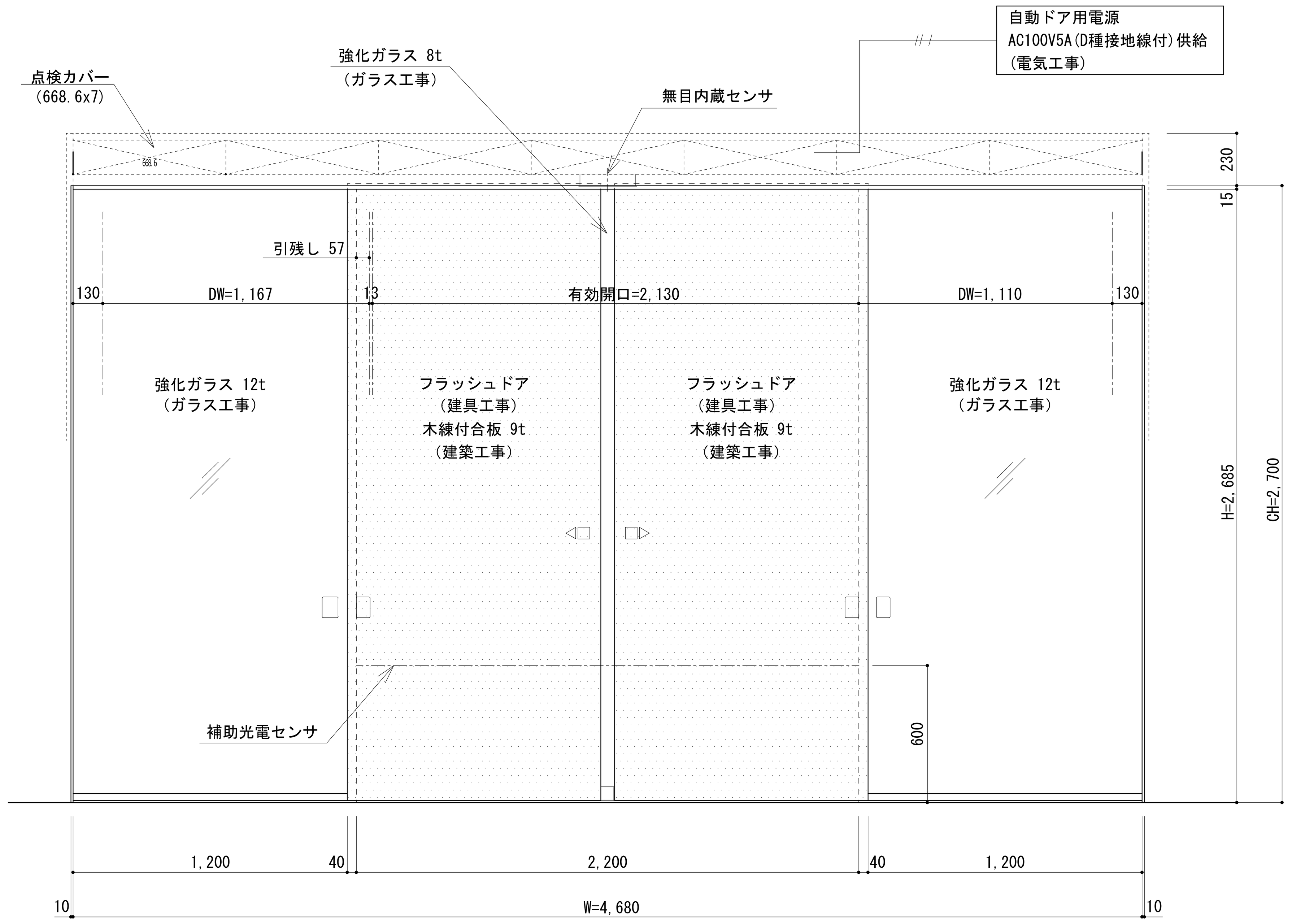
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名 自動ドア詳細図 1

S= 図示 (A1) 図示 (A3)
DATE 2025.9
No. A-060



風除室側姿図 S=1/20

SSD 1

【防火区分：無】
【防　　振：無】
【機密性能：無】

符号	数量		材質・仕上	取付階
SSD 1	1	枠	St 1.6t 角出し (0.8mm残し) ペンタイト＋サビ止	1F
		扉	St 1.6t 角出し (0.8mm残し) ペンタイト＋サビ止	
		下地材	特記なき限り、St 1.6t通し材とする。	

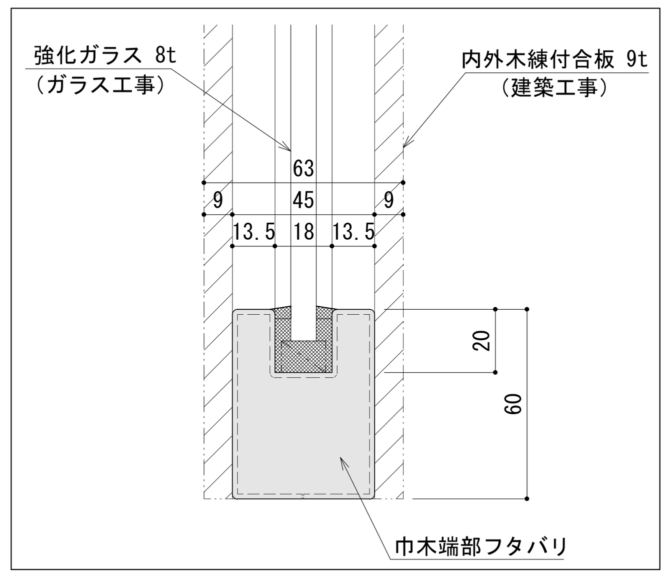
品　名	メーカー	品　番	数量	備　考
エンジン装置	ナブコ	V-SL	1	
起動センサ	ナブコ	NS-A02	2	無目内蔵型
補助光電センサ	ナブコ	NP-01	1	
錠 前			無	

ドア単体面積＝3.2㎡
ドア縦横比＝2.4

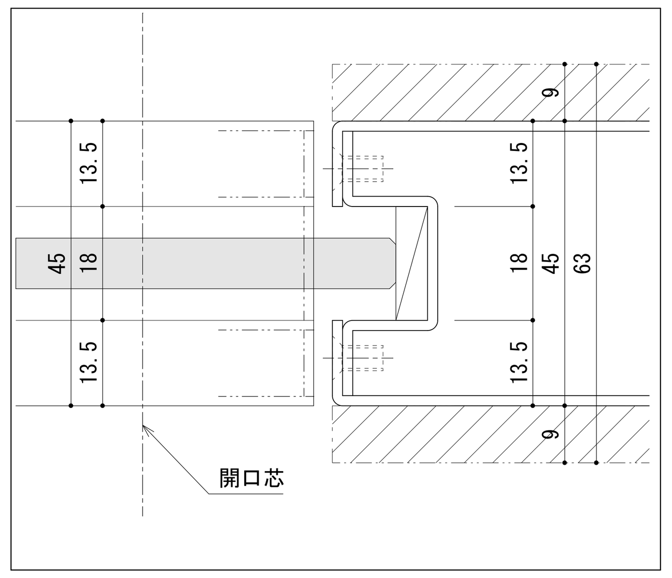
※表中型番名は全て同等品とする。

【JIS A 4722 対応表】

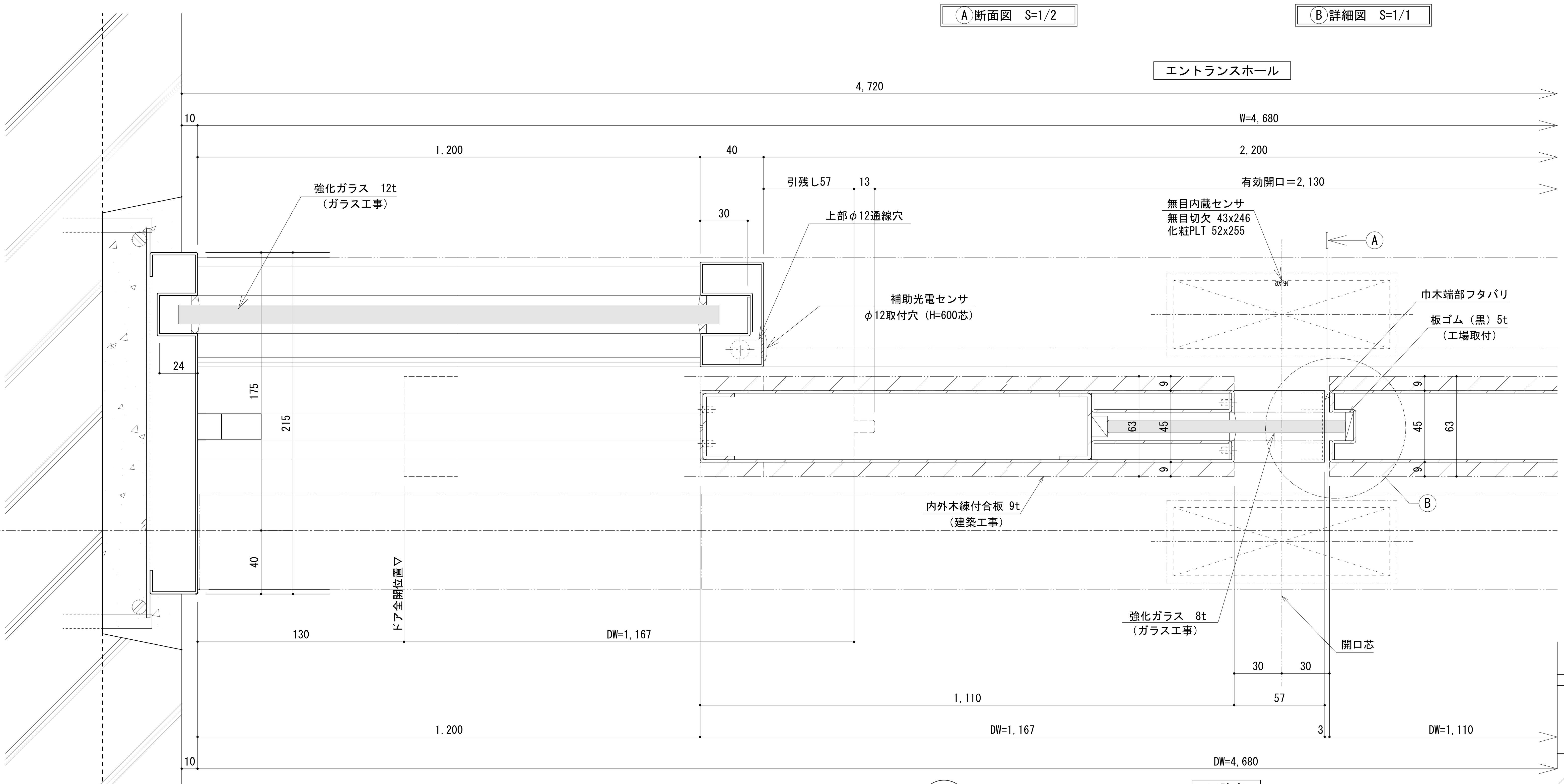
建具符号	SSD-1		開閉方式	引分け
ドア質量	130kg	開閉速度 (mm/sec)		開=400 閉=200
設置場所	子どもへの配慮が必要な場合			
閉の安全防護	保護装置による保護			
開の安全防護	安全距離の確保ができない部分を低速開作動			
低速作動	速度＝100mm/sec		開始位置＝全開－400mm	



Ⓐ断面図 S=1/2

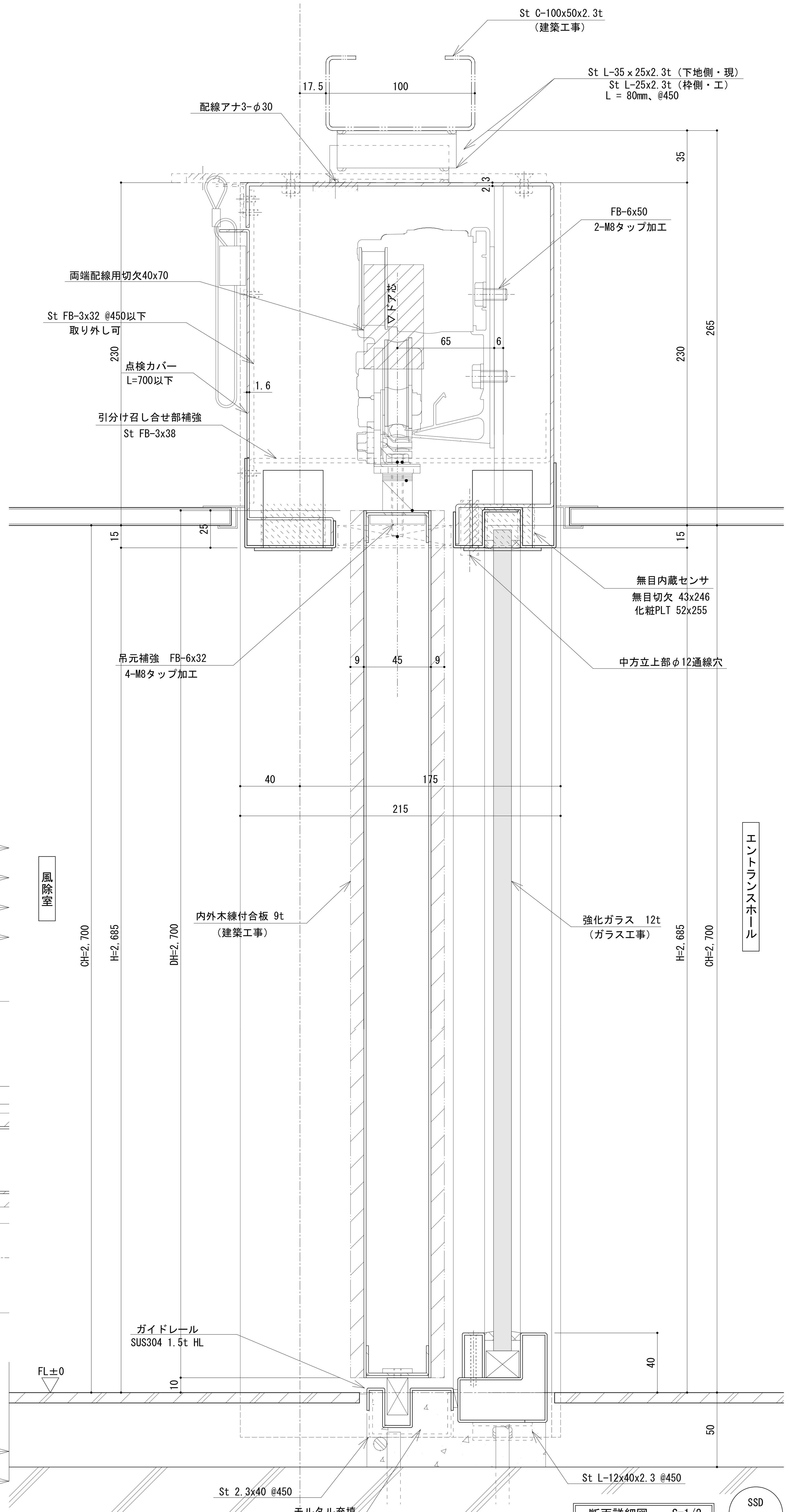


Ⓑ詳細図 S=1/1



平面詳細図 S=1/2

SSD 1

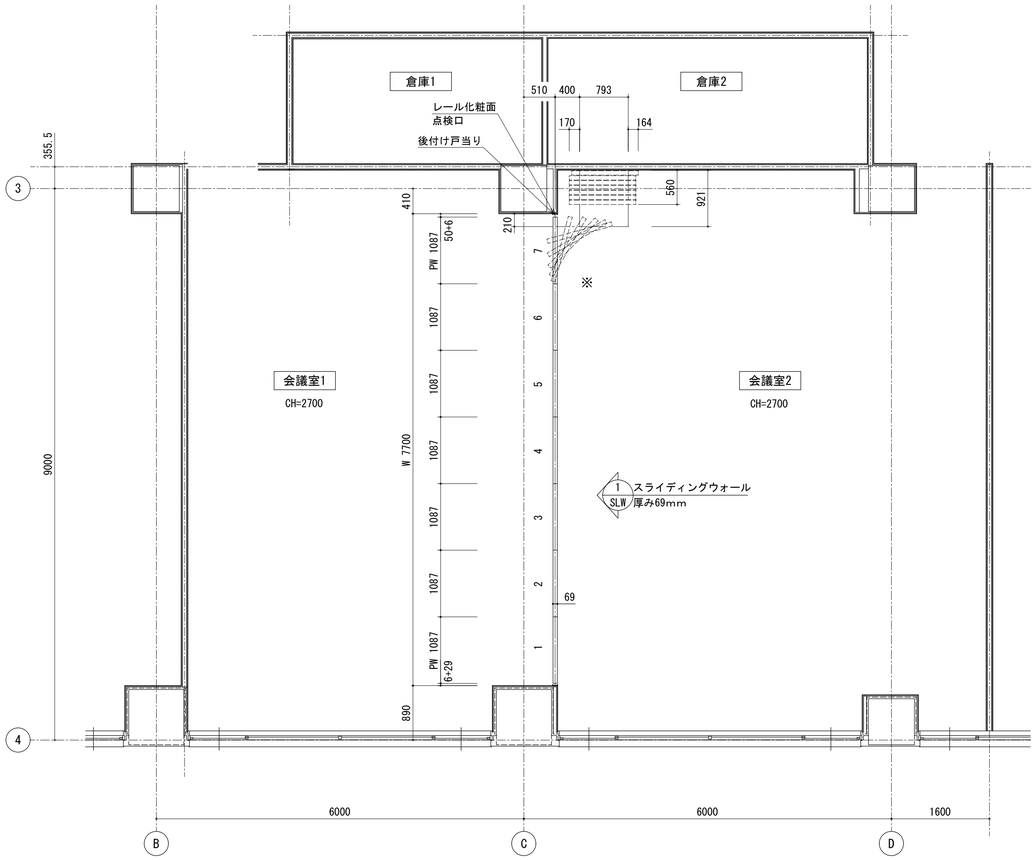


断面詳細図 S=1/2

SSD 1

S=1/2

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS 埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事 図 名 自動ドア詳細図２	S= 図示(A1) 図示(A3) DATE 2025.9 No. A-061



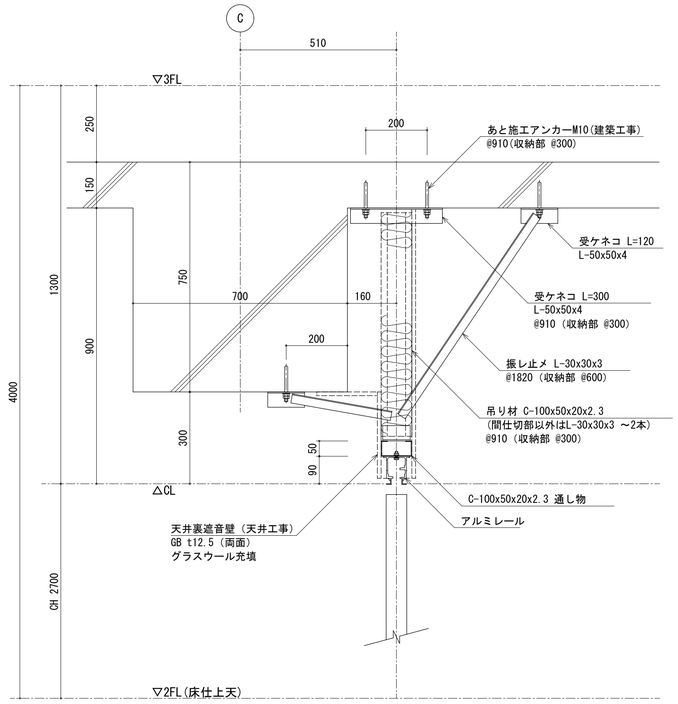
1階平面図 S=1:50

※操作口取付側

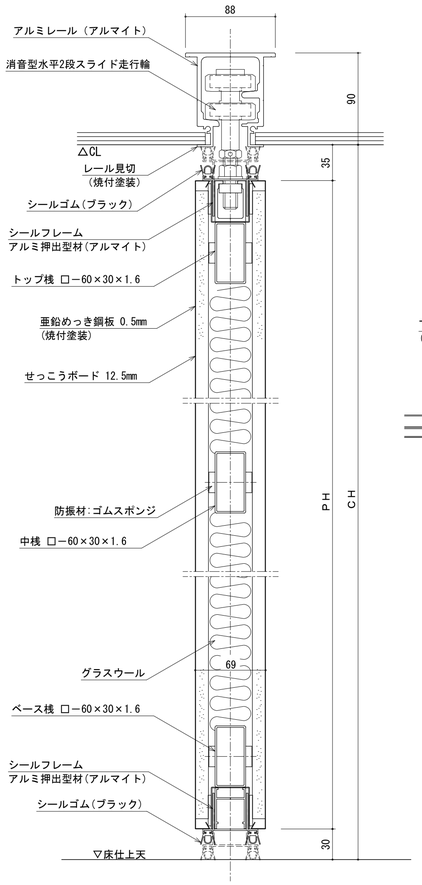
スライディングウォール 厚み69mm

1 SLW

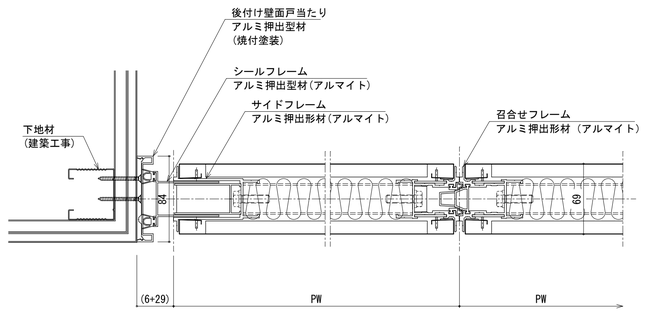
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール※断面詳細図の特記部分は焼付塗装
ランナー仕様	走行輪	消音型水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装)
		下張り:せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
	パネル分離型構造(廃業時分別可能)・・・環境対応型	



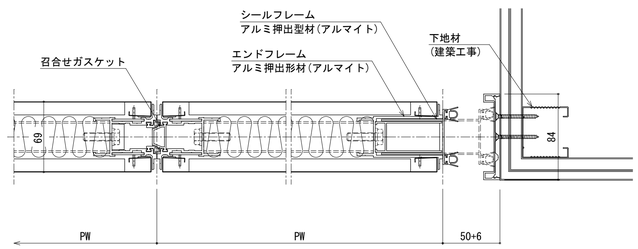
レール取付断面図 S=1:10

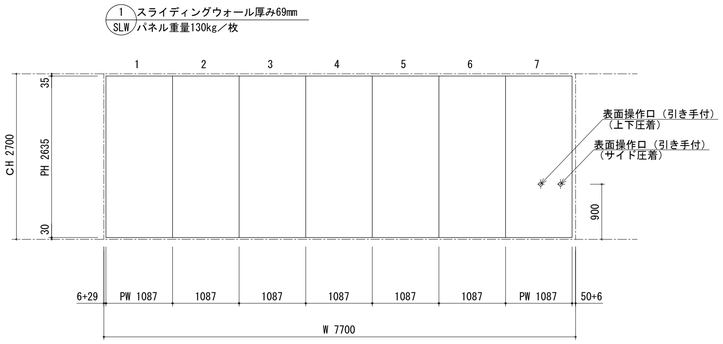


縦断面詳細図 S=1:3



横断面詳細図 S=1:3





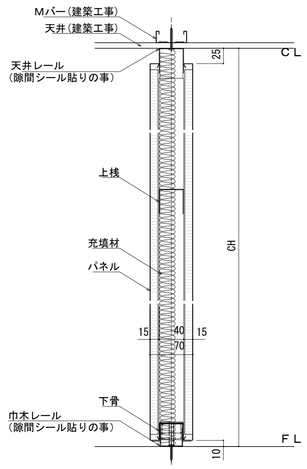
展開図 S=1:50

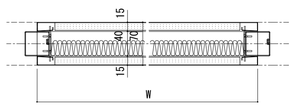
<スライディングウォール 厚み69mm>

※小松ウォール LW-60D同等品とする。

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 埼玉県知事登録 (5)第8878号 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 図示(A1) 図示(A3)
					図名 移動間仕切詳細図	DATE 2025.09 No. A-062

スチールパーティション断面詳細図　(S=1/5)





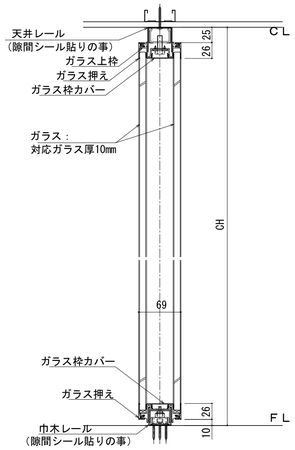
標準モジュール

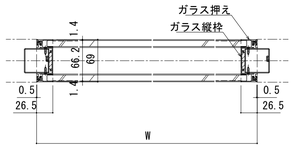
H	CH(Max)=3000
W（芯々）	880,1180(Max)

※W（芯々）=200(Min)

※木目プリント鋼板、ホワイトボードパネルは

パネル完成W×H=1175×2950(Max)





標準モジュール

H	CH(Max)=3000
W（芯々）	900,1200(Max)
ガラス厚	10mm　フロートガラス（飛散防止フィルム貼り） 強化ガラス 合わせガラス

※フロート・強化ガラスの場合　　※合わせガラスの場合

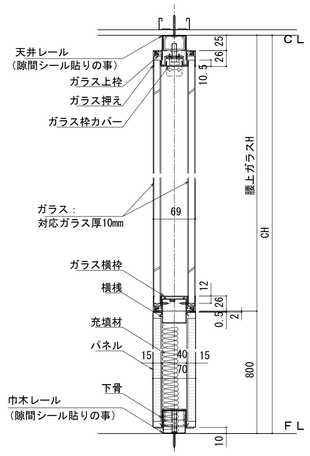
ＣＨ≦２９００：最大６連窓　　ＣＨ≦２７００：最大６連窓

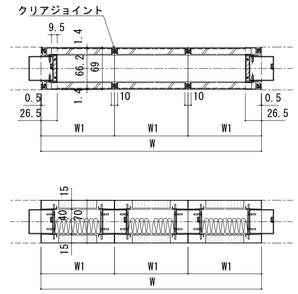
ＣＨ＞２９００：最大５連窓　　ＣＨ＞２７００：最大５連窓

※片寄せガラス対応可能

※クリアジョイント・コーキングテープ取付部のガラス加工は、

Ｃ１面取り+荒ズリの事





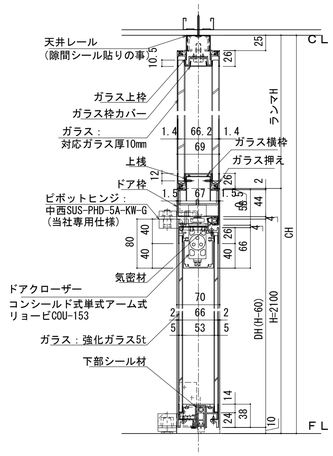
標準モジュール

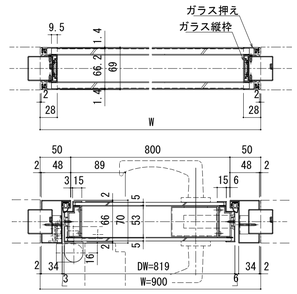
H	CH(Max)=3000
W（芯々）	900　※1200(Max) 250≦W1≦900（3スパンまで対応可） ≦W1≦1200（2スパンまで対応可） ※腰パネル実寸H>1220の場合、W=1180(Max)
ガラス厚	10mm　フロートガラス（飛散防止フィルム張り） 強化ガラス 合わせガラス

※片寄せガラス対応可能

※木目プリント鋼板、ホワイトボードパネルはパネル完成W=1175(Max)

※クリアジョイント取付部のガラス加工は、Ｃ１面取り+荒ズリの事

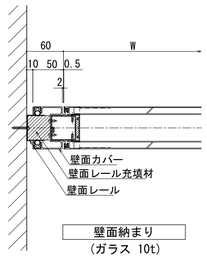




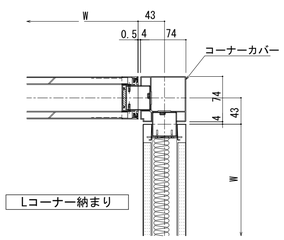
◇仕様表

(小松ウオール マイティースマートレール同等品)

項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板 1.0mm〈焼付塗装仕上〉
	ポール・横桟	冷間圧延鋼板 1.2mm〈焼付塗装仕上〉
	上桟・下桟	冷間圧延鋼板 1.0mm〈焼付塗装仕上〉
	壁面レール	冷間圧延鋼板 1.0mm〈焼付塗装仕上〉
	壁面カバー	冷間圧延鋼板 1.0mm〈焼付塗装仕上〉
	壁面レール充填材	ウレタンフォーム
	パネル受け	アルミ押出形材〈焼付塗装仕上〉
	パネル開き止め	アルミ押出形材〈アルマイト処理仕上〉
	コーナーカバー/コーナーカバーT	アルミ押出形材〈焼付塗装仕上〉
	巾木レール	冷間圧延鋼板 1.2mm〈焼付塗装仕上〉
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm〈焼付塗装仕上〉
	芯材	せっこうボード12.5mm
	充填剤	グラスウール 32kg/m3 厚さ25mm
ガラス	ガラス(ガラス工事)	強化ガラス10mm
	ガラス上枠・下枠・横枠・縦枠	アルミ押出型材〈焼付塗装仕上〉
	ガラス押え/ガラス枠カバー	アルミ押出型材〈焼付塗装仕上〉
	クリアジョイント	ポリカーボネート(PC) 対応ガラス厚10mm
枠	ドア枠	冷間圧延鋼板 1.2mm〈焼付塗装仕上〉
	ドア気密材	エチレン・プロピレンゴム〈ブラック色〉
Wガラス開き戸	ガラスドア表面材	強化ガラス 5mm(両面)
	ドアフレーム・内部補強	アルミ押出形材〈焼付塗装仕上〉
	目板	アルミ押出形材〈焼付塗装仕上〉
	召し合せ目板	亜鉛めっき鋼板 1.2mm〈焼付塗装仕上〉
	下部シール材	ドアボトム(シブタニ DB-400W)
	吊金具	ピボットヒンジ
	ドアクローザ	リョービ C0U-153/DORMA ITS96
	ロック	美和ロック LA錠/ゴール LG錠
	戸当り	床付け戸当り(エイト 0W75-301)

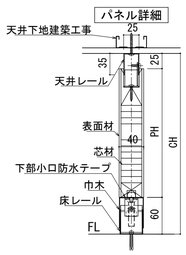


壁面納まり
(ガラス 10t)

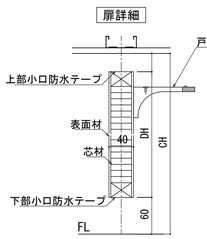


Lコーナー納まり

トイレブース詳細図　(S=1/5)

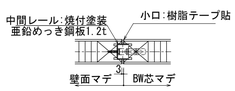


パネル詳細

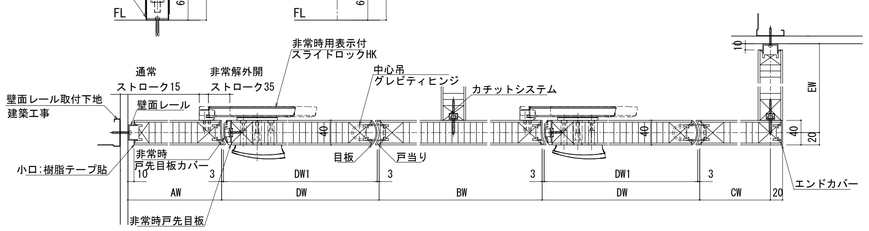


扉詳細

スクリーン端部



中間レールジョイント



内開きトイレ用扉
非常時外開き対応ドア

内開きトイレ用扉
非常時外開き対応ドア

◇仕様表

(小松ウオール　サニティTB-TPタイプ同等品)

項　目	部　材	材　料(板　厚ｍｍ)
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地:MDF)
	芯材	ペーパーコア
	目板/戸当り	アルミ押出形材〈焼付塗装仕上〉
付属品	巾木/床レール	ステンレス 0.8mm〈ヘアライン仕上〉
	天井レール	亜鉛めっき鋼板 1.2t〈焼付塗装仕上〉
	壁面レール/コーナーカバー	アルミ押出形材〈焼付塗装仕上〉
	ヒンジ	中心吊グレビティヒンジ
	ロック	非常時用表示付ｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸHK
	その他金物	戸当り帽子掛けHG

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

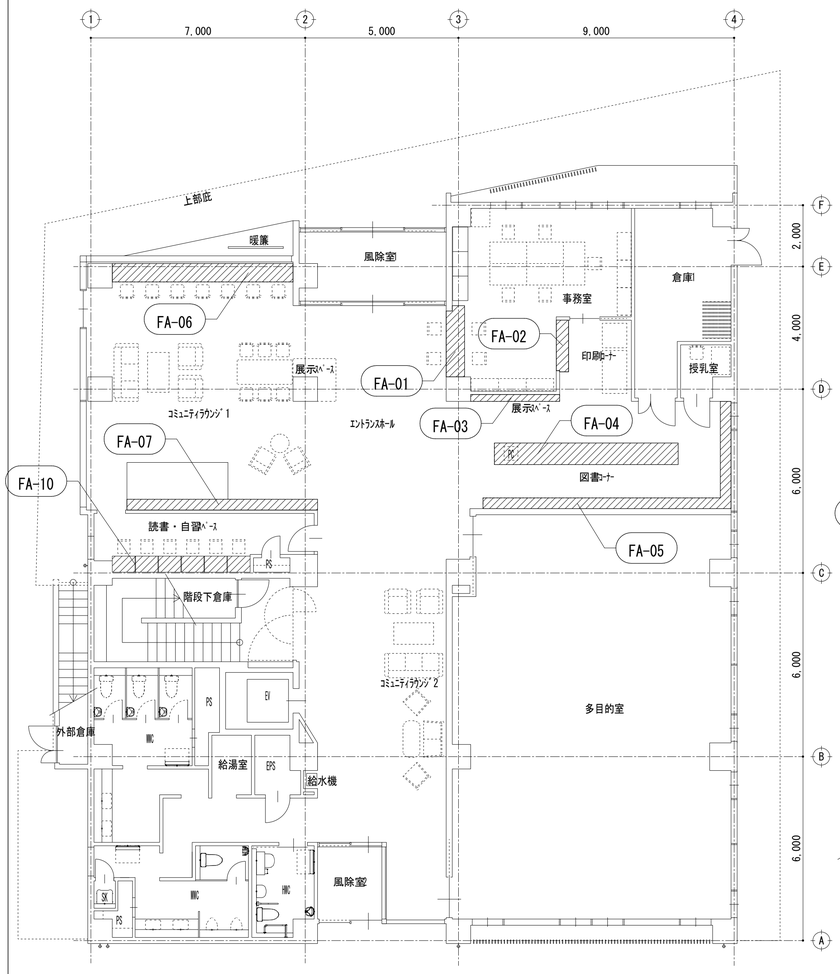
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

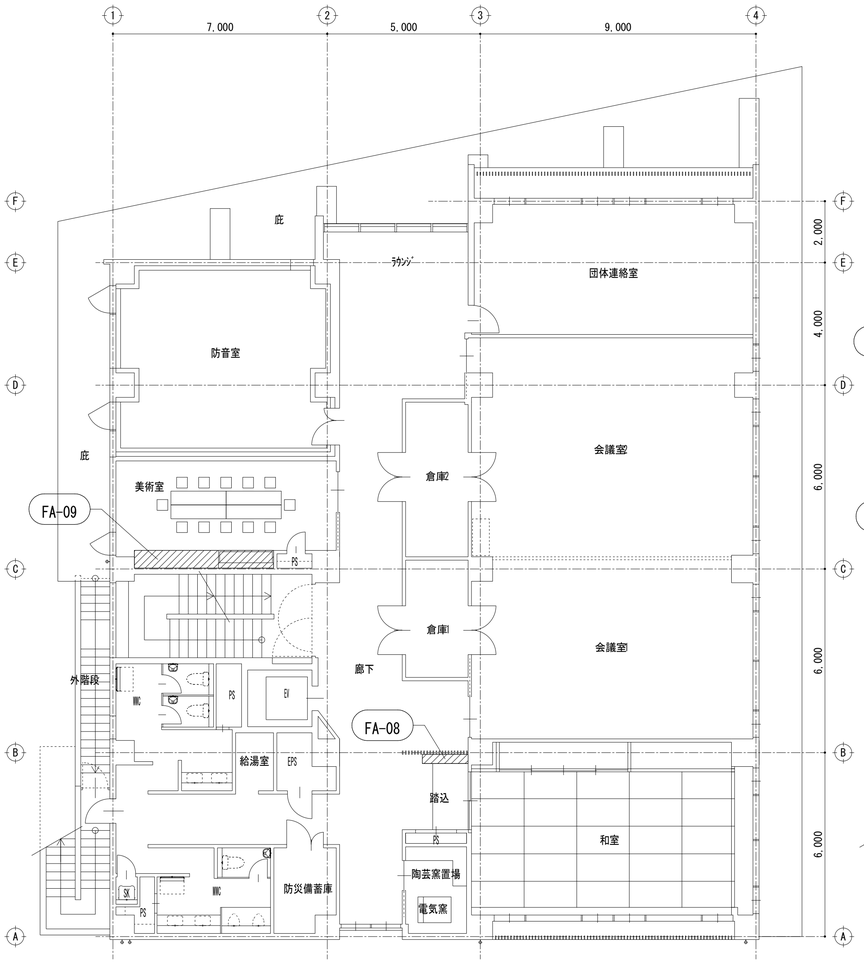
工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名
スチールパーテーション・トイレブース詳細図

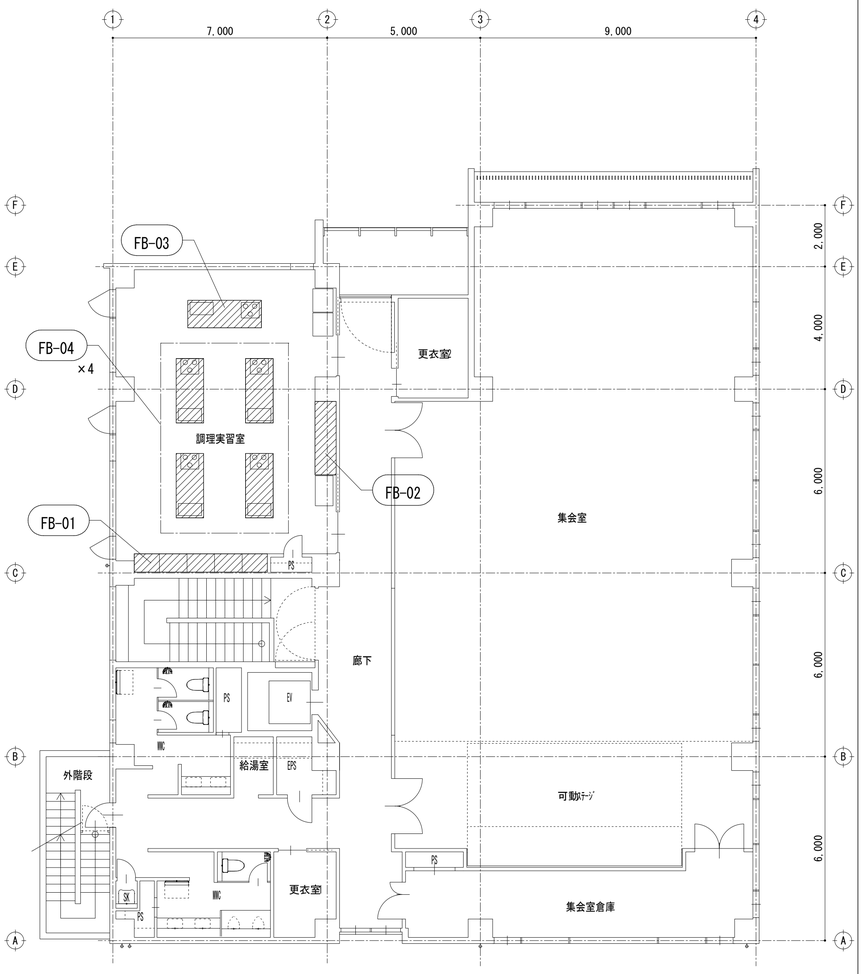
S= 1/5(A1) 1/10(A3)
DATE 2025.09
No. A-063



1階家具キープラン　S=1/100



2階家具キープラン　S=1/100



3階家具キープラン　S=1/100

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS 埼玉県知事登録 (5)第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事 / S=1/100(A1) 1/200(A3) / DATE 2025.9 / 図名 家具キープラン / No. A-064

造作家具　共通仕様　「特記なき場合は下記仕様とする」

地球温暖化を防ぐため日本の温室効果ガスの排出を実質ゼロにする
カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向けて、森林の循環利用を
持続可能にするために、国産材を積極的に活用した下記仕様とする。

天板・扉・本体：国産メジロカバ杉芯合板

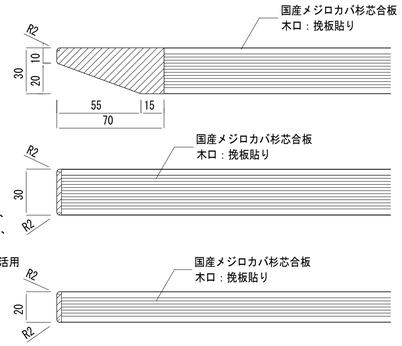
天板	国産メジロカバ杉芯合板　ウレタン塗装（つや消し）
	木口：挽板貼　同色塗装
本体	国産メジロカバ杉芯合板　ウレタン塗装（つや消し）
	背板：国産メジロカバ突板合板
	木口：突板テープ貼　同色塗装
扉・引出前板 引き違い戸	国産メジロカバ杉芯合板　ウレタン塗装（つや消し）
	木口：挽板貼　同色塗装
	ガラスが入る時は透明強化ガラスt4mmとする
棚板	国産メジロカバ杉芯合板　ウレタン塗装（つや消し）
	木口：突板テープ貼　同色塗装
台輪・支輪・目地	国産メジロカバ突板合板　ウレタン塗装（つや消し）

※　施工前に家具施工図を作成し監督者に提出、承認を受けた後、製作、施工すること。
※　国産ヒノキ材の出荷証明書等は施工前に監督者に提出する。
※「国産メジロカバ杉芯合板」について、この材料が100%国産材で作られていることを証明するため、表面材（突板）および基材（MDF）・芯材（杉合板）の「出荷証明書」を施工前に監督者に提出し、承認を受けること（※この材料名が記されていない部材を除く）
※　家具の製作工場については環境に配慮し、地球温暖化防止や水土保全のために、持続可能な森林活用・保全を行うための森林認証制度（SGEC　又はPEFC）の認証取得企業、または同工場の管理する協力工場とすること。
※　また、品質確保のためＩＳＯ９００１認定取得の国内工場、または同工場の管理する協力工場とすること。
※　国産ヒノキくんえん乾燥材については、以下の条件を満たすものとすること。
- 生木製材からロット番号管理を行い、含水率の推移を記録した乾燥履歴を保管すること。
- 乾燥工程では、全乾重量法に基づいた含水率計測を行うこと。
- 抜けそうな節（抜け節）はあらかじめ除去し、無垢材によって埋め木処理を行うこと。
- 写真で工程を説明できる資料と、埋め木材と乾燥材のサンプルを速やかに提出できること。
- 乾燥工程は品質確保のため、以下の要領によって行われていること。
  - 反りや乾燥むら、割れの軽減をする為、天然乾燥及び天然木のみを燃焼させて発生させた煙を使用した、くんえん乾燥にて予備乾燥を行う。
  - 次に約65℃前後で蒸気乾燥炉にて約一週間湿度調整し、含水率を10%前後にする。
  - 湿度調整後に養生期間を設けて含水率を12%程度まで戻した後、含水率を保持するためビニールで梱包後、保管し加工する。

※　メーカ選定の際には、仕様通りの実物サンプルを提出し、監督者承認後決定とすること。

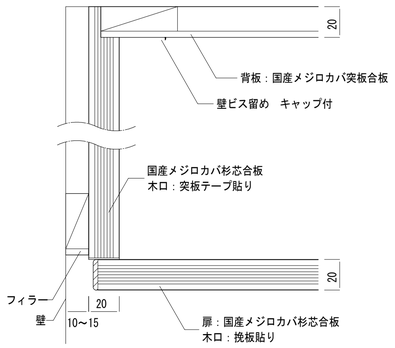
国産メジロカバ杉芯合板構成図（100%国産材）

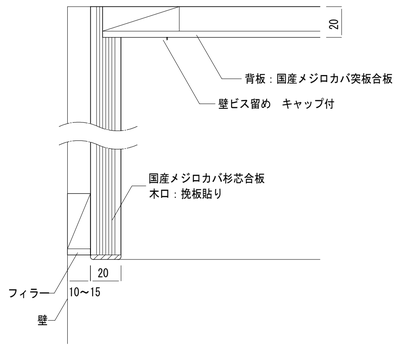
天板



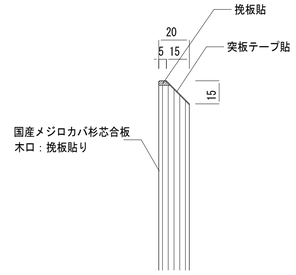
本体仕様

※　本体各部材の接合に関しては、いたずら防止と強度確保のため、部外者が安易に外せるノックダウン金物の使用は禁止とする。
※　造作家具は危険防止の為、床または壁面に取付・固定すること。
※　本体は、フィラー、支輪の現場加工取付込みとする。

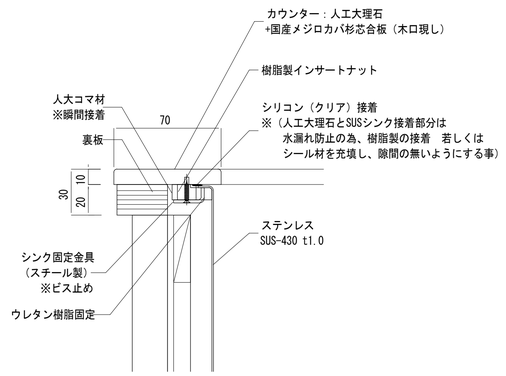




扉手掛け形状断面詳細図

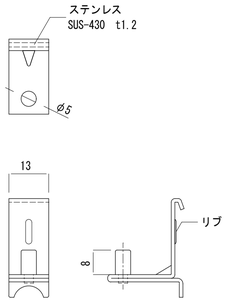


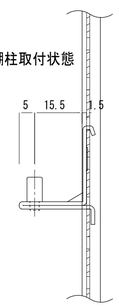
水まわり　人工大理石カウンター仕様・形状

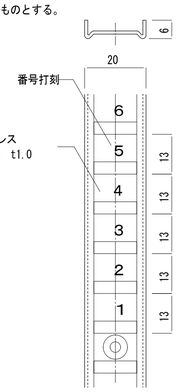


ステンレス製耐震棚受・棚柱

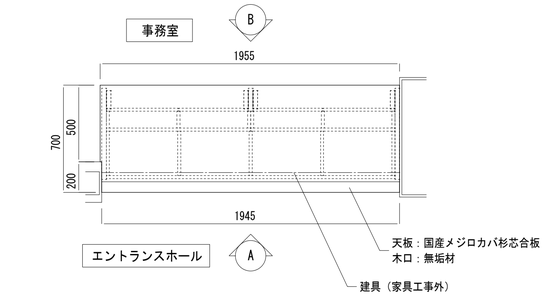
- 可動棚板または棚柱と棚受について下記の条件を満たすものとする。
- 震度6以上（JMA神戸波）を想定した特定地震波による3D加震レベル100%の振動試験において、加震後、異常がなかったものとする。
- 上記の振動試験において可動棚板の落下が無かったことについて加震後の状況写真で確認できるものとする。
- 上記の振動試験について、第三者品質性能証明機関による試験報告書の複製が提出できるものとする。

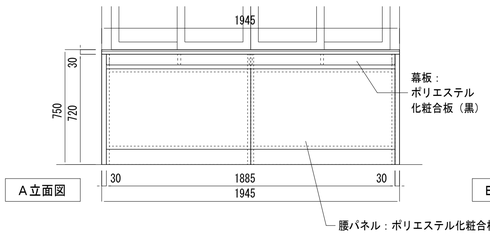


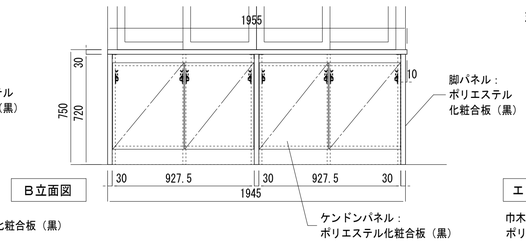


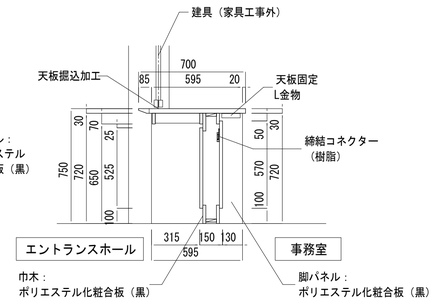


FA-01	受付カウンター	1階　エントランスホール～事務室	1カ所

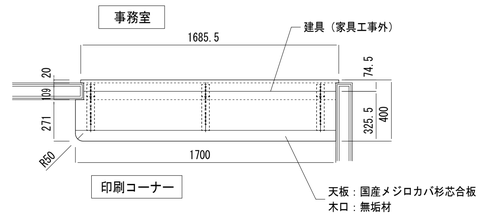


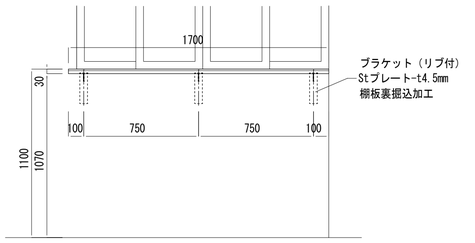


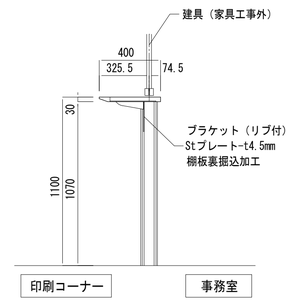




FA-02	受付カウンター	1階　印刷コーナー～事務室	1カ所







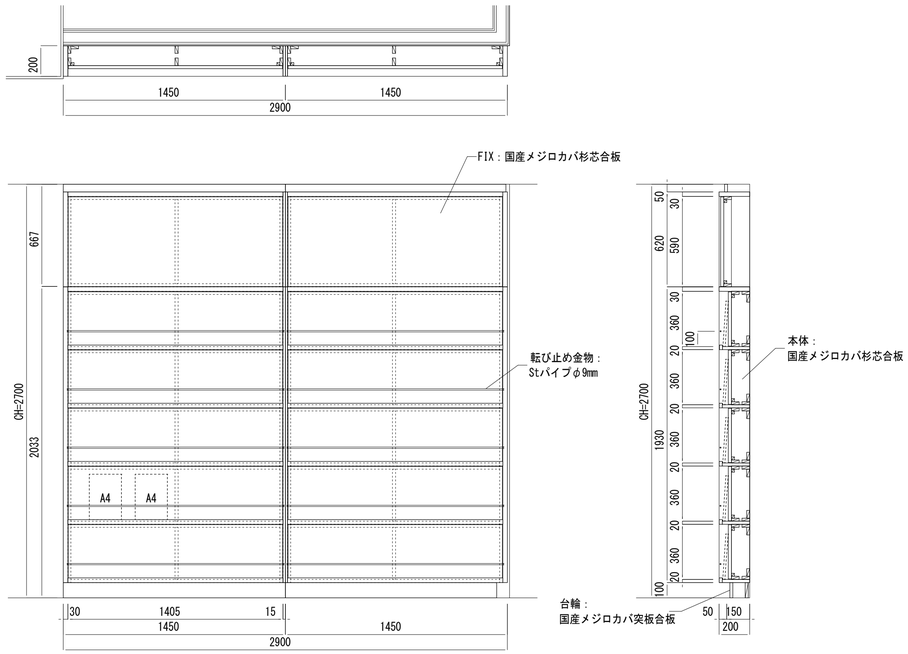
一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録（4）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号　第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

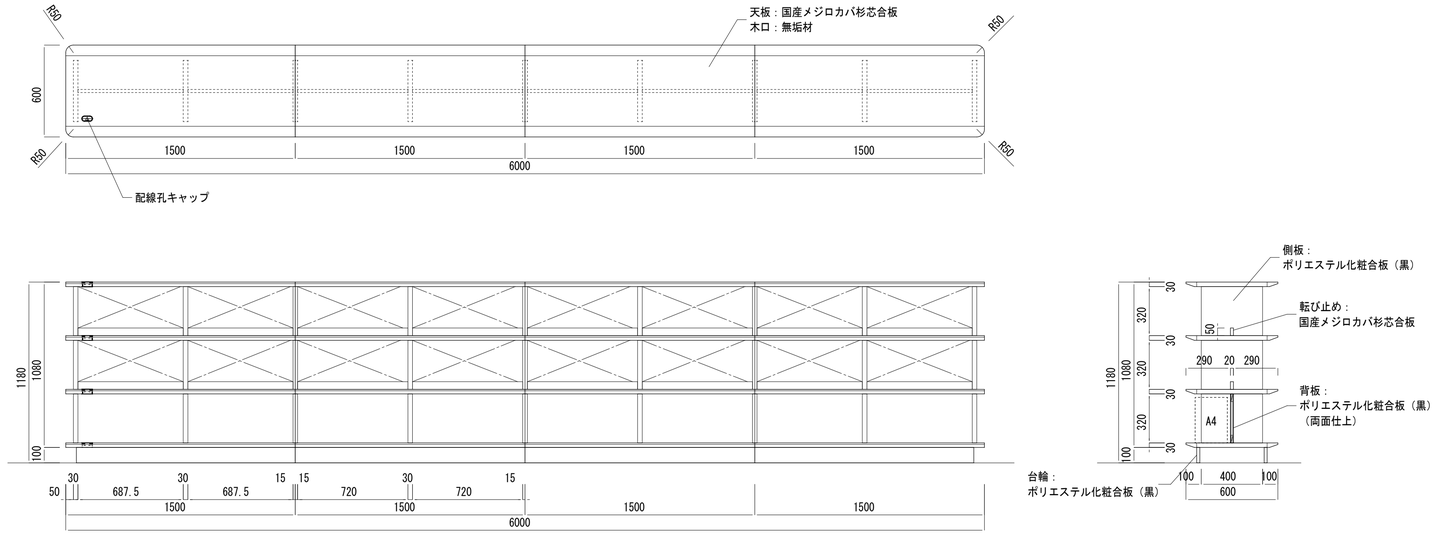
工事名：（仮称）厩市立西公民館等複合施設建設工事
図名：家具詳細図1
S= 1/20 (A1)　1/40 (A3)
DATE 2025.9
No. A-065

FA-03 展示書架



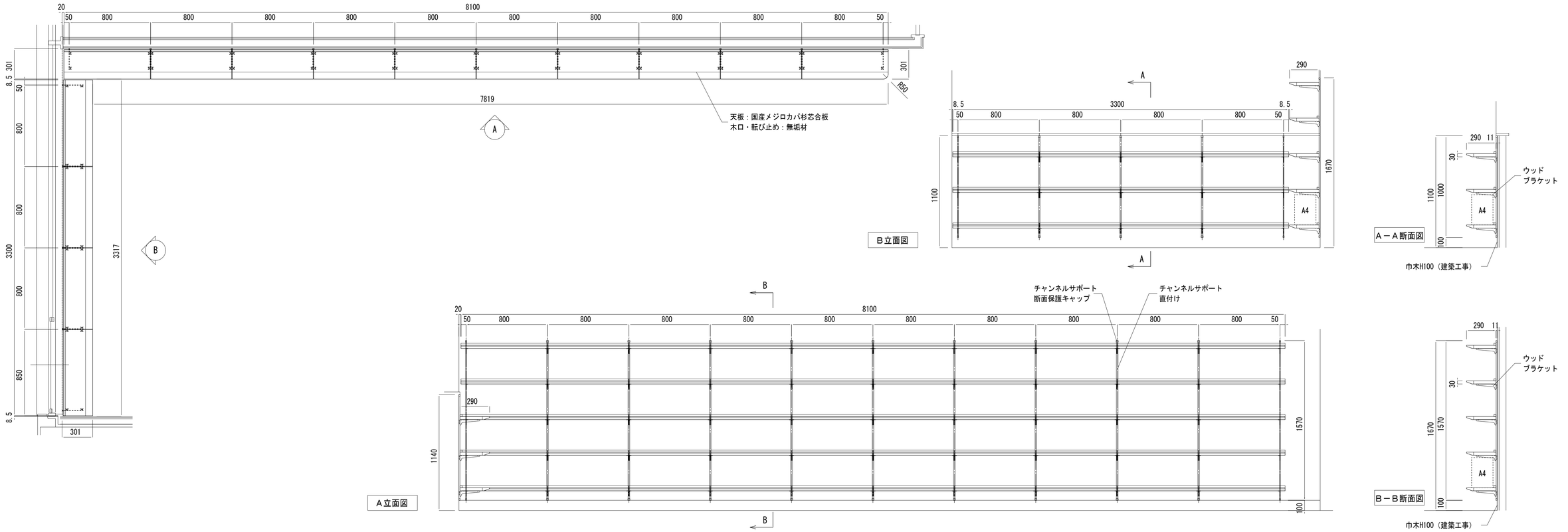
FA-04 書架

1階　図書コーナー　1カ所



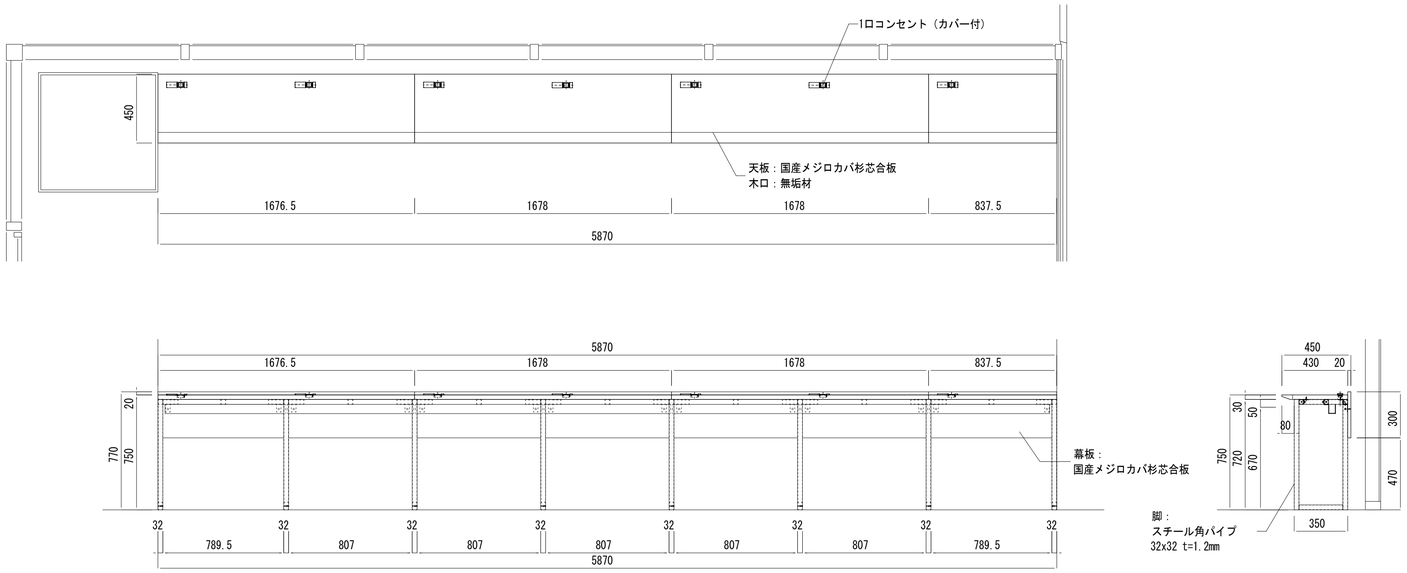
FA-05 書架

1階　図書コーナー　1カ所

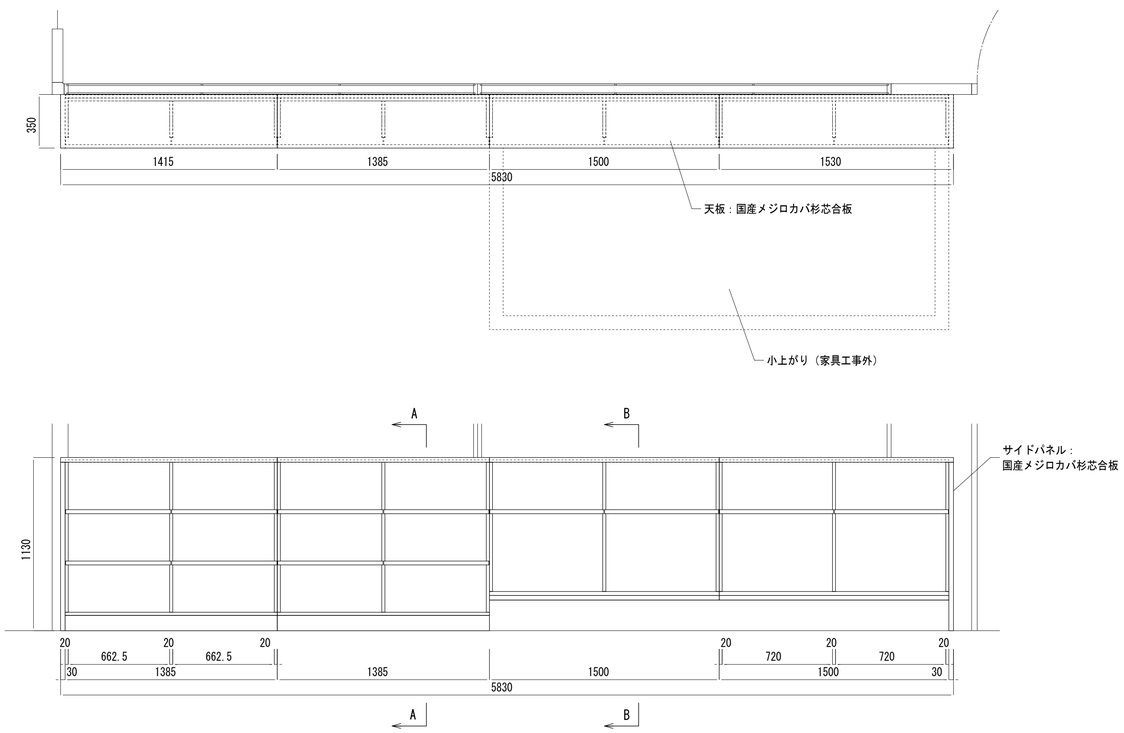


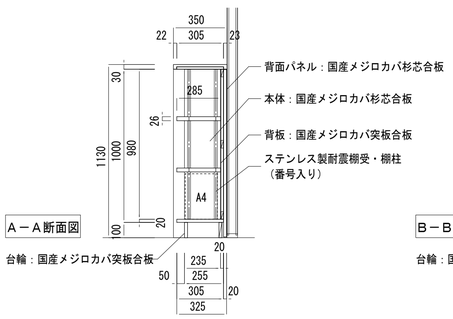
一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (4)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288
工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S=1/20(A1) 1/40(A3)				
図名 家具詳細図2	DATE 2025.9				
	No. A-066				

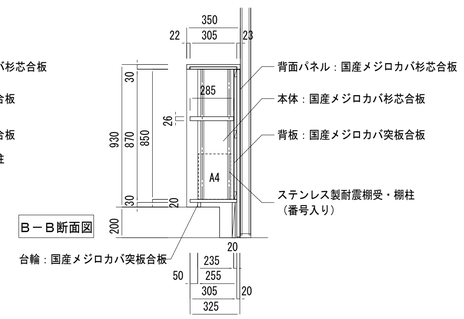
FA-06	カウンター	1階　コミュニティラウンジ1	1カ所



FA-07	書架	1階　コミュニティラウンジ1	1カ所



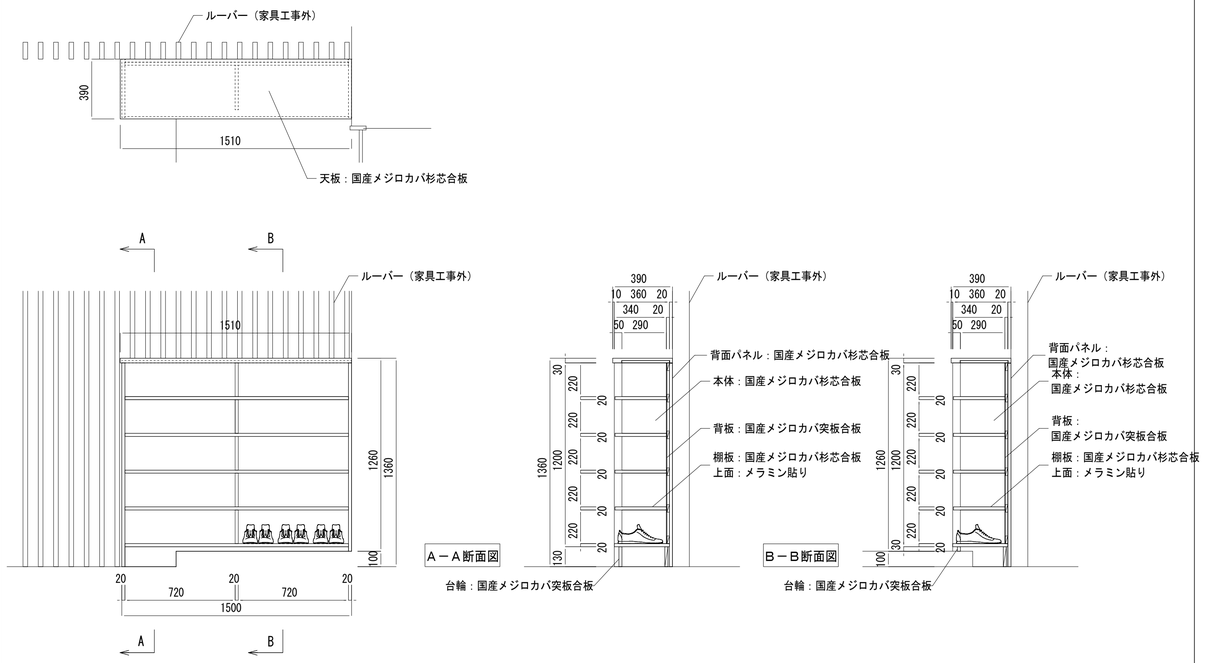




一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (4)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
						図名 家具詳細図3

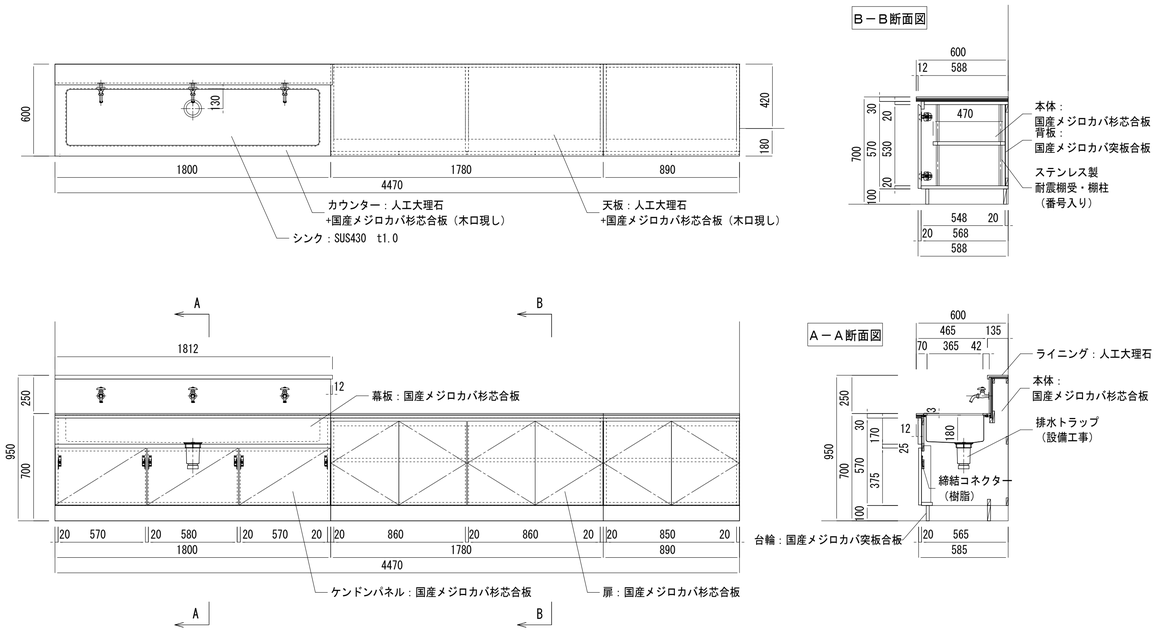
S=1/20(A1) 1/40(A3)
DATE 2025.9
No. A-067

FA-08	下足入れ	2階　和室（踏込）	1カ所

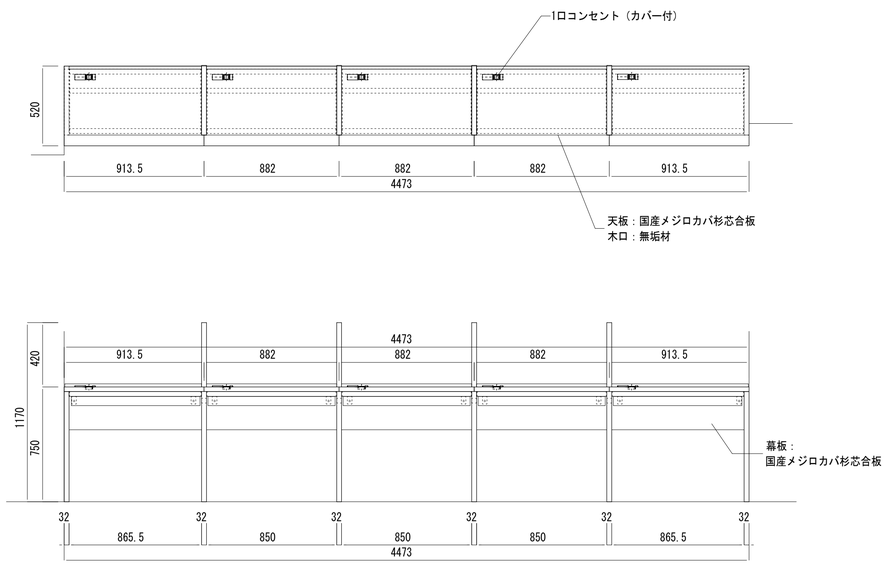


FA-09	流し台+収納棚	2階　美術室	1カ所

水栓金具・排水トラップ・シール及び接続配管等は家具工事外

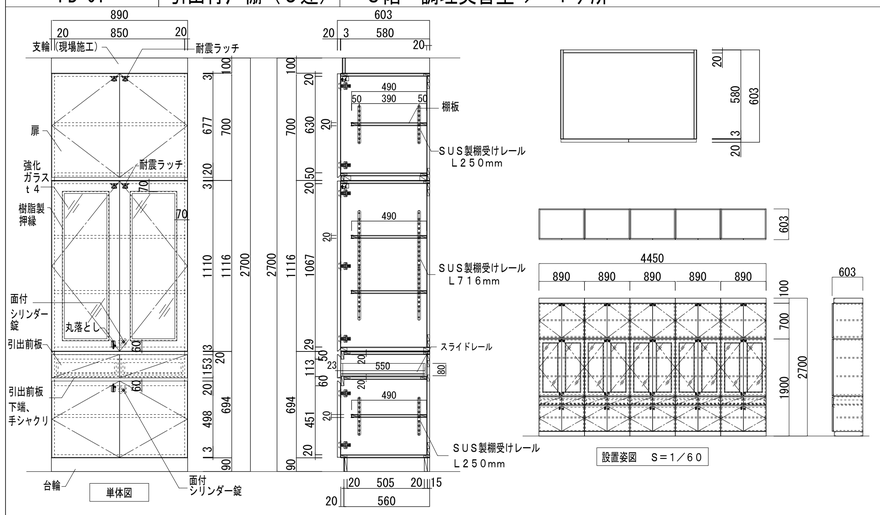


FA-10	カウンター	1階　読書・自習スペース	1カ所



一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS	埼玉県知事登録（4）第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S=1/20(A1) 1/40(A3) DATE 2025.9
						図名 家具詳細図4	No. A-068

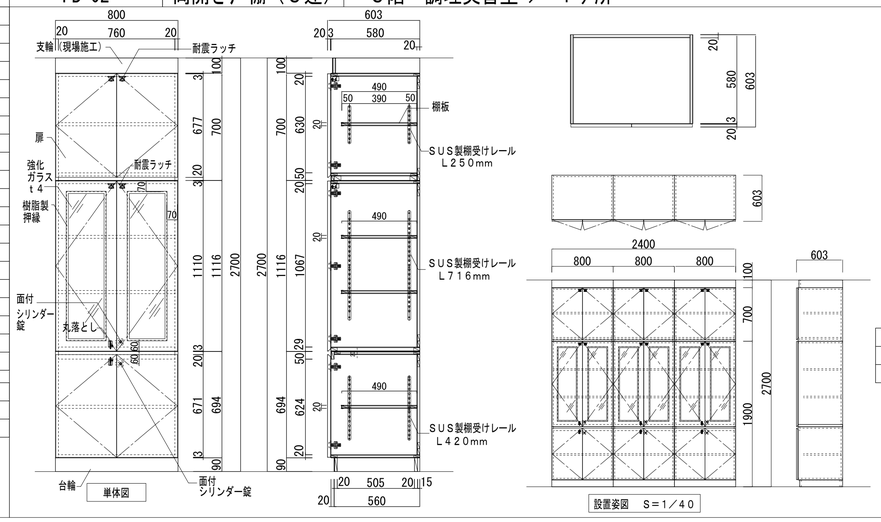
FB-01　引出付戸棚（５連）　３階　調理実習室 ／ １ヶ所



寸法	W4450×D603×H2700mm
本体	外貼り：ポリエステル化粧合板（白色）
	内貼り：ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
	背板：ポリエステル化粧合板（白色）
扉・引出前板	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
ガラス	強化ガラス t4mm
引出ボックス	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
棚板	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：見出しアルミ成型レール
台輪・支輪	ポリエステル化粧合板（白色）
金具	蝶番：105°ワンタッチ蝶番
	スライドレール：底付け２段引きレール
	SUS製棚受けレール（ピッチ30、番号入り）
	耐震ラッチ
	面付シリンダー錠・丸落とし
	樹脂製押縁
付属品	

型　番	型　式	品名
6－725－9999	XD－A06（改）	天袋
6－725－9999	XD－BC0107（改）	引出付戸棚

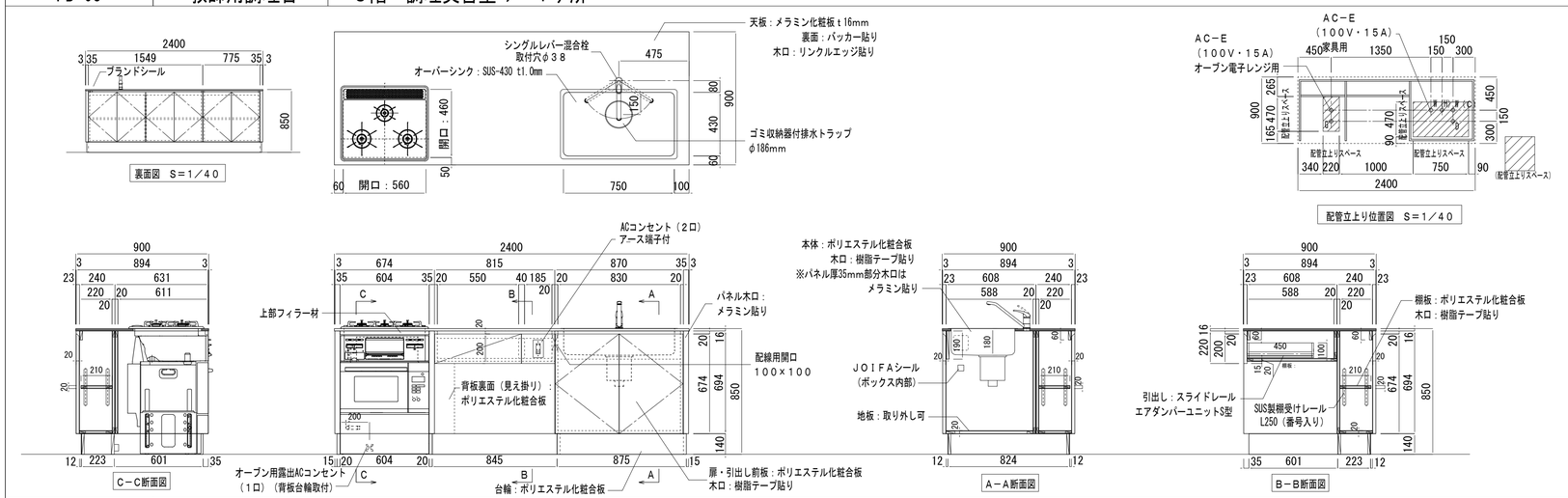
FB-02　両開き戸棚（３連）　３階　調理実習室 ／ １ヶ所



寸法	W2400×D603×H2700mm
本体	外貼り：ポリエステル化粧合板（白色）
	内貼り：ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
	背板：ポリエステル化粧合板（白色）
扉	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
ガラス	強化ガラス t4mm
棚板	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：見出しアルミ成型レール
台輪・支輪	ポリエステル化粧合板（白色）
金具	蝶番：105°ワンタッチ蝶番
	SUS製棚受けレール（ピッチ30、番号入り）
	耐震ラッチ
	面付シリンダー錠・丸落とし
	樹脂製押縁
付属品	

型　番	型　式	品名
6－725－9999	XD－A06（改）	天袋
6－725－9999	XD－BC0101（改）	両開き戸棚

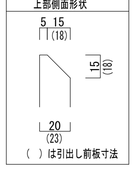
FB-03　教師用調理台　３階　調理実習室 ／ １ヶ所



配管立上り	
W（H）（給湯）	15A型（1／2）
W（C）（給水）	15A型（1／2）
D（排水）	40VP型
G（ガス）	15A型（1／2）
AC－E（電気）家具用	100V　15A
AC－E（電気）オーブン用	100V　15A

立上りは、床上70mm以内

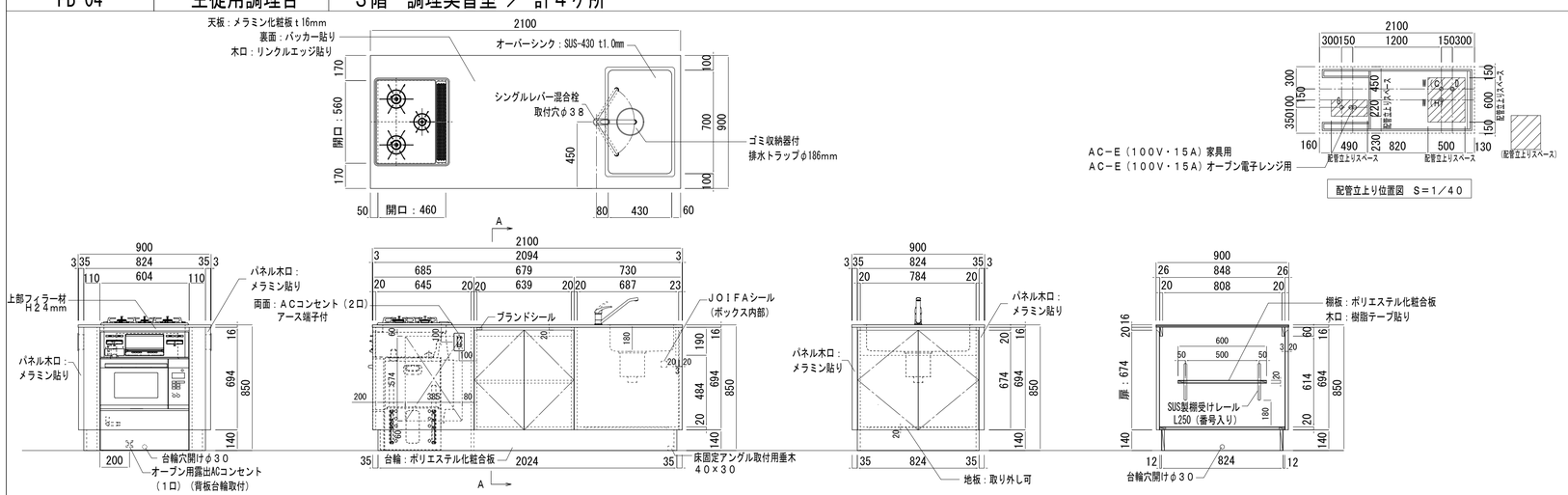
扉・引出し前板 上部側面形状



寸法	W2400×D900×H850mm
天板	メラミン化粧板t16mm（白色）　裏面：バッカー貼り
	木口：リンクルエッジ（白色）貼り
シンク	（オーバータイプ）SUS-430　t1.0mm
本体	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
	※パネル厚35mm部分の木口はメラミン化粧板（白色）貼り
扉・引出し前板	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
引出しボックス	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
棚板	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
台輪	ポリエステル化粧合板（白色）
金具	蝶番：105°ワンタッチ蝶番
	スライドレール
	エアダンパーユニット S型
	SUS製棚受けレール（番号入り）
付属品	シングルレバー混合栓　1
	排水トラップ：ゴミ収納器付　φ186mm　1
	ビルトインガスコンロ：RB31AM5H2SA－BW　1
	ビルトインガスオーブン：RBR－S15E－B 定格消費電力：1350W　1
	コンセント：AC用2口アース端子付　1
	オーブン用コンセント：露出AC1口アース端子付　1
	床固定アングル：B－1　PP樹脂成形品　2

型　番	型　式	高　さ（mm）
6－703－9999	XD－IK600（改）	850

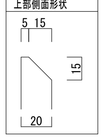
FB-04　生徒用調理台　３階　調理実習室 ／ 計４ヶ所



配管立上り	
W（H）（給湯）	15A型（1／2）
W（C）（給水）	15A型（1／2）
D（排水）	40VP型
G（ガス）	15A型（1／2）
AC－E（電気）家具用	100V　15A
AC－E（電気）オーブン用	100V　15A

立上りは、床上70mm以内

扉・引出し前板 上部側面形状



寸法	W2100×D900×H850mm
天板	メラミン化粧板t16mm（白色）　裏面：バッカー貼り
	木口：リンクルエッジ（白色）貼り
シンク	（オーバータイプ）SUS-430　t1.0mm
本体	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
	※パネル厚35mm部分の木口はメラミン化粧板（白色）貼り
扉	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
棚板	ポリエステル化粧合板（白色）
	木口：樹脂テープ（白色）貼り
台輪	ポリエステル化粧合板（白色）
金具	蝶番：105°ワンタッチ蝶番
	SUS製棚受けレール（番号入り）
付属品	シングルレバー混合栓　1
	排水トラップ：ゴミ収納器付　φ186mm　1
	ビルトインガスコンロ：RB31AM5H2SA－BW　1
	ビルトインガスオーブン：RBR－S15E－B 定格消費電力：1350W　1
	コンセント：AC用2口アース端子付　2
	オーブン用コンセント：露出AC1口アース端子付　1
	床固定アングル：B－1　PP樹脂成形品　2

型　番	型　式	高　さ（mm）
6－703－9999	XD－IS621（改）	850

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO
埼玉県知事登録（4）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名：家具詳細図5

S= 1/20(A1) 1/40(A3)　DATE 2025.9　No. A-069

サインリスト	分　類	記号	サイン名称	形式	電気	合計	外構	1階	2階	3階	備考
	外　部	EX-01	施設名称サイン A	壁付		1	1				
		EX-02	施設名称サイン B	ガラス面		1		1			
		EX-03	施設名称サイン C	壁付		1		1			
		EX-04a	施設名称サイン+駐車場誘導サイン	自立	○	1	1				基礎：建築工事　一次側電源：電気設備工事
		EX-04b	施設名称サイン+駐車場誘導サイン	自立	○	1	1				基礎：建築工事　一次側電源：電気設備工事
		EX-05	専用駐車場サイン	自立		1	1				
		EX-06	駐輪場サイン（シェアサイクル）	自立		1	1				
		EX-07	駐輪場サイン	自立		1	1				
		EX-08	定礎	壁付		1		1			
	案　内	A-01	総合案内サイン	壁付		1		1			全館案内
		A-02	フロア案内サイン	壁付		3		1	1	1	フロア案内図
		A-03	EV内案内サイン	壁付		1		1			各階案内
		A-04a	コーナーサイン（コミュニティーラウンジ1）	壁付		1		1			
		A-04b	コーナーサイン（利用案内）	壁付		1		1			
		A-04c	給水機サイン（利用案内）	壁付		1		1			
	誘　導	A-05	誘導サイン	壁付		2			1	1	
凡　例											
○	室　名	S-01	室名サインA	壁付		21		9	5	7	
⊙		S-02	室名サインB（在空表示付き）	壁付		4			4		
◇		S-03	室名サインC（突出）	突出		20		9	7	4	
		S-04	受付サイン	ガラス面		1		1			
▼		S-05	バックヤードサイン	扉付		32		9	12	11	
✹	階　数	K-01	階数表示	壁付		3		1	1	1	
⊘		K-02	踊場階数表示	壁付		2		1	1		
	その他	X-01	スタンドサイン	自立		2		2			
·····		X-02	衝突防止サイン	壁付		30m		24	2	4	
		X-03	自動ドア注意サイン	ガラス面		8		8			
		X-04a	厳市民憲章	壁付		1		1			
		X-04b	厳子供宣言	壁付		1		1			
		X-05	インターフォン+ポストサイン	門柱付		1	1				機能門柱（Miratap オストラッペ）設置

案内・室名タイプフェイス

● 和文：A-OTF リュウミン Pro M-KL 及び H-KL

いろはにほへとちりぬるを
イロハニホヘトチリヌルヲ
伊呂波仁保辺登知里奴留遠

● 英数：Helvetica Regular

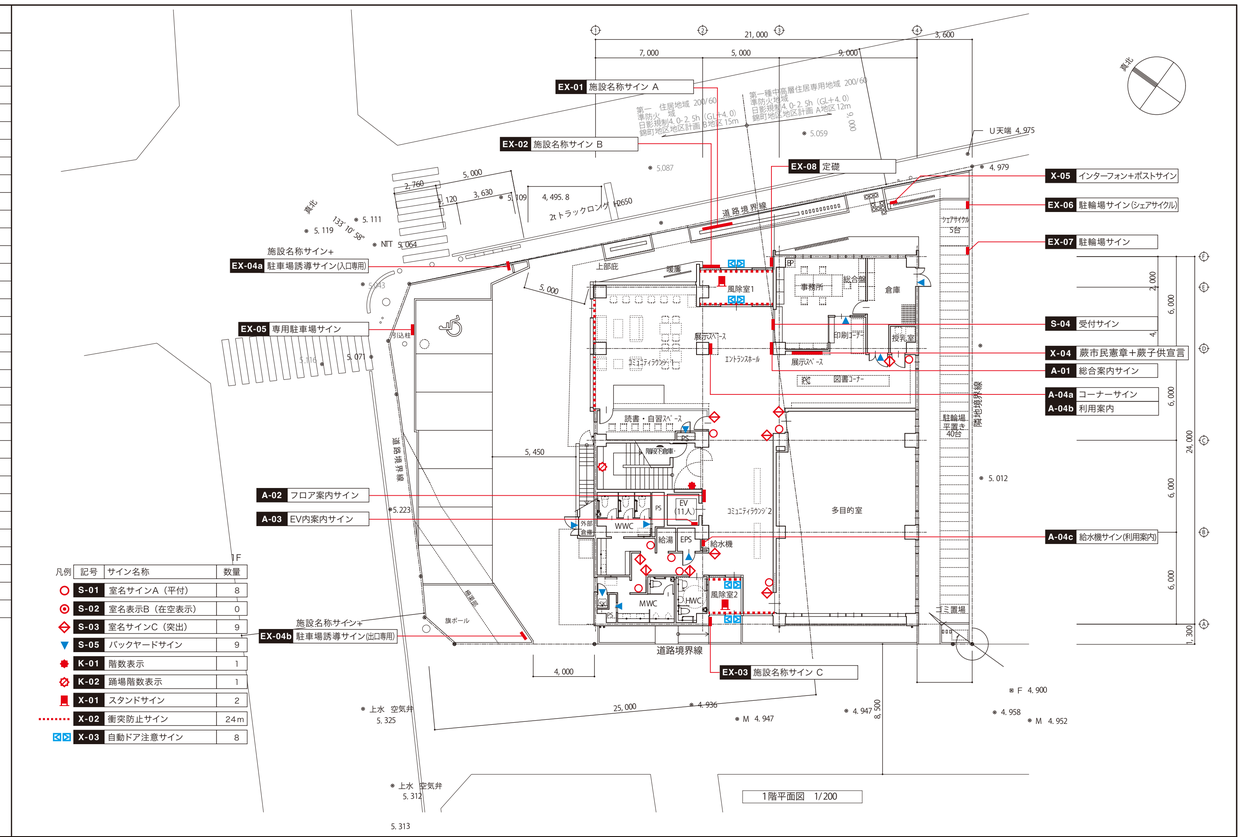
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
1234567890

施設名称タイプフェイス

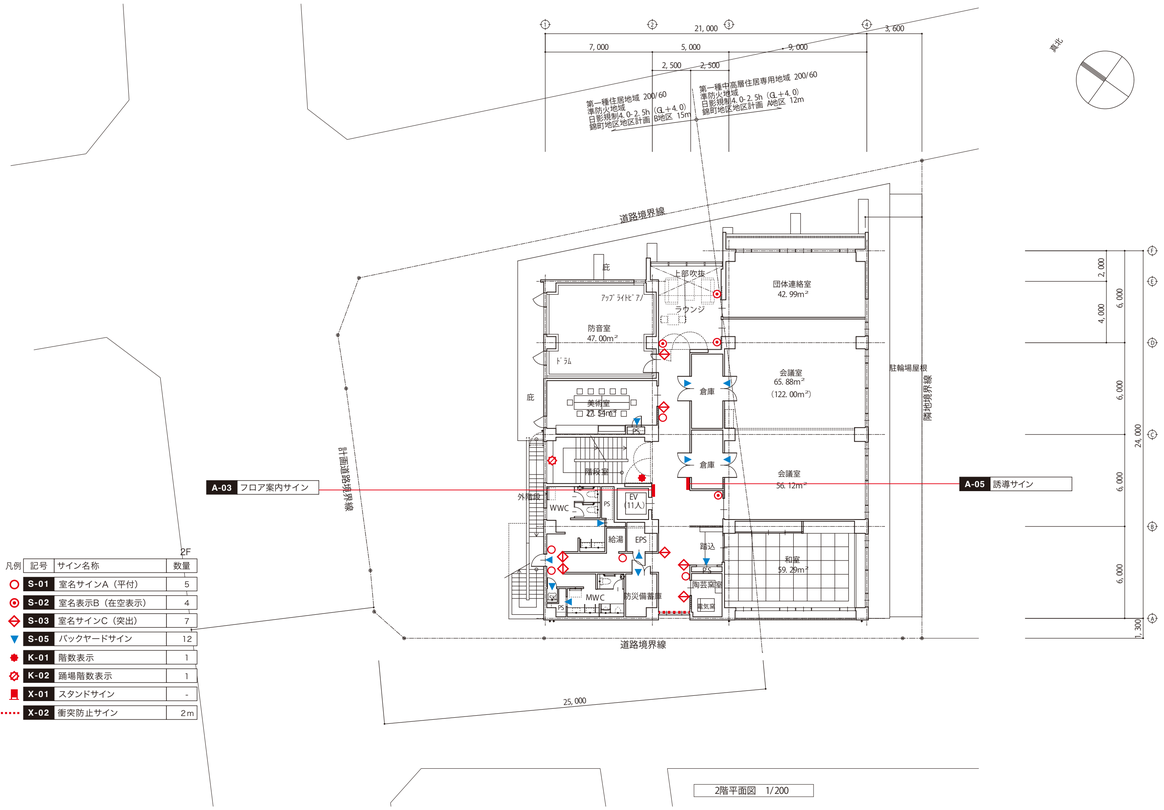
藤市立西公民館

ピクトグラム

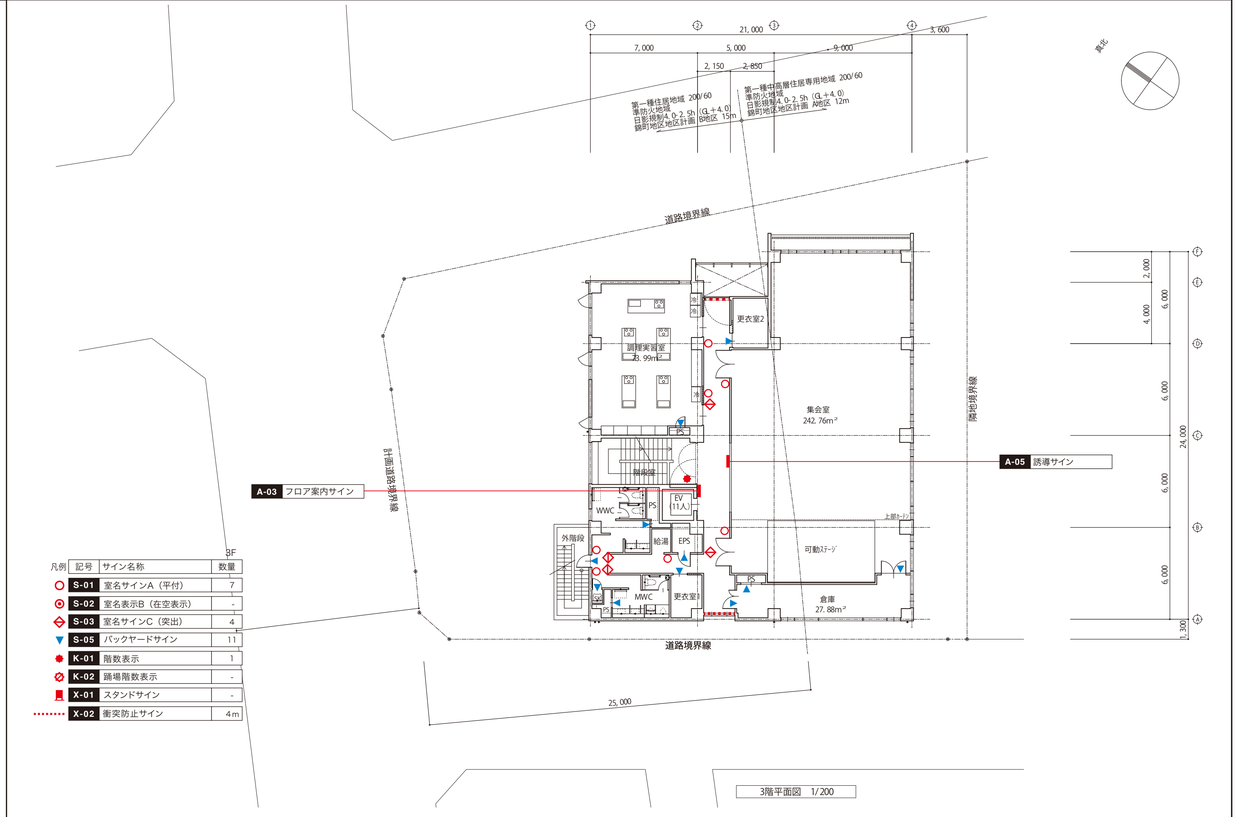
男子　女子　障がい者用　オストメイト　授乳室　エレベーター



凡例	記号	サイン名称	数量
○	S-01	室名サインA（平付）	8
⊙	S-02	室名表示B（在空表示）	0
◇	S-03	室名サインC（突出）	9
▼	S-05	バックヤードサイン	9
✹	K-01	階数表示	1
⊘	K-02	踊場階数表示	1
	X-01	スタンドサイン	2
·····	X-02	衝突防止サイン	24m
	X-03	自動ドア注意サイン	8



凡例	記号	サイン名称	数量
○	S-01	室名サインA（平付）	5
⊙	S-02	室名表示B（在空表示）	4
◇	S-03	室名サインC（突出）	7
▼	S-05	バックヤードサイン	12
✹	K-01	階数表示	1
⊘	K-02	踊場階数表示	1
	X-01	スタンドサイン	-
·····	X-02	衝突防止サイン	2m



凡例	記号	サイン名称	数量
○	S-01	室名サインA（平付）	7
⊙	S-02	室名表示B（在空表示）	-
◇	S-03	室名サインC（突出）	4
▼	S-05	バックヤードサイン	11
✹	K-01	階数表示	1
⊘	K-02	踊場階数表示	-
	X-01	スタンドサイン	-
·····	X-02	衝突防止サイン	4m

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS　埼玉県知事登録（5）第8878号　株式会社 カトウ建築事務所　一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S=1/100(A1) 1/200(A3)
					図　名 サインキープラン	DATE 2025.07.25
						No. A-070

	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
EX-01	施設名称サインA	1	壁付	1/10	外構擁壁

表　示：SUS t5.0 切文字加工
焼付塗装仕上
（日塗工19-30A ダークグレー）
固　定：スタットボルト（ボンド併用）

	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
EX-02	施設名称サインB	1	ガラス面	1/10　1/60	北側メインエントランス

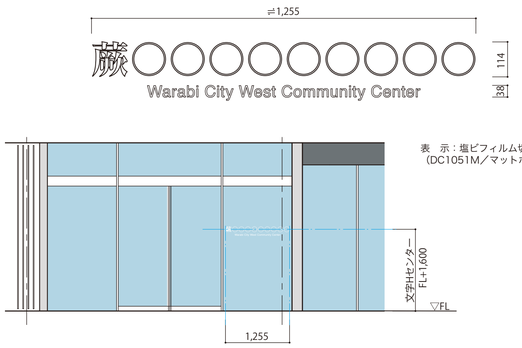


表　示：塩ビフィルム切文字貼
（DC1051M／マットホワイト）

	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
EX-03	施設名称サインC	1	壁付	1/10　1/6	南側エントランス

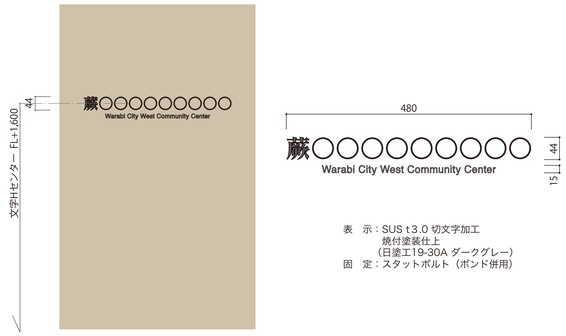
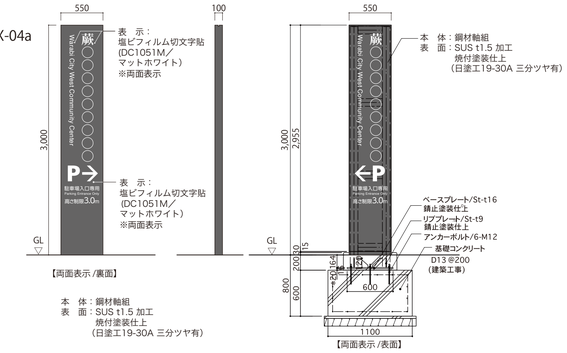


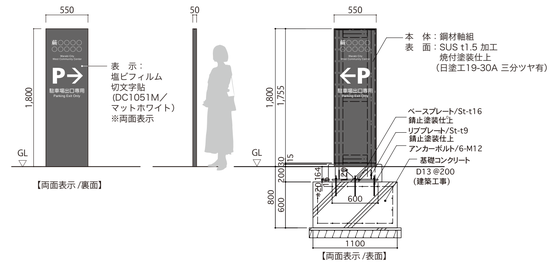
表　示：SUS t3.0 切文字加工
焼付塗装仕上
（日塗工19-30A ダークグレー）
固　定：スタットボルト（ボンド併用）

	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
EX-04a	施設名称サイン+駐車場誘導サイン	1	自立	1/40	入口専用
EX-04b	施設名称サイン+駐車場誘導サイン	1	自立	1/40	出口専用

EX-04a



EX-04b



	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
EX-05	専用駐車場サイン	1	壁付	1/10	隣地境界部RC壁付

表　示：SUS t3.0 切文字加工
焼付塗装仕上
（日塗工19-30A
ダークグレー
固　定：スタットボルト（ボンド併用）

	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
EX-06	駐輪場サイン（シェアサイクル）	1	自立	1/10	
EX-07	駐輪場サイン	1	自立	1/10	

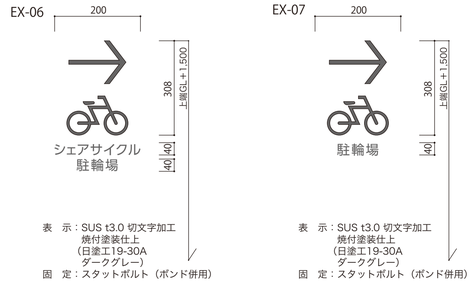
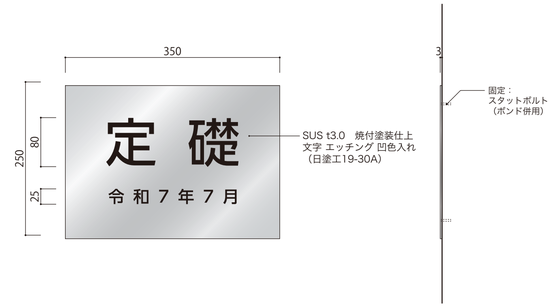


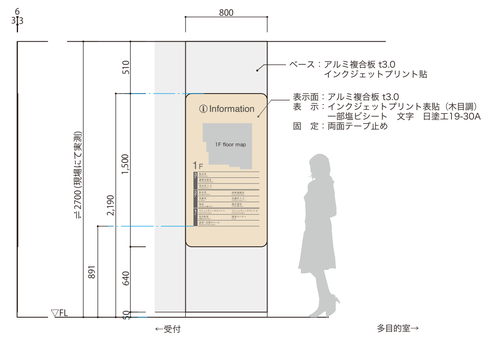
表　示：SUS t3.0 切文字加工
焼付塗装仕上
（日塗工19-30A
ダークグレー）
固　定：スタットボルト（ボンド併用）

表　示：SUS t3.0 切文字加工
焼付塗装仕上
（日塗工19-30A
ダークグレー）
固　定：スタットボルト（ボンド併用）

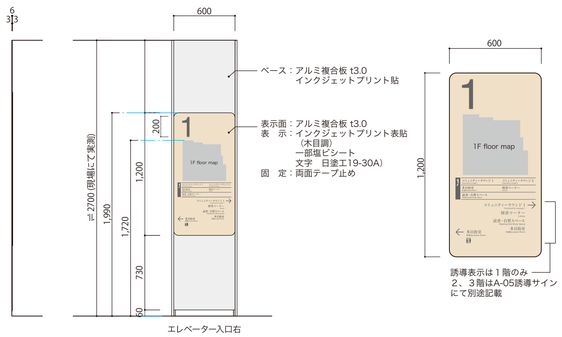
	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
EX-08	定礎	1	壁付	1/4	



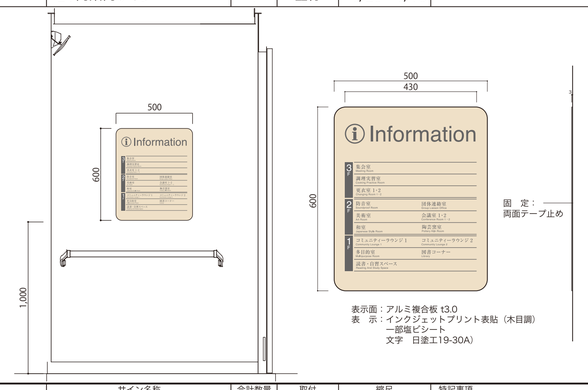
	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
A-01	総合案内サイン	1	壁付	1/30	



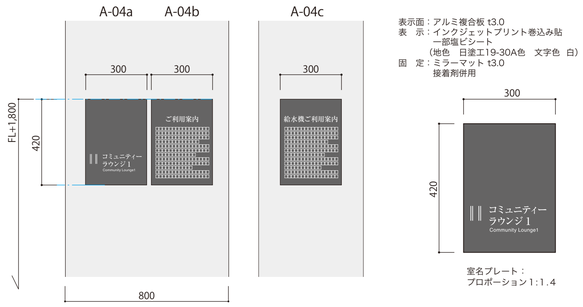
	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
A-02	フロア案内サイン	3	壁付	1/30　1/20	



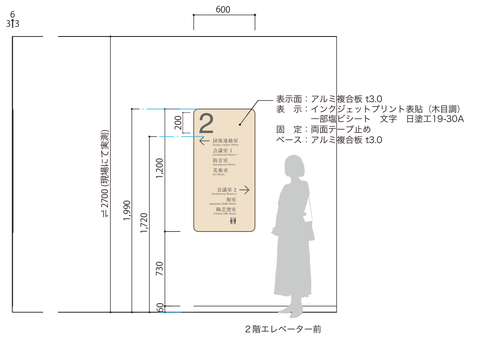
	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
A-03	EV内案内サイン	1	壁付	1/20　1/10	



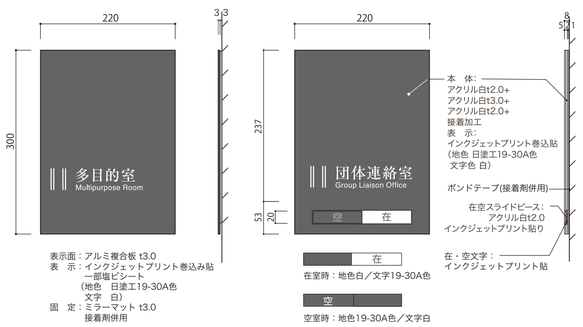
	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
A-04a	コーナーサイン（コミュニティーラウンジ1）	1	壁付	1/15　1/10	
A-04b	コーナーサイン（利用案内）	1	壁付	1/15	
A-04c	給水機サイン（利用案内）	1	壁付	1/15	



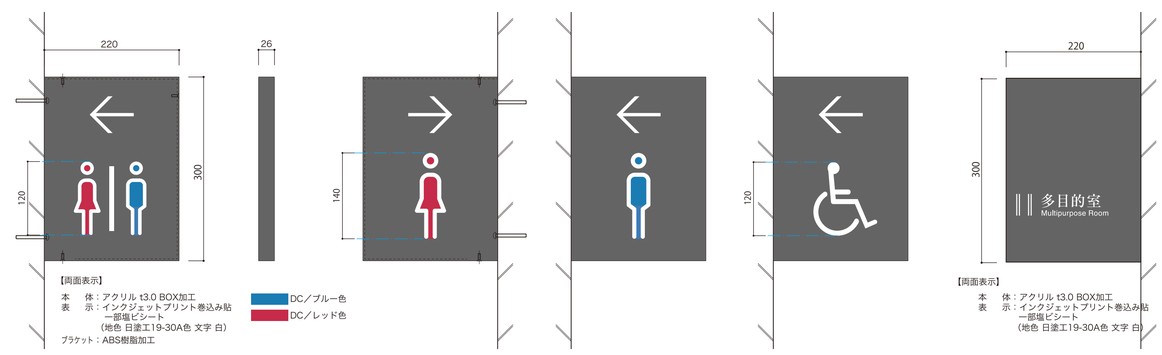
	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
A-05	誘導サイン	2	壁付	1/30	



	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
S-01	室名サインA	21	壁付	1/5	
S-02	室名サインB（在空表示付き）	4	壁付	1/5	



	サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
S-03	室名サインC（突出）	20	壁付	1/5	



一級建築士事務所
KATO
ARCHITECTURE STUDIO
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号　第3小池ビル
TEL 048-762-9762
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

S=1/100(A1)
1/200(A3)

DATE
2025.07.25

図　名
サイン詳細図1

No.
A-071

S-04

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
受付サイン	1	ガラス面	1/3	

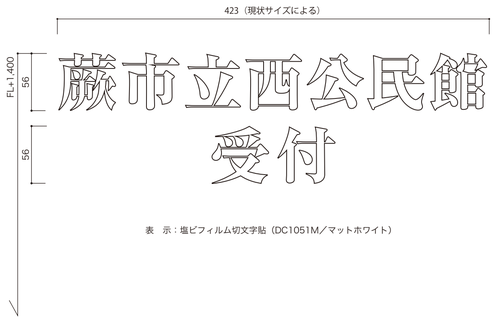
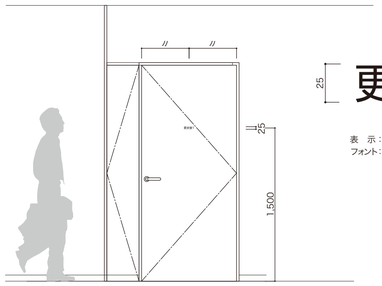


表　示：塩ビフィルム切文字貼（DC1051M／マットホワイト）

S-05

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
バックヤードサイン	32	扉付	1/2　1/30	



更衣室1

表　示：塩ビフィルム切貼（DC9027／ダークグレイ）
フォント：バックヤードのみ　UD新ゴシック R

K-01

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
階数表示	3	壁付	1/6	

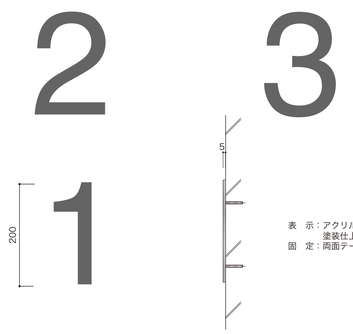


表　示：アクリル t5.0 切文字加工
塗装仕上（日塗工19-30A）
固　定：両面テープ止め

K-02

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
踊場階数表示	2	自立	1/10	

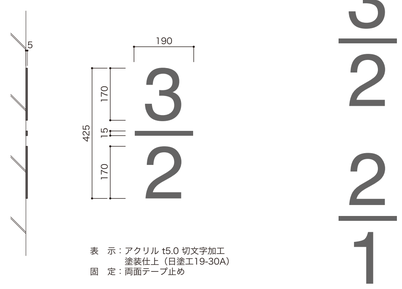
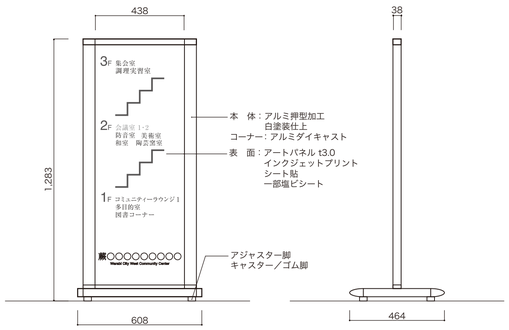


表　示：アクリル t5.0 切文字加工
塗装仕上（日塗工19-30A）
固　定：両面テープ止め

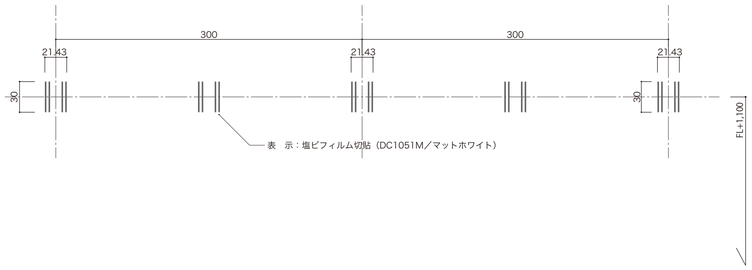
X-01

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
スタンドサイン	2	自立	1/15	



X-02

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
衝突防止サイン	30m	ガラス面	1/30	



X-03

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
自動ドア注意サイン	8	ガラス面	1/2	

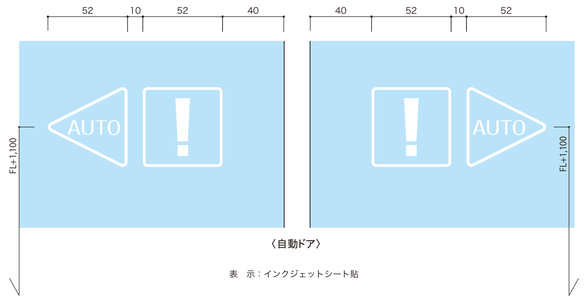
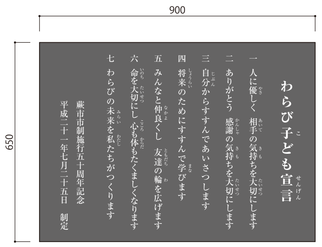


表　示：インクジェットシート貼

X-04a

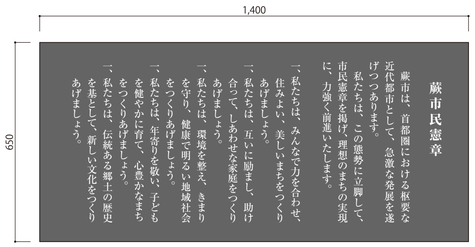
サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
藤市民憲章	1	壁付	1/10	並列右



X-04b　表示面：アルミ複合板 t3.0
表　示：インクジェットプリント巻込み貼
（地色　日塗工19-30A色　文字色　白）
固　定：ミラーマット t3.0　接着剤併用

X-04b

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
藤子供宣言	1	壁付	1/10	並列左



X-04a　表示面：アルミ複合板 t3.0
表　示：インクジェットプリント巻込み貼
（地色　日塗工19-30A色　文字色　白）
固　定：ミラーマット t3.0　接着剤併用

X-05

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
インターフォン＋ポストサイン	1	門柱付	1/4	機能門柱（Miratap オストラッペ）設置

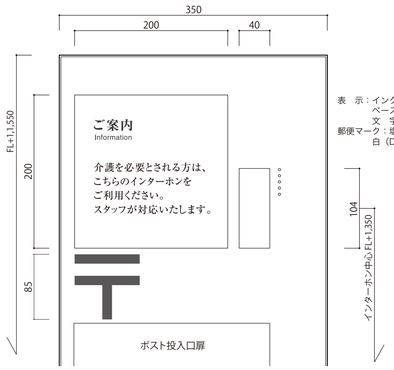


表　示：インクジェットシート貼
ベースカラー：オストラッペ類似色
文　字：白
郵便マーク：塩ビフィルム切り文字貼り
白（DC1051M／マットホワイト）

-

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
			/	

-

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
			/	

-

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
			/	

-

サイン名称	合計数量	取付	縮尺	特記事項
			/	

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEM
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

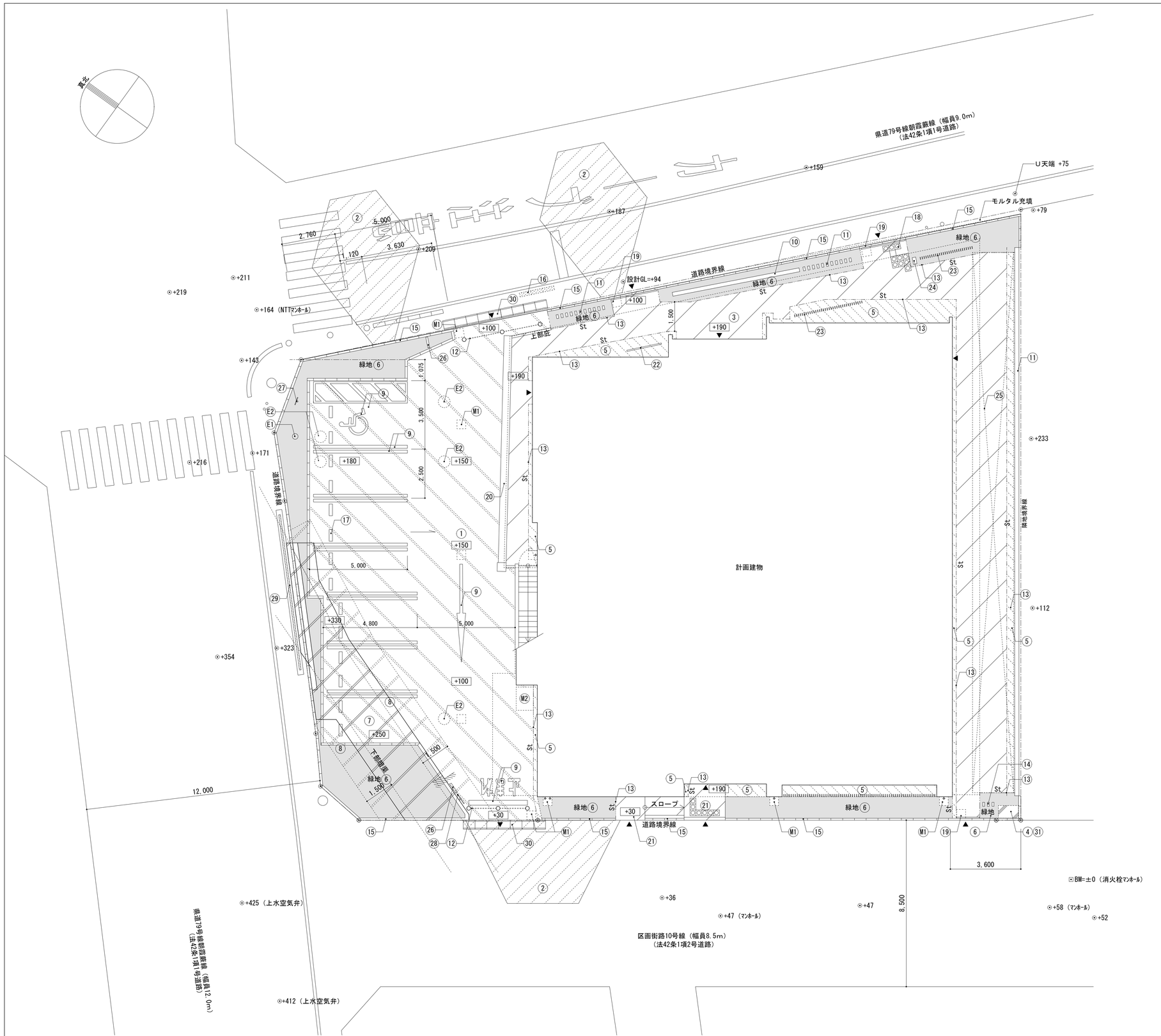
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号　第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名　（仮称）藤市立西公民館等複合施設建設工事

図　名　**サイン詳細図2**

S=1/100(A1)
1/200(A3)
DATE 2025.07.25
No. A-072



番号	凡 例		総数量
①		アスファルト舗装	219m2
②		車道アスファルト舗装【撤去・新設】、路面標示舗装共	―
③		透水性高炉スラグ舗装 歩行用	139m2
④		コンクリート舗装 t=150 溶接金網φ6.0 150×150	0.7m2
⑤		砕石敷 t=100	36m2
⑥	緑地	緑地：緑化計画図による	81.4m2
⑦		暗渠部コンクリートスラブ t=180下地	―
⑧		地盤改良 GL-1.5m	39.2m2
⑨		路面表示塗装	―
⑩		コンクリート塀1 H=800 砂壁状意匠性塗材 化粧目地切@2,000	6.6m
⑪		コンクリート塀2 H=1,800 打放フッ素樹脂クリア 化粧目地切@2,000	28m
⑫		上下式ステンレスポールバリカー バリアフリータイプ φ76.3 H=690 片フック・ステンレスチェーン付	6箇所
⑬	St	外構用スチール見切材	121m
⑭		自然石柱	25本
⑮		地先境界ブロック PC製 100×100×600	109m
⑯		歩車境界ブロック PC製 150×190×200【撤去】	1.8m
⑰		車止めブロック PC製アンカータイプ（反射板付）200×600 H=100	14箇所
⑱		□300 注意喚起ブロック	警告:17箇所 誘導:1箇所
⑲		鋳鉄製スリット溝蓋 スリットW60、集水桝蓋 細目タイプ 滑り止め模様付 T-2、U字溝、集水桝共	溝蓋:4.3m 集水桝蓋:3箇所
⑳		鋳鉄製溝蓋 W400、集水桝蓋 細目タイプ 滑り止め模様付 R-5、U字溝、集水桝共	11.5m
㉑	スロープ	スロープ 勾配1/12、階段 透水性高炉スラグ舗装 歩行用（カッター入共） 勾配1/12	―
㉒		蕨双子織暖簾	1箇所
㉓		目隠しルーバー	―
㉔		機能門柱（インターホン、ポスト）	1箇所
㉕		アルミ製既製品駐輪場	1箇所
㉖		サイン（サイン図参照）	2箇所
㉗		避難所看板 自立式 H2600 表示面W400×H600（超高輝度蓄光表示板） 支柱 φ76.3	1箇所
㉘		カーブミラー 自立式 H3000 角型W600×H500 一面鏡 支柱 φ76.3	1箇所
㉙		スチールメッシュフェンス H=1200 W=8000【撤去】 コンクリート基礎【既存のまま】	1箇所
㉚		コンクリート製横断側溝 t=100【撤去・新設】	9.6m
㉛		備品）自動販売機	1箇所
㉜			
㉝			
㉞			
㉟			
E1	○	電気設備）引込柱	
E2		電気設備）ハンドホール	
M1		機械設備）雨水枡	
M2		機械設備）量水器	
	***	計画レベル	
	⊙****	現状レベル	
	⊡BM=±0	ベンチマーク	

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&DESIGN
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

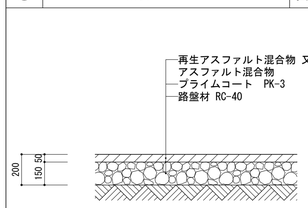
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

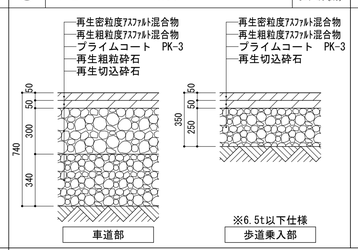
図 名
外構図

S= 1/100(A1) 1/200(A3)
DATE 2025.09
No. A-073

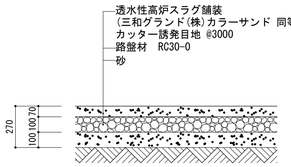
① アスファルト舗装
S=1:20(A1) S=1:40(A3)



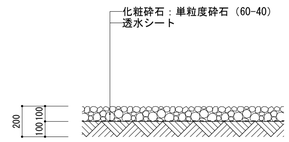
② 車道アスファルト舗装
S=1:20(A1) S=1:40(A3)



③ 透水性高炉スラグ舗装
S=1:20(A1) S=1:40(A3)

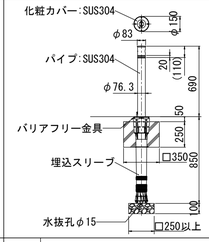


⑤ 砕石敷
S=1:20(A1) S=1:40(A3)

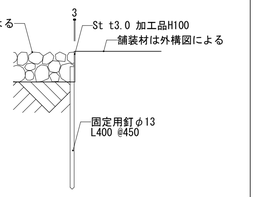


※砕石は水洗浄後敷き込み

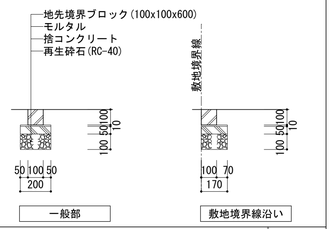
⑫ 上下式ステンレスポールバリカー
S=1:20(A1) S=1:40(A3)



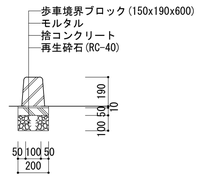
⑬ 外構用スチール見切材
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



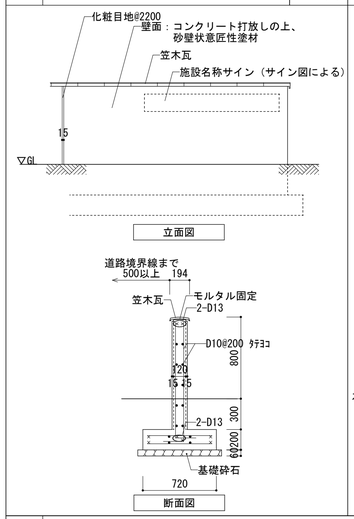
⑮ 地先境界ブロック
S=1:20(A1) S=1:40(A3)



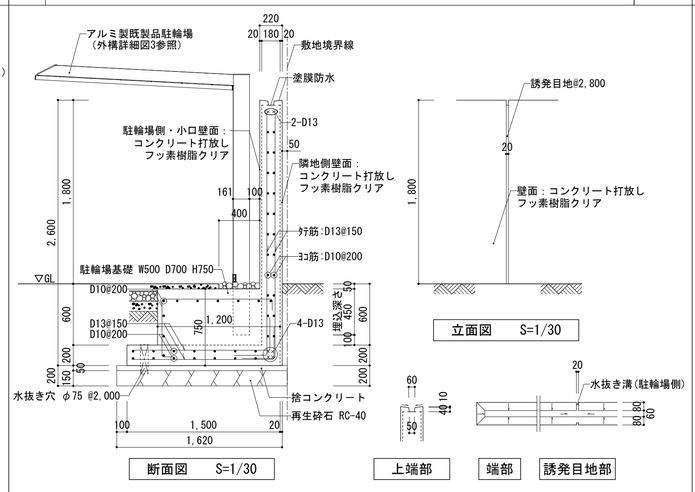
⑯ 歩車境界ブロック
S=1:20(A1) S=1:40(A3)



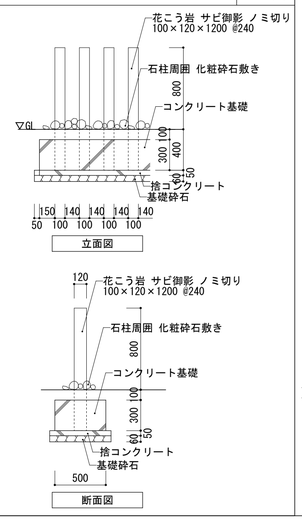
⑩ コンクリート塀1
S=1:30(A1) S=1:60(A3)



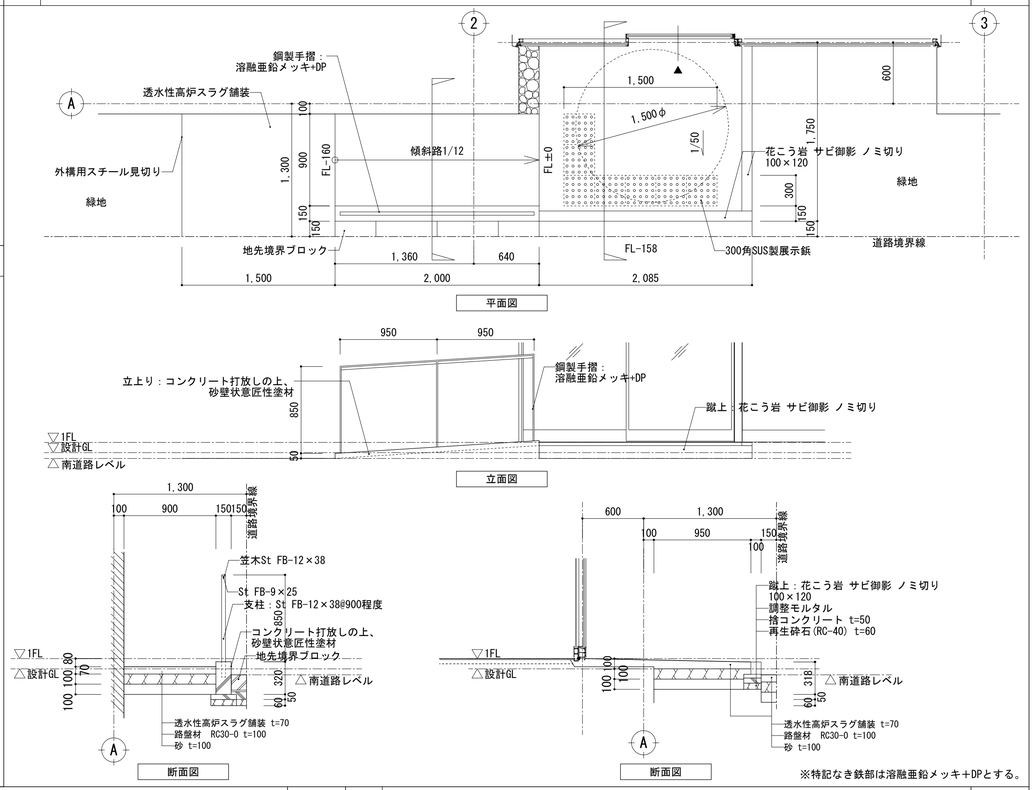
⑪ コンクリート塀2
S=1:30(A1) S=1:60(A3)



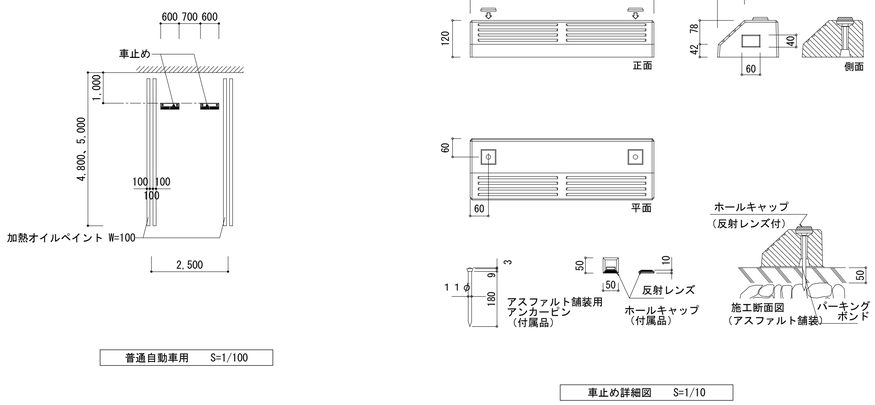
⑭ 自然石柱
S=1:30(A1) S=1:60(A3)



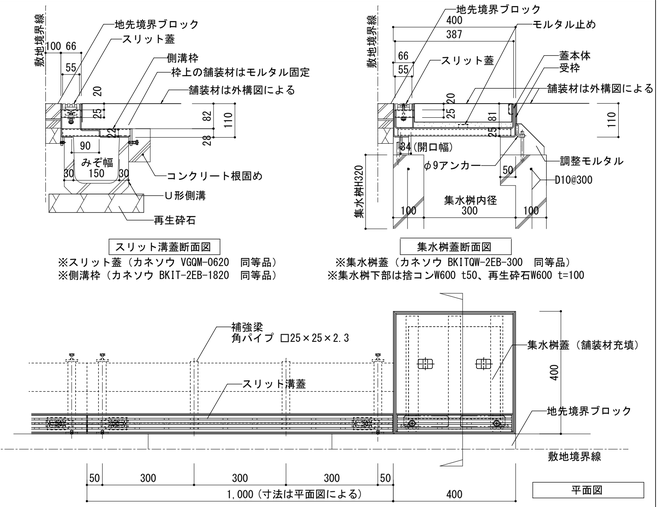
㉑ スロープ
S=1:30(A1) S=1:60(A3)



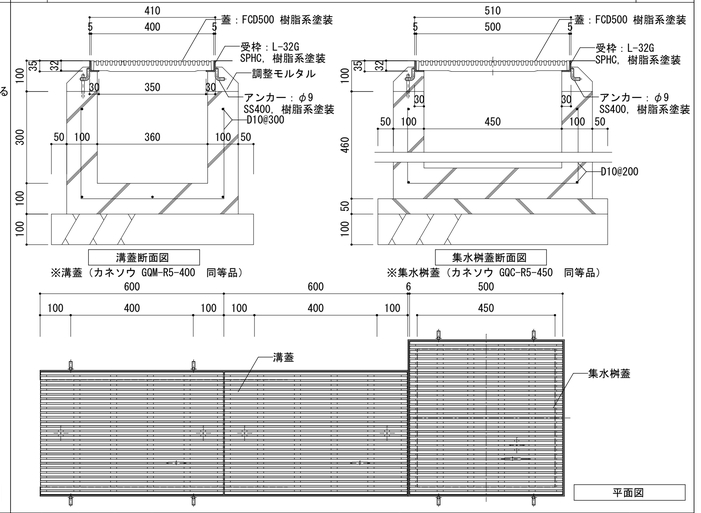
⑰ 車止めブロック
S=1:10,100(A1) S=1:20,200(A3)



⑲ 鋳鉄製スリット溝蓋、集水桝蓋
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



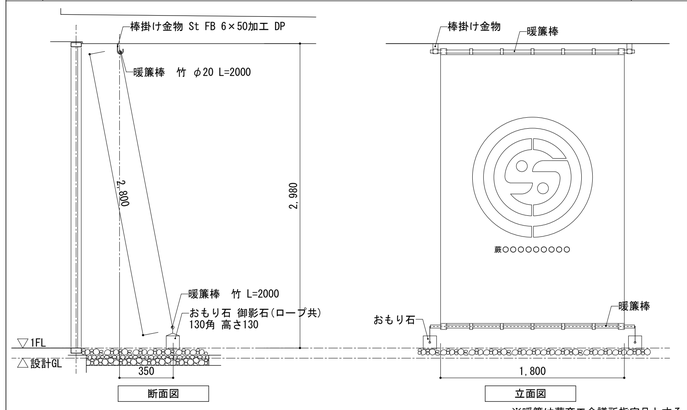
⑳ 鋳鉄製溝蓋、集水桝蓋
S=1:10(A1) S=1:20(A3)



一級建築士事務所 KATO ARCHITECTURE STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 埼玉県知事登録 (5)第8878号 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南木町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 (仮称) 蕨市立西公民館等複合施設建設工事 / 図名 外構詳細図1 / S= 図示 / DATE 2025.09 / No. A-074

㉒ 蕨双子織暖簾

S=1:30(A1)
S=1:60(A3)



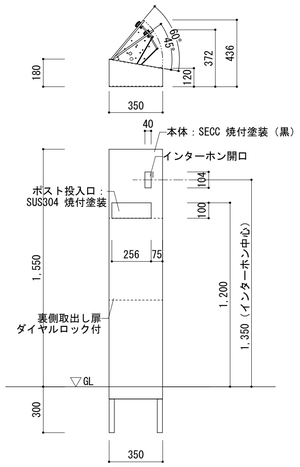
※暖簾は蕨商工会議所指定品とする

蕨双子織暖簾　仕様

生地	表面：蕨双子織 ※柄は監督員との協議により決定　裏面：ツイール生地　※双子織同模様印刷
棒袋	チチ仕様
サイズ	W1800×H2800
図柄表示	印刷　※表示内容は監督員との協議により決定
数量	３枚（内２枚は保管用）

㉔ 機能門柱

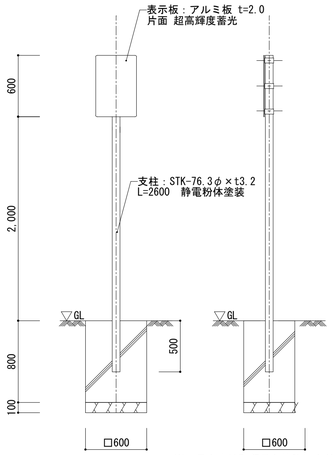
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



※オストラッペ［ミラタップ］同等品

㉗ 避難所看板

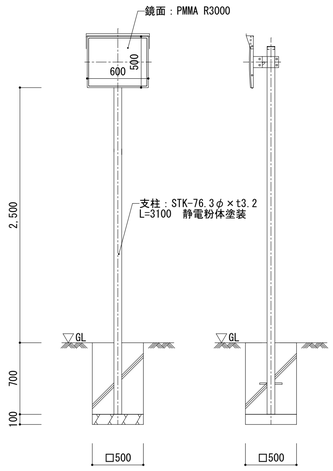
S=1:30(A1)
S=1:60(A3)



※表示内容は監督員と協議により決定。
※クリヤマジャパン　アルファ・シャインプレート同等品とする。

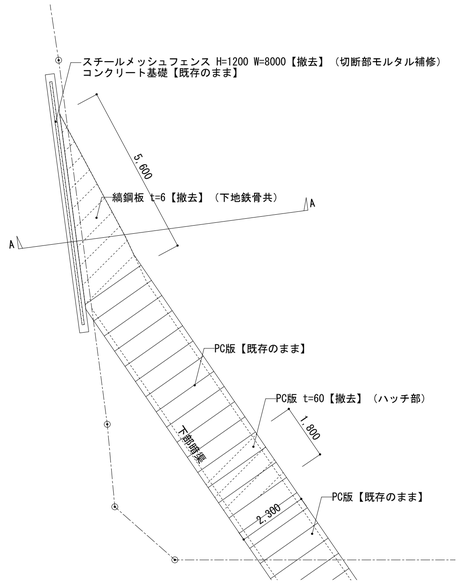
㉘ カーブミラー

S=1:30(A1)
S=1:60(A3)

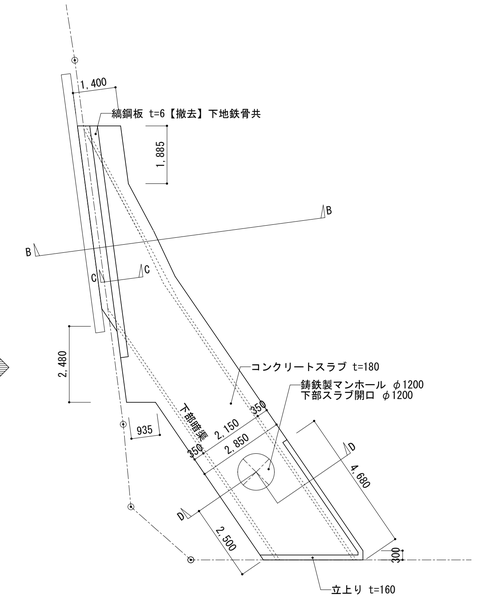


暗渠ふさぎ詳細図

S=図示(A1)

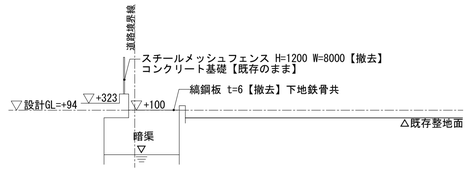


改修前平面図　S=1/100

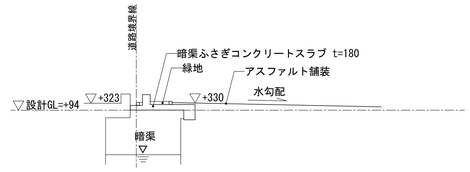


改修後平面図　S=1/100

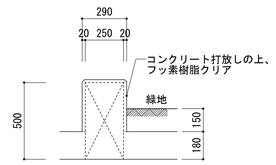
※地盤下の地盤改良を行う際には、暗渠側壁の崩壊が無い様留意すること。
※改良深度、必要地耐力は現場で再度調整の事。



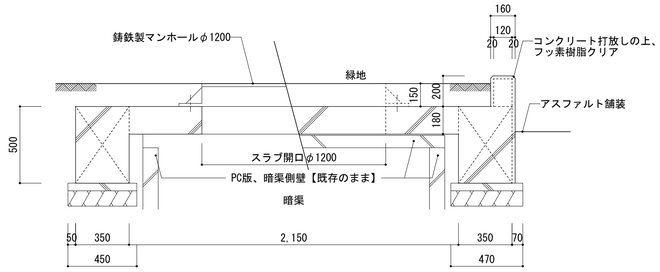
A-A断面図　S=1/100



B-B断面図　S=1/100



C-C断面図　S=1/20



D-D断面図　S=1/20

一級建築士事務所
KATO
ARCHITECTS&STORE
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

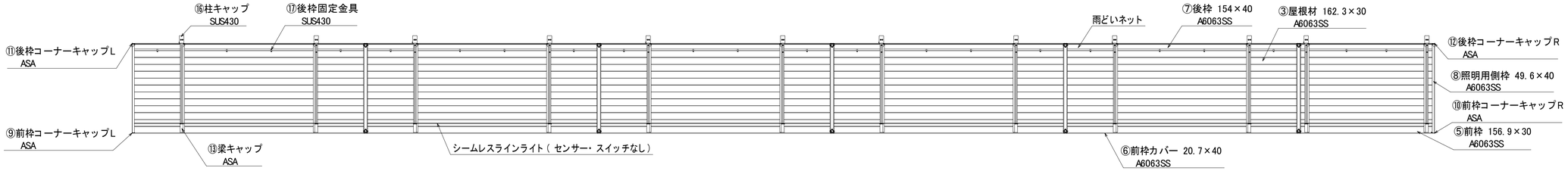
APPR	CHKD	DRAWN

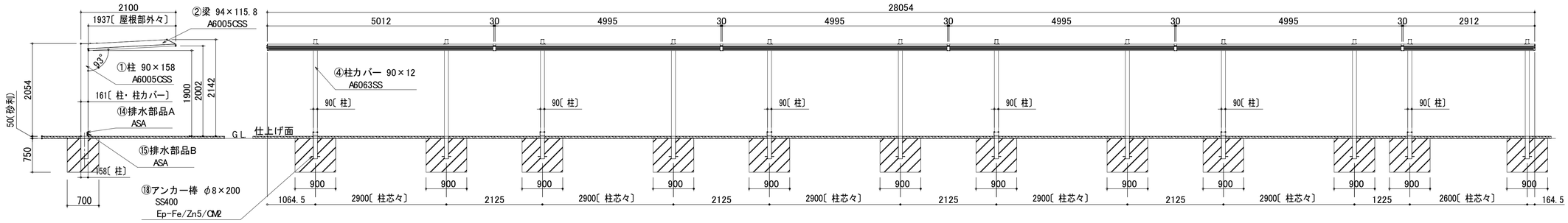
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

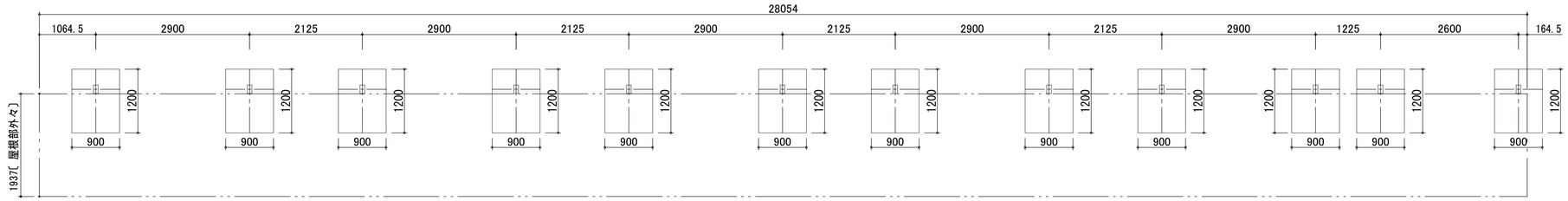
工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

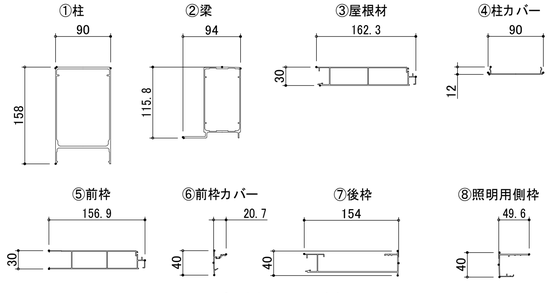
図名：外構詳細図2

S= 図示
DATE 2025.09
No. A-075









部材断面詳細図

仕様

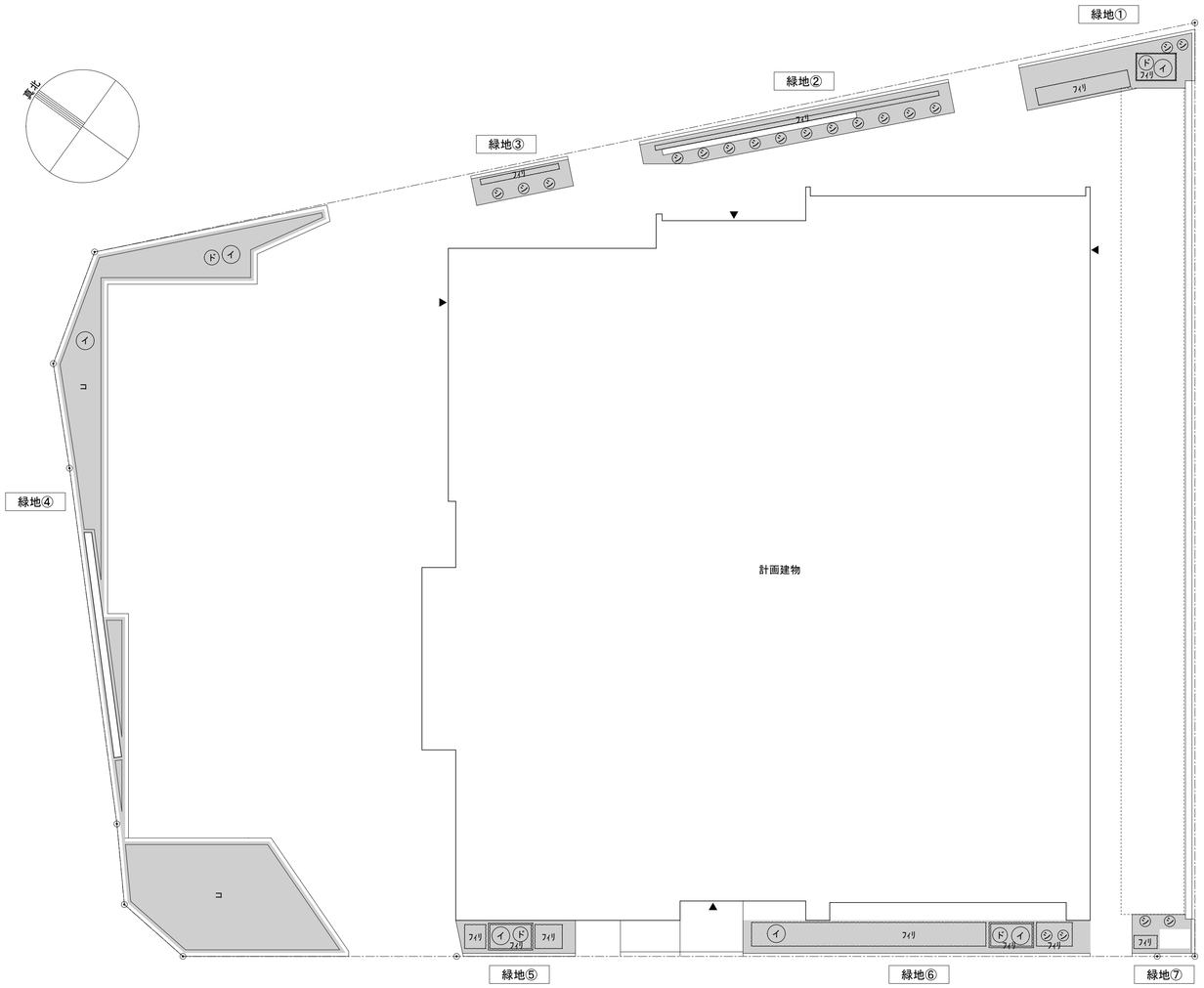
部材名	規格・材質
①柱	JIS H 4100 A6005CSS-T5（アルミ押出し形材）
②梁	
③屋根材	JIS H 4100 A6063SS-T5（アルミ押出し形材）
④柱カバー	
⑤前枠	
⑥前枠カバー	
⑦後枠	
⑧照明用側枠	
⑨前枠コーナーキャップL	ASA（樹脂）
⑩前枠コーナーキャップR	
⑪後枠コーナーキャップL	
⑫後枠コーナーキャップR	
⑬梁キャップ	
⑭排水部品A	
⑮排水部品B	
⑯柱キャップ	SUS430
⑰後枠固定金具	
⑱アンカー棒	SS400
ボルト類	JIS B 1187/1174
ネジ類	JIS B 1111/1124

※基準風速 34m/s、地表面粗度区分 Ⅲ、積雪荷重 600N/m² とします。
※長期地耐力 30kN/m² とします。
※標準柱とし、h1950 基礎深さ 450 として検討します。
・支柱ピッチ 2900 とします。
・基礎サイズ DL×DW×DH ＝ 900×700×750 とします。
※切詰が発生する場合は、加工や組付け、柱移動は現場対応とする。

※LIXIL カーポートSCミニ同等品とする。

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTURE
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成
APPR CHKD DRAWN
埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787
東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

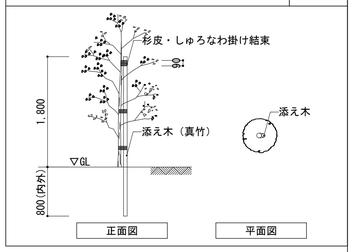
工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図名 外構詳細図3
S= 図示
DATE 2025.09
No. A-076



緑化平面図　S=1/100

添え柱形

S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



植栽計画表						
緑化区分	凡例	種別	樹種	規格	本数	備考
緑地①	イ	中木	イロハモミジ	H2.0×W0.6(株立ち)	1	添え柱(真竹)
	ド	中木	ドウダンツツジ	H1.0×W0.5	1	
	シ	低木	シルバープリベット	H0.5	2	
	フィリ	地被類	フィリヤブラン	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	10 ﾎﾟｯﾄ	低密度配置
	フィリ	地被類	フィリヤブラン	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	10 ﾎﾟｯﾄ	高密度配置
緑地②	シ	低木	シルバープリベット	H0.5	11	
	フィリ	地被類	フィリヤブラン	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	10 ﾎﾟｯﾄ	低密度配置
緑地③	シ	低木	シルバープリベット	H0.5	3	
	フィリ	地被類	フィリヤブラン	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	5 ﾎﾟｯﾄ	低密度配置
緑地④	イ	中木	イロハモミジ	H2.0×W0.6(株立ち)	2	添え柱(真竹)
	ド	中木	ドウダンツツジ	H1.0×W0.5	1	
	コ	地被類	コグマザサ	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	1100 Pot	
緑地⑤	イ	中木	イロハモミジ	H2.0×W0.6(株立ち)	1	添え柱(真竹)
	ド	中木	ドウダンツツジ	H1.0×W0.5	1	
	フィリ	地被類	フィリヤブラン	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	10 ﾎﾟｯﾄ	低密度配置
	フィリ	地被類	フィリヤブラン	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	10 ﾎﾟｯﾄ	高密度配置
緑地⑥	イ	中木	イロハモミジ	H2.0×W0.6(株立ち)	2	添え柱(真竹)
	ド	中木	ドウダンツツジ	H1.0×W0.5	1	
	シ	低木	シルバープリベット	H0.5	2	
	フィリ	地被類	フィリヤブラン	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	40 ﾎﾟｯﾄ	低密度配置
	フィリ	地被類	フィリヤブラン	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	10 ﾎﾟｯﾄ	高密度配置
緑地⑦	シ	低木	シルバープリベット	H0.5	2	
	フィリ	地被類	フィリヤブラン	3芽立（ｺﾝﾃﾅ径105）	5 ﾎﾟｯﾄ	低密度配置

※土壌基盤の上は化粧砕石（単粒度砕石（60-40））t=100敷きとする。（緑地④を除く）
※中低木下部に浸透トレンチがある場合、客土と砕石間に防根透水シートを施す。

緑化基準	
敷地面積	1,007.46㎡
用途地域	第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域
必要緑地面積	1,007.46×(1-0.8)×0.5=100.74㎡
接道部の緑化	96.2（接道部の長さ）×0.5=48.1m
高木植栽本数	100.746（緑化面積）÷20㎡=5.0373→6本
計画緑地面積	
	区画された土地の緑化
	83.0㎡
	太陽光発電装置の水平投影面積
	45.57㎡→25.1㎡（算入可能面積 緑化面積の1/4まで）
	緑化面積合計
	108.1㎡　（＞ 100.746㎡）

※ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例による

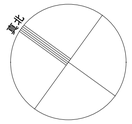
一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

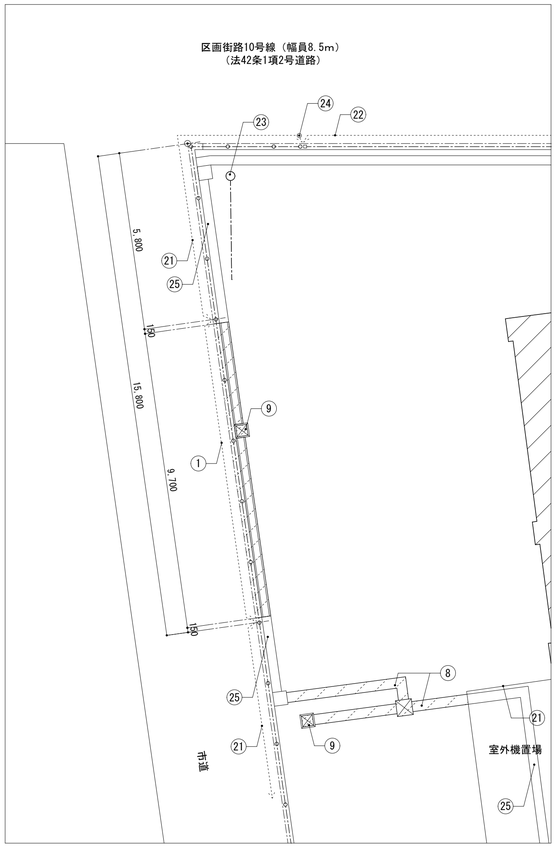
APPR	CHKD	DRAWN

工事名　（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

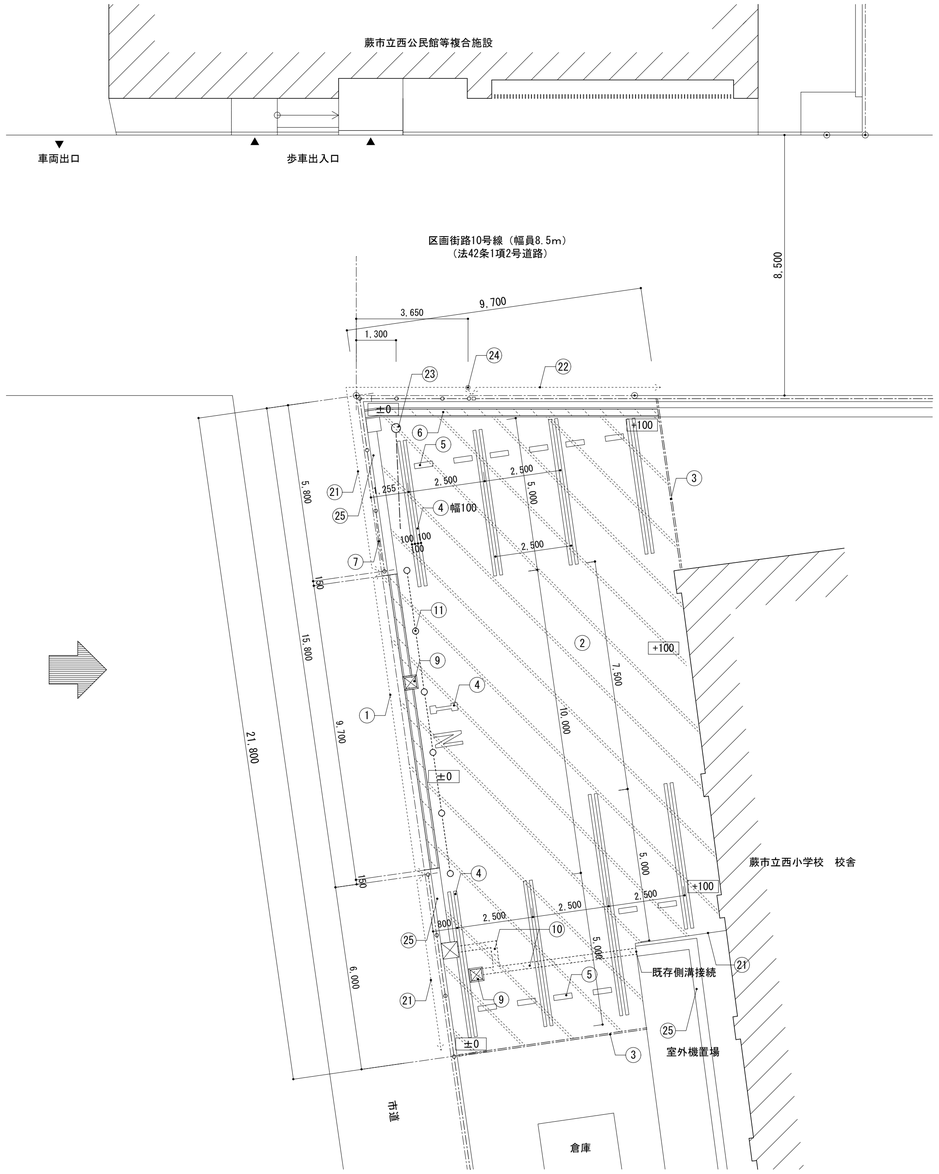
図名　緑化計画図

S=　図示
DATE　2025.09
No.　A-077





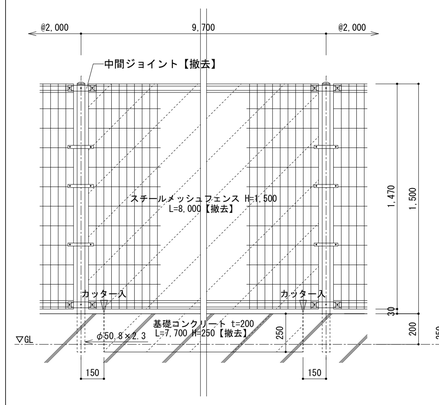
撤去図



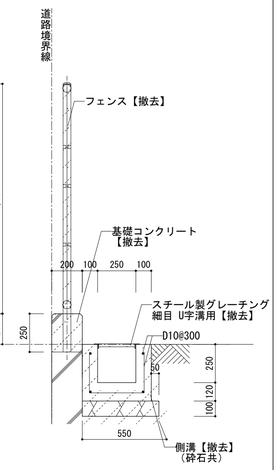
新設図

① スチールメッシュフェンス H=1500 L=9700（コンクリート基礎共）【撤去】

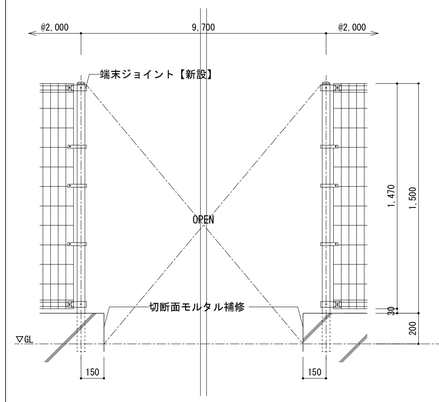
S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



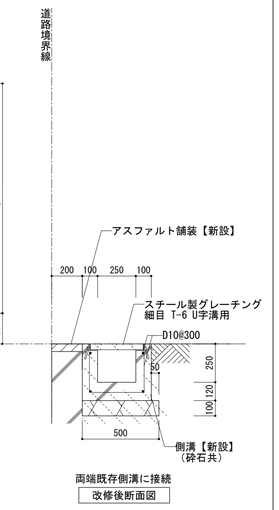
改修前立面図



改修前断面図



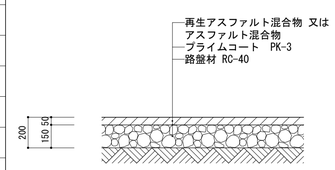
改修後立面図



改修後断面図

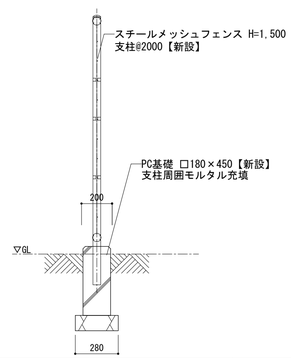
② アスファルト舗装【新設】

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



③ スチールメッシュフェンス H=1500【新設】

S=1:20(A1)
S=1:40(A3)



番号	凡　例	総数量	番号	凡　例	総数量
①	スチールメッシュフェンス H=1500 L=8000（コンクリート基礎共）【撤去】 U字側溝 溝幅240　スチール製グレーチング 細目タイプ【撤去・新設】	9.7m	㉑	スチールメッシュフェンス H=1500【既存のまま】	―
②	アスファルト舗装【新設】	167m2	㉒	スチールネットフェンス H=1500【既存のまま】	―
③	スチールメッシュフェンス H=1500（コンクリート基礎共）【新設】	13m	㉓	電柱（支線共）【既存のまま】	1箇所
④	路面表示塗装 幅100【新設】	―	㉔	道路標識【既存のまま】	1箇所
⑤	車止めブロック　PC製アンカータイプ(反射板付) 200×600 H=100【新設】	12箇所	㉕	U字側溝 みぞ幅240、浸透桝　スチール製グレーチング 細目タイプ【既存のまま】	―
⑥	スチール製グレーチング 細目タイプ みぞ幅240 歩行用【新設】	9.6m	***	計画レベル	
⑦	駐車場サイン　アルミ複合板　フェンス取付 1200×900【新設】 ※表示内容は監督員との協議により決定	1箇所			
⑧	U字溝、集水桝【撤去】（グレーチング共）	9.8m			
⑨	集水桝グレーチング【撤去・新設】	2箇所			
⑩	塩ビ管200φ【新設】（側溝、桝コア抜き共）	9.8m			
⑪	上下式ステンレスポールバリカー バリアフリータイプ φ76.3　H=690　片フック・ステンレスチェーン付	6箇所			

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名：（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名：外構図(駐車場)

S= 図示

DATE 2025.09

No. A-078

注　意　事　項

1	躯体と昇降機承諾図に相違がある場合はエレベーター着工までに躯体を是正すること
2	(1)昇降路の壁又は囲いは隙間無きものとすること (2)昇降路の壁又は囲いは難燃材料（ 不燃材料・ 準不燃材料含む）とすること (3)昇降路の壁又は囲いは5cm角辺り 300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること (4)コンクリート厚さは150mm以上とすること (5)コンクリート基準圧縮強度は21N/mm²以上48N/mm²以下とし、48N/mm²を超える場合は都度対応協議のこと (6)昇降路壁は後施工アンカーが可能な構造とすること
3	昇降路内にはエレベーターに関係のない配管・配線・ダクト・その他の機器を設置しないこと
4	昇降路壁には配管・消火栓等を埋め込まないこと
5	昇降路内には建築金物（ ALCのリップ等）が突出しないこと
6	昇降路内に断熱材（ウレタン・スタイロフォーム等）を施工する場合は溶接火花による火災のおそれがあるため難燃材料とすること
7	断熱材はガイドレール支持用ファスナー及び乗場出入口廻りの取付材を避けて施工すること
8	断熱材の施工時期は協議すること
9	昇降路内の温度は5℃以上40℃以下、湿度は月平均90%以下、日平均95%以下とし、氷結・結露しないこと
10	昇降路内及び乗場には風雨・塵埃・塩分・有害ガス等が入らないこと
11	昇降路内に換気設備を設置する場合は外部より点検可能な配置とし、雨水対策を実施すること
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しない配置及び躯体構造(防音・防振工事等)とすること
13	エレベーターホールと風除室が近い場合はドラフトによりエレベーターの戸が開閉できなくなるおそれがあるため建物側で気密性を上げること
14	保守・点検・緊急対応のため、外部より最上階のエレベーターホールへアクセスできる通路を設けること また、個人宅や占有部、鍵が必要な場所を経由する必要がないこと
15	電源電圧の変動は動力用±10%以内、照明用±5%以内とし、動力用の電圧不平衡率を5%以内とすること
16	高調波障害回避のため、以下の対応を推奨します (1)弱電機器の電源線・通信線はエレベーター動力線から1m以上分離すること (2)エレベーター動力用電源トランスは弱電機器のトランスと独立して設けること (3)弱電機器とのアース線共用は避けること (4)エレベーター動力線は弱電機器近くの床下や天井に設置しないこと (5)漏電遮断器・漏電継電器を設置する場合、不要動作防止のためインバータ対応のものを使用すること
17	搬入に支障のない経路を確保すること
18	据付工事用現場詰所及びエレベーター材料・据付工事用機材の保管場所を無償提供願います
19	仮設揚重機・重機(ラフタークレーン、タワークレーン等)・搬入運搬用台車を無償貸与願います
20	据付工事用電源及び試運転調整時の動力電源を無償提供願います（ 容量は別途打ち合わせ）
21	必要に応じてモルタルを無償提供願います
22	エレベーターを工事用として使用する場合はこの使用に伴う検査費用・復旧（ オーバーホール消耗部品の交換等）費用・定期保守費用・コールバック対応費用等が生じます
23	エレベーターを工事用として使用する場合、電力会社から供給される電源を使用願います 工事用発電機による工事用使用は電源電圧が不安定なため、内部基板への悪影響を引き起こす可能性が高いことから使用しないこと
24	かご内へ一度に搬入可能な積載は4輪台車で積込み荷重制限（ 台車含む）以下とすること

工　事　区　分　表

分類	No.	工事項目	昇降路構造 RC	昇降路構造 S	建築 建築	建築 電気	建築 設備	建築 昇降機
昇降路	1	昇降路の築造工事及び躯体・オーバーヘッド・ピット寸法が昇降機承諾図と異なる場合の是正工事 オーバーヘッド：昇降機承諾図寸法に対し20mm以上低い場合（ ただし、必要寸法を確保のこと） ピット：昇降機承諾図寸法に対し浅い場合又は30mm以上深い場合（ 防水面から確保のこと）	○	○	○			
	2	天井フック又はトロリービーム設置工事（ 荷重に対し安全率5を確保のこと）（ オーバーヘッド高さが4000mmを超える場合、トロリービーム設置は必須のこと）	○	○	○			
	3	中間ビーム・セパレータビーム設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	4	ガイドレール支持用ファスナー及び立柱設置・インサート埋め込み工事	○	○	○			
	5	溶接レスの場合のガイドレール支持用ファスナー及び立柱・三方枠取付用アングルへの穴加工	○	○	○			
	6	フェッシャープレート取付材設置工事（ フェッシャープレート本体は昇降機工事）		○	○			
	7	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事		○	○			
	8	ピット内防水工事	○	○	○			
	9	ピット下を使用する場合の二重スラブ、釣合おもり側の直下部厚壁等の建築躯体処置工事	○	○	○			
	10	併設されたエレベーターのピットに段差がある場合の間仕切り工事	○	○	○			
	11	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事	○	○	○			
	12	昇降路内建築工事仮設床用（ 水平養生）の金網、デッキプレート等の撤去工事	○	○	○			
	13	昇降機承諾図に記載のない突出物や不要物の撤去切断等工事	○	○	○			
	14	昇降路内温度が40℃を超える場合の換気設備工事又は空調設備工事	○	○			○	
乗場	1	乗場出入口の敷居取付用欠き込み・敷居受け持ち出し工事及び敷居取付後のモルタル充填工事	○	○	○			
	2	乗場出入口壁穴あけ・乗場出入口用品取付材設置工事及びインサート埋め込み工事（ 三方枠・バックアングル・ドア・敷居・押しボタン・インジケータ・モニター等）	○	○	○			
	3	乗場出入口用品取付後の壁並びに床・天井等の仕上工事	○	○	○			
	4	三方枠・インジケータ等と壁間のモルタル又はロックウール充填工事	○	○	○			
	5	三方枠・インジケータ等と壁間の塞ぎ板による隙間塞ぎ工事	○	○				○
	6	開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水対策工事（ 排水溝・水勾配・庇等）	○	○	○			
電気	1	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事（ 外部より点検可能な点検口の設置を含む）	○	○		○		
	2	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事（ 昇降機工事による押しボタン・警報盤等の配線工事は除く）	○	○		○		
	3	昇降路内受電端子までの動力用電源・照明用電源・接地線の引込・立上工事及び一次側端子への接続工事	○	○		○		
	4	昇降路内受電端子までのインターホン・その他機器の配管配線工事並びに引込・立上工事（ 放送・遠隔監視・防犯カメラ・故障信号・非常呼信号・火災信号・セキュリティ連動信号・監視盤等）	○	○		○		
	5	遮煙のりばドア適用時の建屋火災信号の供給	○	○		○		
	6	ピット内点検用コンセントの設置工事（ 単独回路）	○	○		○		
その他	1	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業	○	○	○			
	2	エレベーター工事着手後の昇降路内への浸水防止工事、出入口先行着工時の止水工事	○	○	○			
	3	居室側防音及び防振工事	○	○	○			
	4	搬入用仮設開口及び搬入経路の段差解消・搬入後の復旧工事	○	○	○			
	5	エレベーターを工事用として使用する場合の各種養生手配及び設置工事	○	○	○			
	6	その他建築・電気・設備に関する工事	○	○	○	○	○	

エレベーター仕様

概略仕様	号機名（ 台数）		No.1　（1台）
	用途（ 形式）		乗用　車いす仕様
	積載量（ 定員）		750kg　（ 11 人）
	速度		60m/min
	制御方式		交流インバータ制御方式（ 回生無）
	操作方式		乗合全自動方式
	停止ヶ所・出入口方向		（ 1～3FL ）　3ヶ所　1方向
	かご内法（ WxDxH）		1400 mm X 1350 mm X 2250 mm
	出入口寸法（ WxH）		800 mm　X 2100 mm
	ドア方式		2枚戸中央開き（ 電動式）
	電動機出力		AC－4.5kW（ ギヤレス）
	電源	動力	三相3線　200 V 50 Hz
		照明	単相　100 V 50 Hz
	管制運転	地震時	有（ P波＋S波感知器（ 3段検知）リスタート機能付）
		火災時	有
		自家発時	無
		浸水時/冠水時	有　全自動形（ ピット冠水時（ 指定階））
	停電時自動着床装置		有
	耐震クラス		A14
	かご内連絡装置		24V同時通話インターホン
	基本仕様及び標準装備仕様		ローラーガイド（ かご、おもり） 照明・換気装置自動休止機能 2D多光軸（ マルチビーム）ドアセフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 行先階取消し機能 気配りアナウンス機能（ 非常時4ヶ国語対応） イオン発生装置 故障時最寄階自動着床運転 しきい間すきまレス 広角ミラー付操作盤
乗場仕様	三方枠		全階　大枠・直線　ステンレス製バイブレーション仕上
	幕板		全階　ステンレス製バイブレーション仕上
	ドア		全階　ステンレス製バイブレーション仕上
		遮煙	全階　有
	敷居		全階　ステンレス製板曲げ
	乗場ボタン	ボタン	全階　クリックタッチボタン
		フェースプレート	全階　平板　ステンレス製バイブレーション仕上
	ホールランタン	到着灯	全階　透明アクリル
		フェースプレート	全階　縦枠組込
かご仕様	天井照明		デラックスLED天井（ DLX－11）
	換気装置		ファン
	リターンパネル		ステンレス製ヘアライン仕上
	出入口柱		ステンレス製ヘアライン仕上
	ドア		化粧鋼板
	幕板		化粧鋼板
	側板		化粧鋼板
	幅木		ステンレス製ヘアライン仕上
	床		石貼り　（ t20）（ 材料別途支給）
	敷居		ステンレス製　板曲げ
	操作盤	ボタン	クリックタッチボタン
		インジケータ	液晶（ カラーユニバーサルデザイン認証）
		フェースプレート	標準（ 広角ミラー付）　ステンレス製バイブレーション仕上

特記事項

非常呼びボタン透明ガード（ ポリカーボネート製、スイング式）　お知らせドアセンサー　お知らせドアビーム
BGMスピーカー　磁石式保護マット（ 分割形、3面、H＝1800）　床マット　両側ドアセフティ
車椅子仕様
　専用乗場ボタン，専用かご操作盤，かご内鏡，かご内手摺，戸開放時間（ 10秒）
視覚障がい者対応
　音声案内装置（ 方向、階床、戸開、管制運転、戸開案内）
　点字銘板（ 乗場ボタン・かご操作盤に貼付け
国土交通省仕様
警報回路
高調波対策　防振対策　トーガード延長　溶接レス工法（ 昇降路用品、乗場用品）

（ 0205790-1）　V.23.00（ FC ）

下記の事項については別途見積となります

負荷状況により作業を請負できない可能性がありますので弊社担当へ都度ご相談ください

1	標準施工作業時間以外でご用命の場合（ 標準：月曜日～金曜日　8:00～17:00）
2	夜間作業発生の場合
3	2階以上の階若しくは地下階への搬入作業の場合
4	荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が30mを超える場合
5	横引き通路に段差・階段・障害物がある場合
6	搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を要する場合
7	床・壁に養生を必要とする場合
8	昇降機据付工事以外で立会いが発生する場合
9	据付工事短縮を必要とする場合
10	昇降路を養生する必要がある場合（ ガラス壁等）
11	昇降機着工前までに各階出入口開口部養生材設置作業（ 養生材のみの貸与含む）をご用命の場合
12	昇降機を工事用として使用する場合の社内検査費用・復旧（ オーバーホール・消耗部品の交換等）費用・定期保守費用・コールバック対応費用等 ただし、積載量1,000kg以上の場合、別途労働基準監督署の落成検査費用が発生します 落成検査費用につきましてはご利用者様負担となります （ 検査費用は【 労働安全衛生法関係手数料令】別表第一の四をご参照ください）
13	コンクリート基準圧縮強度が48N/mm²を超える場合
14	その他特殊な事情がある場合

（ 1台1回線）

電源設備

（ 低圧）

号機名		No.1		
電源設備容量	動力	200 V　5kVA		
	照明	100 V　1.5kVA		
最大電流		30.9 A		
動力線サイズ（ mm²）		5.5	8	14
最大引込み距離（ m）		53	81	141
建屋側MCCB		40 A		
接地線最小サイズ		3.5　mm²		
インターホン用配線		φ0.9 × 10 本		
電話用配管・配線		φ19 配管・電話線1P		
ピットコンセント容量		1kVA／台		
火災管制用配管・配線		HPφ1.2x1P		
BGM放送用配管・配線		HPφ1.2x3C		

【 エレベーター遠隔監視メンテナンス】

※ このエレベーターは、遠隔監視メンテナンス契約可能対応機種です。
※ 遠隔監視メンテナンスでは、エレベーターの遠隔診断・遠隔監視が可能です。
※ 上記サービスに必要な機器は、保守会社との遠隔監視メンテナンス契約時に貸与されます。

No.1

遮煙のりばドア（ Smokeproof）		
適用階	1～3FL	認定番号　CAS－1074（2）

積込み荷重制限	荷重条件	250kg（ 4輪台車を使用するものとし、台車の重量を含む）
	重量物の積込みは、一回当り荷重条件以下で積込み下さい。 ※フォークリフトの使用はできません。	
コンクリート強度	最小　FC33N/mm²	最大　FC33N/mm²

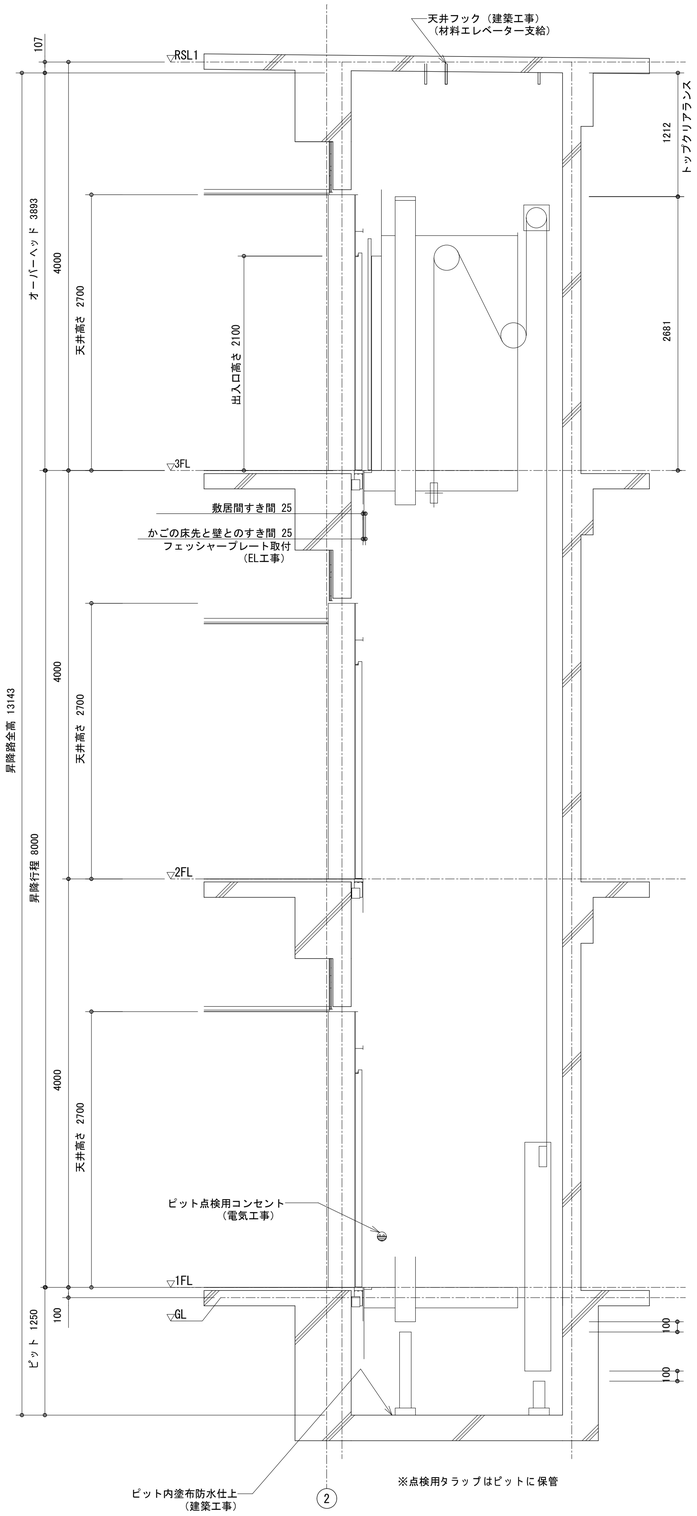
※東芝エレベーター　SP11－CO60同等品とする。

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

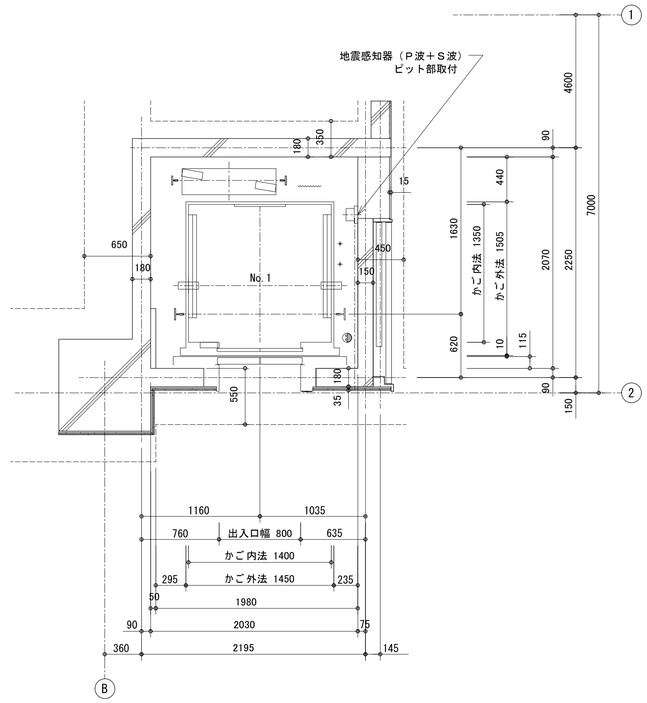
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号　第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名	（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= No Scale
		DATE 2025.09
図名	昇降機詳細図1（参考図）	No. A-079

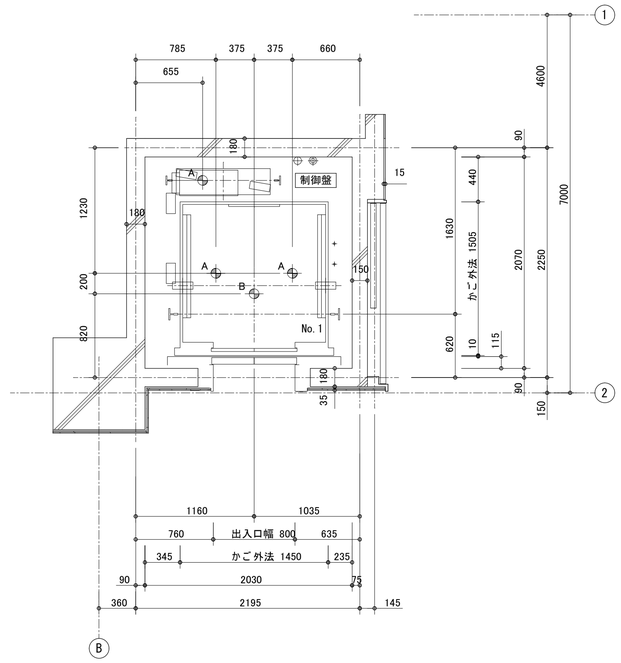


※点検用タラップはピットに保管

昇降路縦断面図
1：30



昇降路平面図（１Ｆ）
1：30

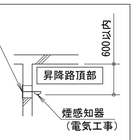


昇降路平面図（２，３Ｆ）
1：30

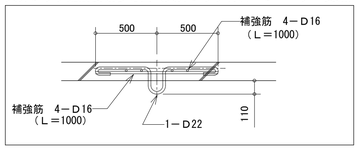
煙感知器詳細

施錠装置付点検扉

1.5mm以上の鋼板製（電気工事）
リミットスイッチ付（エレベーター工事）
昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は
外部に引き出した状態で点検可能な構造
とする。
屋外の場合は、防水形点検扉とする。
点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品として下さい。
・ホーチキ（KUS-1C（W））
・能美防災（FXS J001A-HU）
・ニッタン（NID-T-G）
・パナソニック（BV95351+BV95381H）
製品の型番は、仕様変更などで変更・廃止されている場合があります



天井フック配筋要領参考図（天井フック材料エレベーター支給）



Ｎｏ．１

ピット反力		８０．４０ｋＮ
ピット衝撃荷重	かご側	８２．７０ｋＮ
	Ｃ／Ｗ側	６６．６０ｋＮ

	ピット点検用コンセント	（電気工事）
	Ｔ．Ｃ保護金網	（エレベーター工事）

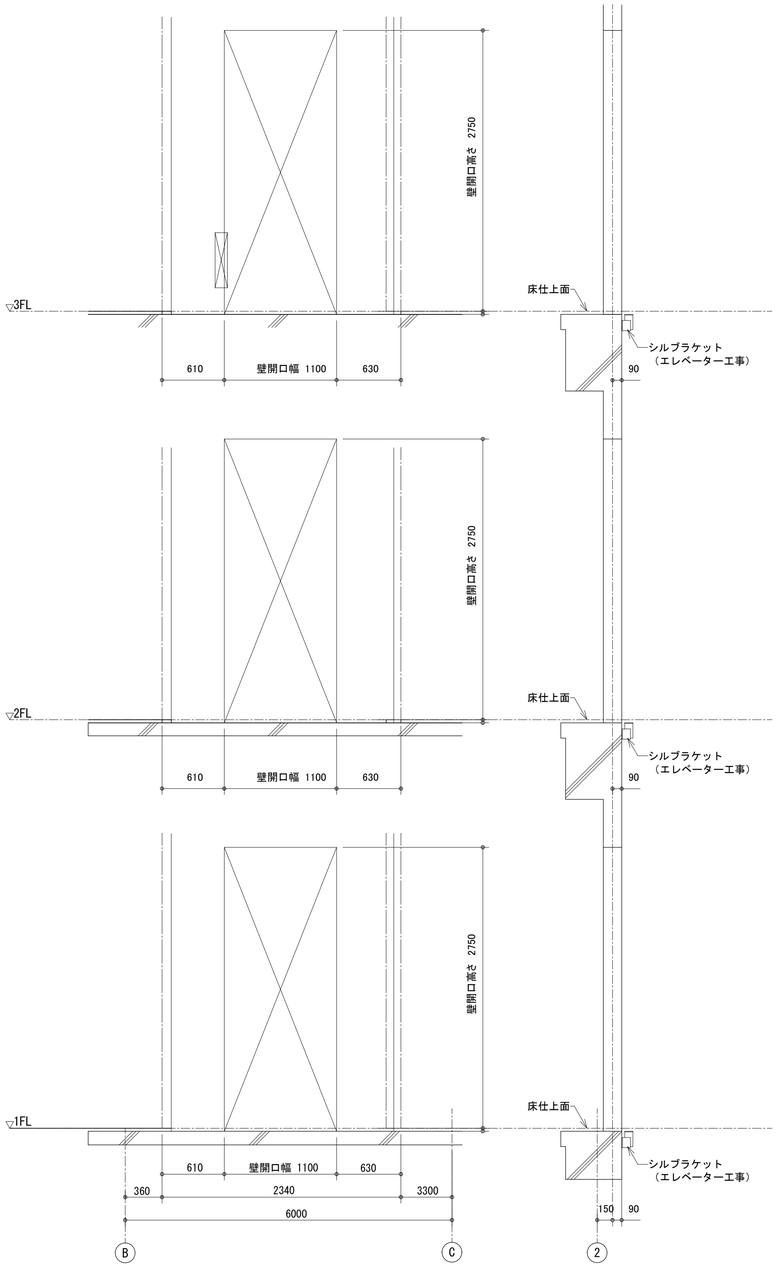
	天井フック（材料エレベーター支給） ・荷重：（Ａ部）９．８kN （Ｂ部）１９．６kN	（建築工事）
	電源引込み（受電盤への接続） ・動力・照明、接地線 最上停止階ＦＬ－１３５０ mm 引出長さ 3m	（電気工事）
	配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階ＦＬ－６５０ mm 引出長さ３ m	（電気工事）

レール反力リスト（地震時作用荷重）			Ｎｏ．１
	かご側	Ｐｘ	４．７０ｋＮ
	一般階	Ｐｙ	２．４０ｋＮ
	かご側	Ｐｘ	５．００ｋＮ
	最上階	Ｐｙ	３．４０ｋＮ
	おもり側	Ｐｘ	７．２０ｋＮ
	一般階	Ｐｙ	３．６０ｋＮ
	おもり側	Ｐｘ	１０．４０ｋＮ
	最上階	Ｐｙ	６．９０ｋＮ

上記　荷重による柱及び梁のたわみは５mm以下となるよう選定下さい。

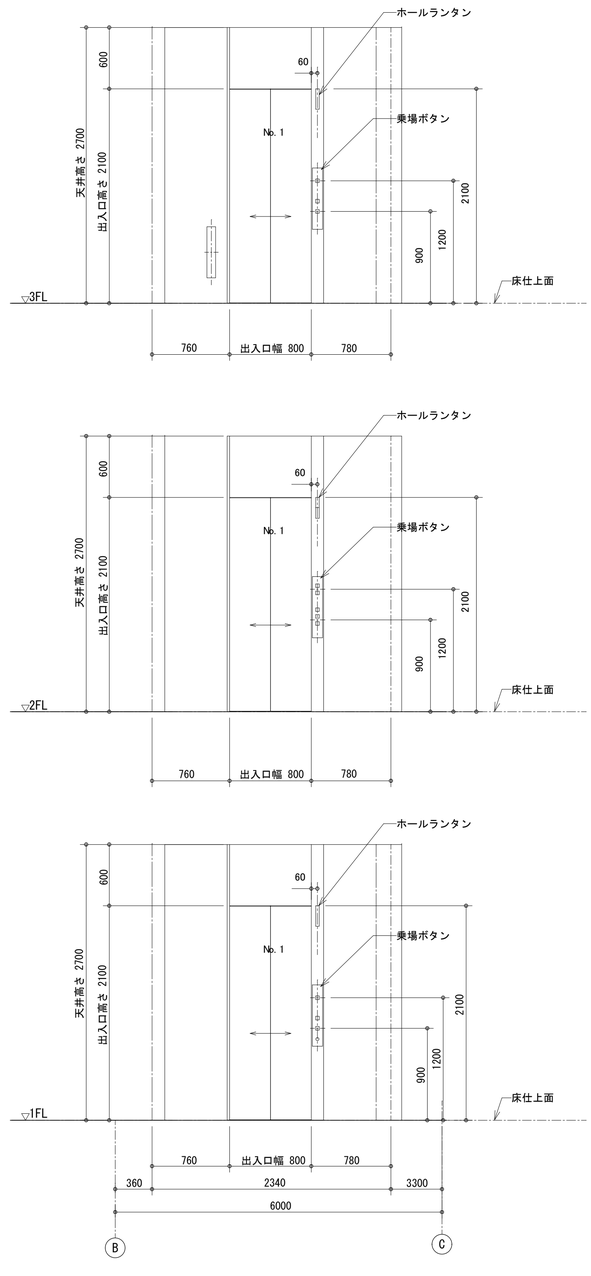
一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS	埼玉県知事登録（5）第8878号 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	APPR / CHKD / DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288

工事名	（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S= 1/30(A1) 1/60(A3)
		DATE 2025.09
図名	昇降機詳細図2（参考図）	No. A-080



出入口壁穴明図
1 : 30（建築工事）

断面図
1 : 30



出入口正面図
1 : 30

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO 株式会社 カトウ建築事務所 一級建築士 NO.164725 北田 英成	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787 東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
						図名 昇降機詳細図3（参考図）

S= 1/30(A1) 1/60(A3)
DATE 2025.09
No. A-081

※注記

・防火区画に接する外壁については幅900mm以上の部分を耐火構造とする。
　又は、外壁面から500mm以上突出した耐火構造の庇、床、袖壁を設置する。
・廊下の幅は、有効1600mm（両側居室）または有効1200mm（片側居室）とする。
・防火区画を貫通する配管等は、平成12年建設省告示第1422号による。
・PSおよびEPSは層間区画とする。

※凡例

- 延焼線（3m）
- 防火区画（令112条11項）（兼用防煙区画）
- 防煙区画
- 防 防火設備
- 常 防火設備（常時閉鎖式、告示第2564号遮煙性能）
- 特 特定防火設備
- 遮 特定防火設備（常時閉鎖式、告示第2564号遮煙性能）
- 遮 特定防火設備（煙感知器連動式閉鎖、告示第2564号遮煙性能）
- 消 消火器（歩行距離20m以内に設置）
- 視覚障害者ブロック（点状）
- 視覚障害者ブロック（線状）

※排煙

- 令126条2第一項ただし書き第三号より適用除外(水平部RCｽﾗﾌﾞ)
- 令126条2第一項ただし書き第四号より適用除外
- 自然排煙
- 告示第1436号1項4号へ（一）適用の室（壁、天井仕上げ準不燃）
- 告示第1436号1項4号へ（二）適用の室（50cmの防煙壁）
- 告示第1436号1項4号へ（五）適用の居室（壁天井下地仕上げ不燃）

※手摺出幅は100以下とする

階段室（直通階段）		外階段（直通階段）	
蹴　上	173.91	蹴　上	181.82
踏　面	300	踏　面	270
有効幅員	1,412.5(両側手摺)	有効幅員	950（片側手摺）
踊場幅員	1,400（最小）	踊場幅員	950（最小）

※バリアフリー法、福祉のまちづくり条例

・歩行者用ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞは細目、ノンスリップとする。
・移動円滑化経路、利用円滑化経路の床仕上げは滑りにくい仕上げとする。
・段差は原則2cm以下とし、2cm以上の段差がある場合は識別しやすい仕上げとする。
・段差はすべてつまづきづらく、段差の識別しやすい処置を講ずるものとする。
・移動、利用円滑化経路の傾斜はすべて1/12以下の勾配とし床仕上げは滑りにくく
　傾斜路の認識がしやすいもの、両側に立上りまた側壁を設けるものとする。
・利用円滑化経路を構成する出口、利用居室の出入り口幅は800mm以上とする。
・出入り口が前面ガラスの場合、衝突防止マークをつける等措置を講ずるものとする。

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&SYSTEMS
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名
1階法規チェック図

S=1/100(A1)
1/200(A3)
DATE 2025.09
No. A-082

※注記

- 防火区画に接する外壁については幅900mm以上の部分を耐火構造とする。
  又は、外壁面から500mm以上突出した耐火構造の庇、床、袖壁を設置する。
- 廊下の幅は、有効1600mm（両側居室）または有効1200mm（片側居室）とする。
- 防火区画を貫通する配管等は、平成12年建設省告示第1422号による。
- PSおよびEPSは層間区画とする。

※凡例

- 延焼線（5m）
- 防火区画（令112条11項）（兼用防煙区画）
- 防煙区画
- (防) 防火設備
- (常) 防火設備（常時閉鎖式、告示第2564号遮煙性能）
- (特) 特定防火設備
- (遮) 特定防火設備（常時閉鎖式、告示第2564号遮煙性能）
- (遮) 特定防火設備（煙感知器連動式閉鎖、告示第2564号遮煙性能）
- (消) 消火器（歩行距離20m以内に設置）
- 視覚障害者ブロック（点状）
- 視覚障害者ブロック（線状）

※排煙

- 令126条2第一項ただし書き第三号より適用除外(水平部RCｽﾗﾌﾞ)
- 令126条2第一項ただし書き第四号より適用除外
- 自然排煙
- 告示第1436号1項4号ハ（一）適用の室（壁、天井仕上げ準不燃）
- 告示第1436号1項4号ハ（二）適用の室（50cmの防煙壁）
- 告示第1436号1項4号へ（五）適用の居室（壁天井下地仕上げ不燃）

※手摺出幅は100以下とする

階段室（直通階段）		外階段（直通階段）	
蹴　上	173.91	蹴　上	181.82
踏　面	300	踏　面	270
有効幅員	1,412.5(両側手摺)	有効幅員	950（片側手摺）
踊場幅員	1,400（最小）	踊場幅員	950（最小）

※バリアフリー法、福祉のまちづくり条例

- 歩行者用ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞは細目、ノンスリップとする。
- 移動円滑化経路、利用円滑化経路の床仕上げは滑りにくい仕上げとする。
- 段差は原則2cm以下とし、2cm以上の段差がある場合は識別しやすい仕上げとする。
- 段差はすべてつまづきづらく、段差の識別しやすい処置を講ずるものとする。
- 移動、利用円滑化経路の傾斜はすべて1/12以下の勾配とし床仕上げは滑りにくく
  傾斜路の認識がしやすいもの、両側に立上りまた側壁を設けるものとする。
- 利用円滑化経路を構成する出口、利用居室の出入り口幅は800mm以上とする。
- 出入り口が前面ガラスの場合、衝突防止マークをつける等措置を講ずるものとする。

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

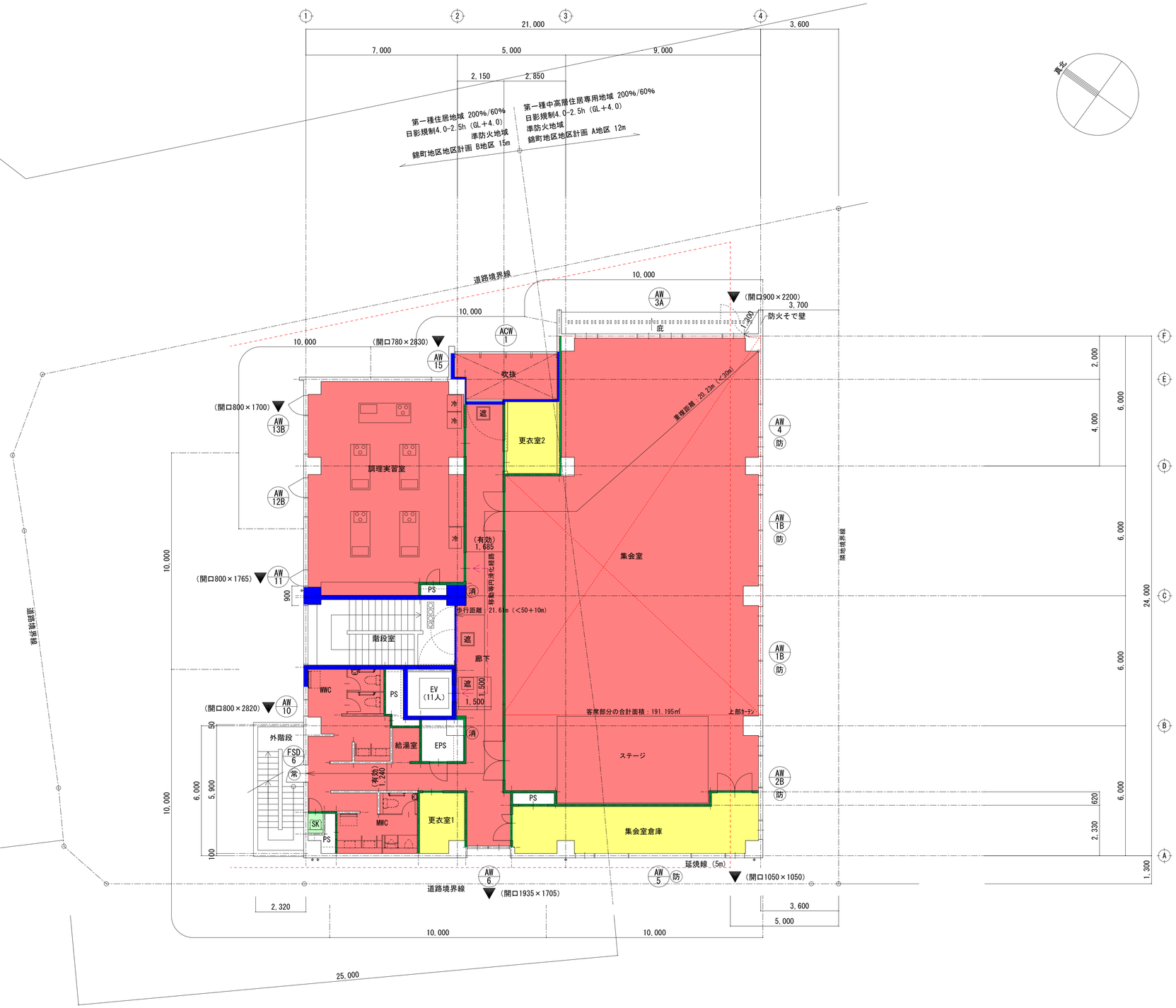
工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名 2階法規チェック図

S= 1/100(A1) 1/200(A3)

DATE 2025.09

No. A-083



※注記

・防火区画に接する外壁については幅900mm以上の部分を耐火構造とする。
　又は、外壁面から500mm以上突出した耐火構造の庇、床、袖壁を設置する。
・廊下の幅は、有効1600mm（両側居室）または有効1200mm（片側居室）とする。
・防火区画を貫通する配管等は、平成12年建設省告示第1422号による。
・PSおよびEPSは層間区画とする。

※凡例

- 延焼線（5m）
- 防火区画（令112条11項）（兼用防煙区画）
- 防煙区画
- (防) 防火設備
- (常) 防火設備（常時閉鎖式、告示第2564号遮煙性能）
- (特) 特定防火設備
- (遮) 特定防火設備（常時閉鎖式、告示第2564号遮煙性能）
- (遮) 特定防火設備（煙感知器連動式閉鎖、告示第2564号遮煙性能）
- (消) 消火器（歩行距離20m以内に設置）
- 視覚障害者ブロック（点状）
- 視覚障害者ブロック（線状）

※排煙

- 令126条2第一項ただし書き第三号より適用除外(水平部RCｽﾗﾌﾞ)
- 令126条2第一項ただし書き第四号より適用除外
- 自然排煙
- 告示第1436号1項4号ハ（一）適用の室（壁、天井仕上げ準不燃）
- 告示第1436号1項4号ハ（二）適用の室（50cmの防煙壁）
- 告示第1436号1項4号ヘ（五）適用の居室（壁天井下地仕上げ不燃）

※手摺出幅は100以下とする

階段室（直通階段）		外階段（直通階段）	
蹴　上	173.91	蹴　上	181.82
踏　面	300	踏　面	270
有効幅員	1,412.5(両側手摺)	有効幅員	950（片側手摺）
踊場幅員	1,400（最小）	踊場幅員	950（最小）

※バリアフリー法、福祉のまちづくり条例

・歩行者用ｹﾞﾚｰﾁﾝｸﾞは細目、ノンスリップとする。
・移動円滑化経路、利用円滑化経路の床仕上げは滑りにくい仕上げとする。
・段差は原則2cm以下とし、2cm以上の段差がある場合は識別しやすい仕上げとする。
・段差はすべてつまづきづらく、段差の識別しやすい処置を講ずるものとする。
・移動、利用円滑化経路の傾斜はすべて1/12以下の勾配とし床仕上げは滑りにくく
　傾斜路の認識がしやすいもの、両側に立上りまた側壁を設けるものとする。
・利用円滑化経路を構成する出口、利用居室の出入り口幅は800mm以上とする。
・出入り口が前面ガラスの場合、衝突防止マークをつける等措置を講ずるものとする。

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

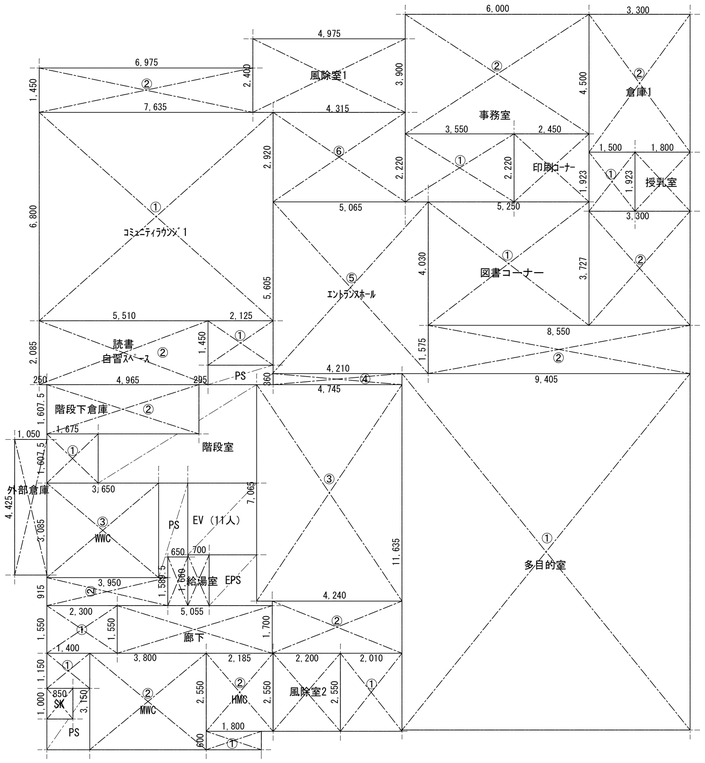
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

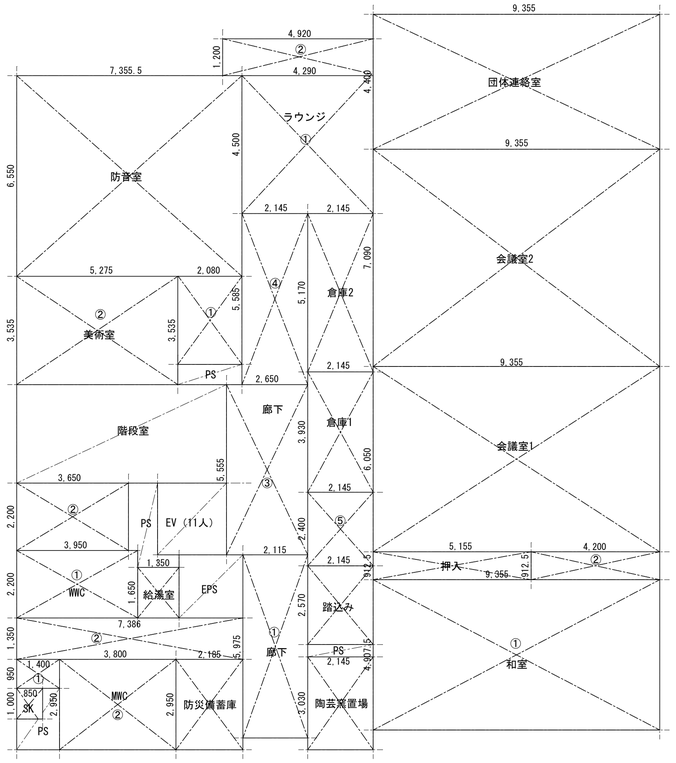
工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名
3階法規チェック図

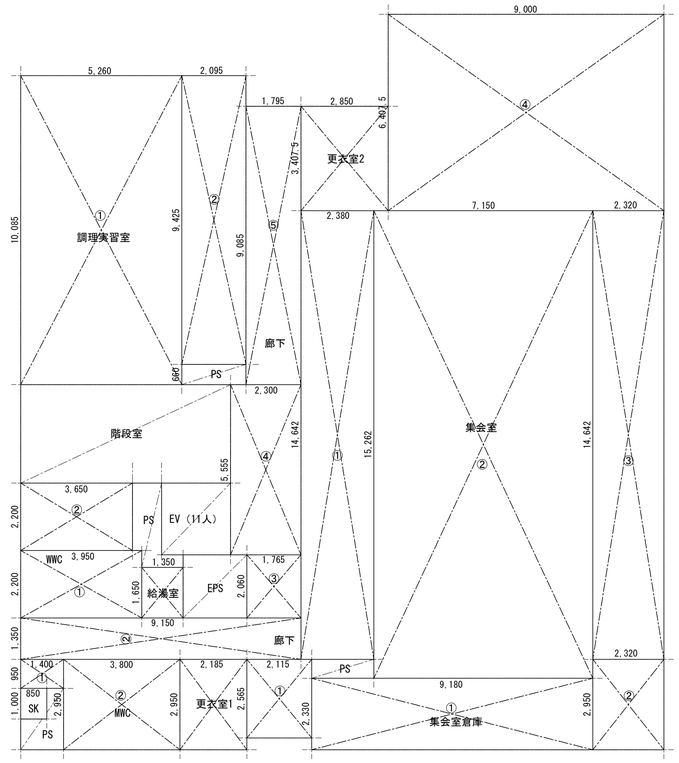
S= 1/100(A1) 1/200(A3)
DATE 2025.09
No. A-084



1階求積図　S=1/100



2階求積図　S=1/100



3階求積図　S=1/100

計画建物1　1階

室名	居室・非居室	符号	室面積			(㎡)
多目的室	居室	①	11.635 ×	9.405	109.427	124.239
		②	1.575 ×	9.405	14.812	
図書コーナー	居室	①	4.030 ×	5.250	21.157	33.456
		②	3.727 ×	3.300	12.299	
事務室	居室	①	2.220 ×	3.550	7.881	31.281
		②	3.900 ×	6.000	23.400	
倉庫1	非居室	①	1.923 ×	1.500	2.884	17.734
		②	4.500 ×	3.300	14.850	
印刷コーナー	居室		2.220 ×	2.450	5.439	5.439
授乳室	居室		1.923 ×	1.800	3.461	3.461
風除室2	非居室		2.550 ×	2.200	5.610	5.610
エントランスホール	非居室	①	2.550 ×	2.010	5.125	88.359
		②	1.700 ×	4.240	7.208	
		③	7.065 ×	4.745	33.523	
		④	0.360 ×	4.210	1.515	
		⑤	5.605 ×	5.065	28.389	
		⑥	2.920 ×	4.315	12.599	
風除室1	非居室		2.400 ×	4.975	11.940	11.940
HMC	非居室	①	0.600 ×	1.800	1.080	6.6510
		②	2.550 ×	2.185	5.571	
MWC	非居室	①	1.150 ×	1.400	1.610	13.580
		②	3.150 ×	3.800	11.970	
WWC	非居室	①	1.550 ×	2.300	3.565	18.439
		②	0.915 ×	3.950	3.614	
		③	3.085 ×	3.650	11.260	
給湯室	非居室	①	1.589 ×	0.650	1.032	2.194
		②	1.660 ×	0.700	1.162	
階段下倉庫	非居室	①	1.607 ×	1.675	2.691	10.669
		②	1.607 ×	4.965	7.978	
読書・自習ｽﾍﾟｰｽ	居室	①	1.450 ×	2.125	3.081	14.569
		②	2.085 ×	5.510	11.488	
ｺﾐｭﾆﾃｨﾗｳﾝｼﾞ1	居室	①	6.800 ×	7.635	51.918	62.031
		②	1.450 ×	6.975	10.113	
廊下	非居室		1.550 ×	5.055	7.835	7.835
SK	非居室		1.000 ×	0.850	0.850	0.850
ｳﾞ外部倉庫	非居室		4.425 ×	1.050	4.646	4.646

計画建物1　2階

室名	居室・非居室	符号	室面積			(㎡)
和室	居室	①	4.907 ×	9.355	45.905	49.735
		②	0.912 ×	4.200	3.830	
押入	非居室		0.912 ×	5.155	4.701	4.701
会議室1	居室		6.050 ×	9.355	56.597	56.597
会議室2	居室		7.090 ×	9.355	66.327	66.327
団体連絡室	居室		4.400 ×	9.355	41.162	41.162
陶芸窯置場	居室		3.030 ×	2.145	6.499	6.499
踏込み	非居室		2.570 ×	2.145	5.512	5.512
倉庫1	非居室		3.930 ×	2.145	8.429	8.429
倉庫2	非居室		5.170 ×	2.145	11.089	11.089
ラウンジ	居室	①	4.500 ×	4.290	19.305	25.209
		②	1.200 ×	4.920	5.904	
廊下	非居室	①	5.975 ×	2.145	12.637	54.455
		②	1.350 ×	7.386	9.971	
		③	5.555 ×	2.650	14.720	
		④	5.585 ×	2.145	11.979	
		⑤	2.400 ×	2.145	5.148	
防災備蓄庫	非居室		2.950 ×	2.185	6.445	
MWC	非居室	①	0.950 ×	1.400	1.330	12.540
		②	2.950 ×	3.800	11.210	
WWC	非居室	①	2.200 ×	3.950	8.690	16.720
		②	2.200 ×	3.650	8.030	
給湯室	非居室		1.650 ×	1.350	2.227	2.227
美術室	居室	①	3.535 ×	2.080	7.352	25.9990
		②	3.535 ×	5.275	18.647	
防音室	居室		6.550 ×	7.355	48.175	48.175
SK	非居室		1.000 ×	0.850	0.850	0.850

計画建物1　3階

室名	居室・非居室	符号	室面積			(㎡)
集会室倉庫	非居室	①	2.330 ×	9.180	21.389	28.233
		②	2.950 ×	2.320	6.844	
集会室		①	14.642 ×	2.380	34.848	235.603
		②	15.262 ×	7.150	109.123	
		③	14.642 ×	2.320	33.969	
		④	6.407 ×	9.000	57.663	
更衣室2	非居室		3.407 ×	2.850	9.710	9.710
更衣室1	非居室		2.950 ×	2.185	6.445	6.445
廊下	非居室	①	2.565 ×	2.115	5.424	50.494
		②	1.350 ×	9.150	12.352	
		③	2.060 ×	1.765	3.635	
		④	5.555 ×	2.300	12.776	
		⑤	9.085 ×	1.795	16.307	
MWC	非居室	①	0.950 ×	1.400	1.330	12.540
		②	2.950 ×	3.800	11.210	
WWC	非居室	①	2.200 ×	3.950	8.690	16.720
		②	2.200 ×	3.650	8.030	
給湯室	非居室		1.650 ×	1.350	2.227	2.227
調理実習室	居室	①	10.085 ×	5.260	53.047	72.792
		②	9.425 ×	2.095	19.745	
SK	非居室		1.000 ×	0.850	0.850	0.850

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STORE
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725 北田 英成

APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図名
各部屋別面積

S= 1/100(A1)
1/200(A3)
DATE 2025.09
No. A-085

自然排煙計算

階	室　名	床面積（㎡）	必要排煙開口	有効排煙開口	合　計	判　定
1階	多目的室	124.239	124.239 / 50 ＝ 2.485	AW-1A：0.9×1.05×2＝1.89	3.79	OK
				AW-2A：0.9×1.05×2＝1.89		
	事務室	31.281	31.281 / 50 ＝ 0.626	AW-14：0.9×1.05×3＝2.835	2.835	OK
	図書ｺｰﾅｰ	33.456	237.984 / 50 ＝ 4.759	AW-1C：0.9×1.05×2＝1.89	5.912	OK
	印刷ｺｰﾅｰ	5.439		AW-9：1.041×1.035＋1.075×1.035×2＝3.302		
	ｴﾝﾄﾗﾝｽﾎｰﾙ	88.359		AW-7：0.8×0.9＝0.72		
	HMC	6.651				
	MWC	13.580				
	WWC	18.439				
	給湯室	2.194				
	ｺﾐｭﾆﾃｨﾗｳﾝｼﾞ1	62.031				
	廊下	7.835				
2階	和室	49.735	49.735 / 50 ＝ 0.995	AW-2B：0.9×0.9×2＝1.62	4.05	OK
				AW-3C：0.9×0.9×3＝2.43		
	会議室1	56.597	56.597 / 50 ＝ 1.132	AW-1B：0.9×0.9×2＝1.62	1.62	OK
	会議室2	66.327	66.327 / 50 ＝ 1.327	AW-1B：0.9×0.9×2＝1.62	2.43	OK
				AW-4：0.9×0.9＝0.81		
	団体連絡室	41.162	41.162 / 50 ＝ 0.823	AW-3A：0.9×0.9×4＝3.24	3.24	OK
	美術室	25.999	25.999 / 50 ＝ 0.520	AW-11：0.8×0.9＝0.72	0.72	OK
	踏込み	5.512	91.454 / 50 ＝ 1.829	AW-6：0.937×1.00×2＝1.874	1.874	OK
	廊下	54.455				
	MWC	12.540				
	WWC	16.720				
	給湯室	2.227				
	ラウンジ	25.209	25.209 / 50 ＝ 0.504	ACW-1：1.132×0.67×4＝3.033	3.033	OK
3階	集会室 告示第1436号3号を適用	235.603	235.603 / 50 ＝ 4.712	AW-1B：0.9×0.7×2＝1.26	6.3	OK
				AW-1B：0.9×0.7×2＝1.26		
				AW-2B：0.9×0.7＝0.63		
				AW-3A：0.9×0.7×4＝2.52		
				AW-4：0.9×0.7＝0.63		
	調理実習室	72.792	72.792 / 50 ＝ 1.456	AW-11：0.8×0.9＝0.72	2.16	OK
				AW-12B：0.8×0.9＝0.72		
				AW-13B：0.8×0.9＝0.72		
	廊下	50.494	81.981 / 50 ＝ 1.639	AW-6：0.937×1.00×2＝1.874	1.874	OK
	MWC	12.540				
	WWC	16.720				
	給湯室	2.227				

消防法無窓階算定

	床面積（㎡）	必要開口面積	開口部	有効開口面積	合　計	判　定
1階	486.13	486.13/30＝16.21	SUSD-1	2.1×2.68＝5.628	90.22	有窓階
			AD-1	0.97×2.69＋1.87×2.69＝7.5523		
			AW-1A	0.9×1.85×2＋1.51×1.85×2＝8.880		
			AW-1C	0.9×1.85×2＋1.8×1.85＋1.22×1.85＝8.9170		
			AW-2A	0.9×1.85×2＋1.4×1.85×2＝8.510		
			AW-7	0.8×1.7＋0.8×0.91＝2.088		
			AW-8A	2.68×1.1＝2.948		
			AW-9	1.06×2.95×5＋1.25×2.95＋1.04×2.95＋1.07×2.95×4＋ 1.07×1.97×2＋1.07×0.9×2＝41.1583		
			AW-10	2.68×1.1＝2.948		
			SD-1	0.8×2.0＝1.600		
2階	480.24	480.24/30＝16.01	ACW-1	1.13×2.94×4＋1.13×0.87×4＝17.2212	34.74	有窓階
			AW-6	1.93×1.7＝3.281		
			AW-10	0.8×2.71＝2.168		
			AW-11	0.8×1.7＋0.8×0.91＝2.088		
			AW-12A	0.8×1.7＋0.93×1.7＝2.941		
			AW-13A	0.8×1.7＋0.88×1.7＝2.856		
			AW-15	0.78×3.06＝2.3868		
			FSD-6	0.9×2.0＝1.8		
3階	475.83	475.83/30＝15.87	AW-5	1.05×1.05×2＋1.28×1.05×2＋2.86×1.05＝7.896	42.63	有窓階
			AW-6	1.93×1.7＝3.281		
			AW-10	0.8×2.71＝2.168		
			AW-11	0.8×1.7＋0.8×0.91＝2.088		
			AW-12B	0.8×1.7＋0.93×1.7＝2.941		
			AW-13B	0.8×1.7＋0.88×1.7＝2.856		
			AW-15	0.78×3.06＝2.3868		
			FSD-6	0.9×2.0＝1.8		

換気計算

階	室　名	床面積（㎡）	必要換気開口	有効換気開口	合　計	判　定
	各居室	※	機械換気による（設備参照）			
	各便所	※	機械換気による（設備参照）			

シックハウス検討

階	室　名	床面積（㎡）	必要換気開口	有効換気開口	合　計	判　定
	各所	※	機械換気による（設備参照）			

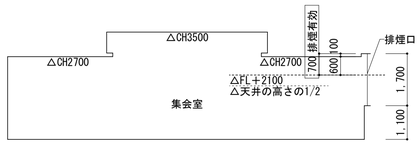
1.居室の仕上げ及び下地材に使用する建築材料は全てホルムアルデヒド放散量がＦ☆☆☆☆の
規格に適合するもの、及び国土交通省告示によりホルムアルデヒド飛散建築物材料に定めら
れていないものを使用して製作されたものを使用すること。
2.床下、天井裏、壁内に使用する建築材料は全て、ホルムアルデヒド放散量がＦ☆☆☆☆以上
の規格に適合するものを使用すること。
（材料の製作、施工に使用する接着剤類、塗装類及び家具等を含む）

告示第1436号3号適用の室（天井の高さが3m以上の室の排煙設備）

集会室床面積　235.603㎡

平均天井高計算		
天井高	面積	
2700 ×	138.87㎡	＝374949
3500 ×	96.733㎡	＝338565.5

374949＋338565.5＝713514.5
713514.5/235.603＝3028.461
平均天井高　3028.461m



集会室断面図

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTURE&STUDIO
埼玉県知事登録（5）第8878号
株式会社　カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

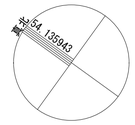
APPR	CHKD	DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名　（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図　名　単体規定チェック図

S=　No Scale
DATE　2025.9
No.　A-086



真北測定
令和6年12月2日　太陽観測による真北測定
測定者　株式会社大都設計
名嘉山 靖　測量士登録番号　H8-519号

各時間日影図　1/100

第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域
北緯36°における測定面4mの各時間日影図

影倍率表　[緯度 = 36°][冬至]

時 刻	太陽　高度	太陽方位角	影長倍率	X 倍 率	Y 倍 率
8:00	7°53'	-53°20'	7.220	-5.791	4.312
8:30	12°35'	-48°13'	4.479	-3.340	2.984
9:00	16°55'	-42°41'	3.289	-2.230	2.417
9:30	20°47'	-36°41'	2.634	-1.574	2.112
10:00	24°08'	-30°10'	2.232	-1.122	1.930
10:30	26°52'	-23°10'	1.975	-0.777	1.815
11:00	28°53'	-15°44'	1.813	-0.492	1.745
11:30	30°08'	-7°57'	1.723	-0.239	1.707
12:00	30°33'	0°00'	1.694	0.000	1.694
12:30	30°08'	7°57'	1.723	0.239	1.707
13:00	28°53'	15°44'	1.813	0.492	1.745
13:30	26°52'	23°10'	1.975	0.777	1.815
14:00	24°08'	30°10'	2.232	1.122	1.930
14:30	20°47'	36°41'	2.634	1.574	2.112
15:00	16°55'	42°41'	3.289	2.230	2.417
15:30	12°35'	48°13'	4.479	3.340	2.984
16:00	7°53'	53°20'	7.220	5.791	4.312

一級建築士事務所
KATO
ARCHITECT&STUDIO
株式会社　カトウ建築事務所
埼玉県知事登録（5）第8878号
一級建築士 NO.164725　北田 英成

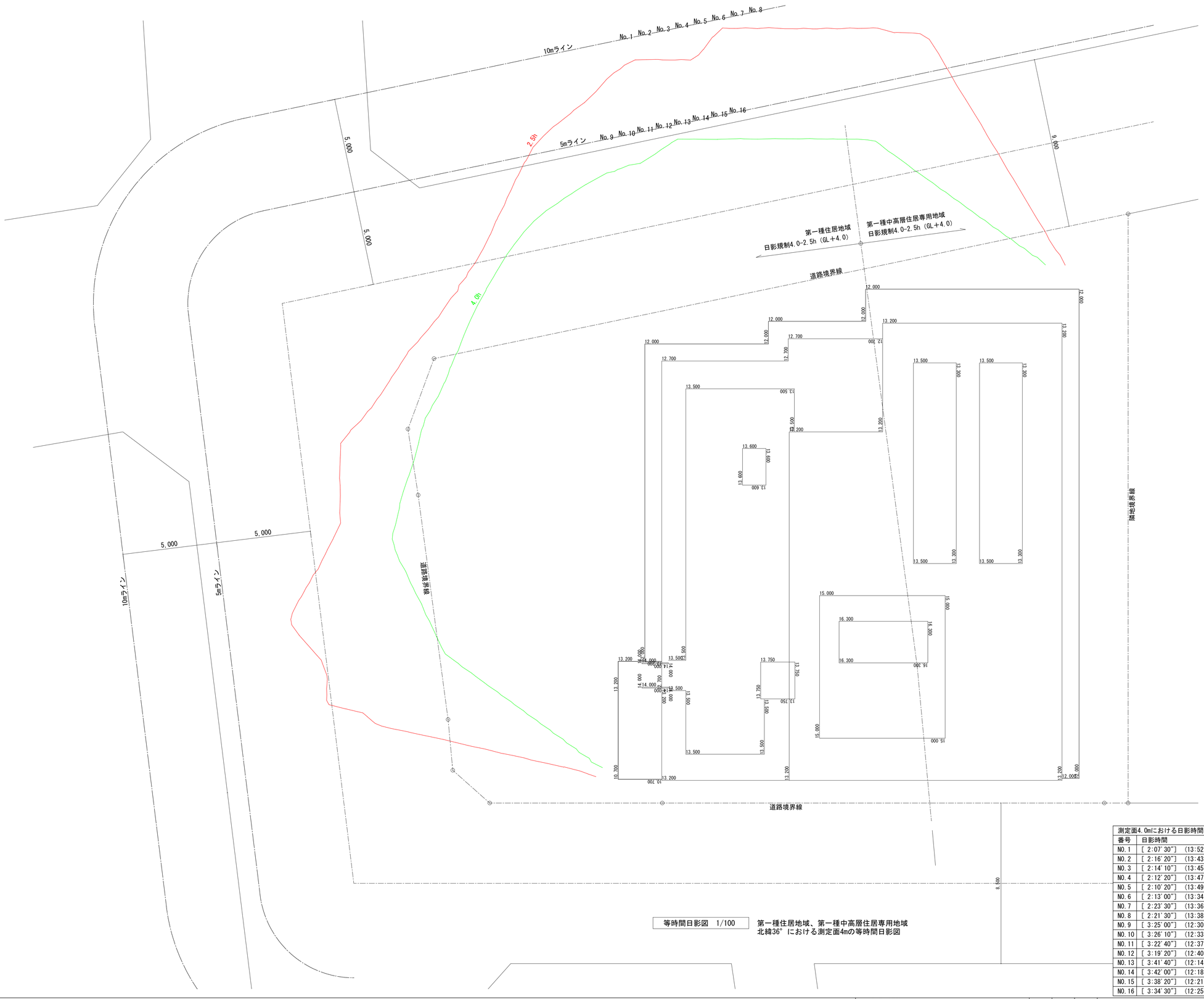
APPR	CHKD	DRAWN

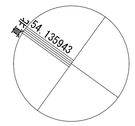
埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図 名
各時間日影図

S= 1/100(A1)
1/200(A3)
DATE 2025.09
No. A-087





真北測定
令和6年12月2日　太陽観測による真北測定
測定者　株式会社大都設計
名嘉山 靖　測量士登録番号　H8-519号

等時間日影図　1/100

第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域
北緯36°における測定面4mの等時間日影図

測定面4.0mにおける日影時間

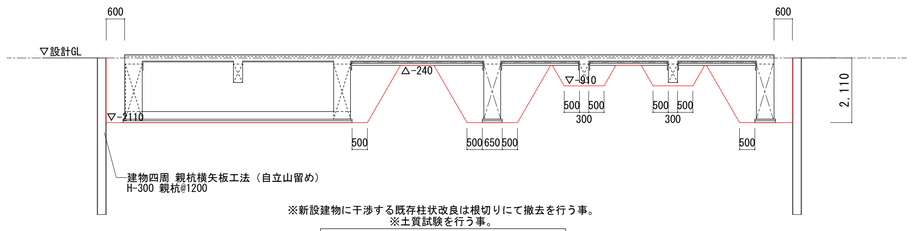
番号	日影時間	規制時間	判定
NO.1	[2:07'30"]　(13:52'30")-(16:00'00")	2.5h	OK
NO.2	[2:16'20"]　(13:43'40")-(16:00'00")	2.5h	OK
NO.3	[2:14'10"]　(13:45'50")-(16:00'00")	2.5h	OK
NO.4	[2:12'20"]　(13:47'40")-(16:00'00")	2.5h	OK
NO.5	[2:10'20"]　(13:49'40")-(16:00'00")	2.5h	OK
NO.6	[2:13'00"]　(13:34'30")-(13:39'10")　(13:51'40")-(16:00'00")	2.5h	OK
NO.7	[2:23'30"]　(13:36'30")-(16:00'00")	2.5h	OK
NO.8	[2:21'30"]　(13:38'30")-(16:00'00")	2.5h	OK
NO.9	[3:25'00"]　(12:30'00")-(15:55'00")	4.0h	OK
NO.10	[3:26'10"]　(12:33'50")-(16:00'00")	4.0h	OK
NO.11	[3:22'40"]　(12:37'20")-(16:00'00")	4.0h	OK
NO.12	[3:19'20"]　(12:40'40")-(16:00'00")	4.0h	OK
NO.13	[3:41'40"]　(12:14'10")-(12:39'50")　(12:44'00")-(16:00'00")	4.0h	OK
NO.14	[3:42'00"]　(12:18'00")-(16:00'00")	4.0h	OK
NO.15	[3:38'20"]　(12:21'40")-(16:00'00")	4.0h	OK
NO.16	[3:34'30"]　(12:25'30")-(16:00'00")	4.0h	OK

一級建築士事務所 KATO ARCHITECTS&STUDIO
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

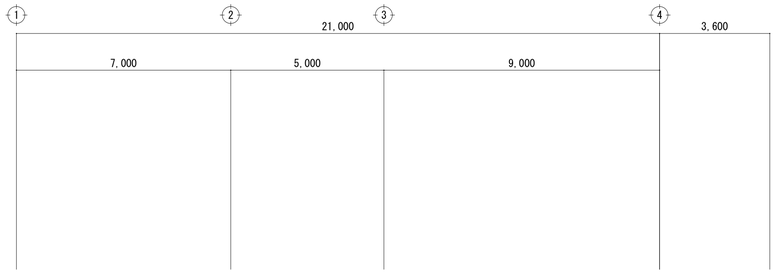
APPR	CHKD	DRAWN

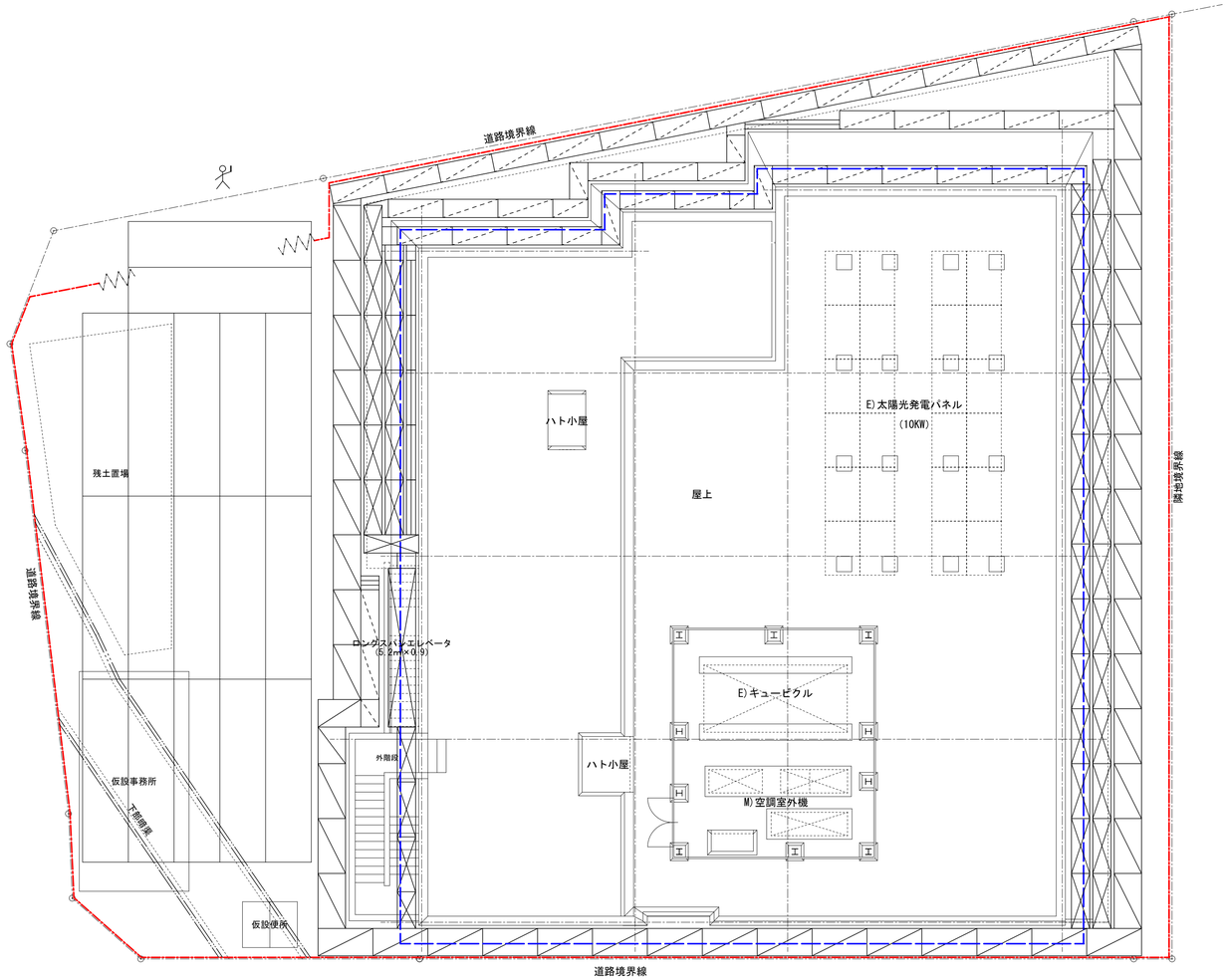
工事名　（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事
図名　等時間日影図
S= 1/100(A1) 1/200(A3)
DATE 2025.09
No. A-088

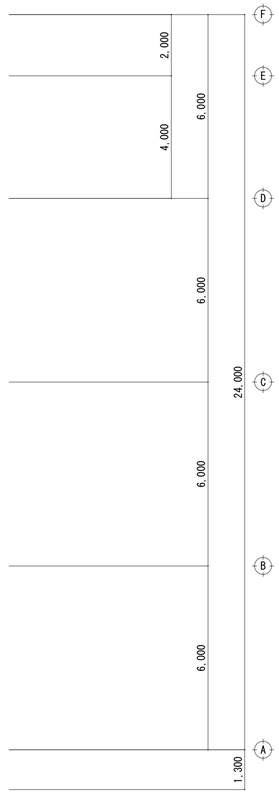


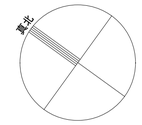
※新設建物に干渉する既存柱状改良は根切りにて撤去を行う事。
※土質試験を行う事。

山留計画断面図（参考図） 1/100









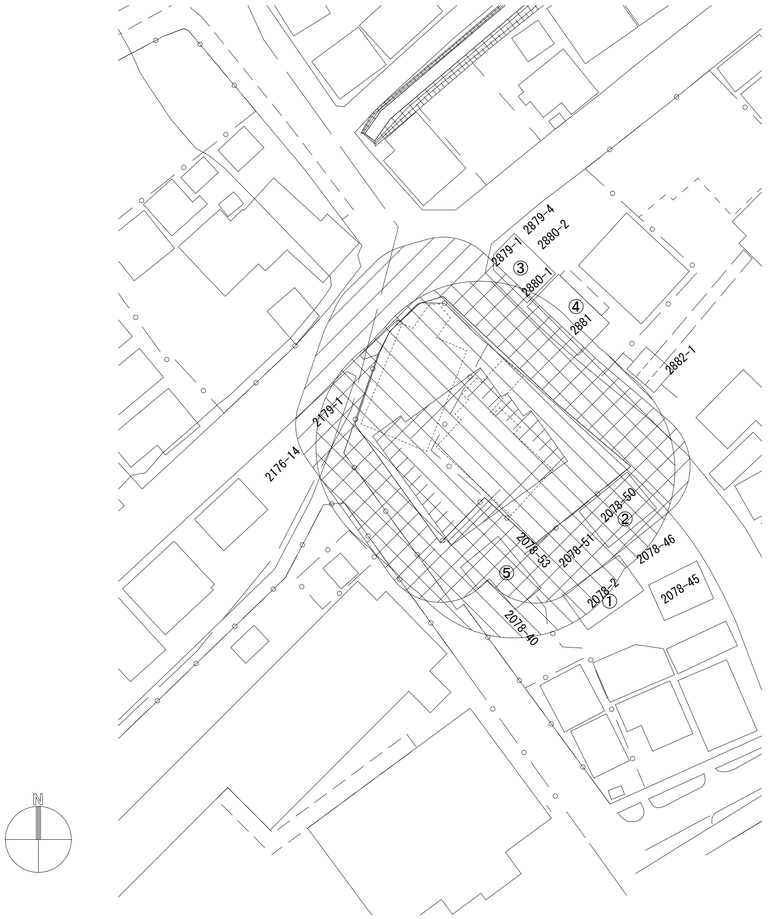
※凡例

- 仮囲い：成型鋼板 H=3,000 必要に応じてクリアパネルH=3,000
- 山留：親杭横矢板 H=2,000
- 出入口：パネルゲート W=7,200 H=5,000
- 枠組足場：W=900、養生シート
- 枠組足場：W=600、養生シート
- 単管足場：W=600、養生シート
- 単管抱き足場、養生シート
- 仮設鉄板敷き t=22
- 山留め（鋼矢板工法）
- 交通整理員（1日1名、必要に応じて増員）

※工事期間中は騒音・振動測定公開システムを設置
※現場事務所は、敷地内へ設置する
※仮設便所は快適トイレとする。

仮設計画図 1/100

一級建築士事務所 KATO ARCHITECT&SYSTEMS 株式会社 カトウ建築事務所	埼玉県知事登録 (5)第8878号	APPR	CHKD	DRAWN	埼玉事務所 さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル TEL 048-762-9767 FAX 048-762-9787	工事名 （仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事	S=1/100(A1) 1/200(A3)
一級建築士 NO.164725 北田 英成					東京事務所 東京都中央区湊二丁目2番5号 TEL 03-6262-8278 FAX 03-3206-0288	図 名 仮設計画図	DATE 2025.09 No. A-089



家屋調査範囲図　1/500

※家屋調査範囲は旧飯野医院の建物高さ、杭深さより算出

凡　例

建物の影響範囲（旧飯野医院建物高さ）

杭の影響範囲（旧飯野医院杭深さ）

旧飯野医院建物外形

西公民館等複合施設建物外形

建築物等調査箇所一覧表

No	地番	種類	構造	床面積（㎡）	備考
①	蕨市錦町5丁目2078番2	居宅	木造瓦葺２階建	129.59	
②	蕨市錦町5丁目2078番50	居宅	木造スレート葺２階建	96.59	
③	蕨市錦町5丁目2880番2	店舗・共同住宅	木造瓦葺２階建	112.62	
④	蕨市錦町5丁目2881番	店舗・共同住宅	木造瓦葺２階建	139.12	
⑤	蕨市錦町5丁目2073番2	集会場	木造平屋建	69.56	

調査実施時期
工事着手前および必要に応じて工事中・竣工後に実施すること。
損傷発生時の対応
本工事に起因して既存家屋に損傷が発生した場合は、請負者の責任において速やかに補修または原状回復を行うこと。

一級建築士事務所
KATO
ARCHITECT&DESIGN
埼玉県知事登録 (5)第8878号
株式会社 カトウ建築事務所
一級建築士 NO.164725　北田 英成

APPR | CHKD | DRAWN

埼玉事務所
さいたま市南区南本町一丁目14番5号 第3小池ビル
TEL 048-762-9767
FAX 048-762-9787
東京事務所
東京都中央区湊二丁目2番5号
TEL 03-6262-8278
FAX 03-3206-0288

工事名
（仮称）蕨市立西公民館等複合施設建設工事

図　名
家屋調査図

S= 1/500(A1)
1/1000(A3)
DATE 2025.09
No. A-090